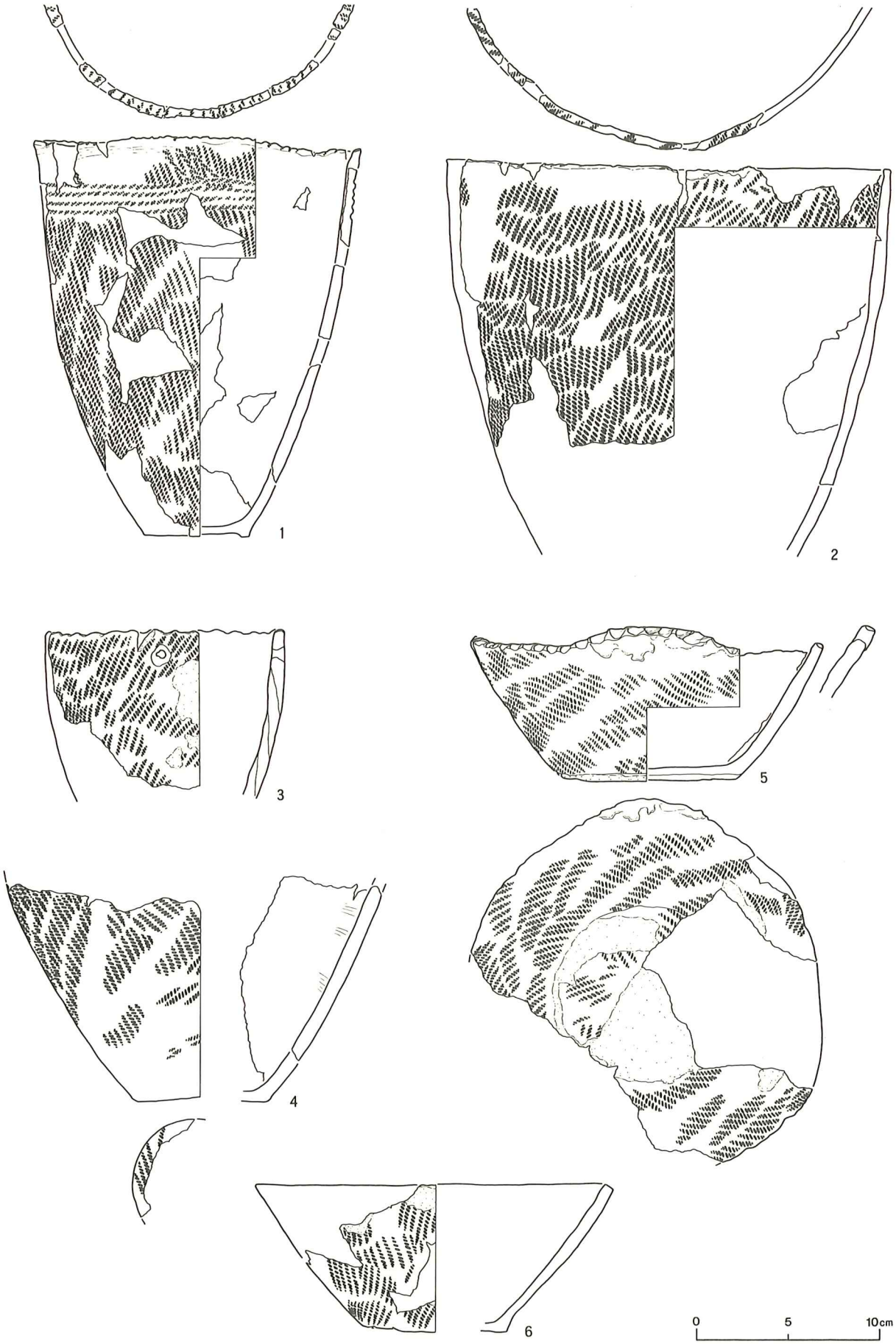
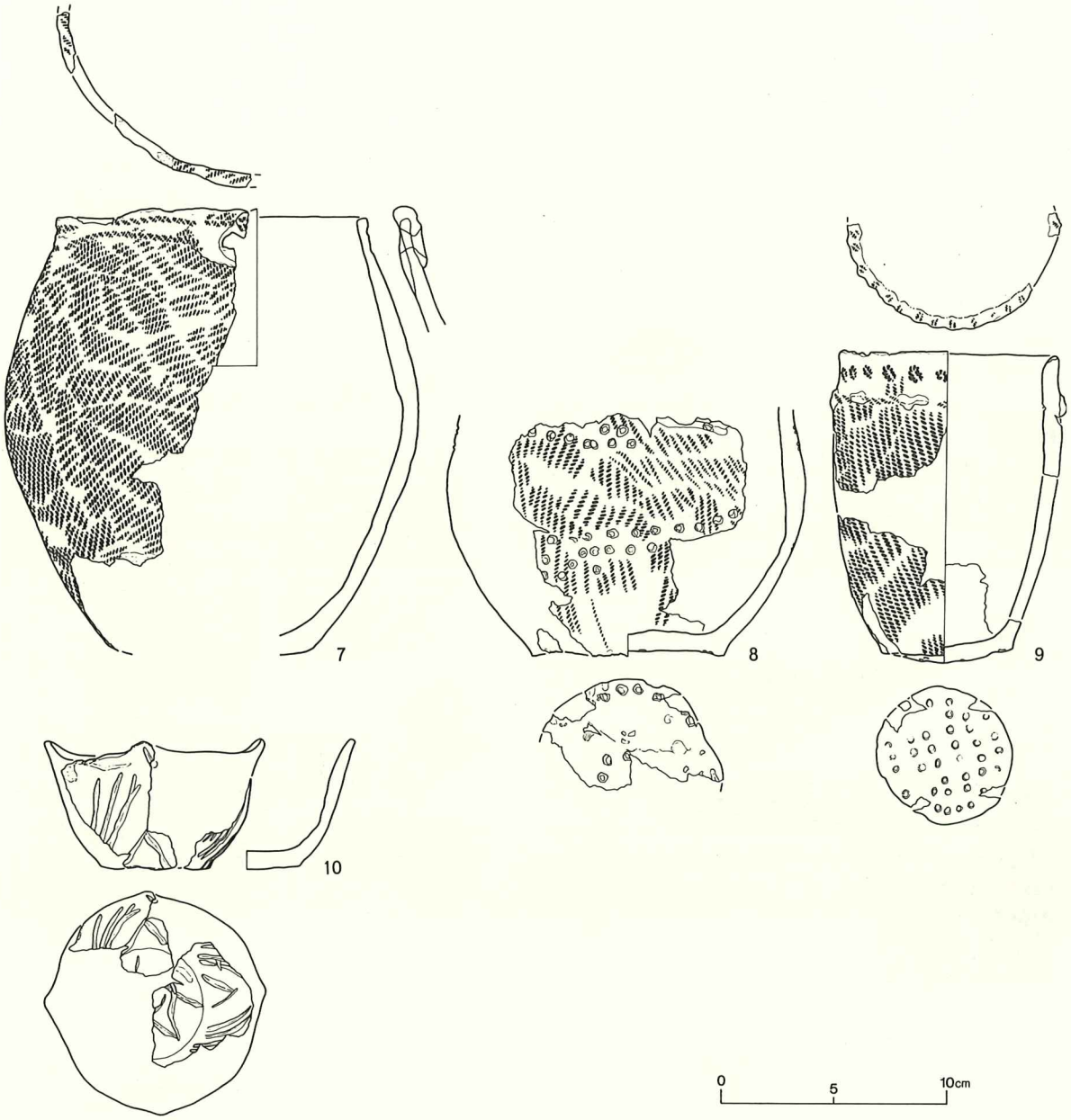
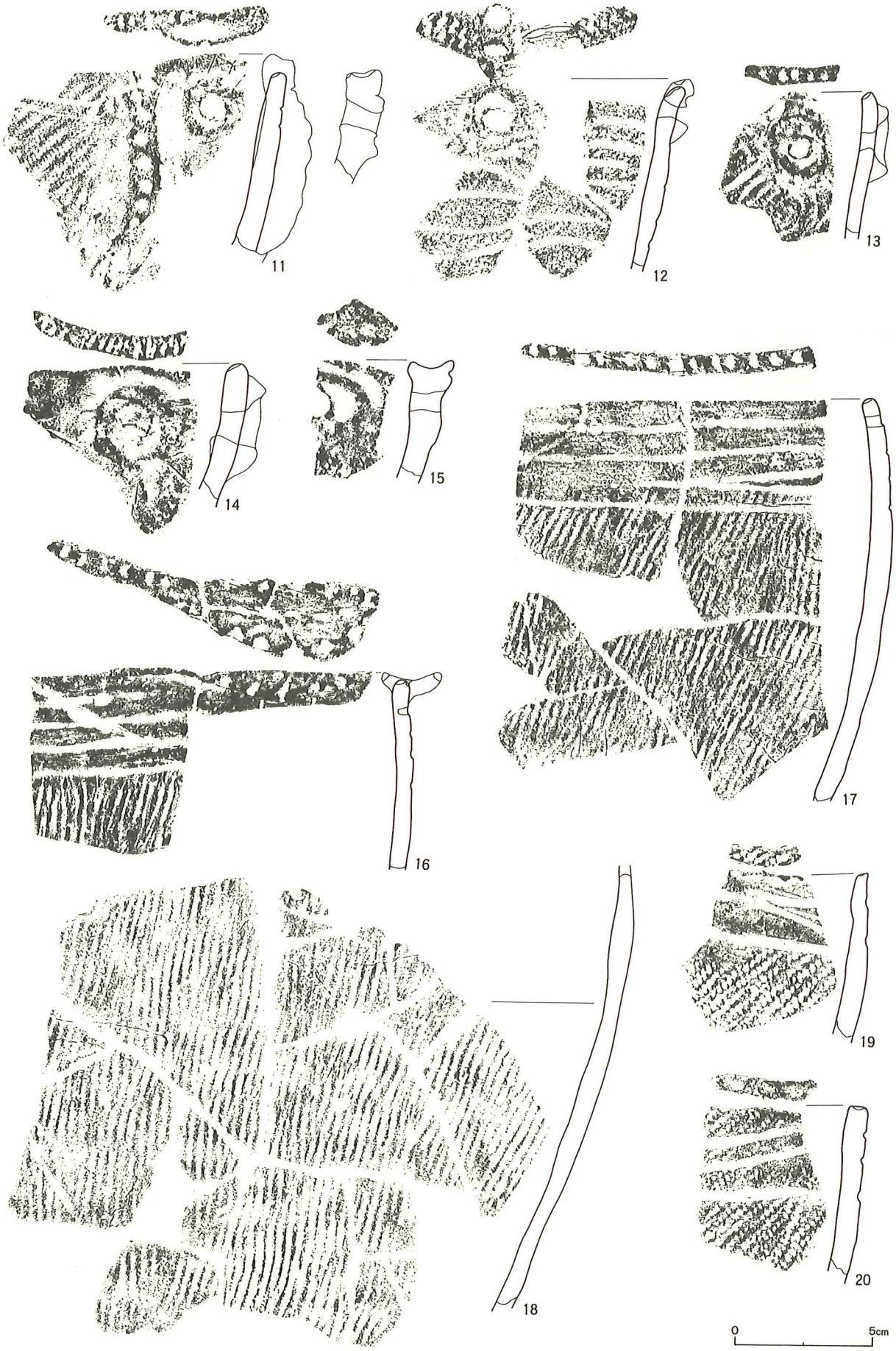


図Ⅷ－59　包含層出土のⅥ群土器(1)



図Ⅷ－60　包含層出土のⅥ群土器(2)



図Ⅷ－61　包含層出土のⅥ群土器(3)

い無文のもの。13、14は口唇上に縄の圧痕が加えられている。

15は肥厚した口唇上に指頭圧が加えられ、断面が皿状を呈する。

16～28は沈線のもの。16～18は同一固体。口縁がやや内側にすぼまった大型の深鉢片である。他に281点の同一個体片が出土したが、いずれも二次焼成を受けた影響で割れ口が丸みを帯び、復元には至らなかった。無文地の口縁部に沈線が施され、文様帯を構成している。胴部は縦位のＬＲ縄文が施文されているが、縄文をなぞるよう先の細い工具によって後から刻線が引かれている。口唇は断面角型であるが、16のように肥厚して張り出すところもある。張り出した口唇の断面は皿状にくぼみ、縁には連続的に刻みが加えられている。また、肥厚していない口唇の上と皿状に肥厚した口唇の中心部には縄端による刺突が施されている。19と20は緩やかな弧線のもの。19は無文地に沈線を引き、口唇上に縄文を施文している。20は縄文の上に沈線を引き、口唇上に爪による刺突を加えている。この刺突は磨滅していて、拓本にはよく表れなかった。21は２条の沈線が途中で閉じるもの。口唇断面は切り出し状で、丸みを帯びている。22・23は同一個体。縦に沈線が施され、口唇上はヘラ状工具によって刻みが連続的に加えられている。24は縦位の沈線と斜位の沈線が組み合わさったもの。25は沈線が放射状に施文された鉢。表面は大きく剥落している。底部はやや横に張り出す。24・25は口唇上に縄の圧痕が施されている。26は口縁の一部がわずかに肥厚し、口唇上に縄の圧痕が加えられたもの。肥厚した口縁には山形の沈線があり、沈線の間に楕円形の孔がある。27・28は沈線に刺突の加わったもの。27は山形の波頂部から短い貼り付けが垂下する。貼り付けには楕円形に孔が穿たれている。貼り付けを沈線が囲み、貼り付けの下には径３㎜の刺突が４つ加えられている。口唇上には刻み状のくぼみが観察されるが、磨滅によって施文具は特定できない。28は胴部がやや張って口縁が内傾する鉢。沈線が不規則な曲線を呈し、径２㎜の刺突痕が器面全体を充填する。沈線に沿って刺突が加えられたところも一部に見られるが、基本的に刺突に規則性はない。口唇上にも刺突は加えられている。口唇上の一部に沈線を引き、その凹部に刺突したところもある。裏面にも刺突は横位に３段加えられている。色調が黒色を呈し、焼成の良好な土器である。底部は図示した平底片のみが出土した。

29～47は縄線のもの。口唇上の施文は、縄の圧痕(29、31～34、41、44、46)、爪形の刻み(30、35)、棒状工具による刺突（36）など様々である。

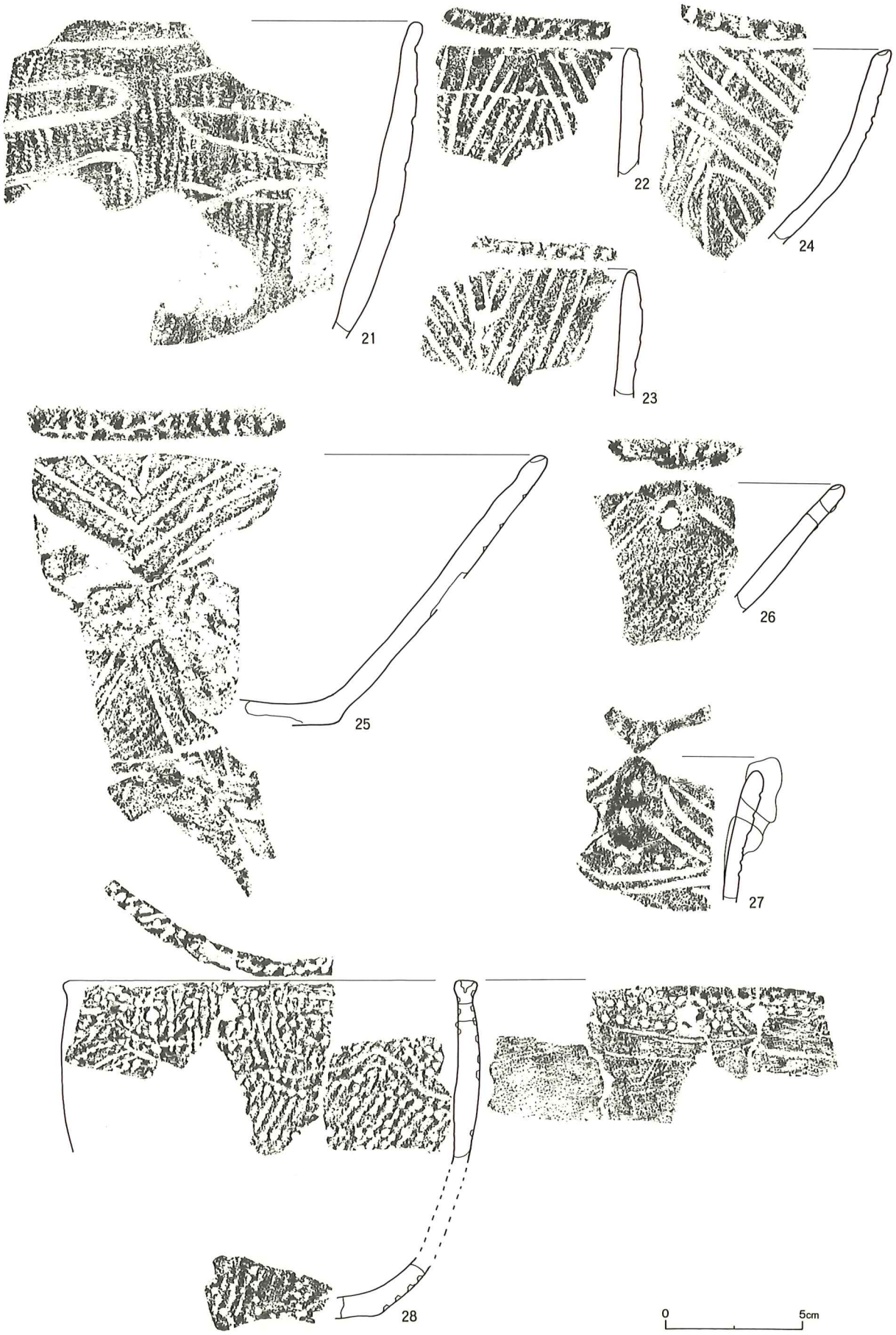
29～36は平行縄線。地文はＲＬ縄文が横位に施された33のほか、すべてＬＲ縄文である。29は口縁が肥厚して外反し、くびれ部分に縄線がある。肥厚した口縁部は地文が磨り消されて無文である。33も口縁部は地文が磨り消されている。35は縦位の縄線があるもの。36は撚りの細い縄線である。

37は弧状の縄線が表裏面に施文されたもの。口唇上には刻みが連続している。38～40は同一個体。口縁を撚りの細い縄線が横環する。38はボタン状の貼り付けを持ち、径４㎜の孔を横に貫通させている。41は縄線が横位と斜位のもの。口縁が外反する。

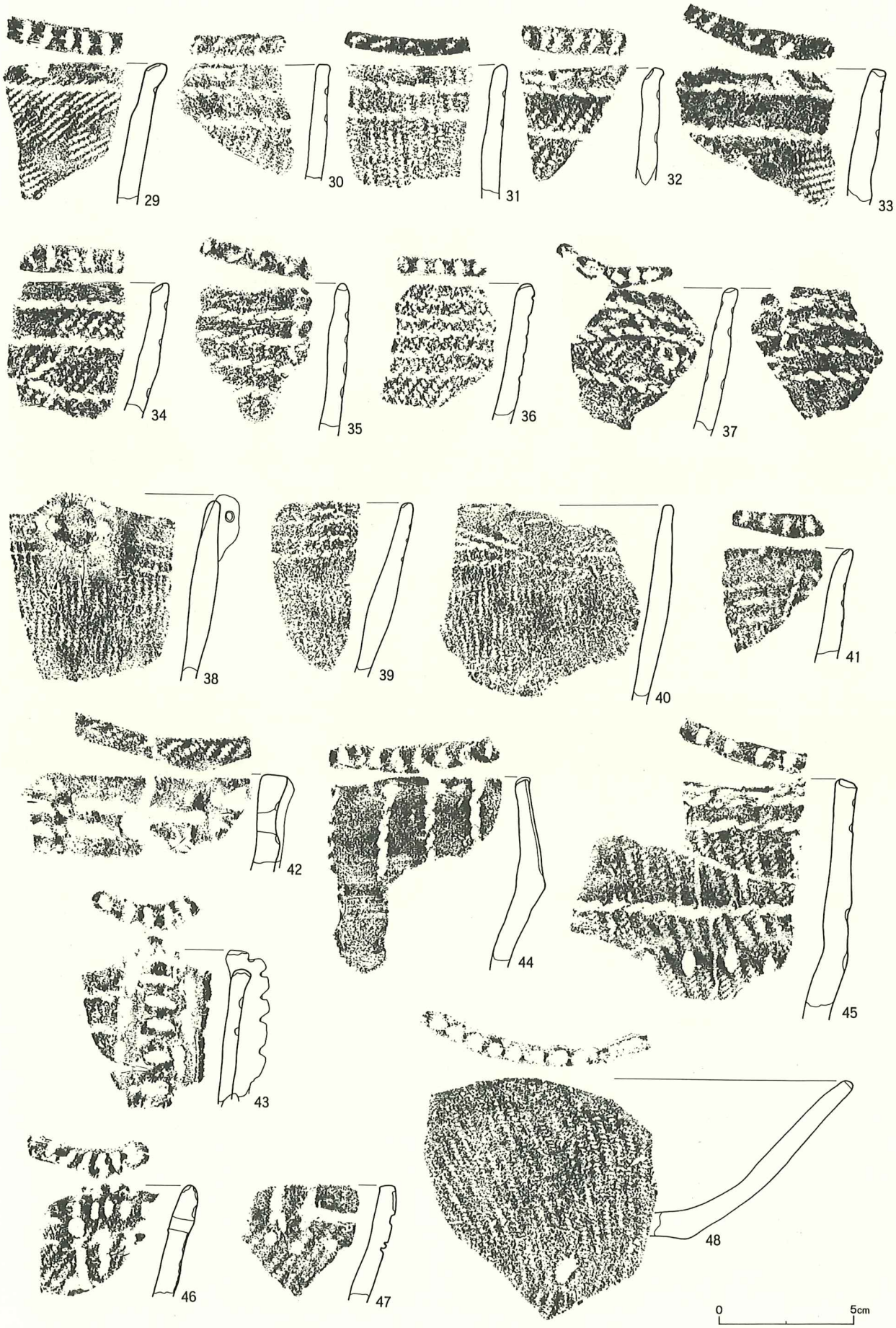
42、43は縦に垂下する貼り付けを持つもの。42は貼り付けが２本ある。幅の太い平行縄線を貼り付けの上に施文。貼り付けの間には孔が穿たれている。口縁は肥厚し、口唇上に縄文が施文されている。43は縄の圧痕が貼り付けを囲むように施されたもの。貼り付けの上と両側縁に縄圧痕が施されているが、左側縁の縄圧痕はＵ字に曲げたものである。

44・45は張り出し状の屈曲部を持つもの。いずれも裏面に指頭圧のへこみや段が観察される。44は張り出しが大きい。縄線を縦位に施文している。色調は黒色を呈し、全体に鈍い光沢がある。45は張り出し部分に縄の圧痕が加えられている。地文はＲＬ縄文。口唇上には刺突が加えられている。この刺突は棒状工具によって水平に施したものである。

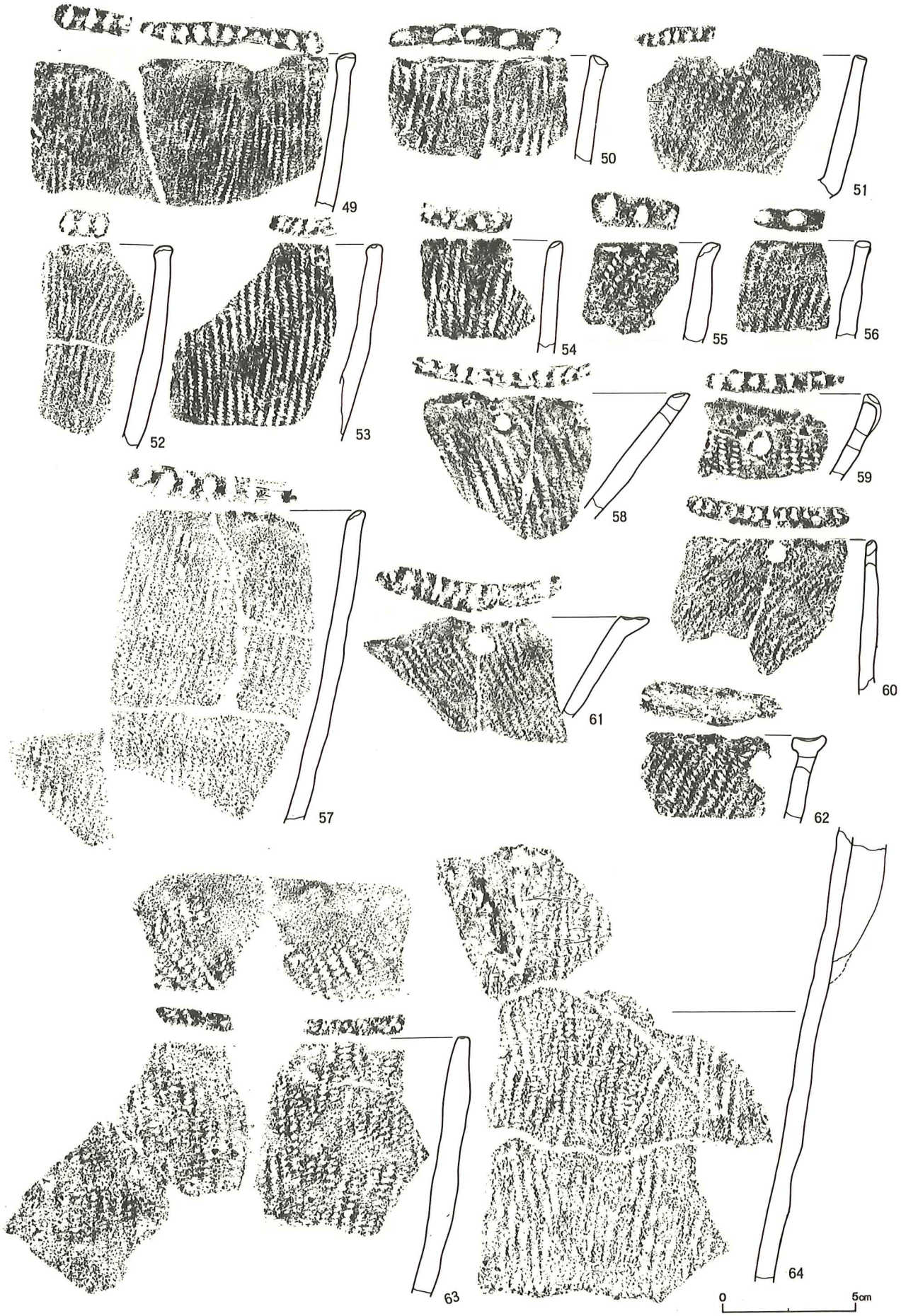
46は口唇上と口縁に縄の圧痕を加え、体部に縦位の縄線を施したもの。口縁はわずかに山形を呈す



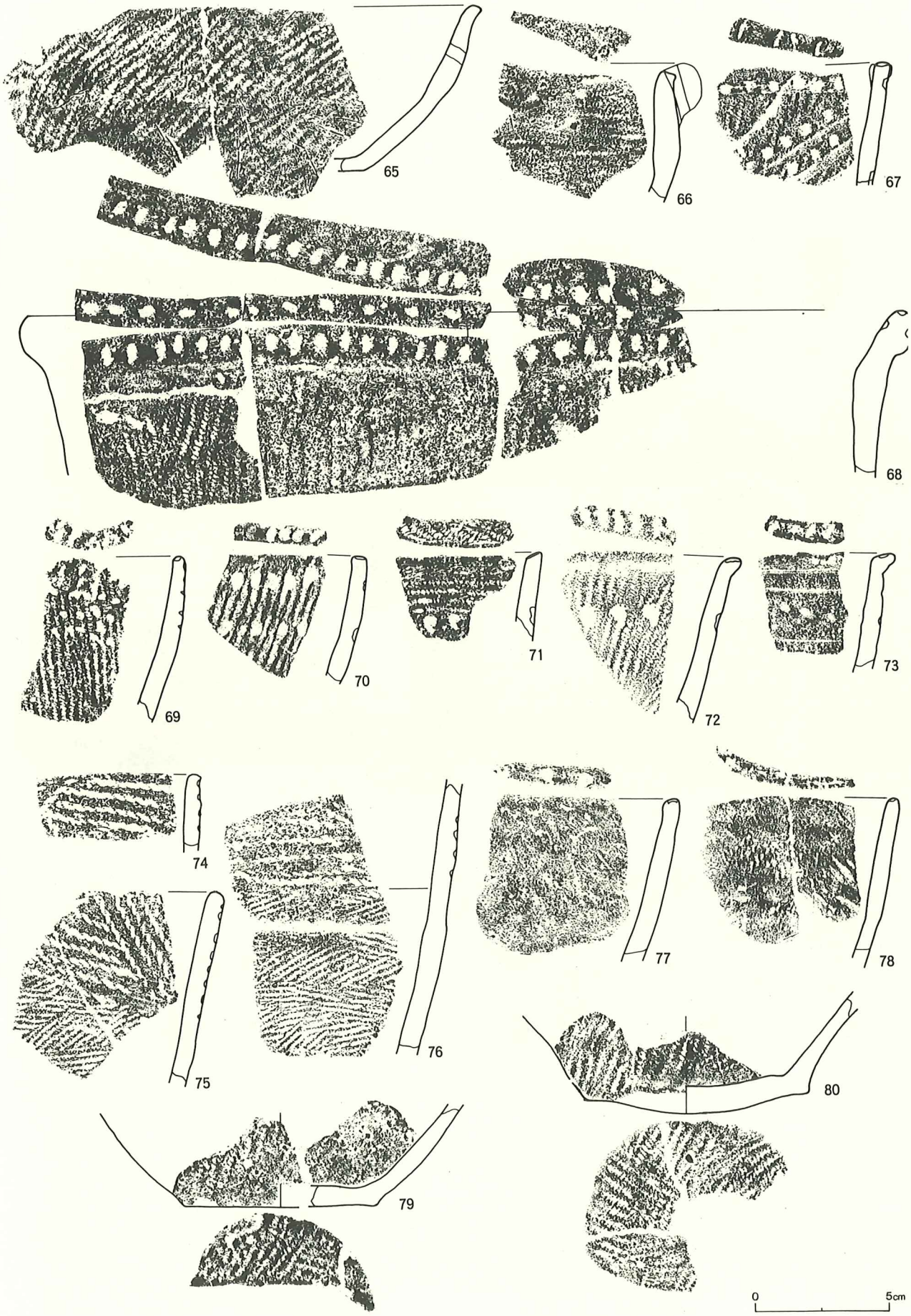
図Ⅷ－62　包含層出土のⅥ群土器(4)



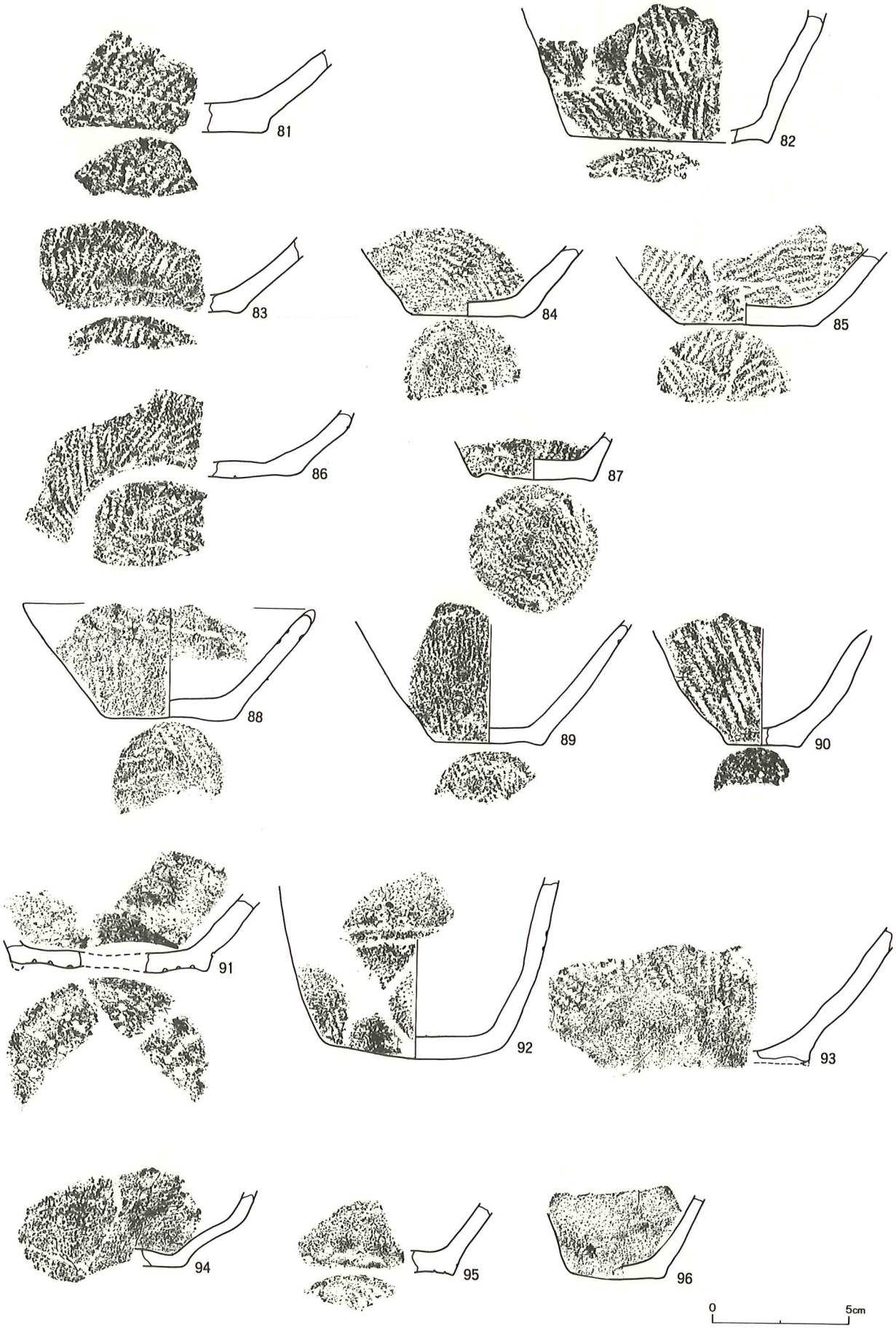
図Ⅷ－63　包含層出土のⅥ群土器(5)



図Ⅷ－64　包含層出土のⅥ群土器(6)



図Ⅷ－65　包含層出土のⅥ群土器(7)



図Ⅷ－66　包含層出土のⅥ群土器等(8)

る。縄圧痕と縄線の間には、径５㎜の孔が２つある。穿孔は表側から施したものである。47は縦と横の短い縄線が口縁に施文され、その下に中空の工具によって刺突を加えている。

48～66は縄文のみのもの。61と63がＲＬ縄文、他は全てＬＲ縄文である。いずれも原体は細く、大半が縦位である。口縁には、やや肥厚するもの（49・50・52・59）や外反するもの（55・57・61）がある。口唇上の施文は様々。縄の圧痕（49、52、54、55、57、58、60、61、63）によるものが多く、他に棒状工具による刺突（50、56）や爪形の刻み（48、51、53）、ヘラ状工具による刻み（59）のものも見られる。

55は口唇上に深く縄の圧痕を加えている。61は口縁が部分的に肥厚して大きく外反している。60と61には補修孔がある。62は口縁が大きく肥厚し、口唇断面が皿状を呈する。左右両端の割れ口に孔の跡が１カ所ある。63は口縁裏面に縄文が施文されている。64は縦位の貼り付けを持つ胴部片。63と64は全体に磨滅が著しい。65・66は胴部が張り出すもの。65は鉢。66は口縁の一部が大きく肥厚した厚手の土器である。その部分には棒状工具によって縦に孔が貫通している。口唇上には縄文が施文されており、肥厚した口縁部は無文である。体部はＬＲ縄文が横位に施文されている。

67～70は刺突文のあるもの。67は爪による刻みが口唇上に加えられている。器面の刺突は幅４㎜の工具によるもの。横位と斜位に施され、突いて引いた跡がある。斜位の刺突列の間には細い沈線がある。68は口縁が肥厚し、大きく外反する大型の鉢形土器。肥厚部の表面・上面・裏面に幅６㎜の工具による刺突が施されている。器壁は厚く、裏面には指頭圧によるへこみがある。胎土に多量の砂粒を含む。69は刺突列が横位に３段あるもの。口唇上には縄の圧痕が加えられている。70は刺突列が横位に２段ある。刺突痕は磨滅ですり鉢状に丸まり、施文具が定かでない。圧痕の可能性もある。口唇上には棒状工具による刺突が加えられている。灰白色を呈し、胎土にほとんど砂粒を含まない。

71と72はＵ字状にした縄端が圧痕されている。71はＲＬ原体の縄文が横位に施され、口唇上にも施文されている。焼成が良好で全体に鈍い光沢を持つ。72は縦位のＬＲ縄文を地文としている。73は口縁に細い沈線が施され、沈線間に刺突が加えられたもの。磨滅により刺突具の種類はわからない。72と73はいずれも口縁が肥厚して外反し、口唇上に縄の圧痕が加えられている。

74～76は同一個体である。口縁に数条単位の縄線を斜位と横位に施文し、下には縄文が施文方向を変えて施されている。

77と78は無文。77は口唇上に刺突がある。刺突の間隔はややあいている。施文具は径３㎜のもので、中空である。78は地文を磨り消したものである。器面の一部にＬＲ縄文がわずかに残っている。

79～96は底部。79と80は底面が楕円形を呈して、ＬＲ縄文が全体に施文されている。80は底面が肥厚して張るが、上げ底気味である。81は底部が平底で厚みを持つ。

82～91、95は上げ底である。このうち83～86と88は上げ底部分が磨滅して不明瞭である。88～90は小型の鉢。88は緩やかな山形口縁が２個対になっているもの。口縁に縄線がある。裏面にも縄線が施文されていた痕跡があるが、かなり磨滅して不明瞭である。89と90は胴がやや張る。89には平行縄線がある。90は厚手のもの。91は底面に径1.8㎜の刺突が加えられている。横がわずかにくびれて縄線が施されている。磨滅しているため、地文の有無は定かでない。

92～94、96は上げ底の可能性があるもの。92は体部に縄線があるもの。93と94は底部付近が大きくくびれている。93は横のくびれ部分が磨り消されて無文になっている。全体が大きく剥離しているため、底部の形状はわからない。94は文様がみられない。磨滅によって消失した可能性がある。95は底部側縁と底面に爪の圧痕が加えられたもの。色調は黒色を呈し、焼成は良好である。96は小型の無文土器である。底部は上げ底の可能性があるが、磨滅が進行していて定かではない。　（影浦　覚）

⑵　**石器等**（図Ⅷ－50・67～75　図版Ⅷ－45～50）

59,376点が出土した。内訳は剥片石器3,074点、石斧類92点、礫石器134点、石製品３点、加工礫９点、石核・フレイク・原石・礫等56,063点、化石１点である。剥片石器の出土量が3,074点と多いが、石鏃の818点、ナイフ類の810点、スクレイパーの1,240点がその大半を占めている。また、今年度調査区出土土器の大半(99.9％以上)が縄文時代晩期末から続縄文時代初頭のものであることから考え、石器も同時期のものと想定される。主に標高134ｍ台の南面する斜面上から多く出土した。

石鏃（１～42）

818点出土した。完形品は512点で、486点が三角形石鏃であった。306点の破片類も三角形石鏃を想定させるものが多い。１は長身のもの（ＩＡ２）。２～10は平基三角形石鏃（ＩＡ４ａ）、11～33は凹基三角形石鏃（ＩＡ４ｂ）である。11～14はやや五角形気味。30は被熱している。34～36は大型（ＩＡ４－）。周辺の縄文時代晩期・続縄文時代初頭の土壙から出土し、副葬用石鏃などと呼称されるものに類似する。石鏃としては大きすぎる（長径４㎝以上・重さ３ｇ以上）が、側縁の調整剥離はナイフの刃部様でもあり、実用・非実用の別は定かでない。37～41は有茎石鏃。37・39・40は平基（ＩＡ５ａ）、38・41は凹基（ＩＡ５ｃ）である。42は木葉形（ＩＡ７ａ）。全て黒曜石製である。

石槍（43・44）

20点出土した。完形品は２点。いずれも肉厚で小型である。43は有茎（ＩＢ１）。44は木葉形（ＩＢ３）。43が頁岩製で、44が黒曜石製である。

石錐（45～49）

27点出土した。45は棒状のもの(ⅡＡ１)。全体にややねじれを呈し、尖端と側縁は磨滅している。46～48は全体に二次加工の施されたもの（ⅡＡ２）。47は厚手の剥片を素材としている。二等辺三角形を呈し、全体がややねじれる。側縁は両面とも連続的な剥離が加えられ、ナイフ的な用途に使われた可能性もある。48は薄い剥片を素材とする。49は剥片の一端に使用部を作出したもの（ⅡＡ３）。尖端は磨滅している。45・49は頁岩製、他は黒曜石製。46は石製品片である可能性がある。

つまみ付ナイフ（50）

２点出土した。50は片面加工のもの（ⅢＡ１）。調整剥離は粗く、抉りは不明瞭である。頁岩製。

ナイフ（51～71）

810点出土した。完形品は86点。有柄（37点）と無柄（49点）に分けられる。有柄のものには平行な柄部を持つ定型的なものが多い。無柄のものは棒状原石を素材としたもの、木葉形を呈するものが比較的多く見られたが、不定型なものも見られる。柄の有無を判別できないものは全て破片としたため、必然的に破片が724点に及んだ。51～63は有柄（ⅢＢ１）。短いものから長いものへ並べた（51＝5.1㎝～61＝8.2㎝）。長短は様々であるが、柄部の幅はいずれも２㎝前後でほぼ変わらない。有柄のナイフには、片面加工でスクレイパー的刃部を有するものもいくらか見られた。61は刃部の調整が左右で異なる。左側縁は両刃でナイフ的、右側縁は片刃でスクレイパー的である。62は両側縁とも片面加工。刃部調整がスクレイパー的である。63は裏面に主剥離面を大きく残し、加工が全体に粗い。64～71は無柄（ⅢＢ２）。64・65は棒状原石を素材とする。66は刃部の再調整によって下端部が尖っている。剥離は全体に粗い。67～71は木葉形である。70と71は大きさ・形状が非常に類似している。いずれも刃部が薄く仕上げられている。メノウ質頁岩製の51を除き、全て黒曜石製である。

スクレイパー（72～87）

1,240点出土した。完形品は693点。側縁に直線的な刃部があるもの（ⅢＣ４・334点）と素材の形状を変えていないもの（ⅢＣ７・302点）が多い。72・73は円形を呈する（ⅢＣ２）。いずれも刃部が

急角度である。74～83はⅢＣ４。74～76は台形様を呈する。いずれも刃部は全周するが、想定される機能からⅢＣ２とはせずⅢＣ４とした。84～87はⅢＣ７。85は母岩から剥いだ剥片の周縁に剥離を施し刃部としたもの。77と86が玄武岩製。他は全て黒曜石製である。

石核（88～92）

40点出土した。88・91は全面に素材を剥いだ痕があるもの。89は平坦な打面が形成されている。92は大きく残る原石面から母材の大きさが想定できるもの。全て黒曜石製。

棒状原石（93～95）

93は細い。95は母材から剥いだ際の剥離痕を裏面に持つ。全て黒曜石製。

三脚石器（96・97）

96は脚部を３カ所とも欠損している。97は三脚石器の未成品と思われるもの。調整剥離が周縁のみに限られ、側縁の一部に原石面を大きく残している。いずれも黒曜石製。

石製品（98）

98は石製小玉。孔は楕円形を呈する。両側から穿孔が施され、縁には紐ずれの痕が観察される。素材に対して大きく穿孔がなされたため、繋ぎの一部が非常に細くなっている。蛇紋岩製。

石斧（99～104）

78点出土した。小型のもの（99・100）、中型のもの（101～103）、大型のもの（104）に分けられる。99は短冊形（ⅣＡ２）。基部を欠いた石斧の折れ面を研磨調整し、再利用したもの。100は撥形（ⅣＡ１）。全面に研磨が施されている。101～104は短冊形（ⅣＡ２）。101～103は剥離で全体の形状を整え、入念な研磨で刃部を作出したもの。104は整形時の敲打痕が側縁部に残っている。表裏面とも研磨され平滑である。99・103は泥岩製、100～102は片岩製。104は不明である。

たたき石（105～111）

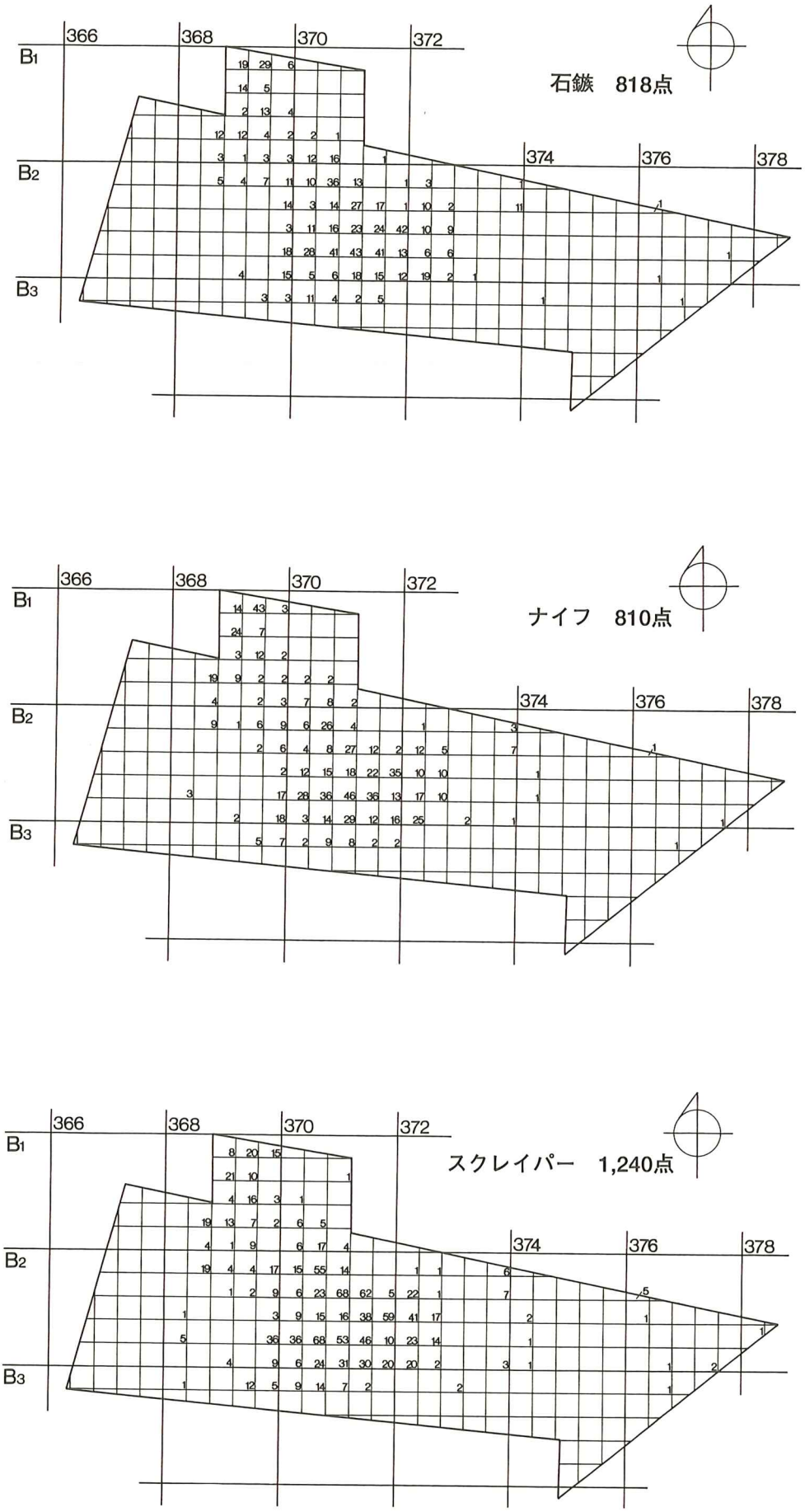
31点出土した。105は周縁に敲打痕があるもの（ＶＡ２）。106～108は礫の腹・背面に敲打痕があるもの（ＶＡ３）。いずれも棒状礫を素材としているが、端部に敲打痕が認められないためＶＡ３とした。106は礫の稜部に敲打痕が観察される。敲打の深い使用痕と浅い使用痕とが２カ所、反対側の稜部に１カ所づつある。107は敲打の深い使用痕と浅い使用痕が表裏面に２カ所づつ、ほぼ同じ位置にある。周縁の一部には微弱な敲打痕もある。表面は一部が平滑に研磨されている。108は表面に３カ所、裏面に２カ所、計５カ所の敲打痕がある。やはり微弱な敲打痕が周縁の一部にある。全体的に平滑で、研磨されたと思われる。109は亜円礫を素材とするもの（ＶＡ４）。球形を呈し、全体に敲打痕がある。110・111は今後分類を必要とするもの（ＶＡ５）。110は角礫を素材とし、周縁と表面全体に敲打痕がある。111は偏平礫を素材とし、周縁と表面に敲打痕がある。表面の敲打痕は２カ所あり、表裏面とも平滑に研磨されている。裏面は砥石として使用され溝状に凹んでいる。被熱しており、周縁がかすかに変色している。109が安山岩、110が蛇紋岩、他は砂岩製である。

すり石（112）

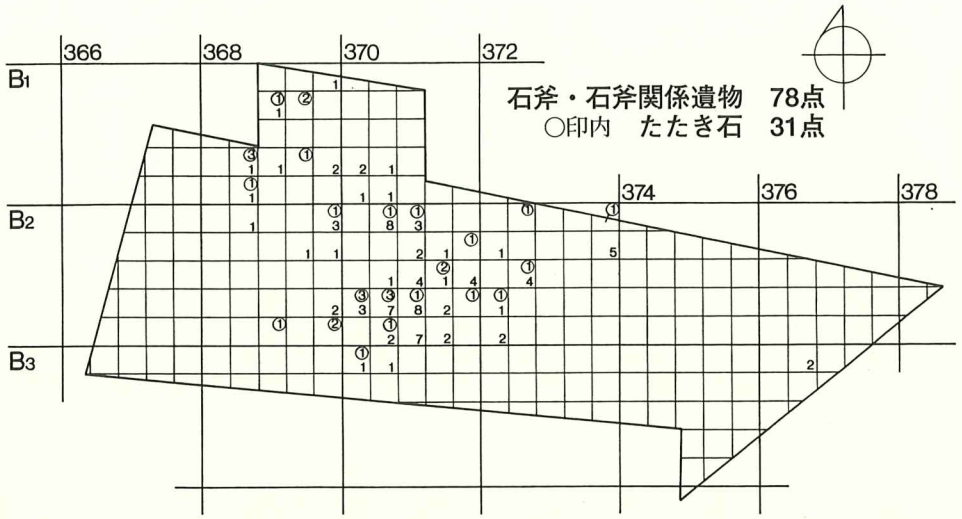
１点出土した。112は形状が北海道式石冠に類似するものである。しかし、敲打による握部の作出はなされていない。また、石冠が伴うとされる縄文時代前・中期の土器も出土しておらず、不明な点が多い（ⅥＡ－）。全体によく被熱し、焼け弾きの痕と赤色化が著しい。砂岩製。

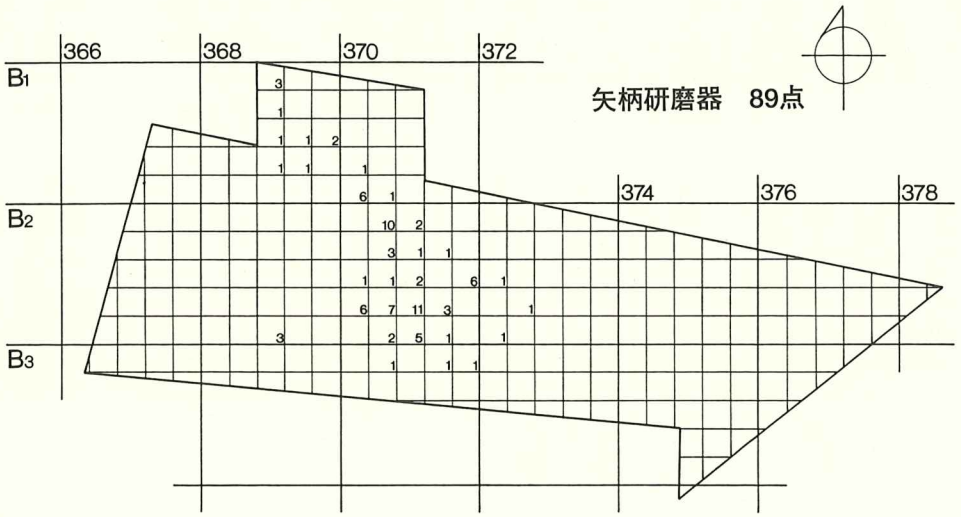
砥石（113～117）

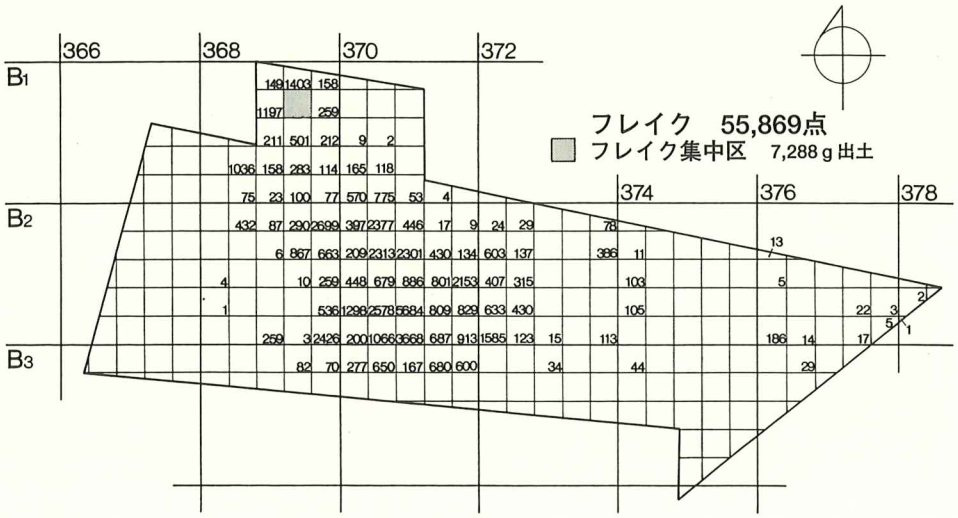
89点出土した。完形の78点全てが矢柄研磨器（ⅦＢ１）であり、破片としたものも矢柄研磨器片、あるいは素材としてのスコリア片である。113は両面が使用によって大きく凹んだもの。114・115は片面のみの使用。114は斜めに溝状の使用痕が観察され、右側は平滑な縦方向のすり面が認められる。



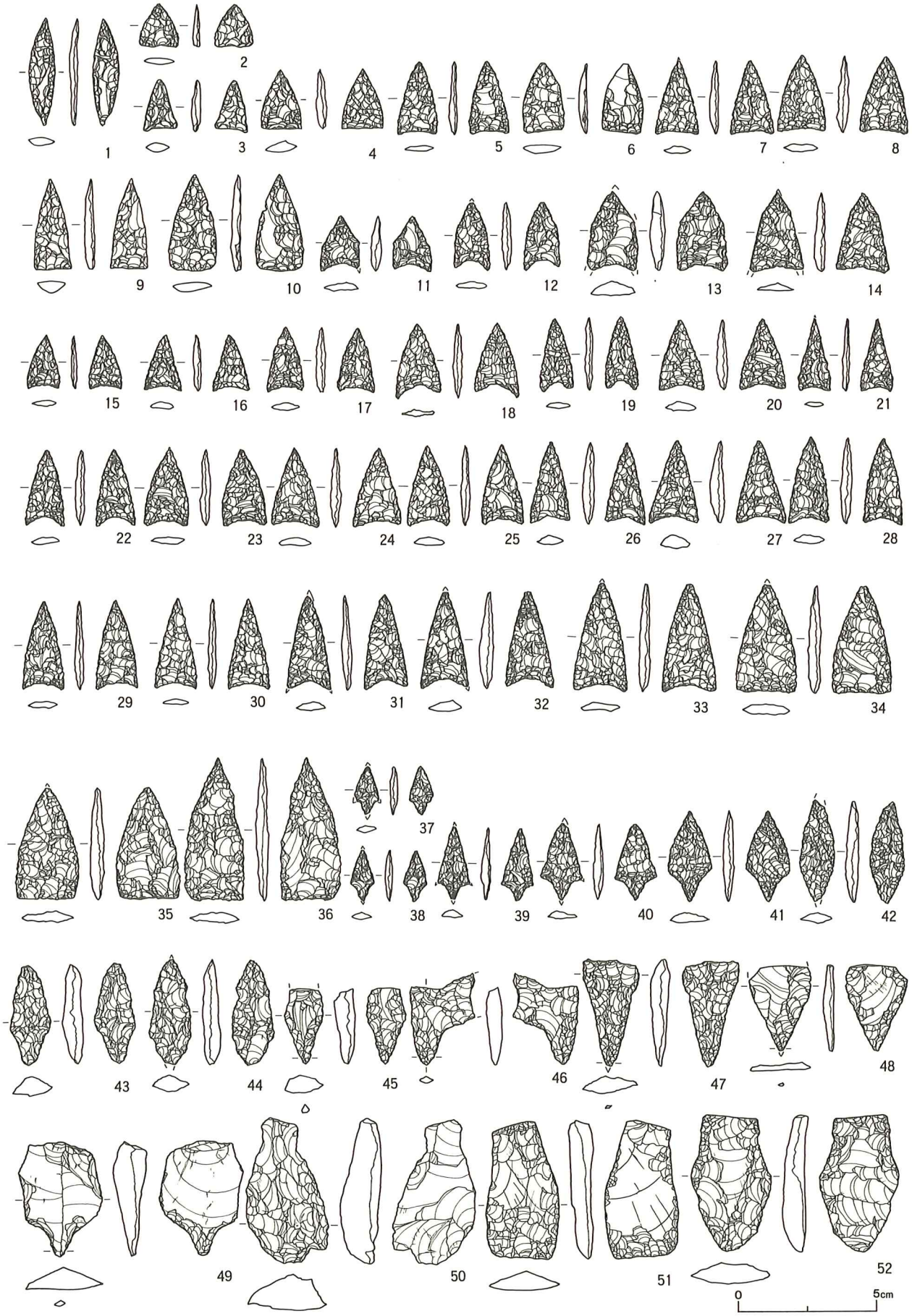
図Ⅷ－67　包含層出土の石器分布(1)



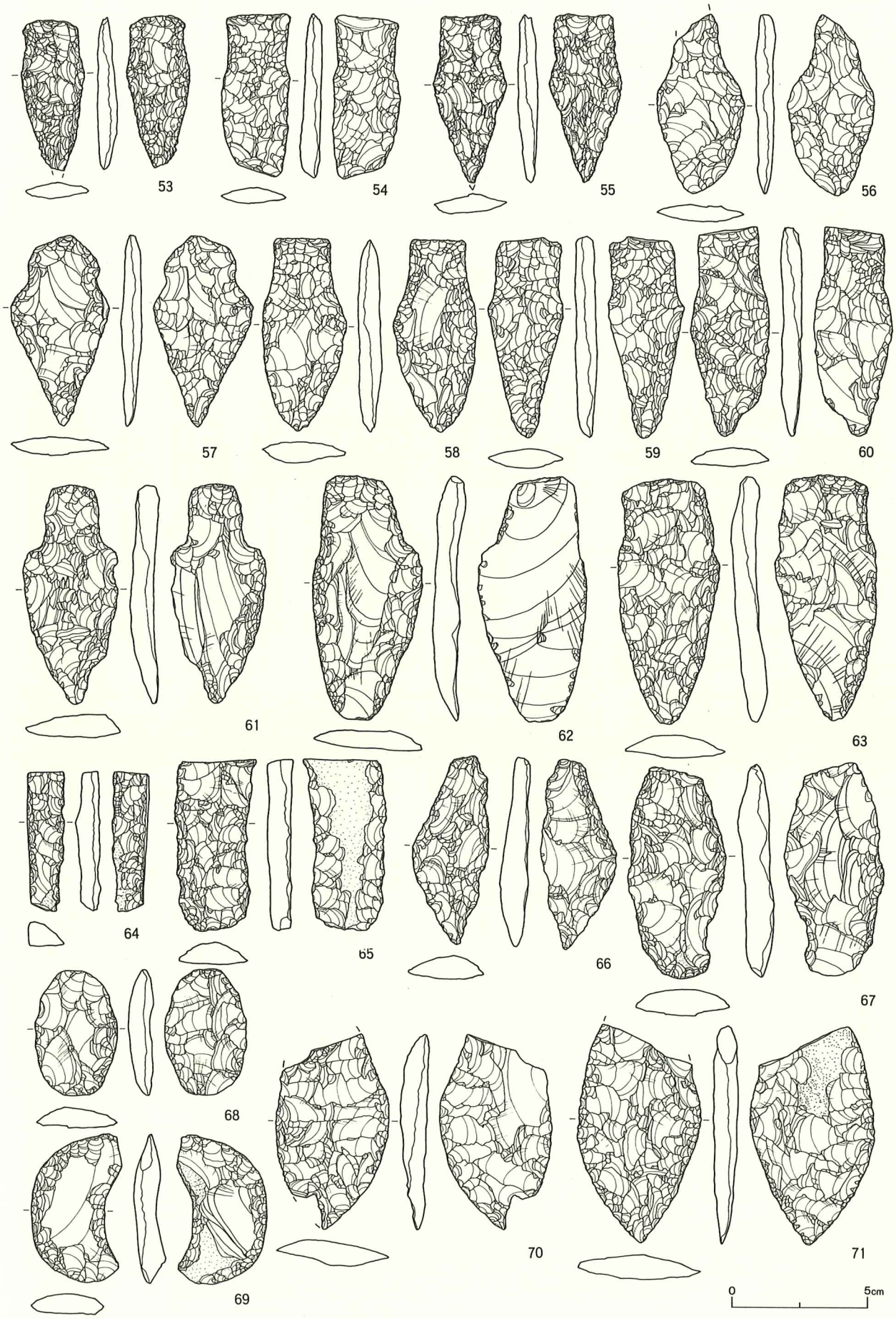




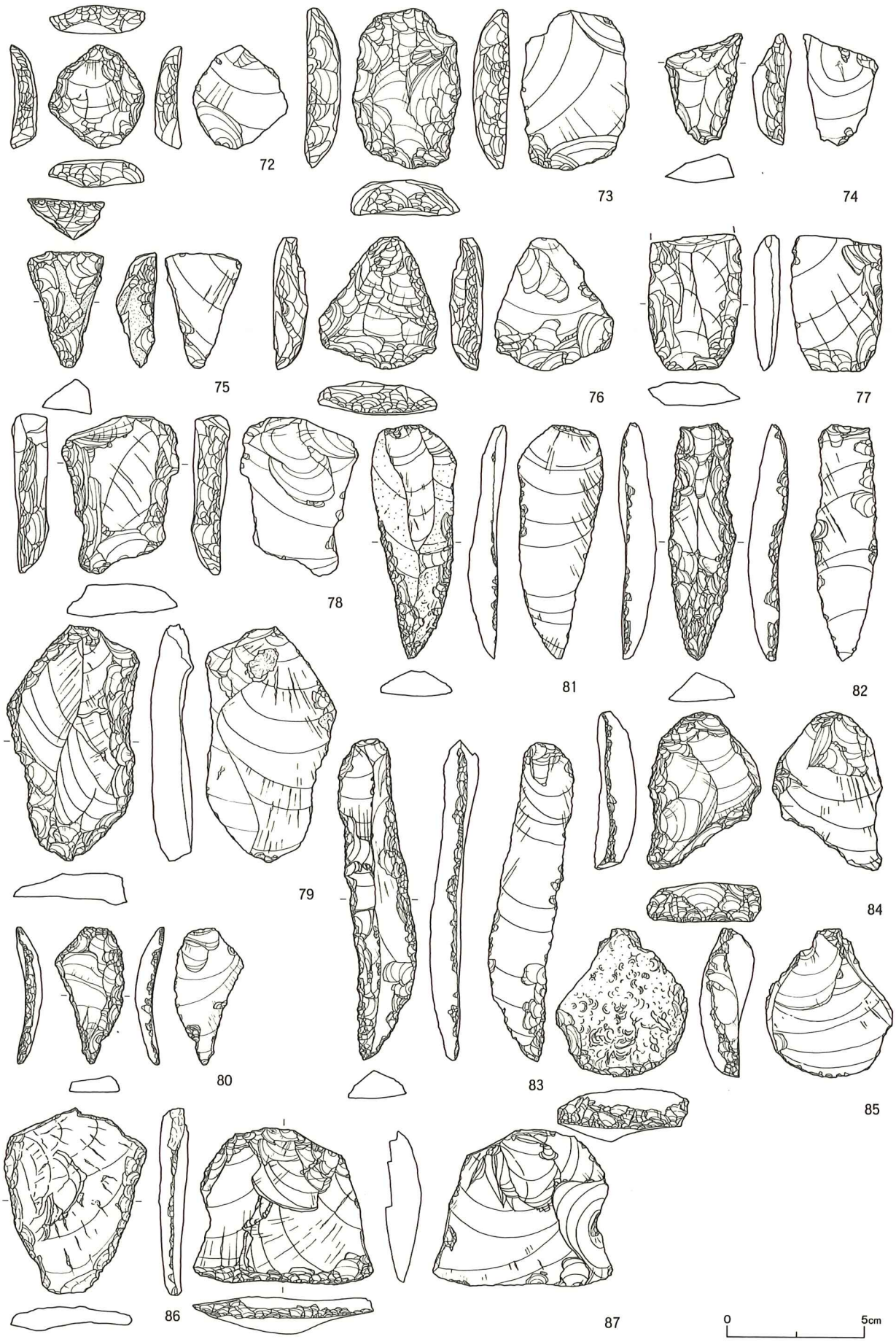
図Ⅷ－68　包含層出土の石器分布(2)



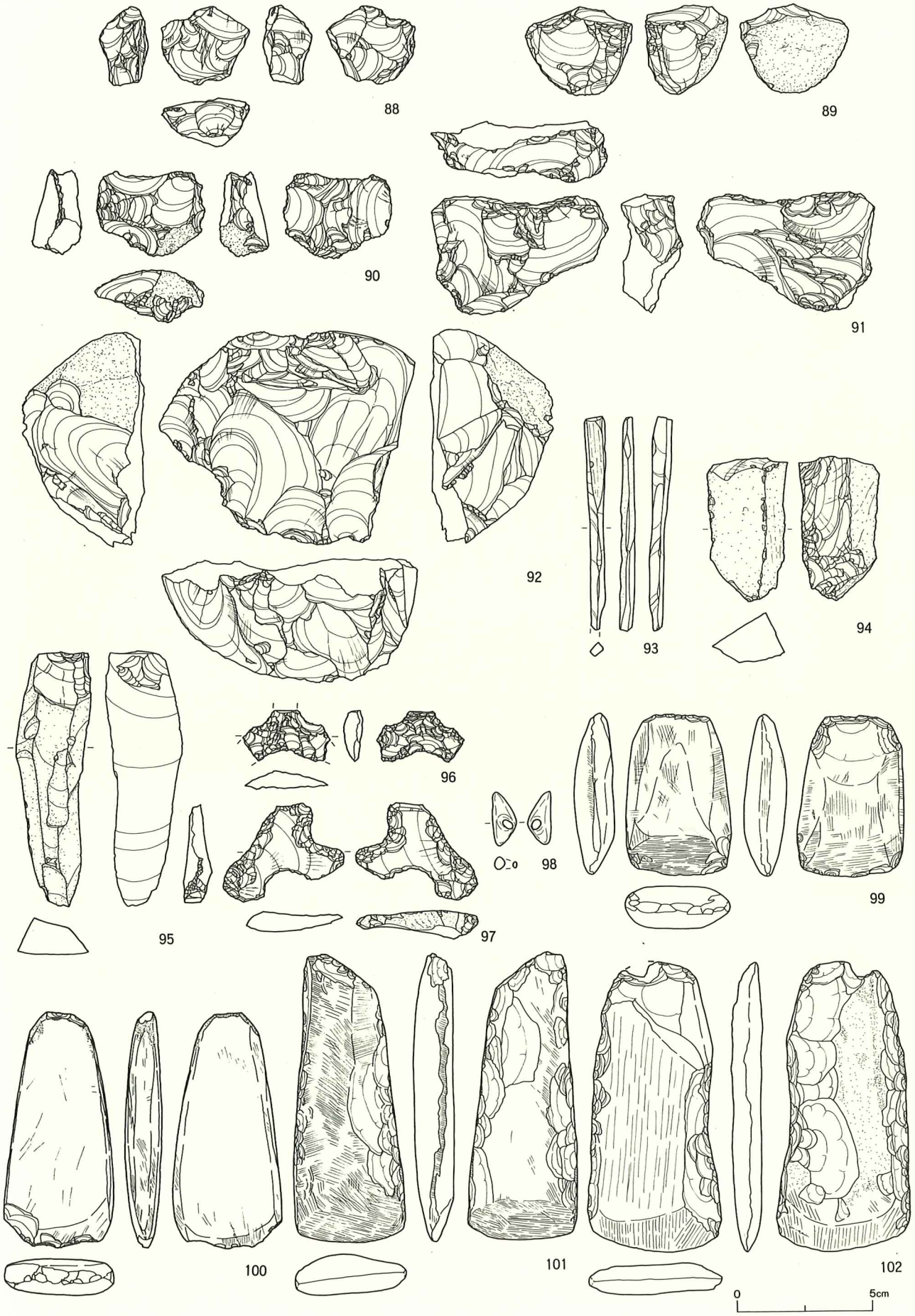
図Ⅷ－69　包含層出土の石器(1)



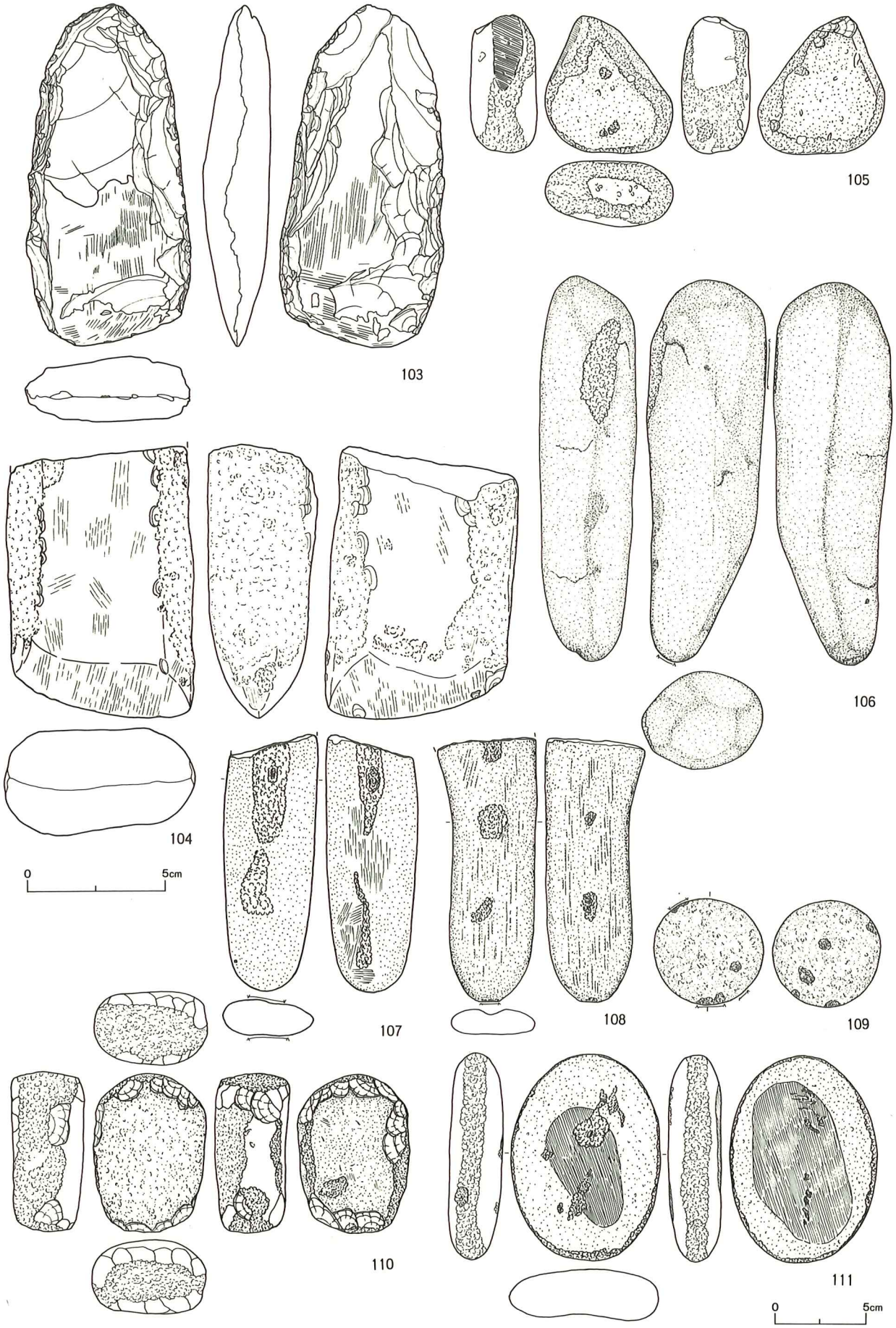
図Ⅷ－70　包含層出土の石器(2)



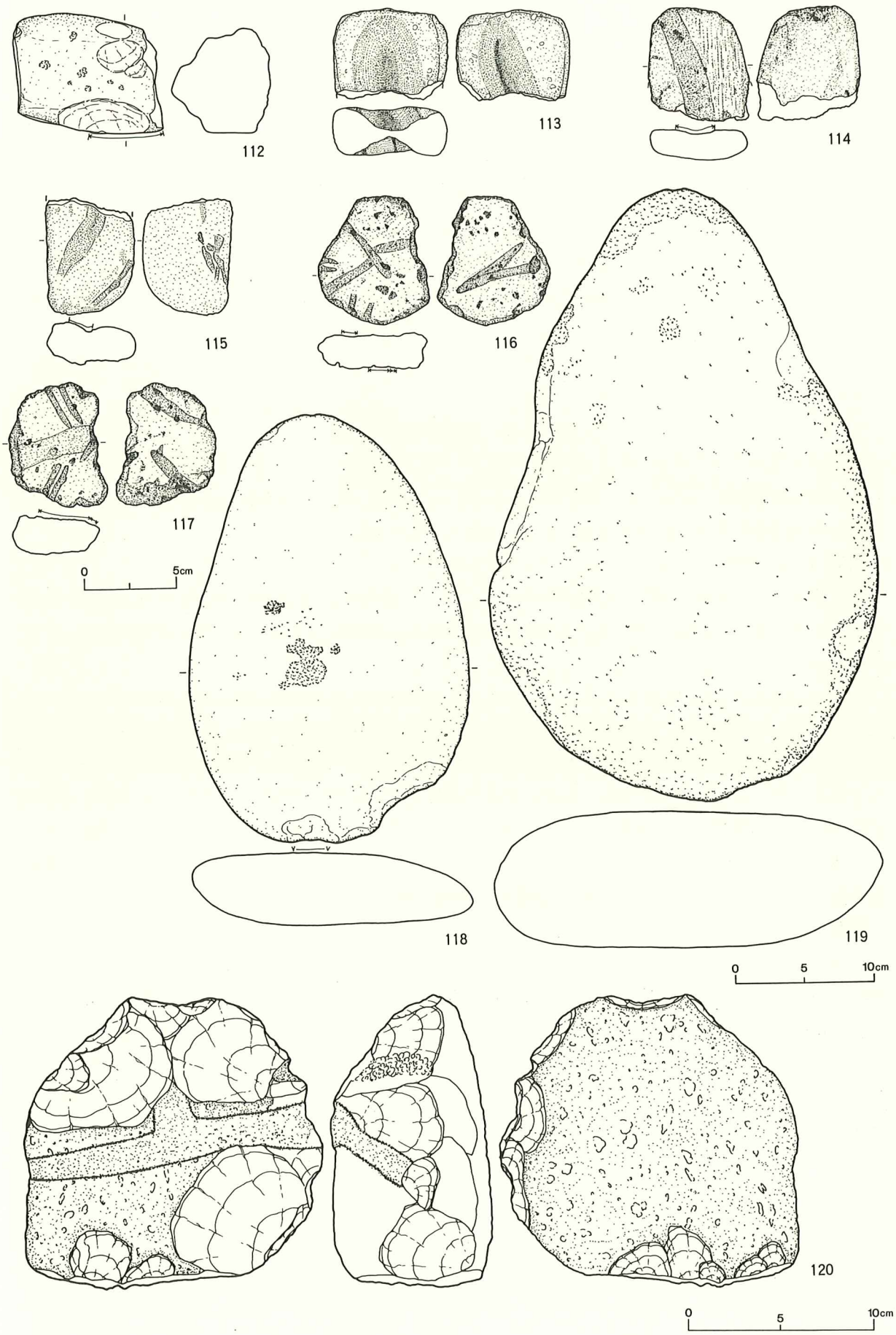
図Ⅷ－71　包含層出土の石器(3)



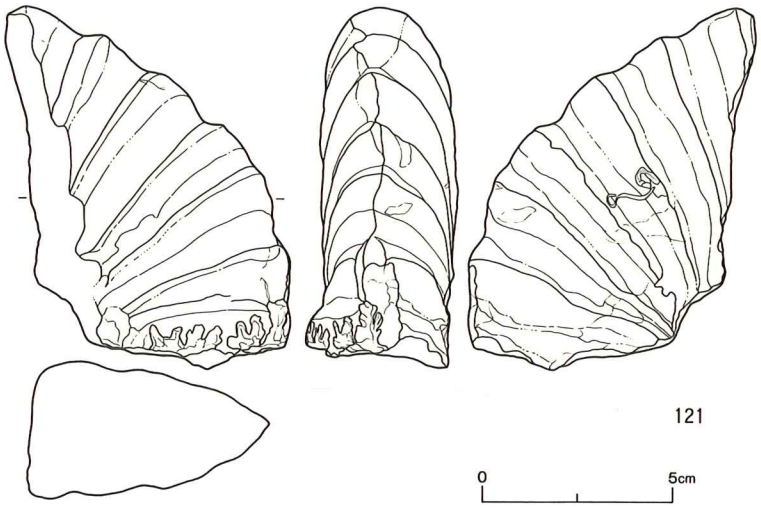
図Ⅷ－72　包含層出土の石器等(4)



図Ⅷ－73　包含層出土の石器(5)



図Ⅷ－74　包含層出土の石器(6)



図Ⅷ－75　包含層出土の化石

115は全体に研磨整形が施され、平滑である。116・117は浅い使用痕が表裏面に見られるもの。116は敲打と研磨で素材が板状に整形されている。全てスコリア製。

台石（118・119）

13点出土した。118は表面の中央に使用痕がある。119は表面全体に使用痕が認められるもの。裏面は使用していない。被熱して一部が変色している。118は砂岩製、119はトロニエム岩製である。

錨石（120）

いわゆる錨石（いかりいし）と呼称されるもの。主に石狩川流域の遺跡から出土例があり、縄文時代晩期後葉の遺物に伴うとする指摘がある（杉浦1988）。舟の錨とする説と、宗教的な用具とする説があり、実用・非実用の別は定かではない。120は調査区北側、旧国道の側溝跡から多くの礫に混じって出土した。表面の破砕が著しいため、全容は把握できないが、表面に逆T字状の溝が敲打で作出されている。右側縁は横位の溝が平行して２段認められる。溝の幅は平均２㎝弱で、やや磨滅しており、紐擦れの可能性が想定される。裏面に溝は認められない。下端の破砕面は敲打により平坦に調整された可能性がある。重さは約2.5㎏。多孔質の安山岩製である。

化石（121）

121はアンモナイトの化石である。Ⅲ層下部より出土した。学名アナゴウドリセラス・サキア。白亜紀後期、およそ9,000～9,700万年前に生息した種で、中部蝦夷層群の下部より出土する。滝里周辺では野花南の渓谷に分布する。縄文時代晩期末から続縄文時代初頭期の生活者が表採、遺跡に運んできたものと推定される。縫合線（隔壁と殻の境界線）から螺環（殻）の部分片。側縁に見られる稜線は堆積作用によって圧縮され生じたもので、本来のものではない。転石作用によって、全体が磨滅し、肋は丸みを帯びる。推定最大径は25～26㎝。

＊アンモナイトの化石については三笠市立博物館の主任研究員早川浩司氏に鑑定していただいた。

（影浦　覚）

表Ⅷ－2　遺構規模一覧

遺構名	発　掘　区	規模(壙口部；長軸×短軸／壙口部;長軸×短軸／深さ)m	平　面　形	長軸方向	確認面の標高(m)
H－1	B_1－370－21・22	(4.70)× 3.56 ／(4.16)× 2.88 ／0.55	不整隅丸方形	N－79°－W	134.95
P－3	B_2－372－21	1.38 × 1.05 ／ 1.17 × 0.92 ／0.15	楕円形	N－28°－E	133.40
P－4	B_2－372－21	1.07 × 0.98 ／ 7.90 × 0.69 ／0.28	ほぼ円形	－	133.44
P－5	B_2－370－5	0.68 ×(0.66)／ 0.54 × 0.52 ／0.28	円形	－	134.67
P－6	B_2－370－4・9	(1.20)×(0.86)／(0.61)×(0.51)／0.32	ほぼ円形	－	134.48
P－7	B_2－368－10	2.04 × 1.58 ／ 1.26 × 0.84 ／0.93	長楕円形	N－10°－E	134.04
P－8	B_2－370－14	0.89 × 0.87 ／ 0.69 × 0.74 ／0.26	円形	－	134.34
P－9	B_2－368－19	1.58 × 1.22 ／ 1.09 × 0.78 ／0.19	楕円形	N－14°－E	134.61
P－10	B_2－370－8・9	(0.99)×(0.83)／(0.74)×(0.57)／0.31	円形	－	134.57
P－11	B_2－370－8	(1.01)× 0.92 ／(0.70)× 0.59 ／0.55	円形	－	134.48
P－12	B_2－370－7	1.13 × 0.71 ／ 0.89 × 0.55 ／0.25	長楕円形	N－30°－W	134.31
P－13	B_2－370－15	1.13 ×(0.85)／ 0.46 ×(0.41)／0.76	楕円形	N－74°－W	134.26
P－14	B_2－370－15	(1.31)×(0.92)／(0.77)×(0.49)／0.42	不明	不明	134.04
P－15	B_2－370－2	0.93 × 0.71 ／ 0.86 × 0.48 ／0.22	楕円形	N－55°－W	134.69
P－16	B_1－368－25	1.69 × 1.32 ／ 1.35 × 0.96 ／0.38	楕円形	N－32°－E	133.20
P－17	B_2－368－20	1.80 × 1.64 ／ 1.63 × 1.50 ／0.23	円形	－	133.33
P－18	B_2－370－18	1.78 × 0.88 ／ 1.50 × 0.63 ／0.21	長楕円形	N－18°－E	133.52
P－19	B_2－370－19	1.09 × 0.55 ／ 0.81 × 0.35 ／0.35	長楕円形	N－4°－W	134.38
P－20	B_2－370－15	(1.26)× 0.89 ／(0.90)× 0.55 ／0.38	楕円形	N－53°－E	134.07
P－21	B_2－370－15	0.96 × 0.92 ／ 0.78 × 0.84 ／0.21	円形	－	134.88
P－22	B_2－370－2・3	1.02 × 0.92 ／ 0.70 × 0.66 ／0.31	円形	－	134.62
P－23	P_2－370－1・2	2.44 × 1.27 ／ 1.91 × 0.68 ／0.66	長楕円形	N－76°－W	134.42
P－24	B_2－370－17	(0.58)×(0.57)／(0.41)×(0.35)／0.20	円形	－	134.40
P－25	B_2－372－6	(0.97)× 0.84 ／(0.70)× 0.60 ／0.24	円形	－	133.38
P－26	B_2－370－17	1.22 × 1.00 ／ 0.72 × 0.49 ／0.38	円形	－	133.58
P－27	B_2－370－19・24	1.56 × 0.94 ／ 1.18 × 0.68 ／0.30	長楕円形	N－70°－E	135.40
P－28	B_1－370－11	1.29 × 0.98 ／ 0.95 × 0.68 ／0.36	ほぼ円形	－	133.24
R－1	B_2－370－16	0.87 × 0.44 ／ 0.12			133.46
R－2	B_2－370－16	範囲不明 ／0.08			133.54
R－3	B_2－372－7	0.84×0.52／0.20			134.15
R－4	B_2－370－15	0.82×0.46／0.18			134.12
R－5	B_2－370－14	0.78×0.74／0.10			133.56
R－6	B_2－370－18	0.78×0.44／0.12			133.54
F－2	B_2－370－25	0.86×0.37／0.06			133.66
F－3	B_2－370－25	0.42×0.36／0.03			134.73
F－4	B_2－370－8	0.62×0.56／0.08			134.35
F－5	B_2－370－8	0.64×0.24／0.10			134.49
F－6	B_2－370－8	0.38×0.30／0.05			133.76
F－7	B_2－370－19	0.50×0.32／0.11			134.50
F－8	B_2－370－8	0.56×0.50／0.10			134.42
F－9	B_2－370－8	0.54×0.46／0.06			134.47
F－10	B_2－370－2・7	0.24×0.21／0.08			134.43
F－11	B_2－370－2	0.90×0.28／0.07			134.36
F－12	B_2－368－9	0.72×0.38／0.77			134.19
F－13	B_2－368－9	0.48×0.30／0.08			134.00
F－14	B_2－368－8・9	0.58×0.24／0.08			133.82
F－15	B_2－368－13	0.68×0.40／0.09			133.29
F－16	B_2－368－19・24	0.40×0.34／0.05			134.53
F－17	B_1－368－24	0.83×0.41／0.07			134.53
F－18	B_2－370－19	0.28×0.18／0.05			133.63

表Ⅷ－3　遺構出土遺物一覧

遺物／遺構	土器片		石器												土・石製品	剥片類（フレイク）		原石	玉類		礫	骨片	赤色顔料	合計
	V	Ⅵ	石鏃	石槍	石錐	ナイフ類	スクレイパー	Rフレイク	石核	石斧	たたき石	台石	砥石	加工礫		黒曜石	その他		琥珀	その他				
H－1	125	1,374	37		1	24	45	24	1	6		2	9			3,916	7	1	1		38		有	5,671
P－3		95	20			11	6		1	3			2			351		1			1			491
P－4		135	3				57			1			1			171	1				4	有	有	373
P－5		12														9								21
P－6		160	3	1		2	7						2			184					1			360
P－7	56	677	19			24	31	1	1	1	3		4	1		1,523	7	2			15	有	有	2,365
P－8	160		2			3	4	2		4		1	2			323					9		有	510
P－9	151		9			4	8		1				1			198		1			1	有		374
P－10	1	101	1			2	3	1		2						120	1				2			234
P－11	197	30	4			3	5								1	405		1						646
P－12	23	1	6			7	5	1								556							有	599
P－13		164	7			2	8		1			1	3			228				1	2			417
P－14	25	13														37					2			77
P－15	33	62	1		1	5	8			2			2			221	2				3		有	340
P－16	58		1													65					1			125
P－17	203					1	4			18			1			276	2					有	有	505
P－18	142		7			5	8			1						120						有	有	283
P－19	85					1	2									306					3	有	有	397
P－20		34	1	1		1										104								141
P－21	51	13	2	1		1	3									237	1				2	有	有	311
P－22		12	1			1	2									48						有	有	64
P－23	173	208	2			2	11		1		1	1	4	1	1	541	3			1	3	有		953
P－24		2																			2			4
P－25	12										1					5								18
P－26		39	1			1	1						1			50					1	有		94
P－27	8	15					3					1				38					1		有	66
P－28		1				1										9								11
R－1																8					50			58
R－2		46	1			1	3	1				3				75					19			149
R－3	4	313	6		1	5	9	1		1		1				236	5				10			592
R－4																					3			3
R－5	12	355	4				1									33					9			414
R－6																13					10			23
F－2		1														3					1			5
F－15																					2			2
合計	1,519	3,863	138	3	3	107	234	31	6	39	5	10	32	2	2	10,469	29	6	1	2	195			16,696

表Ⅷ－4　遺構出土掲載土器一覧

図番号	遺構名	遺物番号	層位	分類	図版番号	備考
図Ⅶ－11－1	H－1	1	覆土1	Ⅵ	Ⅶ－8－2	接合4点
〃	〃 〃	2	〃	〃	〃	〃 2点
〃	〃 〃	5	〃	〃	〃	〃 14点
〃	〃 〃	7	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	11	〃	〃	〃	1点
－11－2	H－1	38	覆土1	〃	Ⅶ－8－3	1点
〃	〃 〃	39	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	43	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	48	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	51	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	53	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	55	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	71	〃	〃	〃	接合2点
〃	〃 〃	73	〃	〃	〃	〃 6点
〃	〃 〃	79	〃	〃	〃	〃 2点
〃	〃 〃	81	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	84	〃	〃	〃	接合2点
〃	〃 〃	85	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	158	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	345	〃	〃	〃	接合3点
〃	〃 〃	82B	〃	〃	〃	〃 2点
〃	B_1－370－22	59	Ⅲ	〃	〃	〃 6点
－11－3	H－1	35	覆土1	〃	Ⅶ－8－4	1点
〃	〃 〃	38	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	42	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	86	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	150	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	162	〃	〃	〃	接合2点
〃	P－23	8	覆土上	〃	〃	1点
〃	〃 〃	23	覆土中	〃	〃	1点
〃	〃 〃	26	覆土1	〃	〃	1点
〃	B_2－370－2	2	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	35	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	68	〃	〃	〃	1点

図番号	遺構名	遺物番号	層位	分類	図版番号	備考
図Ⅶ－11－3	B_2－370－3	14	Ⅱ	Ⅵ	Ⅶ－8－4	接合2点
〃	〃 〃 7	13	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	14	〃	〃	〃	接合3点
〃	〃 〃	41	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	44	〃	〃	〃	接合5点
〃	B_2－370－8	1	〃	〃	〃	1点
〃	B_2－370－22	41	Ⅲ	〃	〃	接合2点
〃	未注記				〃	〃 7点
－11－4	H－1	253	覆土2	Ⅵ	Ⅶ－8－5	〃 14点
〃	〃 〃	255	覆土3	〃	〃	〃 7点
〃	P－7	110	覆土1	〃	〃	1点
〃	B_2－370－2	179	Ⅲ	〃	〃	1点
－11－5	H－1	39	覆土1	〃	Ⅶ－9－1	figs%5から1点
〃	〃 〃	71	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	79	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	82A	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	85	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	185	〃	〃	〃	接合2点
〃	〃 〃	265A	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	303	覆土3	〃	〃	1点
〃	〃 〃	345	覆土1	〃	〃	接合7点
〃	〃 〃	358	覆土3	〃	〃	〃 2点
〃	〃 〃	361	〃	〃	〃	1点
－11－6	H－1	14	覆土1	〃	Ⅶ－9－2	1点
〃	〃 〃	141	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	223A	覆土2	〃	〃	接合3点
〃	〃 〃	242	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	277	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	279	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	305	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	333	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	345	覆土1	〃	〃	1点
〃	B_1－370－22	72	トレンチ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 21	2	Ⅱ	〃	〃	1点

図番号	遺構名	遺物番号	層位	分類	図版番号	備考
図Ⅶ－11－6	B_1－370－22	13	Ⅲ	Ⅵ	Ⅶ－9－2	1点
11－7	H－1	33A	覆土1	〃	Ⅶ－9－3	1点
〃	B_2－370－1	2	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 2	36	Ⅲ	〃	〃	接合3点
〃	〃 〃 22	52	〃	〃	〃	1点
－11－8	H－1	201	覆土1	〃	Ⅶ－9－4	接合3点
〃	〃 〃	202	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	333	覆土2	〃	〃	1点
〃	B_1－370－21	43	Ⅲ	〃	〃	接合2点
〃	B_2－370－21	ベルト	Ⅱ	〃	〃	1点
－11－9	H－1	103	覆土1	〃	Ⅶ－9－5	1点
〃	〃 〃	112	〃	〃	〃	接合5点
〃	〃 〃	114	〃	〃	〃	1点
〃	B_2－370－2	35	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	B_1－370－21	1	Ⅰ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 7	44	Ⅱ	〃	〃	1点
－11－10	H－1	155	覆土1	〃	Ⅶ－9－6	1点
〃	〃 〃	160	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	161	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	163	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	166	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	167	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	168	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	169	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	168A	〃	〃	〃	1点
－12－11	H－1	95	覆土1	〃	Ⅶ－10－1	接合3点
〃	〃 〃	96	〃	〃	〃	〃 2点
〃	〃 〃	97	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	104	〃	〃	〃	1点
－12－12	〃 〃	309	〃	〃	〃	1点
〃	B_2－370－21	43	Ⅲ	〃	〃	1点
－12－13	H－1	115	覆土2	〃	〃	1点
〃	〃 〃	333	覆土1	〃	〃	1点
－12－14	〃 〃	139	〃	〃	〃	1点

図番号	遺構名	遺物番号	層位	分類	図版番号	備考
図Ⅶ-12-15	H-1	265A	覆土1	Ⅵ	Ⅶ-10-1	1点
-12-16	H-1	173	〃	〃	〃	接合2点
-12-17	H-1	19	〃	〃	〃	1点
-12-18	H-1	208A	〃	〃	〃	1点
-12-19	H-1	78	〃	〃	〃	1点
-12-20	H-1	112	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	118B	〃	〃	〃	1点
-12-21	H-1	135	〃	〃	〃	1点
-12-22	H-1	11	〃	〃	〃	1点
-12-23	H-1	7	〃	〃	〃	1点
-12-24	H-1	2	〃	〃	〃	接合2点
〃	H-1	10	〃	〃	〃	〃 4点
〃	B1-370-22	42	Ⅲ	〃	〃	〃 2点
-12-25	B2-370-2	68	〃	〃	〃	接合2点
-13-26	H-1	112	覆土1	〃	〃	1点
〃	B1-370-21	43	Ⅲ	〃	〃	1点
-13-27	H-1	78	覆土1	〃	〃	1点
-13-28	H-1	246	覆土2	〃	〃	1点
-13-29	H-1	68	覆土1	〃	〃	1点
〃	〃 〃	176	〃	〃	〃	1点
〃	B2-370-2	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-13-30	H-1	86	覆土1	〃	〃	1点
〃	H-1	136	〃	〃	〃	1点
-13-31	H-1	267	覆土3	〃	〃	1点
-13-32	H-1	333	覆土2	〃	〃	接合2点
〃	B2-370-7	44	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	B2-370-2	2	〃	〃	〃	接合3点
〃	〃 〃 〃	68	Ⅲ	〃	〃	1点
-13-33	H-1	345	覆土1	〃	〃	接合2点
-13-34	H-1	201	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	94	〃	〃	〃	1点
-13-35	H-1	223A	覆土2	Ⅴ	〃	1点
-13-36	H-1	99	覆土1	〃	〃	接合2点
図Ⅶ-17-1	P-3	49	〃	Ⅵ	Ⅶ-15-1	1点
-17-2	P-3	62	〃	〃	〃	1点
-17-3	P-3	49	確認面	〃	〃	1点
-17-4	P-3	49	〃	〃	〃	1点
-17-5	P-3	62	覆土1	〃	〃	1点
-17-1	P-4	33	〃	〃	〃	1点
-17-2	P-4	31A	〃	〃	〃	1点
-17-3	P-4	7	〃	〃	〃	1点
-17-4	P-4	48	〃	〃	〃	1点
-17-1	P-5	3	〃	〃	〃	1点
-20-1	P-6	1	〃	〃	Ⅶ-15-3	接合7点
〃	B2-372-6	23	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	未注記				〃	1点
-20-2	P-6	27	覆土2	Ⅵ	Ⅶ-15-4	1点
-20-3	P-6	25	〃	〃	〃	1点
-20-4	P-6	25	〃	〃	〃	1点
-21-1	P-7	40	覆土1	Ⅴ	Ⅶ-16-5	接合35点
〃	〃 〃	102	〃	〃	〃	1点
〃	B1-368-3	1	Ⅱ	〃	〃	接合2点
〃	未注記				〃	〃 9点
-21-1ⅱ	P-7	40	覆土1	Ⅴ	Ⅶ-17-1	〃 4点
-21-2	P-7	110	〃	〃	Ⅶ-16-6	〃 13点
〃	B2-370-6	2	Ⅱ	〃	〃	接合2点
-22-3	P-7	22	覆土上	〃	Ⅶ-17-1	1点
〃	〃 〃	86	覆土中	〃	〃	1点
-22-4	〃 〃	40	覆土1	〃	〃	1点
-22-5	〃 〃	40	〃	〃	〃	1点
-22-6	〃 〃	1	覆土上	〃	〃	接合2点
-22-7	〃 〃	1	〃	〃	〃	1点
-22-8	〃 〃	110	覆土1	〃	〃	1点
-22-9	〃 〃	40	〃	〃	〃	接合2点
-22-10	〃 〃	70	〃	〃	〃	〃 3点
-22-11	〃 〃	40	〃	〃	Ⅶ-17-1	接合1点
〃	B2-370-2	2	Ⅱ	〃	〃	接合1点
-22-12	P-7	110	覆土1	〃	〃	1点
-22-13	〃 〃	110	〃	〃	〃	接合1点
〃		40	〃	〃	〃	接合1点
-22-14	P-7	70	〃	〃	〃	接合2点
〃		22	〃	〃	〃	接合1点
-22-15	P-7	122	〃	〃	〃	1点

図番号	遺構名	遺物番号	層位	分類	図版番号	備考
図Ⅶ-22-16	P-7	70	覆土1	Ⅴ	Ⅶ-17-1	接合1点
〃		40	〃	〃	〃	1点
-22-17	P-7	1	覆土上	〃	〃	1点
-23-18	〃 〃	1	〃	〃	〃	接合2点
〃	〃 〃	9	〃	〃	〃	〃 2点
〃	B2-370-8	37	Ⅱ	〃	〃	1点
-23-19	P-7	7	覆土1	Ⅵ	〃	1点
〃	〃 〃	40	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	70	〃	〃	〃	接合10点
-23-20	〃 〃	40	〃	〃	〃	1点
-23-21	〃 〃	1	覆土上	〃	〃	1点
-23-22	〃 〃	70	覆土1	〃	〃	1点
-23-23	〃 〃	40	〃	〃	〃	1点
-23-24	〃 〃	22	〃	〃	〃	接合4点
-23-25	〃 〃	1	覆土上	〃	〃	1点
〃	B2-370-13	1	Ⅱ	〃	〃	接合2点
-23-26	P-7	102	覆土1	〃	〃	〃 2点
-23-27	〃 〃	70	〃	〃	〃	1点
-26-1	P-8	11	覆土上	Ⅵ	Ⅶ-20-1	接合2点
〃	〃 〃	19	〃	〃	〃	〃 2点
〃	B2-370-13	56	Ⅲ	〃	〃	1点
-26-2	P-8	1	覆土上	Ⅴ	〃	接合1点
〃	B2-370-8	36	Ⅱ	〃	〃	〃 1点
-26-3	P-8	1	覆土上	〃	〃	1点
-26-4	P-8	1	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	2	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	11	〃	〃	〃	1点
-26-5	P-8	11	〃	〃	〃	1点
-26-6	P-8	27	覆土1	〃	〃	1点
-26-7	P-8	25	〃	〃	〃	1点
-26-8	P-8	27	〃	〃	〃	1点
-26-9	P-8	2	覆土上	〃	〃	1点
〃	〃 〃	11	〃	〃	〃	1点
-28-1	P-9	1	〃	〃	Ⅶ-20-2	1点
-28-2	P-9	14	〃	〃	〃	1点
-28-3	P-9	27	〃	〃	〃	1点
〃	未注記				〃	1点
-28-4	P-9	1	覆土上	Ⅴ	〃	1点
〃	〃 〃	14	〃	〃	〃	1点
-30-1	P-10	15	〃	Ⅵ	Ⅶ-21-2	1点
-30-2	P-10	23	覆土1	〃	〃	1点
-30-3	P-10	15	覆土上	〃	〃	接合5点
〃	〃 〃	11	覆土中	〃	〃	1点
-30-4	P-10	1	覆土上	〃	〃	1点
-30-5	〃 〃	15	〃	〃	〃	1点
-31-1	P-11	1	覆土上	Ⅵ	Ⅶ-22-3	接合9点
〃	〃 〃	12	覆土中	〃	〃	〃 2点
-31-2	P-11	15	覆土上	〃	Ⅶ-22-4	1点
-31-3	P-11	1	〃	〃	〃	1点
-31-4	P-11	1	〃	〃	〃	2点
-31-5	P-11	2	〃	〃	〃	1点
-31-6	P-11	12	覆土中	〃	〃	1点
〃	未注記			〃	〃	1点
-31-7	P-11	1	覆土上	〃	〃	1点
-31-1	P-12	7	〃	Ⅴ	Ⅶ-23-3	1点
-32-1	P-13	13	覆土2	Ⅵ	Ⅶ-24-1	1点
-32-2	P-13	2	覆土上	〃	〃	1点
-32-3	P-13	24	覆土2	〃	〃	1点
-32-4	P-13	10	覆土1	〃	〃	1点
〃	B2-370-15	139	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 〃	172	Ⅰ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 〃	178	〃	〃	〃	2点
-32-5	P-13	30	覆土2	〃	〃	1点
-32-6	P-13	13	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	18	覆土中	〃	〃	1点
〃	P-20	1	〃	〃	〃	1点
〃	B2-370-15	2	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 〃	35	〃	〃	〃	1点
-33-1	P-15	13	覆土上	Ⅵ	Ⅶ-25-4	1点
-33-2	P-15	13	〃	Ⅴ	〃	1点
-33-3	P-15	11	〃	〃	〃	1点
-33-4	P-15	13	〃	〃	〃	接合2点
-34-1	P-16	1	覆土1	〃	Ⅶ-26-2	1点

図番号	遺構名	遺物番号	層位	分類	図版番号	備考
図Ⅶ-34-2	P-16	1	覆土1	Ⅴ	Ⅶ-26-2	1点
-34-3	P-16	1	〃	〃	〃	接合7点
-35-1	P-17	1	〃	〃	Ⅶ-27-1	1点
〃	〃 〃	12	〃	〃	〃	接合10点
〃	未注記	2	〃	〃	〃	〃 2点
-35-2	P-17	12	〃	〃	〃	接合2点
-35-3	〃 〃	1	〃	〃	〃	1点
〃	〃 〃	12	〃	〃	〃	接合3点
-35-4	〃 〃	12	〃	〃	〃	〃 2点
-36-1	P-18	23	〃	〃	Ⅶ-27-2	〃 3点
-36-2	〃 〃	1	〃	〃	〃	1点
-36-3	〃 〃	25	〃	〃	〃	1点
-36-1	P-19	1	〃	〃	Ⅶ-28-4	1点
-37-1	P-20	1	覆土中	Ⅵ	〃	1点
〃	P-21	1	覆土1	Ⅴ	Ⅶ-28-5	接合3点
〃	B2-370-15	116	Ⅱ	〃	〃	1点
-37-2	P-21	1	覆土1	〃	〃	1点
-37-3	P-21	1	〃	Ⅵ	〃	1点
-38-1	P-22	1	〃	〃	Ⅶ-29-2	1点
-38-2	P-22	6	〃	〃	〃	1点
-38-1	P-23	23	覆土中	Ⅴ	Ⅶ-30-1	1点
-38-2	〃 〃	8	覆土上	〃	〃	1点
-38-3	〃 〃	35	覆土2	〃	〃	1点
-38-4	〃 〃	26	覆土1	Ⅵ	〃	1点
-38-5	〃 〃	26	〃	〃	〃	1点
-38-6	〃 〃	8	覆土上	〃	〃	1点
-39-7	〃 〃	26	覆土1	〃	〃	接合3点
〃	〃 〃	30	覆土2	〃	〃	〃 2点
〃	〃 〃	35	〃	〃	〃	〃 2点
〃	未注記				〃	1点
-39-8	P-23	8	覆土上	Ⅵ	〃	1点
〃	〃 〃	35	覆土2	〃	〃	1点
〃	B2-370-2	36	Ⅲ	〃	〃	1点
-40-1	P-24	1	覆土上	〃	Ⅶ-31-2	1点
〃	P-25	1	覆土1	Ⅴ	〃	1点
〃	P-26	1	〃	Ⅵ	Ⅶ-31-6	1点
-41-1	P-27	1	〃	〃	〃	1点
-41-2	P-27	4	〃	Ⅴ	〃	1点
-41-3	P-27	4	〃	〃	〃	1点
-43-1	R-2	11	確認面	〃	Ⅶ-32-1	2点
-43-2	〃 〃	17	〃	〃	Ⅶ-32-2	3点
-43-3	〃 〃	11	〃	〃	Ⅶ-32-3	3点
-43-4	〃 〃	17	〃	〃	Ⅶ-32-4	3点
-44-1	R-3	1	〃	Ⅵ	Ⅶ-33-1	接合14点
〃	B2-372-6	51	Ⅰ	〃	〃	1点
-44-1	B2-372-6	55	Ⅰ	〃	Ⅶ-33-1	1点
〃	未注記			〃	〃	1点
-44-2	R-3	1	確認面	〃	〃	1点
-44-3	R-3	1	〃	〃	〃	1点
-44-4	R-3	1	〃	〃	〃	接合2点
-44-5	R-3	1	〃	〃	〃	1点
-44-6	R-3	1	〃	〃	〃	1点
-44-7	R-3	1	〃	〃	〃	接合2点
-44-8	R-3	1	〃	〃	〃	〃 4点
-44-9	R-3	1	〃	〃	〃	1点
-44-10	R-3	1	〃	Ⅴ	〃	接合2点
-46-1	R-5	10	〃	〃	Ⅶ-34-5	〃 27点
〃	〃	11	〃	〃	〃	1点
〃	〃	13	〃	〃	〃	1点
〃	B2-370-14	30	Ⅱ	〃	〃	3点
-46-2	R-5	10		〃	Ⅶ-34-6	接合33点
〃	B2-370-14	30	Ⅱ	〃	〃	〃 5点
-47-3	R-5	10	確認面	〃	Ⅶ-35-1	〃 7点
-47-4	R-5	13	〃	〃	〃	1点
-47-5	R-5	10	〃	〃	〃	接合4点
-47-6	R-5	13	〃	〃	〃	接合6点
	未注記					1点
-47-7	R-5	13				2点
-47-8	〃	10				1点
-47-9	〃	10				1点
-47-10	〃	10	確認面	Ⅴ	Ⅶ-35-1	1点
-47-11	〃	10	〃	〃	〃	接合3点
-47-12	〃	10	〃	〃	〃	1点

表Ⅷ－5　遺構出土掲載石器等一覧

挿図番号	遺構名	遺物番号	層位	器種名	分類記号	長さ(mm)×幅(mm)×厚さ(mm)	重量(g)	石材	図版番号	備考
図Ⅷ－14－37	H－1	151A	覆土1	石鏃	ⅠA4a	22.5 × 14.5 × 4.0	1.2	黒曜石	Ⅷ－11－1	
38	〃	174	〃	〃	〃	22.5 × 18.0 × 3.0	1.1	〃	〃	
39	〃	311	〃	〃	〃	27.0 × 11.5 × 5.0	1.3	〃	〃	
40	〃	80B	〃	〃	〃	26.0 × 19.0 × 4.5	1.7	〃	〃	
41	〃	262	〃	〃	〃	28.5 × 17.5 × 5.0	2.3	〃	〃	
42	〃	282	覆土2	〃	〃	27.5 × 19.8 × 5.5	2.3	〃	〃	
43	〃	254	〃	〃	〃	26.5 × 17.0 × 3.0	1.1	〃	〃	
44	〃	67A	覆土1	〃	〃	29.0 × 15.0 × 3.0	1.3	〃	〃	
45	〃	310	〃	〃	〃	30.5 × 18.0 × 1.5	0.9	〃	〃	
46	〃	3A	〃	〃	〃	20.0 × 14.0 × 4.0	1.4	〃	〃	
47	〃	293	覆土2	〃	〃	27.0 × 19.5 × 4.5	2.0	〃	〃	
48	〃	276A	〃	〃	〃	37.5 × 20.0 × 6.2	4.2	〃	〃	
49	〃	47	覆土1	〃	ⅠA4b	19.0 × 10.5 × 2.0	0.4	〃	〃	
50	〃	251	覆土2	〃	〃	23.5 × 11.5 × 4.0	1.1	〃	〃	
51	〃	334	〃	〃	〃	23.5 × 11.5 × 2.0	0.5	〃	〃	
52	〃	252	〃	〃	〃	28.0 × 19.5 × 4.0	1.7	〃	〃	
53	〃	298A	覆土3	〃	ⅠA4－	34.0 × 21.5 × 8.0	3.6	〃	〃	
54	〃	236C	覆土2	〃	〃	37.0 × 24.0 × 4.2	2.7	〃	〃	
55	〃	37B	覆土1	〃	〃	36.5 × 9.0 × 4.0	0.7	〃	〃	
56	〃	236A	覆土2	〃	〃	46.0 × 26.0 × 5.8	5.5	〃	〃	
57	〃	236B	〃	〃	〃	46.0 × 22.5 × 6.0	4.3	〃	〃	
58	〃	240	〃	〃	ⅠA7a	20.0 × 12.5 × 3.5	1.4	〃	〃	
59	〃	261	覆土1	〃	ⅠA8	30.0 × 18.0 × 5.0	2.9	〃	〃	
60	〃	37A	〃	石錐	ⅡA8	20.0 × 9.0 × 4.0	0.7	〃	〃	
61	〃	283	覆土2	ナイフ	ⅢB1	79.0 × 30.0 × 8.0	16.5	〃	〃	
62	〃	336	〃	〃	ⅢB2	47.0 × (24.5)× 9.2	9.3	〃	〃	
63	〃	76	覆土1	〃	〃	63.0 × 29.0 × 9.0	13.4	〃	〃	
64	〃	274	覆土2	〃	〃	80.5 × 41.0 × 11.5	33.1	〃	〃	
65	〃	223B	〃	〃	ⅢB8	34.0 × 27.0 × 8.0	8.1	頁岩	〃	
66	〃	225C	〃	スクレイパー	ⅢC4	30.0 × 18.0 × 9.5	4.7	黒曜石	〃	
67	〃	197A	覆土1	〃	〃	51.0 × 14.5 × 7.0	4.4	〃	〃	
68	〃	329	〃	〃	〃	42.5 × 17.5 × 8.0	6.4	〃	〃	
69	〃	328	〃	〃	〃	45.0 × 23.0 × 8.0	7.9	〃	〃	
70	〃	225D	覆土2	〃	〃	33.0 × 28.5 × 12.0	11.7	頁岩	〃	
71	〃	91C	覆土1	〃	〃	40.0 × 19.5 × 8.0	6.3	黒曜石	〃	
72	〃	278A	覆土2	〃	〃	43.0 × 18.5 × 7.0	7.3	〃	〃	
73	〃	247	〃	〃	〃	35.8 × 26.0 × 8.5	7.3	〃	〃	
74	〃	284	覆土3	〃	〃	57.0 × 32.0 × 7.5	8.7	〃	〃	
75	〃	8B	覆土1	〃	〃	75.0 × 29.0 × 7.5	18.7	〃	〃	
図Ⅷ－15－76	〃	177	〃	〃	〃	93.0 × 40.0 × 13.5	44.7	〃	〃	
77	〃	343	覆土3	〃	ⅢC7	27.0 × 29.5 × 9.0	5.7	〃	〃	
78	〃	300A	〃	〃	〃	33.0 × 32.0 × 7.0	6.9	〃	〃	
79	〃	110A	覆土1	〃	〃	29.0 × 33.5 × 11.0	13.2	〃	〃	
80	〃	257A	〃	〃	〃	41.0 × 33.5 × 10.0	11.3	〃	〃	
81	〃	77A	〃	〃	〃	41.0 × 18.2 × 7.0	3.9	〃	〃	
82	〃	235C	覆土2	〃	〃	42.0 × 24.5 × 12.0	9.9	〃	〃	
83	〃	258A	覆土1	〃	〃	46.0 × 29.0 × 10.0	10.1	〃	〃	
84	〃	26A	〃	〃	〃	49.0 × 41.5 × 10.0	18.8	〃	〃	
85	〃	15A	〃	〃	〃	34.0 × 54.5 × 13.0	17.2	〃	〃	
86	〃	330	〃	〃	〃	55.0 × 34.0 × 8.5	11.6	〃	〃	
87	〃	301	覆土2	〃	〃	68.0 × 69.0 × 27.5	72.3	〃	Ⅷ－12－1	
88	〃	62A	覆土1	石核	ⅨA1	32.0 × 25.5 × 11.0	8.9	〃	〃	
89	〃	259	覆土2	コハク玉		8.0 × 8.2 × 3.0	0.2	琥珀	〃	玉
90	〃	288	覆土3	石斧	ⅣA2	112.0 × 51.0 × 16.0	142.5	片岩	〃	
91	〃	198	覆土1	石斧原材	ⅣC2	10.3 × 42.5 × 18.5	11.3	片岩	〃	
図Ⅷ－16－92	〃	224	覆土2	砥石	ⅦB1	50.0 × 45.0 × 25.0	33.9	スコリア	〃	
93	〃	297	覆土3	〃	〃	59.3 × 50.5 × 18.0	38.1	〃	〃	
94	〃	289	〃	〃	〃	63.0 × 50.5 × 31.0	57.0	〃	〃	
95	〃	294	覆土2	〃	〃	96.5 × 71.0 × 41.0	167.1	〃	〃	
96	〃	178	覆土1	〃	〃	109.0 × 71.5 × 23.0	143.6	〃	〃	
97	〃	306	覆土2	台石	VB1	154.5 × 129.5 × 74.5	1,899.0	砂岩	〃	
図Ⅷ－18－6	P－3	46	〃	石鏃	ⅠA4b	(48.5)× 18.0 × 5.0	3.1	黒曜石	Ⅷ－14－1	
7	〃	34	〃	〃	〃	45.0 × 18.0 × 4.8	2.6	〃	〃	

挿図番号	遺構名	遺物番号	層位	器種名	分類記号	長さ(mm)×幅(mm)×厚さ(mm)	重量(g)	石材	図版番号	備考
図Ⅷ－18－8	P－3	36	覆土2	石鏃	ⅠA4b	(41.0)× 16.0 × 4.0	2.0	黒曜石	Ⅷ－14－1	
9	〃	38	〃	〃	〃	(41.0)× 17.0 × 3.0	2.1	〃	〃	
10	〃	44	〃	〃	〃	(42.5)× 18.0 × 4.0	2.7	〃	〃	
11	〃	12	覆土1	〃	〃	(37.5)× 17.2 × 5.0	2.5	〃	〃	
12	〃	35	覆土2	〃	〃	(38.5)× 16.5 × 3.0	1.5	〃	〃	
13	〃	29	覆土1	〃	〃	(34.0)× 15.5 × 4.0	1.6	〃	〃	
14	〃	40	覆土2	〃	〃	30.5 × 16.2 × 3.5	1.3	〃	〃	
15	〃	47	〃	〃	〃	30.0 × 17.5 × 3.0	1.6	〃	〃	
16	〃	52	確認面	〃	〃	33.0 × 13.5 × 4.0	1.5	〃	〃	
17	〃	37	覆土2	〃	〃	(33.0)× 17.5 × 3.0	1.8	〃	〃	
18	〃	39	〃	〃	〃	(33.5)× 16.5 × 4.0	2.1	〃	〃	
19	〃	42A	〃	〃	〃	(21.0)× 16.8 × 3.0	1.4	〃	〃	
20	〃	67	覆土1	ナイフ	ⅢB1	98.2 × 37.5 × 10.0	36.4	〃	〃	
21	〃	28	〃	〃	〃	93.8 × 36.0 × 9.8	32.8	〃	〃	
22	〃	45	〃	〃	〃	77.0 × 30.5 × 9.0	20.9	〃	〃	
23	〃	66	〃	〃	ⅢB7	46.0 × 32.0 × 7.0	11.0	〃	〃	
24	〃	11	〃	〃	ⅢB2	74.5 × 31.0 × 10.0	21.0	〃	〃	
25	〃	68·69	〃	〃	ⅢB8	72.0 × 25.0 × 7.0	13.7	〃	〃	
26	〃	13	〃	〃	ⅢB2	78.0 × 26.0 × 9.0	17.1	〃	〃	
27	〃	10	〃	〃	〃	70.5 × 43.0 × 8.5	27.0	頁岩	〃	
28	〃	14A	〃	〃	ⅢB8	50.5 × 26.5 × 8.0	9.7	黒曜石	〃	
29	〃	55	確認面	スクレイパー	ⅢC7	41.0 × 31.0 × 11.5	13.5	〃	〃	
30	〃	57	〃	〃	〃	29.5 × 39.0 × 13.0	12.6	〃	〃	
31	〃	58	〃	〃	〃	36.0 × 26.0 × 9.0	5.6	〃	〃	
図Ⅷ－19－32	〃	60	〃	棒状原石	ⅨA2	46.5 × 24.0 × 18.0	19.8	〃	〃	
33	〃	8	覆土1	フレイク	ⅨB	87.0 × 59.0 × 12.0	67.2	〃	〃	
34	〃	16	〃	砥石	ⅦB1	62.0 × 44.0 × 20.0	38.4	スコリア	〃	
35	〃	15	〃	石斧	ⅢA2	128.0 × 42.0 × 15.0	129.3	片岩	〃	
36	〃	9	〃	〃	ⅣA1	142.0 × 60.5 × 19.5	181.1	珪質頁岩	〃	
37	〃	71	〃	〃	〃	134.2 × 52.8 × 20.0	186.2	片岩	〃	
5	P－4	4D	〃	石鏃	ⅠA4a	25.0 × 18.0 × 4.0	2.2	黒曜石	Ⅷ－15－2	
6	〃	1A	〃	〃	〃	23.0 × 21.5 × 4.0	1.9	〃	〃	
7	〃	1B	〃	スクレイパー	ⅢC7	34.5 × 27.0 × 7.5	7.0	〃	〃	
8	〃	31B	〃	〃	ⅢC4	61.0 × 18.0 × 8.5	11.7	〃	〃	
9	〃	49	〃	〃	ⅢC5	35.0 × 38.0 × 9.0	10.3	〃	〃	
10	〃	4B	〃	砥石	ⅥB1	41.5 × 41.0 × 24.0	20.4	スコリア	〃	
図Ⅷ－20－5	P－6	7	覆土上	石鏃	ⅠA4a	16.2 × 15.5 × 3.5	0.9	黒曜石	Ⅷ－15－4	
6	〃	17	覆土1	〃	ⅠA4b	25.0 × 15.5 × 3.0	1.0	〃	〃	
7	〃	18	〃	〃	ⅠA5c	(21.5)× 20.5 × 4.0	1.5	〃	〃	
8	〃	11	覆土中	石槍	ⅠB2	42.2 × 17.5 × 6.0	3.8	〃	〃	
9	〃	2	覆土1	スクレイパー	ⅢC4	49.5 × 17.5 × 9.5	8.5	〃	〃	
10	〃	20	〃	〃	〃	77.2 × 28.5 × 10.0	20.6	〃	〃	
11	〃	21	〃	〃	ⅢC7	28.2 × 22.5 × 7.5	4.5	〃	〃	
12	〃	19	〃	〃	〃	23.0 × 36.2 × 9.2	7.6	〃	〃	
13	〃	26	覆土2	大型剥片	ⅨB	52.0 × 62.5 × 10.5	49.2	〃	〃	
14	〃	22	覆土1	砥石	ⅦB1	47.0 × 29.0 × 14.2	15.5	スコリア	〃	
15	〃	23	〃	加工痕あるレキ	ⅩB	145.0 × 99.0 × 55.5	850.2	砂岩	〃	
図Ⅷ－23－28	P－7	43	〃	石鏃	ⅠA4b	26.0 × 14.5 × 3.0	1.0	黒曜石	Ⅷ－18－1	
29	〃	103	〃	〃	〃	30.5 × 18.0 × 4.0	1.0	〃	〃	
30	〃	71	〃	〃	〃	(40.0)× 14.0 × 4.0	1.7	〃	〃	
31	〃	24	覆土上	〃	〃	42.5 × 17.8 × 4.2	2.6	〃	〃	
32	〃	41	覆土1	〃	〃	(19.5)× 15.5 × 3.5	1.1	〃	〃	
33	〃	123	〃	〃	〃	(22.5)× 11.8 × 2.8	0.9	〃	〃	
34	〃	42	〃	〃	〃	(20.0)× 16.0 × 3.5	1.1	〃	〃	
35	〃	124	〃	〃	〃	(22.8)× 15.5 × 3.0	1.2	〃	〃	
36	〃	44	〃	〃	ⅠA7b	39.5 × 22.0 × 5.0	3.6	〃	〃	
37	〃	87	覆土2	ナイフ	ⅢB1	94.5 × 39.5 × 15.0	40.8	〃	〃	
図Ⅷ－24－38	〃	72	覆土1	〃	ⅢB2	34.2 × 22.5 × 8.0	5.7	〃	〃	
39	〃	2	覆土上	〃	〃	32.5 × 20.0 × 7.0	4.5	〃	〃	
40	〃	111	覆土1	〃	〃	35.0 × 24.5 × 7.2	5.8	〃	〃	
41	〃	50	〃	〃	ⅢB8	(46.5)× 31.8 × 10.8	13.3	〃	〃	
42	〃	114	〃	〃	〃	(49.0)× 26.5 × 8.0	10.2	〃	〃	
43	〃	6	覆土上	スクレイパー	ⅢC4	29.0 × 14.8 × 6.8	3.2	〃	〃	
44	〃	126	覆土1	〃	〃	(38.5)× 21.0 × 4.0	3.5	〃	〃	

挿図番号	遺構名	遺物番号	層位	器種名	分類記号	長さ(mm)×幅(mm)×厚さ(mm)	重量(g)	石材	図版番号	備考
図Ⅷ－24－45	P－7	106	覆土1	スクレイパー	ⅢC4	(43.5)× 14.0 × 10.8	7.0	黒曜石	Ⅷ－18－1	
46	〃	55	〃	〃	〃	43.0 × 23.0 × 10.2	8.9	〃	〃	
47	〃	5	覆土上	〃	〃	(39.0)× 25.0 × 11.5	12.6	〃	〃	
48	〃	32	〃	〃	〃	52.0 × 27.2 × 11.5	13.1	〃	〃	
49	〃	76	覆土1	〃	〃	57.0 × 21.0 × 14.0	13.6	〃	〃	
50	〃	53	〃	〃	〃	55.0 × 29.0 × 9.5	10.5	頁岩	〃	
51	〃	54	〃	〃	〃	42.0 × 34.0 × 13.8	20.8	黒曜石	〃	
52	〃	4	覆土上	〃	〃	64.0 × 28.8 × 10.5	16.7	〃	〃	
53	〃	107	覆土1	〃	ⅢC7	22.0 × 39.0 × 7.0	5.6	〃	〃	
54	〃	115	〃	〃	〃	25.5 × 41.5 × 8.0	6.8	〃	〃	
55	〃	7	覆土上	〃	〃	22.0 × 42.5 × 13.5	11.1	〃	〃	
56	〃	58	覆土1	〃	〃	40.0 × 23.2 × 10.0	10.9	〃	〃	
57	〃	99	〃	〃	〃	40.5 × 24.2 × 7.5	7.4	〃	〃	
58	〃	77	〃	〃	〃	79.0 × 35.0 × 9.0	29.0	玄武岩	〃	
59	〃	89	覆土2	〃	〃	43.0 × 47.0 × 12.0	17.4	黒曜石	〃	
60	〃	127	覆土1	石核	ⅨA1	42.5 × 28.5 × 13.0	14.3	〃	〃	
図Ⅷ－25－61	〃	37	覆土上	石斧	ⅣA2	86.2 × 56.8 × 40.0	216.2	カンラン岩	Ⅷ－19－1	
62	〃	69	覆土1	たたき石	ⅤA2	112.5 × 75.8 × 39.5	613.4	不明	〃	
63	〃	121	〃	〃	ⅤA4	50.5 × 43.8 × 36.0	98.8	砂岩	〃	
64	〃	36	覆土上	〃	ⅤA5	69.0 × 84.5 × 54.5	490.0	カンラン岩?	〃	
65	〃	38	〃	砥石	ⅦB1	66.8 × 48.0 × 21.0	39.8	スコリア	〃	
66	〃	118	覆土1	〃	〃	85.2 × 63.0 × 27.0	100.8	〃	〃	
67	〃	108	〃	〃	ⅦB2	66.0 × 60.8 × 8.0	40.3	砂岩	〃	
68	〃	64	〃	棒状原石	ⅨA2	90.0 × 9.5 × 5.0	3.8	黒曜石	Ⅷ－18－1	
図Ⅷ－26－10	P－8	32	〃	石鏃	ⅠA4b	(21.8)× 13.5 × 3.0	0.8	〃	Ⅷ－20－1	
11	〃	33	〃	ナイフ	ⅢB2	29.0 × 23.0 × 6.0	3.6	〃	〃	
12	〃	3	覆土上	スクレイパー	ⅢC4	50.0 × 20.0 × 11.0	11.8	〃	〃	
13	〃	4	〃	〃	〃	56.5 × 24.0 × 6.0	7.2	〃	〃	
図Ⅷ－27－14	〃	13	〃	石斧	ⅣA1	143.0 × 66.5 × 11.0	183.1	片岩	〃	
15	〃	14	〃	〃	ⅣA2	111.2 × 73.0 × 34.5	495.7	安山岩	〃	
16	〃	34	覆土1	〃	〃	86.5 × 75.5 × 51.0	425.8	カンラン岩?	〃	
17	〃	35	〃	〃	ⅣA3	132.5 × 56.0 × 43.0	591.1	〃	〃	
18	〃	21	覆土上	砥石	ⅦB1	41.5 × 24.5 × 17.0	9.5	スコリア	〃	
図Ⅷ－28－5	P－9	3	覆土1	石鏃	ⅠA4a	23.0 × 12.0 × 2.5	0.5	黒曜石	Ⅷ－21－1	
6	〃	16	覆土上	〃	〃	31.8 × 16.0 × 5.2	1.9	〃	〃	
7	〃	13	〃	〃	ⅠA4－	49.5 × 21.8 × 4.0	4.2	〃	〃	
8	〃	4	〃	〃	〃	50.5 × 23.5 × 4.0	4.4	〃	〃	
9	〃	5	〃	〃	〃	51.0 × 22.0 × 5.0	5.0	〃	〃	
10	〃	28	〃	〃	〃	50.0 × 21.5 × 4.0	4.1	〃	〃	
11	〃	15	〃	〃	〃	(29.0)× 19.5 × 4.5	2.8	〃	〃	
12	〃	2	〃	〃	ⅠA8	(34.5)× 18.5 × 6.5	(3.1)	〃	〃	
13	〃	17	〃	ナイフ	ⅢB2	41.0 × 22.0 × 7.0	5.0	〃	〃	
14	〃	7	〃	〃	ⅢB8	(33.0)× (30.5)× (5.0)	(3.9)	〃	〃	
15	〃	20	〃	スクレイパー	ⅢC2	35.0 × 29.2 × 9.0	7.7	〃	〃	
16	〃	19	〃	〃	ⅢC4	44.5 × 19.5 × 7.0	5.5	〃	〃	
17	〃	29	〃	〃	〃	50.0 × 22.5 × 9.0	10.0	〃	〃	
18	〃	21	〃	〃	〃	51.0 × 27.5 × 10.0	14.7	〃	〃	
19	〃	9	〃	〃	〃	57.0 × 24.5 × 9.8	13.8	〃	〃	
20	〃	22	〃	〃	ⅢC7	42.0 × 23.0 × 7.5	6.5	〃	〃	
21	〃	30	〃	石核	ⅨA1	18.0 × 15.0 × 10.5	2.1	〃	〃	
22	〃	25	〃	棒状原石	ⅨA2	68.0 × 10.5 × 10.0	10.5	〃	〃	
23	〃	12	〃	砥石	ⅦB1	79.5 × 53.5 × 16.0	59.0	スコリア	〃	
図Ⅷ－30－6	P－10	2	〃	石鏃	ⅠA4a	(27.0)× 17.0 × 5.0	2.9	黒曜石	Ⅷ－21－2	
7	〃	12	覆土中	ナイフ	ⅢB8	43.5 × 28.0 × 11.0	9.6	〃	〃	
8	〃	20	〃	スクレイパー	〃	30.0 × 35.5 × 12.5	14.7	〃	〃	
9	〃	18	覆土上	石斧	ⅣA2	79.0 × 75.8 × 37.0	362.0	不明	〃	
10	〃	9	〃	〃	〃	142.0 × 68.5 × 32.5	525.7	カンラン岩	〃	
図Ⅷ－31－8	P－11	19	〃	石鏃	ⅠA4b	27.8 × 15.2 × 3.0	1.1	黒曜石	Ⅷ－22－4	
9	〃	25	〃	〃	〃	(30.0)× 13.5 × 3.5	1.2	〃	〃	
10	〃	18	〃	〃	〃	(23.5)× 12.0 × 4.0	1.1	〃	〃	
11	〃	28	覆土1	スクレイパー	ⅢC7	49.5 × 39.0 × 8.5	15.4	〃	〃	
12	〃	31	覆土2	〃	〃	52.5 × 28.0 × 13.5	13.6	〃	〃	
13	〃	3	覆土上	三日月石器		42.0 × (9.0)× 3.0	(2.0)	〃	〃	
14	〃	10	〃	棒状原石	ⅨA2	43.0 × 23.5 × 12.0	11.4	〃	〃	

挿図番号	遺構名	遺物番号	層位	器種名	分類記号	長さ(mm)×幅(mm)×厚さ(mm)	重量(g)	石材	図版番号	備考
図Ⅷ－31－2	P－12	13	覆土上	石鏃	ⅠA2	63.0 × 12.5 × 5.5	4.5	黒曜石	Ⅷ－23－3	
3	〃	2	〃	〃	ⅠA4a	22.5 × 13.5 × 4.0	1.0	〃	〃	
4	〃	17	〃	〃	ⅠA8	35.0 × 16.2 × 5.0	2.6	〃	〃	
5	〃	8	〃	〃	〃	34.5 × 12.5 × 4.0	1.7	〃	〃	
6	〃	20	〃	ナイフ	ⅢB2	44.5 × 18.0 × 7.0	5.1	〃	〃	
図Ⅷ－32－7	〃	26	覆土中	〃	〃	76.2 × 15.5 × 8.0	8.9	〃	〃	
8	〃	5	〃	〃	ⅢB8	(24.0)× 24.2 × 7.0	4.0	〃	〃	
9	〃	24	〃	スクレイパー	ⅢC4	49.5 × 19.0 × 8.0	4.9	〃	〃	
10	〃	14	覆土上	〃	〃	87.0 × 32.0 × 11.0	24.6	〃	〃	
11	〃	15	〃	〃	ⅢC7	50.5 × 43.0 × 8.0	13.1	〃	〃	
7	P－13	22	覆土下	石鏃	ⅠA4a	16.8 × 10.0 × 1.5	0.2	黒曜石	Ⅷ－24－1	
8	〃	20	〃	〃	〃	(24.0)× 16.0 × 4.0	1.6	〃	〃	
9	〃	21	〃	〃	〃	(24.0)× 13.5 × 3.0	1.1	〃	〃	
10	〃	19	〃	〃	ⅠA4－	(48.0)× 19.5 × 4.0	3.9	〃	〃	
11	〃	5	覆土上	スクレイパー	ⅢC4	32.5 × 27.5 × 10.0	7.2	〃	〃	
図Ⅷ－33－12	〃	9	覆土中	〃	〃	56.0 × 30.0 × 11.5	13.6	〃	〃	
13	〃	16	覆土2	〃	〃	58.8 × 31.0 × 15.0	18.7	〃	〃	
14	〃	26	〃	〃	〃	61.0 × 38.0 × 17.5	34.7	〃	〃	
15	〃	14	〃	石核	ⅨA1	24.0 × 37.0 × 29.0	21.8	〃	〃	
16	〃	38	底	石製品		25.5 × 25.0 × 9.5	9.5	蛇紋岩	〃	玉
17	〃	34	覆土2	砥石	ⅦB1	47.5 × 46.5 × 12.0	30.5	スコリア	〃	
18	〃	37	覆土1	台石	ⅤB1	(256.0)×(164.0)× 89.0	(4,120.0)	トロニエム岩	〃	
5	P－15	14	覆土上	石錐	ⅡA2	27.0 × 11.5 × 3.5	1.3	黒曜石	Ⅷ－25－4	
6	〃	15	〃	スクレイパー	ⅢC2	29.5 × 27.0 × 8.0	6.3	〃	〃	
7	〃	17	〃	〃	ⅢC4	38.0 × 24.5 × 9.5	8.3	〃	〃	
8	〃	16	〃	〃	〃	63.0 × 31.5 × 18.0	22.3	〃	〃	
9	〃	19	〃	〃	ⅢC5	40.5 × 28.2 × 7.5	8.1	〃	〃	
10	〃	4	〃	〃	ⅢC8	(39.0)× 38.0 × 9.0	13.8	〃	〃	
図Ⅷ－34－11	〃	33	〃	石斧	ⅣA2	198.0 × 65.8 × 29.0	542.1	カンラン岩	〃	
12	〃	1	〃	〃	ⅣA3	17.0 × 68.2 × 50.0	569.5	不明	〃	
13	〃	34	〃	砥石	ⅦB1	39.0 × 34.0 × 16.0	15.7	スコリア	〃	
14	〃	12	〃	〃	〃	57.5 × 37.5 × 27.0	53.2	〃	〃	
4	P－16	2	覆土1	石鏃	ⅠA4a	24.5 × 16.2 × 3.5	0.9	黒曜石	Ⅷ－26－2	
図Ⅷ－35－5	P－17	3	〃	スクレイパー	ⅢC4	41.0 × 18.5 × 9.0	6.5	〃	Ⅷ－27－1	
6	〃	2	〃	〃	〃	47.5 × 22.8 × 10.0	10.5	〃	〃	
7	〃	4	〃	〃	ⅢC7	44.0 × 24.0 × 6.0	7.9	〃	〃	
8	〃	11	〃	石斧	ⅣA2	93.8 × 45.8 × 16.0	110.1	泥岩	〃	
9	〃	14	〃	砥石	ⅦB1	38.2 × 40.0 × 22.0	21.9	スコリア	〃	
図Ⅷ－36－4	P－18	3	〃	石鏃	ⅠA4a	17.8 × 12.0 × 3.0	0.8	黒曜石	Ⅷ－27－2	
5	〃	2	〃	〃	〃	(21.2)× 16.5 × 4.0	1.3	〃	〃	
6	〃	22	覆土下	〃	ⅠA4b	(36.0)× 16.0 × 4.0	1.5	〃	〃	
7	〃	4	覆土1	〃	ⅠA5c	33.5 × 18.0 × 4.0	1.9	〃	〃	
8	〃	5	〃	〃	ⅠA7b	43.0 × 26.0 × 5.5	4.7	〃	〃	
9	〃	8	〃	スクレイパー	ⅢC4	47.0 × 23.0 × 13.0	11.1	〃	〃	
10	〃	6	〃	〃	〃	(59.0)× 31.5 × 13.0	18.6	〃	〃	
11	〃	7	〃	〃	〃	56.5 × 32.5 × 8.0	12.5	〃	〃	
12	〃	9	〃	〃	ⅢC8	(35.0)× 21.5 × 8.0	6.0	〃	〃	
13	〃	12	〃	石斧	ⅣA2	127.5 × 50.5 × 16.0	115.7	泥岩	〃	
2	P－19	5	〃	スクレイパー	ⅢC4	39.0 × 20.8 × 12.0	8.9	黒曜石	Ⅷ－28－4	
3	〃	6	〃	〃	〃	49.5 × 24.0 × 13.0	11.5	〃	〃	
図Ⅷ－37－2	P－20	5	覆土下	石鏃	ⅠA4a	(17.2)× 11.0 × 3.0	0.5	〃	〃	
4	P－21	6	覆土1	〃	〃	30.2 × 19.5 × 4.5	1.9	〃	Ⅷ－28－5	
5	〃	13	〃	〃	ⅠA4b	33.5 × 19.5 × 4.0	2.9	〃	〃	
6	〃	8	〃	石槍	ⅠB3	(58.0)× 8.0 × 22.0	(8.4)	〃	〃	
7	〃	15	〃	スクレイパー	ⅢC2	40.0 × 41.8 × 13.5	22.2	〃	〃	
8	〃	16	〃	〃	ⅢC7	59.5 × 29.0 × 11.0	14.2	〃	〃	
図Ⅷ－38－3	P－22	2	〃	石鏃	ⅠA4b	26.0 × 12.5 × 4.0	0.9	〃	Ⅷ－29－2	
4	〃	7	〃	つまみ付ナイフ	ⅢA1	42.5 × 14.5 × 5.5	3.6	頁岩	〃	
5	〃	3	〃	スクレイパー	ⅢC4	(33.0)× 15.0 × 9.5	4.9	黒曜石	〃	
6	〃	4	〃	〃	〃	62.8 × 28.8 × 13.5	20.1	〃	〃	
図Ⅷ－39－9	P－23	5	〃	石鏃	ⅠA4－	41.0 × 19.5 × 5.0	3.4	〃	Ⅷ－30－1	
10	〃	10	覆土上	スクレイパー	ⅢC4	30.0 × 16.0 × 8.0	4.2	〃	〃	
11	〃	6	覆土1	〃	〃	40.0 × 22.5 × 7.5	6.8	〃	〃	
12	〃	13	覆土上	〃	〃	41.5 × 27.0 × 1.5	10.8	〃	〃	

挿図番号	遺構名	遺物番号	層位	器種名	分類記号	長さ(㎜)×幅(㎜)×厚さ(㎜)	重量(g)	石材	図版番号	備考
図Ⅷ－39－13	P－23	12	覆土上	スクレイパー	ⅢC7	29.0 × 32.0 × 7.5	8.4	黒曜石	Ⅷ－30－1	
14	〃	15	〃	石核	ⅨA1	9.0 × 12.0 × 13.0	3.3	〃	〃	
15	〃	42	覆土2	三ヶ月石器		(33.0)× 11.0 × 4.0	(1.6)	〃	〃	
16	〃	1	覆土1	石製品		25.0 × 23.0 × 6.5	4.8	滑石	〃	玉
17	〃	45	覆土2	たたき石	VA3	(87.0)× 61.2 × 31.8	281.0	砂岩	〃	
18	〃	2B	覆土1	砥石	ⅦB1	(40.0)× 35.8 × 19.0	19.3	スコリア	〃	
19	〃	44	覆土2	〃	〃	58.0 × 40.0 × 24.8	49.5	〃	〃	
20	〃	17	覆土上	〃	〃	74.5 × 77.5 × 29.0	123.6	〃	〃	
21	〃	48	覆土3	加工痕のある礫	XB	135.0 × 105.2 × 77.5	1,790.0	カンラン岩?	〃	
22	〃	47	覆土2	台石	VB1	225.5 ×(120.0)× 73.5	(3,040.0)	砂岩	〃	
図Ⅷ－40－2	P－25	3	覆土1	たたき石	VA2	93.0 × 80.0 × 52.0	584.0	泥岩	Ⅷ－31－2	
2	P－26	3	〃	スクレイパー	ⅢC4	31.0 × 21.0 × 8.0	4.2	黒曜石	Ⅷ－31－6	
3	〃	7	〃	砥石	ⅦB1	47.8 × 42.5 × 10.0	13.9	スコリア	〃	
図Ⅷ－41－4	P－27	5	〃	スクレイパー	ⅢC4	40.5 × 20.0 × 9.0	7.8	黒曜石	〃	
5	〃	2	〃	〃	〃	41.0 × 24.5 × 12.5	11.6	〃	〃	
6	〃	6	〃	〃	〃	57.5 × 28.5 × 10.0	15.0	〃	〃	
7	〃	10	底上	台石	VB1	(181.5)×(132.0)× 61.0	(188.0)	砂岩	Ⅷ－31－6	
図Ⅷ－43－1	R－2	2		石鏃	IA4b	30.0 × 15.0 × 4.5	1.2	黒曜石	Ⅷ－32－3	
2	〃	18		スクレイパー	ⅢC4	38.0 × 30.0 × 8.5	11.6	〃	〃	
図Ⅷ－45－11	R－3	3		石鏃	IA4b	12.0 × 11.5 × 3.0	0.5	〃	Ⅷ－33－1	
12	〃	4		〃	〃	23.5 × 14.0 × 3.0	0.9	〃	〃	
13	〃	30		〃	IA8	27.0 × 19.0 × 5.5	2.7	〃	〃	
14	〃	5		〃	IA4b	34.5 × 18.0 × 4.0	2.0	〃	〃	
15	〃	6		石錐	ⅡA1	28.0 × 14.0 × 4.0	1.6	〃	〃	
16	〃	7		ナイフ	ⅢB1	71.0 × 28.0 × 11.0	18.7	〃	〃	
17	〃	14		スクレイパー	ⅢC4	61.5 × 35.0 × 13.0	24.5	〃	〃	
18	〃	11		〃	ⅢC7	39.5 × 55.5 × 14.5	30.7	〃	〃	
19	〃	27		石斧	ⅣA2	152.0 × 62.5 × 28.0	482.0	片岩	〃	
20	〃	39		コハク製平玉				琥珀	〃	玉
図Ⅷ－47－13	R－5	11		石鏃	IA4b	23.0 × 15.5 × 3.5	1.1	黒曜石	Ⅷ－35－1	
14	〃	14		〃	IA5b	23.0 × 15.5 × 2.5	0.7	〃	〃	
15	〃	16		〃	IA8	30.0 × 12.0 × 2.5	0.8	〃	〃	
16	〃	17		スクレイパー	ⅢC4	25.0 × 25.5 × 8.0	4.4	〃	〃	

表Ⅷ－6　包含層出土土器一覧

時期	後期	晩期	続縄文	土製品	合計
分類	Ⅳ群	Ⅴ群	Ⅵ群		
Ⅳ層	1	1	115		117
Ⅲ層	13	1,746	6,853	2	8,614
Ⅱ層	2	2,695	10,812	2	13,511
Ⅰ層	5	864	3,679	1	4,549
合計	21	5,306	21,459	5	26,791

表Ⅷ－7　包含層出土石器等一覧

器種	分類記号	点数	器種	分類記号	点数	器種	分類記号	点数
石鏃	IA2	1	ナイフ類	ⅢB2	49	たたき石	VA5	9
	IA4a	241		ⅢB8	724		VA8	7
	IA4b	229	スクレイパー	ⅢC2	11	台石	VB1	13
	IA4－	16		ⅢC4	334	すり石	ⅥA－	1
	IA5a	6		ⅢC5	46	砥石	ⅦB1	78
	IA5c	11		ⅢC7	302		ⅦB8	11
	IA7a	8		ⅢC8	547	石核	ⅨA1	79
	IA8	306	楔形石器		2	原石	ⅨA2	40
石槍	IB1	1	石斧	ⅣA1	5	軽石		1
	IB3	1		ⅣA2	19	フレイク	ⅨB	55,869
	IB8	18		ⅣA3	11	Rフレイク	XA	155
石錐	ⅡA1	2		ⅣA8	43	加工痕の見られる礫	XB	8
	ⅡA2	12	石斧製作に関するもの	ⅣC1	14	錨石		1
	ⅡA3	9	たたき石	VA1	1	石製品		3
	ⅡA8	4		VA2	7	礫・礫片		74
つまみ付ナイフ	ⅢA1	2		VA3	5	化石		1
ナイフ類	ⅢB1	37		VA4	2	合計		59,376

表Ⅷ—8　包含層出土掲載土器一覧

図番号	発掘区	遺物番号	層位	分類	図版番号	備考
図Ⅶ-51-1	B2-370-4	16	Ⅱ	Ⅴ	図版Ⅶ-36-1	接合28点
〃	〃 〃 〃	30	Ⅱ	〃	〃	〃 6点
〃	〃 〃 〃	43	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	未注記				〃	接合8点
-51-2	B1-368-17	25	Ⅲ	Ⅴ	-36-2	接合12点
-51-3	P-7	70	覆土1	〃	-36-3	接合7点
〃	〃 〃	86	覆土2	〃	〃	〃 4点
〃	P-15	13	〃上	〃	〃	〃 2点
〃	B2-368-20	18	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	B2-370-2	178	Ⅲ	〃	〃	接合16点
〃	〃 〃 〃	179	〃	〃	〃	〃 2点
〃	〃 〃 〃	68	〃	〃	〃	〃 3点
〃	〃 〃 〃	2	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	B2-370-22	74	Ⅰ	〃	〃	1点
〃	B2-372-12	57	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	未注記				〃	1点
-51-4	B1-368-8	35	Ⅱ	Ⅴ	-36-4	接合2点
〃	B1-368-13	4	Ⅱ	〃	〃	〃 2点
図Ⅶ-52-5	B2-370-1	1	Ⅱ	〃	-36-5	接合4点
〃	〃 〃 〃	20	〃	〃	〃	〃 6点
〃	〃 〃 〃	21	〃	〃	〃	1点
〃	未注記					1点
図Ⅶ-53-6	B2-370-15	126	Ⅱ	Ⅴ	図版Ⅶ-37	接合3点
〃	〃 〃 〃	139	Ⅲ	〃	〃	1点
-53-7	B2-372-11	1	Ⅱ	〃	〃	接合2点
〃	B2-368-20	17	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	B2-370-16	105	Ⅱ	〃	〃	接合2点
-53-8	B1-370-12	1	Ⅱ	〃	〃	接合3点
-53-9	B1-368-18	10	Ⅲ	〃	〃	1点
-53-10	B3-368-4	1	Ⅱ	〃	〃	接合7点
-53-11	B2-368-2	33	Ⅰ	〃	〃	1点
-53-12	B1-370-21	36	Ⅲ	〃	〃	1点
-53-13	B1-368-14	1	Ⅱ	〃	〃	接合2点
-53-14	B2-370-18	141	Ⅱ	〃	〃	ベンガラ 接合2点
-53-15	B2-370-11	27A	Ⅱ	〃	〃	1点
-53-16	B2-370-2	178	Ⅲ	〃	〃	1点
-53-17	B1-368-8	1	Ⅱ	〃	〃	接合2点
-53-18	B2-368-20	68	Ⅲ	〃	〃	1点
-53-19	B1-368-3	1	Ⅱ	〃	〃	1点
図Ⅶ-54-20	B3-370-1	14	Ⅱ	〃	〃	接合4点
〃	〃 〃 〃	41	Ⅲ	〃	〃	接合3点
〃	〃 〃 〃	4	Ⅱ	〃	〃	1点
-54-21	B2-370-23	139	Ⅲ	〃	〃	1点
-54-22	B2-370-8	37	Ⅱ	〃	〃	1点
-54-23	B2-370-20	86	Ⅰ	〃	〃	1点
-54-24	B2-368-10	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-54-25	B2-370-2	36	Ⅲ	〃	〃	1点
-54-26	B2-370-17	122	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	B2-370-18	185	Ⅲ	〃	〃	1点
-54-27	B1-368-13	4	Ⅱ	〃	〃	接合3点
-54-28	B2-370-19	65	Ⅱ	〃	〃	1点
-54-29	B2-370-8	63	Ⅱ	〃	〃	接合2点
-54-30	B1-368-25	1	Ⅲ	〃	〃	〃 2点
-54-31	B1-368-14	1	Ⅱ	〃	〃	〃 3点
-54-32	B2-370-8	37	Ⅱ	〃	〃	〃 2点
図Ⅶ-55-33	B2-370-15	46	Ⅱ	〃	〃	〃 2点
図Ⅶ-55-34	B2-370-8	63	Ⅱ	Ⅴ	図版Ⅶ-37	1点
-55-35	B2-368-25	1	Ⅱ	〃	図版Ⅶ-38	接合2点
-55-36	B2-370-15	178	Ⅰ	〃	〃	1点
-55-37	B2-370-24	36	Ⅲ	〃	〃	1点
-55-38	B2-370-13	65	Ⅲ	〃	〃	1点
-55-39	B1-370-21	27	Ⅲ	〃	〃	1点
-55-40	B2-370-12	17	Ⅱ	〃	〃	1点
-55-41	B1-368-4	2	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 〃	18	Ⅲ	〃	〃	接合2点
-55-42	B1-368-4	2	Ⅱ	〃	〃	接合3点
-55-43	B2-370-15	2	Ⅱ	〃	〃	接合3点
〃	〃 〃 〃	1	Ⅱ	〃	〃	〃 3点
-55-44	B2-372-10	10	Ⅲ	〃	〃	1点
-55-45	B2-370-2	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-55-46	B2-370-12	37	Ⅲ	〃	〃	1点
-55-47	B2-368-20	34	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	未注記				〃	1点
図Ⅶ-56-48	B3-370-1	38	Ⅱ	Ⅴ	〃	接合2点
-56-49	B22-372-11	84	Ⅲ	〃	〃	1点
-56-50	B1-372-16	36	Ⅲ	〃	〃	1点
-56-51	B2-372-11	1	Ⅱ	〃	〃	1点
-56-52	B2-368-20	69	Ⅲ	〃	〃	接合2点
-56-53	B2-370-16	50	Ⅱ	〃	〃	〃 2点
〃	〃 〃 〃	52	Ⅱ	〃	〃	〃 2点
〃	〃 〃 〃	49	Ⅱ	〃	〃	〃 3点
-56-54	B1-368-13	4	Ⅱ	〃	〃	接合2点
-56-55	B1-368-13	4	Ⅱ	〃	〃	〃 3点
-56-56	B2-370-17	89	Ⅲ	〃	〃	1点
-56-57	B2-370-14	65	Ⅰ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 〃	30	Ⅱ	〃	〃	1点
図Ⅶ-57-58	B2-370-3	28	Ⅲ	〃	〃	1点
-57-59	B2-368-5	11	Ⅲ	〃	〃	接合4点
-57-60	B2-370-9	55	Ⅰ	〃	図版Ⅶ-39	1点
-57-61	B1-372-10	127	Ⅲ	〃	〃	1点
-57-62	B2-368-5	11	Ⅲ	〃	〃	1点
-57-63	B2-370-14	65	Ⅰ	〃	〃	1点
-57-64	B2-370-10	5	Ⅰ	〃	〃	1点
-57-65	B2-370-2	179	Ⅲ	〃	〃	1点
-57-66	B2-372-16	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-57-67	B2-370-23	139	Ⅲ	〃	〃	1点
-57-68	B2-370-8	35	Ⅱ	〃	〃	1点
-57-69	B2-370-2	179	Ⅲ	〃	〃	1点
-57-70	B1-370-1	T	トレンチ	〃	〃	1点
-57-71	B2-372-6	23	Ⅲ	〃	〃	1点
-57-72	B2-370-2	36	Ⅲ	〃	〃	1点
-57-73	B2-370-17	122	Ⅲ	〃	〃	1点
-57-74	B2-368-23	1	Ⅲ	〃	〃	1点
図Ⅶ-58-75	B2-370-15	178	Ⅰ	〃	〃	1点
-58-76	B2-370-14	16	Ⅱ	〃	〃	3点
-58-77	B1-370-21	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-58-78	B2-370-15	46	Ⅱ	〃	〃	1点
-58-79	B2-370-1	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-58-80	B2-370-14	43	Ⅱ	〃	〃	1点
-58-81	B1-368-24	1	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	B1-368-25	3	Ⅲ	〃	〃	1点
-58-82	B2-372-12	36	Ⅲ	〃	〃	1点
図Ⅶ-58-83	B2-368-20	17	Ⅱ	Ⅴ	図版Ⅶ-39	1点
-58-84	B2-370-18	89	Ⅱ	〃	〃	1点
-58-85	B2-372-10	90	Ⅲ	〃	〃	1点
-58-86	B2-370-3	10	Ⅱ	〃	〃	1点
-58-87	B1-370-22	13	Ⅲ	〃	〃	円盤状土製品 1点
-58-88	B2-370-13	90	Ⅲ	〃	〃	クルミ状土製品 接合2点
図Ⅶ-59-1	B2-370-2	68	Ⅲ	Ⅵ	図版Ⅶ-40	接合2点
〃	〃 〃 7	14	Ⅱ	〃	〃	〃 5点
〃	〃 〃 〃	44	Ⅱ	〃	〃	〃 42点
〃	〃 〃 〃	51	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 〃	54	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 9	46	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	未注記			〃	〃	2点
-59-2	B2-370-2	2	Ⅱ	〃	〃	接合13点
〃	〃 〃	67	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	68	Ⅲ	〃	〃	接合5点
〃	〃 〃	178	Ⅲ	〃	〃	〃 3点
〃	〃 〃	179	Ⅲ	〃	〃	〃 3点
〃	未注記			〃	〃	〃 2点
-59-3	B2-372-6	23	Ⅲ	〃	〃	〃 3点
〃	〃 〃	50	Ⅲ	〃	〃	1点
-59-4	B2-370-17	18	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	89	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	122	Ⅲ	〃	〃	接合5点
〃	〃 〃	180	Ⅲ	〃	〃	〃 7点
-59-5	B2-368-17	25	Ⅲ	〃	〃	〃 7点
〃		42	Ⅰ	〃	〃	〃 3点
-59-6	B2-368-25	84	Ⅱ	〃	〃	接合4点
〃		93	Ⅲ	〃	〃	〃 4点
〃	未注記				〃	1点
図Ⅶ-60-7	B1-370-22	42	Ⅲ	Ⅵ	図版Ⅶ-41	接合17点
-60-8	B2-370-11	70	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 15	35	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	〃 〃 〃	46	Ⅱ	〃	〃	接合2点
〃	〃 〃 19	65	Ⅲ	〃	〃	〃 3点
〃	〃 〃 25	33	Ⅰ	〃	〃	1点
-60-9	B2-370-15	2	Ⅱ	〃	〃	接合6点
〃	〃 〃	35	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	45	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	46	Ⅱ	〃	〃	接合8点
〃	〃 16	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-60-10	B2-370-15	46	Ⅱ	〃	〃	接合4点
〃	〃 〃	139	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	未注記			〃	〃	1点
図Ⅶ-61-11	B2-370-2	67	Ⅲ	〃	図版Ⅶ-42	接合2点
〃	未注記			〃	〃	1点
-61-12	B2-370-15	129	Ⅲ	〃	〃	接合3点
〃	〃 〃	139	Ⅲ	〃	〃	1点
-61-13	B1-368-14	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-61-14	B2-370-18	68	Ⅱ	〃	〃	1点
-61-15	B2-370-12	37	Ⅲ	〃	〃	1点
-61-16	B2-368-2	1	Ⅲ	〃	〃	図17、18と同一個体　接合3点
〃	〃 〃 〃	33	Ⅰ	〃	〃	1点
〃	未注記				〃	1点
図Ⅶ-61-17	B2-368-2	1	Ⅲ	Ⅵ	〃	図16、18と同一個体　接合6点
〃	〃 〃	32	Ⅰ	〃	〃	1点

図番号	発掘区	遺物番号	層位	分類	図版番号	備考
図Ⅶ-61-17	未注記				図版Ⅶ-42	接合2点
-61-18	B_2-368-2	32	Ⅰ	Ⅵ	〃	図16、18と同一個体 〃 5点
〃	〃 〃	1	Ⅲ	〃	〃	〃 9点
〃	未注記			〃	〃	〃 4点
-61-19	B_2-372-10	103	Ⅲ	〃	〃	1点
-61-20	B_2-370-18	89	Ⅱ	〃	〃	1点
図Ⅶ-62-21	B_2-372-22	1	Ⅲ	〃	〃	接合2点
-62-22	B_2-370-14	43	Ⅱ	〃	〃	〃 2点
〃	未注記				〃	1点
-62-23	B_2-370-14	16	Ⅱ	Ⅵ	〃	1点
〃	未注記				〃	1点
-62-24	B_1-370-21	1	Ⅱ	Ⅵ	〃	1点
-62-25	B_2-370-17	63	Ⅲ	〃	〃	4点
〃	〃 〃	65	Ⅲ	〃	〃	1点
-62-26	B_2-370-17	63	Ⅲ	〃	〃	1点
-62-27	B_2-370-16	174	Ⅲ	〃	〃	1点
-62-28	B_2-370-2	55	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	68	Ⅲ	〃	〃	接合2点
〃	〃 〃	178	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	179	Ⅲ	〃	〃	1点
図Ⅶ-63-29	B_2-370-2	68	Ⅲ	〃	図版Ⅶ-43	1点
-63-30	B_2-370-3	9	Ⅱ	〃	〃	1点
-63-31	B_2-370-9	55	Ⅰ	〃	〃	1点
-63-32	B_2-370-2	179	Ⅲ	〃	〃	1点
-63-33	B_2-370-2	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-63-34	B_2-368-5	56	Ⅰ	〃	〃	1点
-63-35	B_2-370-18	68	Ⅱ	〃	〃	1点
-63-36	B_2-370-7	1	Ⅱ	〃	〃	1点
-63-37	B_2-370-2	68	Ⅲ	〃	〃	1点
-63-38	B_2-370-16	174	Ⅲ	〃	〃	1点
-63-39	B_2-368-20	34	Ⅱ	〃	〃	1点
-63-40	B_2-368-20	34	Ⅱ	〃	〃	1点
-63-41	B_2-370-14	59	Ⅲ	〃	〃	1点
-63-42	B_2-372-21	129	Ⅱ	〃	〃	1点

図番号	発掘区	遺物番号	層位	分類	図版番号	備考
図Ⅶ-63-42	B_2-372-21	132	Ⅱ	Ⅵ	図版Ⅶ-43	1点
-63-43	B_2-370-17	191	Ⅰ	〃	〃	1点
-63-44	B_2-370-15	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-63-45	B_2-370-19	40	Ⅲ	〃	〃	1点
-63-46	B_2-370-15	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-63-47	B_2-368-20	18	Ⅱ	〃	〃	1点
-63-48	B_2-370-15	46	Ⅱ	〃	〃	1点
図Ⅶ-64-49	B_2-372-10	133	Ⅲ	〃	〃	接合2点
-64-50	B_2-370-4	1	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	B_1-370-16	19	Ⅲ	〃	〃	1点
-64-51	B_2-370-8	37	Ⅱ	〃	〃	1点
-64-52	B_2-372-11	1	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	B_2-372-16	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-64-53	B_2-370-15	46	Ⅱ	〃	〃	1点
-64-54	B_2-370-13	17	Ⅱ	〃	〃	1点
-64-55	B_2-370-3	9	Ⅱ	〃	〃	1点
-64-56	B_2-370-8	79	Ⅱ	〃	〃	1点
-64-57	B_2-372-11	36	Ⅱ	〃	〃	接合4点
〃	〃 〃	1	Ⅱ	〃	〃	1点
-64-58	B_2-370-2	55	Ⅲ	〃	〃	2点
-64-59	B_2-370-7	44	Ⅱ	〃	〃	1点
-64-60	B_2-370-2	48	Ⅲ	〃	〃	1点
-64-61	B_2-370-15	2	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	B_2-370-10	5	Ⅰ	〃	〃	1点
-64-62	B_2-370-17	122	Ⅲ	〃	〃	1点
-64-63	B_2-370-19	40	Ⅲ	〃	図版Ⅶ-44	接合2点
〃	B_2-370-25	38	Ⅰ	〃	〃	1点
-64-64	B_2-368-20	69	Ⅲ	〃	〃	接合4点
図Ⅶ-65-65	B_2-370-14	16	Ⅱ	〃	〃	〃 2点
-65-66	B_2-370-19	84	Ⅰ	〃	〃	1点
-65-67	B_2-370-2	2	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	67	Ⅲ	〃	〃	1点
-65-68	B_2-370-14	65	Ⅰ	〃	〃	接合3点
〃	B_2-370-17	1	Ⅱ	〃	〃	1点

図番号	発掘区	遺物番号	層位	分類	図版番号	備考
図Ⅶ-65-68	B_2-370-13	56	Ⅲ	Ⅵ	図版Ⅶ-44	1点
-65-69	B_2-370-10	119	Ⅲ	〃	〃	1点
-65-70	B_2-370-19	84	Ⅰ	〃	〃	1点
-65-71	B_3-370-25	1	Ⅲ	〃	〃	1点
-65-72	B_2-370-9	38	Ⅱ	〃	〃	1点
-65-73	B_2-372-16	36	Ⅲ	〃	〃	1点
-65-74	B_2-370-19	81	Ⅲ	〃	〃	1点
-65-75	B_2-370-24	71	Ⅳ	〃	〃	接合2点
-65-76	B_2-370-24	71	Ⅳ	〃	〃	〃 2点
-65-77	B_2-370-18	141	Ⅱ	〃	〃	1点
-65-78	B_2-370-14	1	Ⅱ	〃	〃	接合2点
-65-79	B_2-370-16	42	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	55A	Ⅱ	〃	〃	1点
-65-80	B_2-370-2	2	Ⅱ	〃	〃	1点
〃	B_2-370-2	67	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	B_2-370-2	68	Ⅲ	〃	〃	1点
図Ⅶ-66-81	B_2-370-15	2	Ⅱ	〃	〃	1点
-66-82	B_2-370-9	38	Ⅱ	〃	〃	接合4点
-66-83	B_2-372-12	13	Ⅲ	〃	〃	1点
-66-84	B_2-372-11	84	Ⅲ	〃	〃	1点
-66-85	B_2-370-2	178	Ⅲ	〃	〃	1点
〃	〃 〃	179	Ⅲ	〃	〃	接合3点
〃	未注記				〃	1点
-66-86	B_2-370-15	46	Ⅱ	Ⅵ	〃	1点
-66-87	B_2-370-15	139	Ⅲ	〃	〃	1点
-66-88	B_2-372-11	1	Ⅱ	〃	〃	1点
-66-89	B_2-370-15	46	Ⅱ	〃	〃	1点
-66-90	B_2-376-19	1	Ⅱ	〃	〃	1点
-66-91	B_2-370-17	82	Ⅲ	〃	〃	接合3点
-66-92	B_2-370-16	174	Ⅲ	〃	〃	接合5点
-66-93	B_2-372-12	1	Ⅲ	〃	〃	1点
-66-94	B_2-370-17	122	Ⅲ	〃	〃	接合2点
-66-95	B_2-370-25	20	Ⅲ	〃	〃	1点
-66-96	B_2-372-10	90	Ⅲ	〃	〃	1点

表Ⅷ—9　包含層出土掲載石器等一覧

図番号	発掘区	遺物番号	層位	器種名	分類番号	長さ(mm)×幅(mm)×厚さ(mm)	重量(g)	石材	図版番号	備考
図Ⅷ-69-1	B_2-370-16	106	Ⅱ	石鏃	ⅠA2	39.0 × 9.5 × 3.0	1.0	黒曜石	Ⅷ-45	
2	B_2-370-15	102	Ⅱ	〃	ⅠA4a	16.0 × 14.0 × 2.5	0.5	〃	〃	
3	B_2-370-15	3	Ⅱ	〃	ⅠA4a	19.0 × 12.0 × 3.5	0.6	〃	〃	
4	B_2-370-8	41	Ⅱ	〃	ⅠA4a	22.0 × 19.5 × 4.0	1.0	〃	〃	
5	B_2-370-15	88	Ⅱ	〃	ⅠA4a	26.5 × 14.5 × 3.0	0.8	〃	〃	
6	B_2-370-9	27	Ⅱ	〃	ⅠA4a	26.0 × 15.0 × 3.0	1.3	〃	〃	
7	B_2-370-19	47	Ⅲ	〃	ⅠA4a	(27.0)× 15.5 × 3.0	1.1	〃	〃	
8	B_2-370-14	18	Ⅱ	〃	ⅠA4a	28.5 × 17.5 × 4.0	1.5	〃	〃	
9	B_2-370-22	49	Ⅲ	〃	ⅠA4a	33.0 × 13.5 × 4.2	1.5	〃	〃	
10	B_2-370-6	3	Ⅱ	〃	ⅠA4a	35.5 × 17.5 × 3.5	2.1	〃	〃	
11	B_2-370-13	57	Ⅲ	〃	ⅠA4b	(20.5)× 14.0 × 4.0	0.9	〃	〃	
12	B_1-368-17	31	Ⅲ	〃	ⅠA4b	(20.5)× 18.5 × 3.5	1.1	〃	〃	
13	B_2-370-14	59	Ⅲ	〃	ⅠA4b	(29.0)× 18.0 × 6.0	2.5	〃	〃	
14	B_2-370-16	74A	Ⅱ	〃	ⅠA4b	(29.0)× 19.0 × 4.0	1.8	〃	〃	
15	B_2-370-17	142	Ⅲ	〃	ⅠA4b	20.0 × 12.0 × 2.0	0.4	〃	〃	
16	B_3-370-1	23	Ⅱ	〃	ⅠA4b	20.5 × 13.0 × 3.0	0.6	〃	〃	
17	B_1-368-18	13	Ⅲ	〃	ⅠA4b	24.0 × 13.5 × 3.0	0.9	〃	〃	
18	B_2-370-24	72	Ⅳ	〃	ⅠA4b	27.5 × 16.5 × 4.0	1.0	〃	〃	
19	B_2-370-2	130	Ⅲ	〃	ⅠA4b	27.0 × 12.0 × 2.5	0.6	〃	〃	

図番号	発掘区	遺物番号	層位	器種名	分類番号	長さ(mm)×幅(mm)×厚さ(mm)	重量(g)	石材	図版番号	備考
図Ⅷ−69−20	B₂−370−15	55	Ⅱ	石鏃	ⅠA4b	26.0 × 16.5 × 4.0	1.3	黒曜石	Ⅷ−45	
21	B₂−370−16	111	Ⅱ	〃	ⅠA4b	(26.5)× 12.0 × 2.5	0.5	〃	〃	
22	B₂−370−14	19	Ⅱ	〃	ⅠA4b	28.0 × 14.0 × 3.0	1.1	〃	〃	
23	B₂−370−6	4	Ⅱ	〃	ⅠA4b	(28.0)× 16.0 × 3.5	1.4	〃	〃	
24	B₂−370−9	48	Ⅱ	〃	ⅠA4b	29.0 × 17.5 × 4.0	1.4	〃	〃	
25	B₁−368−17	29	Ⅲ	〃	ⅠA4b	29.5 × 15.5 × 3.5	1.2	〃	〃	
26	B₂−370−19	46	Ⅲ	〃	ⅠA4b	30.0 × 14.5 × 4.5	1.3	〃	〃	
27	B₂−370−2	75	Ⅲ	〃	ⅠA4b	30.0 × 18.0 × 5.0	2.1	〃	〃	
28	B₂−370−16	115	Ⅱ	〃	ⅠA4b	31.5 × 15.0 × 4.0	1.5	〃	〃	
29	B₂−368−25	23A	Ⅱ	〃	ⅠA4b	32.5 × 15.0 × 3.0	1.2	〃	〃	
30	B₂−370−13	22	Ⅱ	〃	ⅠA4b	33.0 × 15.5 × 3.0	1.1	〃	〃	
31	B₂−370−7	2	Ⅱ	〃	ⅠA4b	(34.5)× 16.0 × 3.5	1.5	〃	〃	
32	B₂−370−18	146	Ⅱ	〃	ⅠA4b	(35.0)× 17.5 × 5.5	2.2	〃	〃	
33	B₁−368−18	11	Ⅲ	〃	ⅠA4b	(39.5)× 19.5 × 4.0	2.8	〃	〃	
34	B₂−370−18	142	Ⅱ	〃	ⅠA4−	(39.5)× 22.0 × 4.5	3.6	〃	〃	
35	B₂−370−16	107	Ⅱ	〃	ⅠA4−	(41.0)× 23.0 × 5.0	4.3	〃	〃	
36	B₂−368−25	13A	Ⅱ	〃	ⅠA4−	52.5 × 21.5 × 4.5	4.5	〃	〃	
37	B₂−370−16	120	Ⅱ	〃	ⅠA5a	(18.5)× (8.5)× 3.0	0.3	〃	〃	
38	B₂−372−17	15	Ⅱ	〃	ⅠA5c	(19.0)× 8.5 × 3.0	0.3	〃	〃	
39	B₂−370−15	9	Ⅱ	〃	ⅠA5a	(26.5)× (12.0)× 3.5	0.6	〃	〃	
40	B₂−370−2	104	Ⅲ	〃	ⅠA5a	(28.0)× 15.0 × 4.0	1.0	〃	〃	
41	B₂−370−8	17	Ⅱ	〃	ⅠA5c	33.0 × 16.0 × 4.0	1.6	〃	〃	
42	B₁−368−17	2	Ⅲ	〃	ⅠA7a	(37.0)× 13.0 × 4.8	1.8	〃	〃	
43	B₂−370−2	59	Ⅲ	石槍	ⅠB1	37.0 × 14.5 × 7.5	3.6	頁岩	〃	
44	B₂−370−7	21	Ⅱ	〃	ⅠB3	(38.5)× 15.0 × 6.0	3.3	黒曜石	〃	
45	B₂−370−10	81	Ⅲ	石錐	ⅡA2	(27.5)× 14.0 × 7.0	(2.6)	頁岩	〃	
46	B₁−368−25	7	Ⅲ	〃	ⅡA2	33.5 × 23.0 × 6.0	4.4	黒曜石	〃	
47	B₂−370−17	69	Ⅲ	〃	ⅡA2	(39.0)× 20.5 × 7.0	3.8	〃	〃	
48	B₂−370−17	85	Ⅲ	〃	ⅡA3	(31.5)× 22.5 × 4.0	2.1	〃	〃	
49	B₂−370−23	46	Ⅱ	〃	ⅡA3	42.0 × 28.5 × 12.0	10.7	頁岩	〃	
50	B₂−370−12	61	Ⅰ	つまみ付ナイフ	ⅢA1	53.5 × 29.0 × 14.0	20.6	〃	〃	
51	B₂−370−21	20	Ⅱ	ナイフ	ⅢB1	51.0 × 26.5 × 8.5	11.3	メノウ質頁岩	〃	
52	B₂−370−15	14	Ⅱ	〃	ⅢB1	45.0 × 29.0 × 8.5	12.5	黒曜石	〃	
図Ⅷ−70−53	B₂−372−12	38	Ⅲ	〃	ⅢB1	(56.0)× 23.5 × 7.0	9.4	〃	〃	
54	B₂−370−14	36	Ⅱ	〃	ⅢB1	61.0 × 24.5 × 7.0	12.6	〃	〃	
55	B₂−370−2	61	Ⅲ	〃	ⅢB1	(62.5)× 27.5 × 8.0	11.1	〃	〃	
56	B₂−370−8	19	Ⅱ	〃	ⅢB1	67.0 × 32.0 × 6.5	13.6	〃	〃	
57	B₂−372−21	186A	Ⅱ	〃	ⅢB1	71.0 × 31.5 × 8.0	15.3	〃	〃	
58	B₂−370−17	146	Ⅲ	〃	ⅢB1	71.5 × 31.0 × 9.0	18.9	〃	〃	
59	B₂−372−10	109	Ⅲ	〃	ⅢB1	74.0 × 28.0 × 8.0	17.0	〃	〃	
60	B₂−370−14	21	Ⅱ	〃	ⅢB1	77.5 × 29.0 × 8.5	18.1	〃	〃	
61	B₂−370−23	129	Ⅲ	〃	ⅢB1	81.5 × 34.5 × 9.0	23.5	〃	Ⅷ−46	
62	B₂−370−15	65	Ⅱ	〃	ⅢB1	91.0 × 40.5 × 10.0	33.9	〃	〃	
63	B₂−370−16	95	Ⅱ	〃	ⅢB1	91.0 × 37.0 × 9.0	30.8	〃	〃	
64	B₂−370−13	58	Ⅲ	〃	ⅢB2	52.0 × 13.5 × 9.0	7.0	〃	〃	
65	B₂−368−10	38	Ⅲ	〃	ⅢB2	58.5 × 28.0 × 9.0	20.9	〃	〃	
66	B₂−370−8	45	Ⅱ	〃	ⅢB2	70.0 × 28.0 × 10.5	15.5	〃	〃	
67	B₂−370−17	97	Ⅲ	〃	ⅢB2	79.0 × 35.5 × 11.5	31.2	〃	〃	
68	B₂−370−17	179	Ⅲ	〃	ⅢB2	46.5 × 30.5 × 9.0	12.6	〃	〃	
69	B₂−372−7	3	Ⅱ	〃	ⅢB2	55.0 × 29.0 × 9.5	17.3	〃	〃	
70	B₁−370−22	44	Ⅲ	〃	ⅢB2	72.0 × 42.0 × 10.0	23.5	〃	〃	
71	B₂−370−18	152	Ⅱ	〃	ⅢB2	81.0 × 45.5 × 9.0	30.9	〃	〃	
図Ⅷ−71−72	B₂−370−15	151	Ⅲ	スクレイパー	ⅢC2	38.0 × 34.0 × 10.0	11.8	〃	〃	
73	B₂−372−10	123A	Ⅲ	〃	ⅢC2	58.0 × 40.0 × 13.0	33.0	〃	〃	
74	B₂−370−8	47	Ⅱ	〃	ⅢC4	40.5 × 26.0 × 13.0	11.6	〃	〃	
75	B₂−370−8	84	Ⅱ	〃	ⅢC4	42.0 × 27.0 × 13.5	10.3	〃	〃	
76	B₂−370−8	142	Ⅲ	〃	ⅢC4	48.0 × 43.0 × 12.5	22.7	〃	〃	

図番号	発掘区	遺物番号	層位	器種名	分類番号	長さ(mm)×幅(mm)×厚さ(mm)	重量(g)	石材	図版番号	備考
図Ⅷ−71−77	B₂−372−21	147	Ⅱ	スクレイパー	ⅢC4	50.0 × 33.5 × 9.0	21.1	玄武岩	Ⅷ−46	
78	B₃−370−1	6B	Ⅱ	〃	ⅢC4	57.5 × 41.0 × 12.5	31.9	黒曜石	〃	
79	B₃−368−4	11	Ⅱ	〃	ⅢC4	86.0 × 45.0 × 14.5	55.3	〃	〃	
80	B₂−368−5	39B	Ⅲ	〃	ⅢC4	50.0 × 25.0 × 6.0	7.1	〃	〃	
81	B₂−370−2	149	Ⅲ	〃	ⅢC4	85.0 × 30.5 × 10.5	21.2	〃	〃	
82	B₂−370−20	1A	Ⅱ	〃	ⅢC4	86.0 × 23.5 × 12.0	23.9	〃	〃	
83	B₂−370−16	184	Ⅲ	〃	ⅢC4	116.0 × 23.0 × 11.0	29.1	〃	〃	
84	B₂−370−2	44	Ⅲ	〃	ⅢC7	57.5 × 40.5 × 14.0	32.3	〃	〃	
85	B₂−370−17	164	Ⅲ	〃	ⅢC7	54.0 × 47.0 × 18.5	39.1	〃	〃	
86	B₂−370−17	48	Ⅱ	〃	ⅢC7	68.0 × 50.5 × 10.0	32.4	玄武岩	Ⅷ−47	
87	B₂−370−8	72	Ⅱ	〃	ⅢC7	57.0 × 65.0 × 13.0	46.1	黒曜石	〃	
図Ⅷ−72−88	B₂−370−8	118	Ⅱ	石核	ⅨA1	29.5 × 33.0 × 18.0	15.4	〃	〃	
89	B₂−370−16	158	Ⅱ	〃	ⅨA1	33.0 × 39.5 × 30.5	43.4	〃	〃	
90	B₂−370−8	30	Ⅱ	〃	ⅨA1	31.5 × 40.5 × 19.0	18.3	〃	〃	
91	B₂−370−13	62	Ⅲ	〃	ⅨA1	44.0 × 64.5 × 22.0	58.6	〃	〃	
92	B₂−368−5	45	Ⅲ	〃	ⅨA1	80.0 × 90.0 × 45.0	308.4	〃	〃	
93	B₃−370−1	18B	Ⅱ	棒状原石	ⅨA2	80.0 × 7.5 × 6.0	3.3	〃	〃	
94	B₃−370−16	83	Ⅱ	〃	ⅨA2	53.0 × 20.0 × 19.0	27.5	〃	〃	
95	B₁−368−17	36	Ⅲ	〃	ⅨA2	90.0 × 26.0 × 8.5	33.1	〃	〃	
96	B₂−372−21	51C	Ⅱ	三脚石器	石製品	19.0 × 32.0 × 7.0	3.2	〃	〃	
97	B₂−370−20	93	Ⅲ	〃	石製品	31.0 × 43.0 × 10.0	10.1	〃	〃	
98	B₂−370−7	50	Ⅱ	石製小玉	石製品	8.0 × 13.0 × 5.5	1.0	蛇紋岩	〃	玉
99	B₂−370−16	103	Ⅱ	石斧	ⅣA2	60.2 × 34.0 × 15.8	61.1	泥岩	〃	
100	B₂−370−23	37	Ⅱ	〃	ⅣA1	88.2 × 40.8 × 13.8	88.1	片岩	〃	
101	B₂−372−21	198	Ⅱ	〃	ⅣA2	107.5 × 40.8 × 15.0	109.6	〃	〃	
102	B₂−372−12	11	Ⅲ	〃	ⅣA2	(108.2)× 49.5 × 11.5	95.0	〃	〃	
図Ⅷ−73−103	B₂−368−20	86	Ⅲ	〃	ⅣA2	125.2 × 59.2 × 24.0	223.2	泥岩	〃	
104	B₂−370−23	144	Ⅲ	〃	ⅣA2	(99.5)× 61.5 × 40.0	457.3	不明	〃	
105	B₂−368−23	22	Ⅲ	たたき石	ⅣA2	7.6 × 6.9 × 3.7	245.4	砂岩	〃	
106	B₂−368−5	46	Ⅲ	〃	ⅤA3	209.0 × 64.5 × 52.5	967.8	〃	Ⅷ−48	
107	B₂−370−20	79	Ⅲ	〃	ⅤA3	(141.5)× 50.0 × 20.0	219.7	〃	〃	
108	B₂−370−17	119	Ⅲ	〃	ⅤA3	(145.2)× 53.8 × 14.0	179.8	〃	〃	
109	B₂−372−12	48	Ⅲ	〃	ⅤA4	58.5 × 60.0 × 57.0	251.3	安山岩	〃	
110	B₂−370−10	3	Ⅲ	〃	ⅤA5	88.0 × 60.0 × 40.0	326.0	蛇紋岩	〃	
111	B₂−370−3	65	Ⅲ	〃	ⅤA5	114.0 × 80.5 × 29.0	385.2	砂岩	〃	
図Ⅷ−74−112	B₂−370−18	176	Ⅱ	すり石	ⅥA−	60.0 × (81.5)× 53.0	(440.0)	〃	〃	
113	B₁−368−18	23	Ⅲ	砥石	ⅦB1	63.0 × 46.8 × 23.5	80.9	スコリア	〃	
114	B₂−370−2	115	Ⅲ	〃	ⅦB1	62.0 × 54.2 × 16.0	50.6	〃	〃	
115	B₂−370−16	164	Ⅱ	〃	ⅦB1	(64.0)× 47.5 × 25.5	60.6	〃	〃	
116	B₁−370−21	23	Ⅱ	〃	ⅦB1	71.0 × 53.5 × 19.5	73.2	〃	〃	
117	B₂−370−15	86	Ⅱ	〃	ⅦB1	68.0 × 47.5 × 20.5	59.9	〃	〃	
118	B₂−370−15	138	Ⅲ	台石	ⅤB1	(233.5)× 152.0 × 38.5	(2,420.0)	泥岩	Ⅷ−49	
119	B₂−368−25	119	Ⅲ	〃	ⅤB1	333.0 × 209.0 × 80.0	7,120.0	トロニエム岩	〃	
120	B₁−368−17	67	Ⅰ	〃	ⅩB	15.3 × 161.2 × 85.5	2,480.0	多孔質安山岩	Ⅷ−50	
図Ⅷ−75−121	B₂−370−14	112	Ⅲ	アンモナイト	化石	96.0 × 67.5 × 35.5	277.1	—	〃	

Ⅸ　滝里12遺跡の調査

Ⅸ　滝里12遺跡の調査

1　調査の概要

滝里12遺跡は、空知川の支流であるパンケテシマナイ川右岸の沖積錐上に立地している。標高は約140～145ｍである。調査前には水田、畑、宅地に利用されていた。調査は平成９年と平成10年の２年にわたり行った。範囲確認調査の結果から、包含層（Ⅱ層）は１層であると想定し、当初12,000㎡を調査する予定であったが、平成９年度の調査中、調査区東側の畑地の法面に、下層の黒色土層を発見した。試掘したところ縄文時代早期の東釧路Ⅳ式に相当する土器片が出土したため、上層（Ⅰ・Ⅱ層）の調査終了後に改めて範囲確認調査を行った。その結果、調査区東側に遺物の拡がりが認められたことから、下層（Ⅴ層）の4,500㎡について平成10年度に調査することとなった。そのため、平成９年度のⅡ層の拡張面積550㎡とあわせて、最終的な調査面積は17,050㎡となった。平成10年度の調査については、第４節で報告する。

平成９年度の調査は、最初に包含層の残存状況を確認するため、調査区全体の大グリッドラインに沿ってトレンチ調査を実施した。その結果、調査区西側と南側は水田造成と林道により大部分が削平されていたため、この地区は重機による遺構確認調査範囲とした。また、調査区東側で縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭の土壙群が確認され、調査区外に続くことが予想されたため、550㎡について調査区を拡張した。拡張区からは２基の土壙が検出されている。

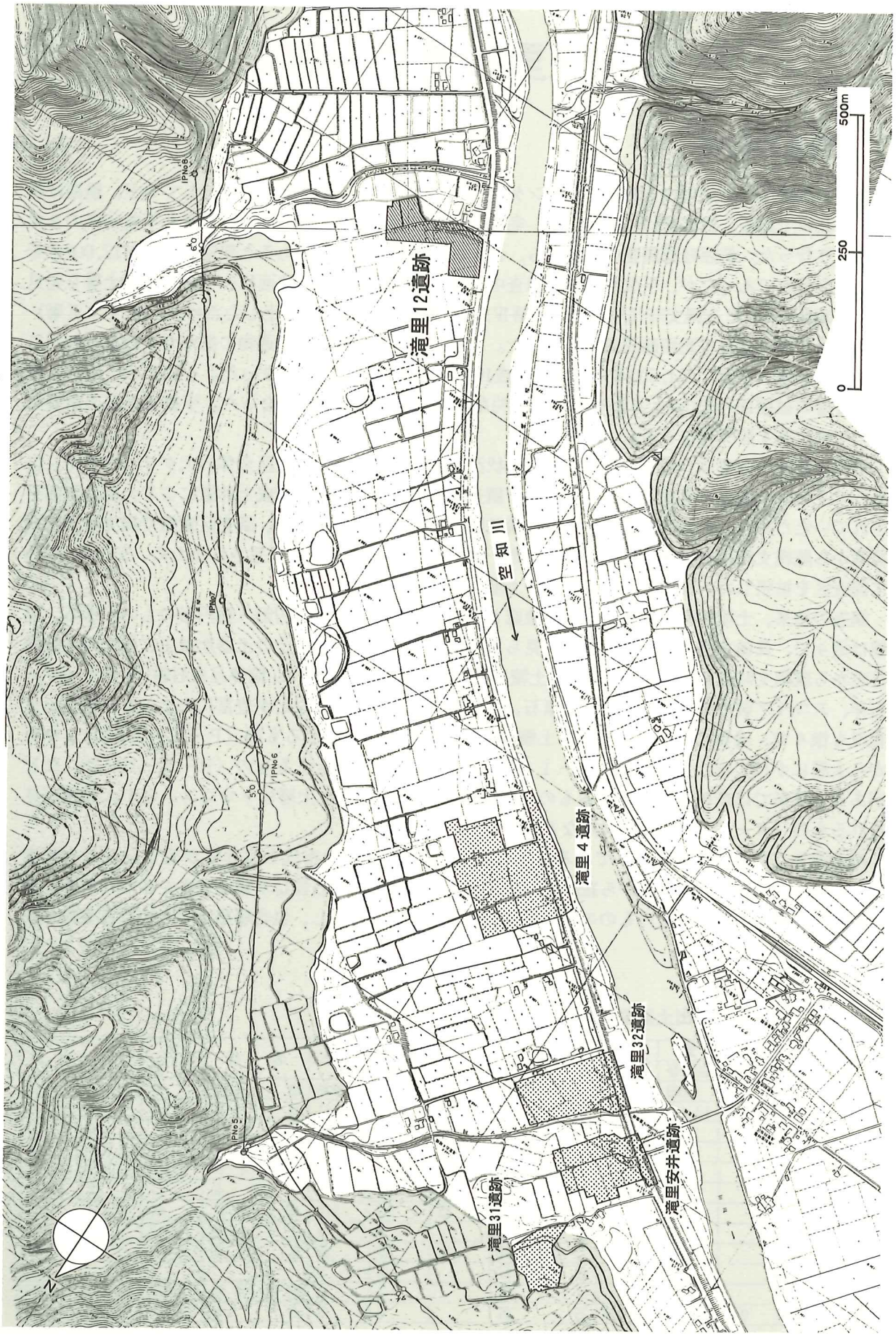
調査の結果、土壙30基と集石１か所が確認された。土壙は平面形が円形・楕円形のものがある。規模は様々で、長軸方向の統一性もあまり見られない。これらの土壙出土の土器片は主に縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭のものである。土壙の多くは土壙墓と考えられ、副葬品も石鏃、大形ナイフ、石斧、スコリア製の矢柄研磨器、棒状原石、蛇紋岩製や琥珀製の玉などが豊富に出土した。遺物出土状況も様々で、遺物の出土位置では、土壙の上部と壙底から出土するもの（Ｐ－４・18・21）、中層から上層にかけて出土するもの（Ｐ－１・20・25）、壙底から出土するもの（Ｐ－５・15・28）などがあり、種類では琥珀玉が出土するもの（Ｐ－６・７・23）、覆土上層にトロニエム岩の大形礫が見られるもの（Ｐ－８・９・12・14）などがある。

出土遺物点数は以下のとおりである。土器は縄文時代後期の余市式と堂林式が若干見られる程度で、大半が縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭のものである。石器は石鏃とスクレイパーが多くを占める。石鏃は、遺構出土のものの大半が三角形鏃であるのに対し、包含層出土のものは有茎鏃が多いことが特徴である。

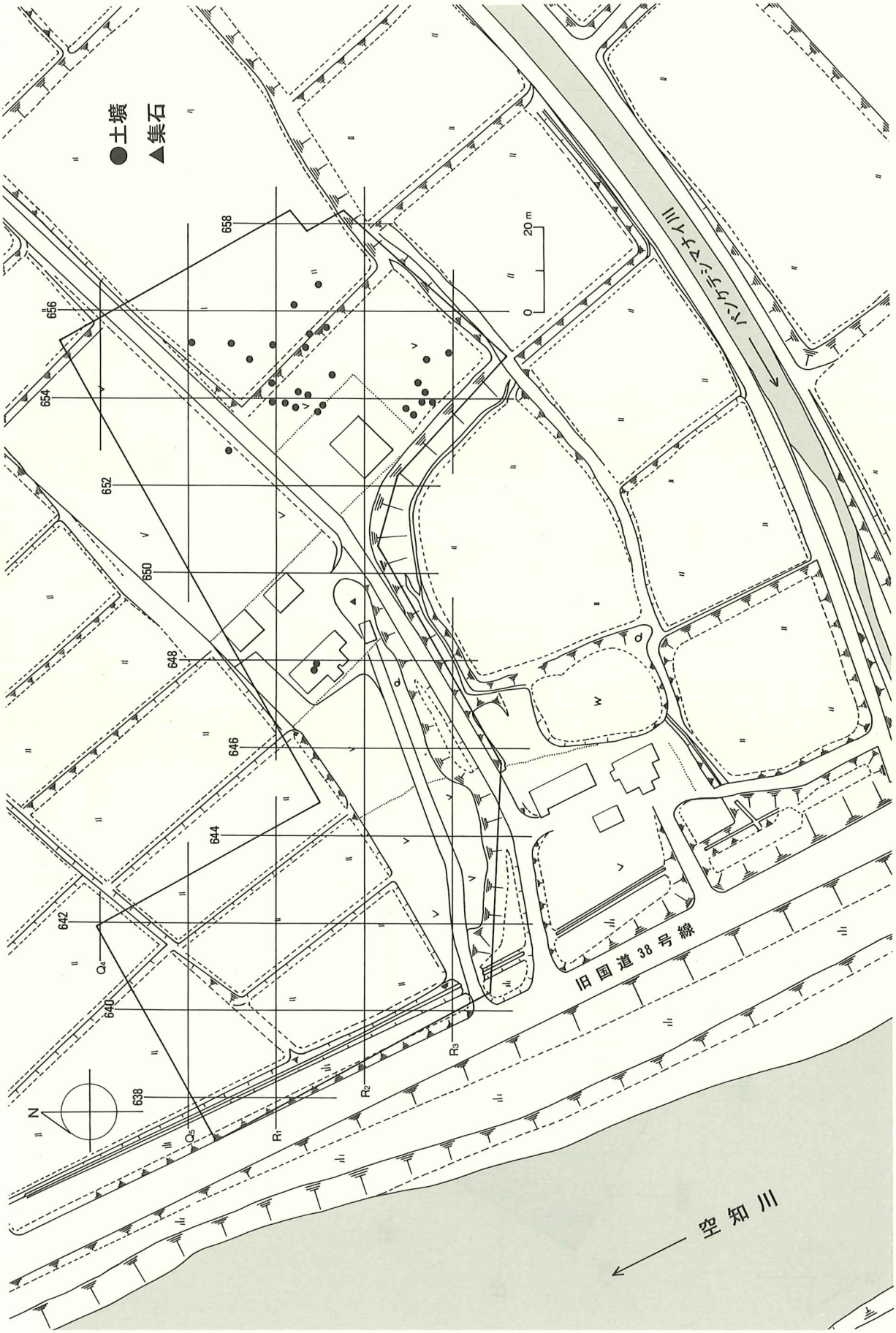
（村田　大）

表Ⅸ－１　Ⅰ・Ⅱ層の出土遺物一覧

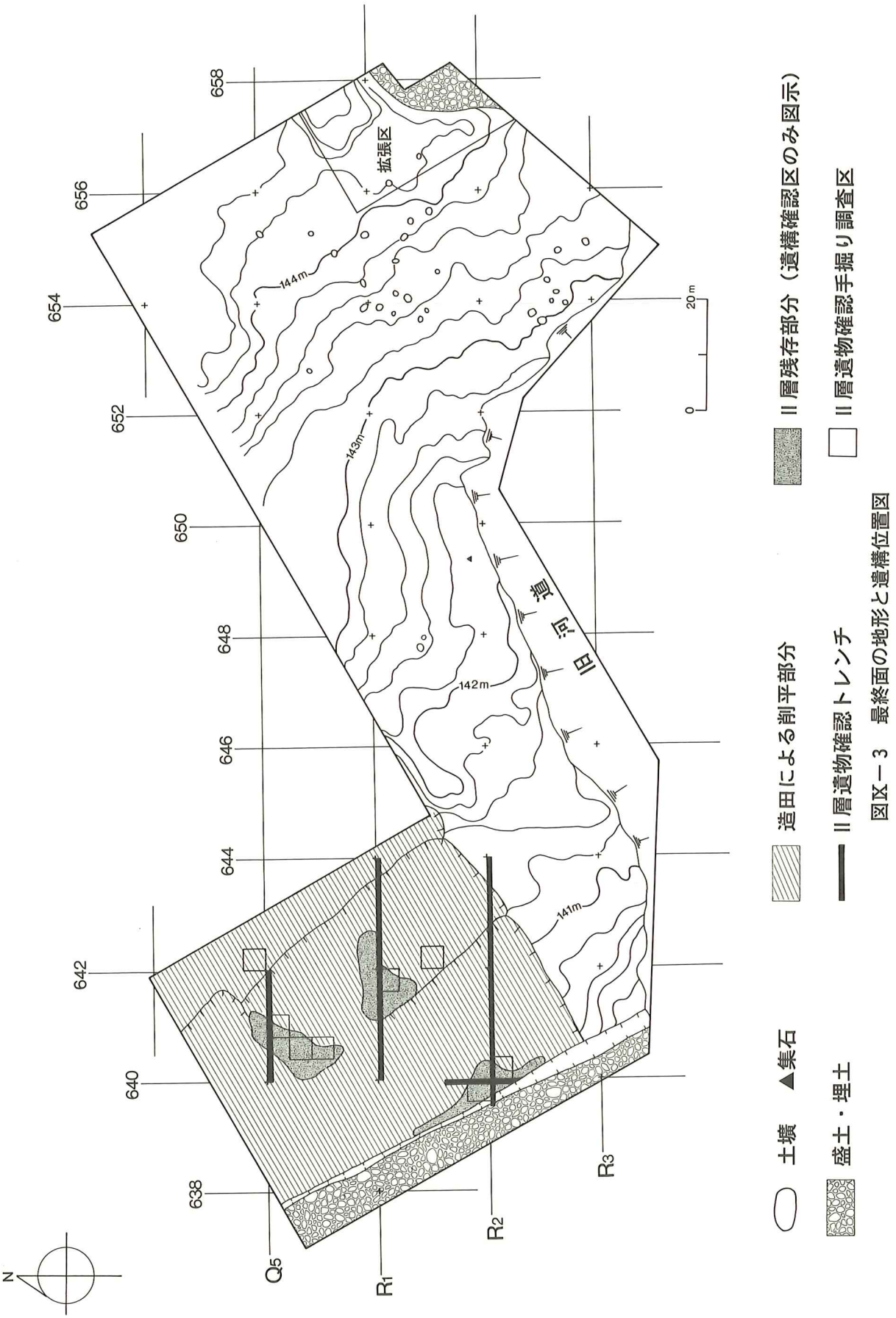
名称	点数 遺構	点数 包含層	小計	名称	点数 遺構	点数 包含層	小計	名称	点数 遺構	点数 包含層	小計
Ⅳ群	18	209	227	石鏃	276	370	646	砥石	1	2	3
Ⅴ・Ⅵ群	924	12,412	13,336	石槍	3	38	41	石核	2	14	16
不明		27	27	石錐	1	16	17	原石		10	10
				つまみ付ナイフ		9	9	Ｒフレイク	17	329	346
				ナイフ	18	8	26	フレイク	2,425	19,843	22,268
				スクレイパー	5	199	204	石製品		2	2
				石斧	15	95	110	礫・礫片	40	122	162
				石斧関連		1	1	その他	7	4	11
				たたき石	2	16	18	玉類	1,865		1,865
				台石		2	2				
				すり石		4	4	石器等計	4,677	21,089	25,766
土器計	942	12,648	13,590	石皿		5	5	合計	5,619	33,737	39,356


滝里12遺跡
空知川
滝里4遺跡
滝里32遺跡
滝里安井遺跡
滝里31遺跡
IPNo.5
IPNo.6
IPNo.7
IPNo.8
0
250
500m
N

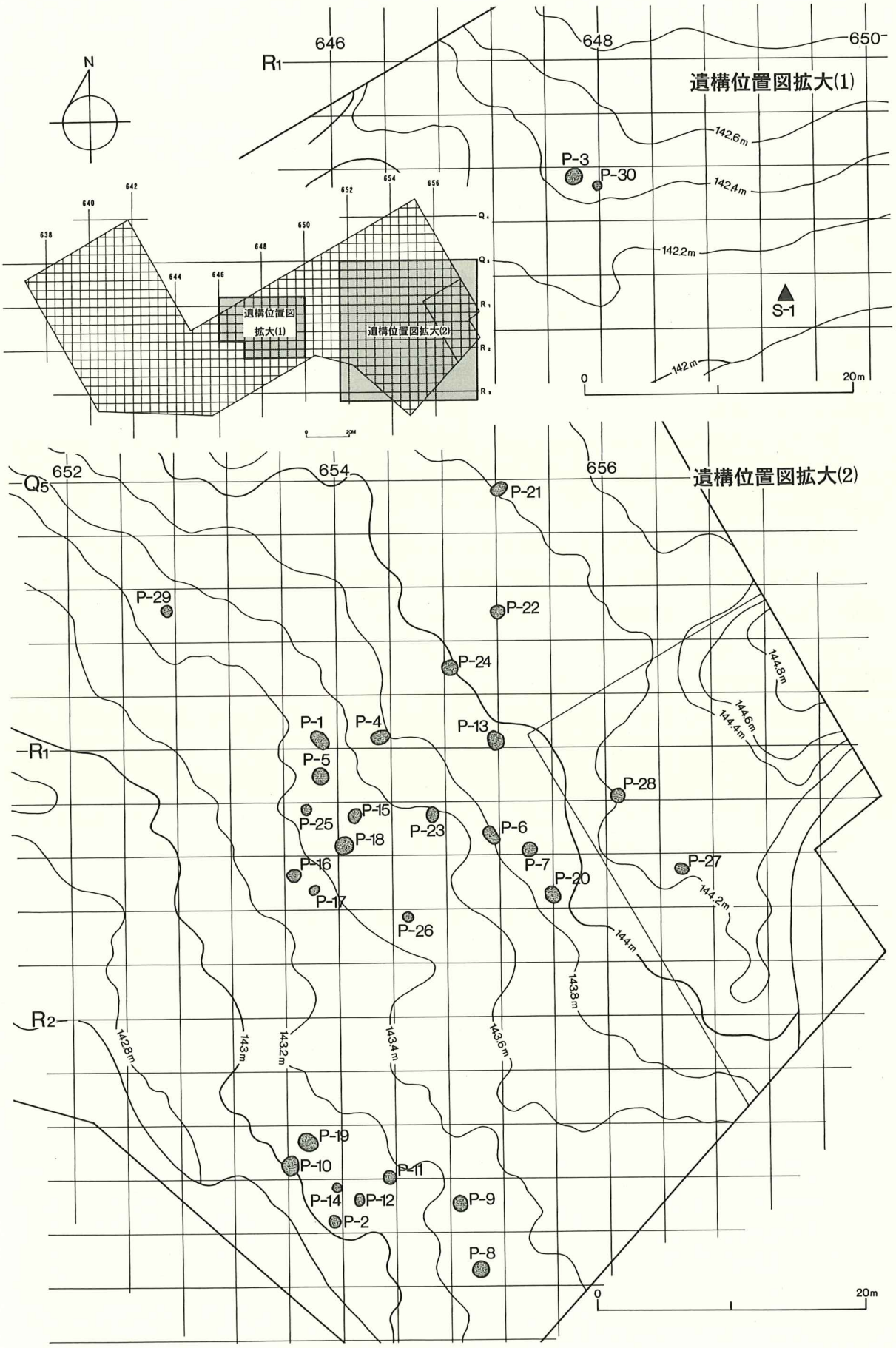
図区－1　遺跡の位置



図Ⅸ－2　発掘区設定図及び旧土地利用図



図区－3　最終面の地形と遺構位置図


N
遺構位置図拡大(1)
遺構位置図拡大(2)
646
648
650
R1
142.6m
142.4m
142.2m
142m
P-3
P-30
S-1
0
20m
652
654
656
Q5
R2
P-21
P-22
P-24
P-29
P-1
P-4
P-13
P-5
P-28
P-25
P-15
P-23
P-6
P-18
P-7
P-27
P-16
P-20
P-17
P-26
144.8m
144.6m
144.4m
144.2m
144m
143.8m
143.6m
143.4m
143.2m
143m
142.8m
P-19
P-10
P-11
P-14
P-12
P-9
P-2
P-8

図Ⅸ－4　遺構位置図（拡大）

2　基本土層

基本土層は以下のとおりである。また、遺跡の地形的概観についてもここで若干触れる。

Ⅰ層：表土、耕作土、家跡等の撹乱及び盛土。

水田の床土と畑の耕作土で、耕作土には遺物が多く包含されているが、水田の床土からはほとんど遺物が出土しない。層厚はそれぞれ10cm程度である。

Ⅱ層：黒色腐植土

遺物包含層である。縄文時代後期前葉から続縄文時代の遺物が出土している。主体となるのは縄文時代晩期と続縄文時代初頭のものである。小礫を多く含む。

Ⅲ層：Ⅱ層からⅣ層への漸移層。

黒褐色を呈する。

Ⅳ層：茶褐色砂礫層

ほとんどが小礫で構成される河川堆積物。沖積錐を形成する層で、約1.5ｍから２ｍの層厚がある。場所によっては砂礫と砂質粘土が見られ互層となっている。

Ⅴ層：茶褐色腐植土層

遺物包含層である。砂礫の混じった砂質粘土で、縄文時代早期から前期の遺物包含層である。一部に砂礫層をはさみ、Ⅴａ層とⅤｂ層に分層できる。Ⅴｂ層からは遺物は出土していない。

Ⅵ層：Ⅴ層からⅦ層への漸移層。

黄褐色を呈する。

Ⅶ層：茶褐色砂礫層

河川堆積物。Ⅳ層とほとんど変わらないが、砂礫がやや多い。平成10年度の調査区東側で、グライ化により青灰色を呈する部分がある。沖積錐を形成する層。

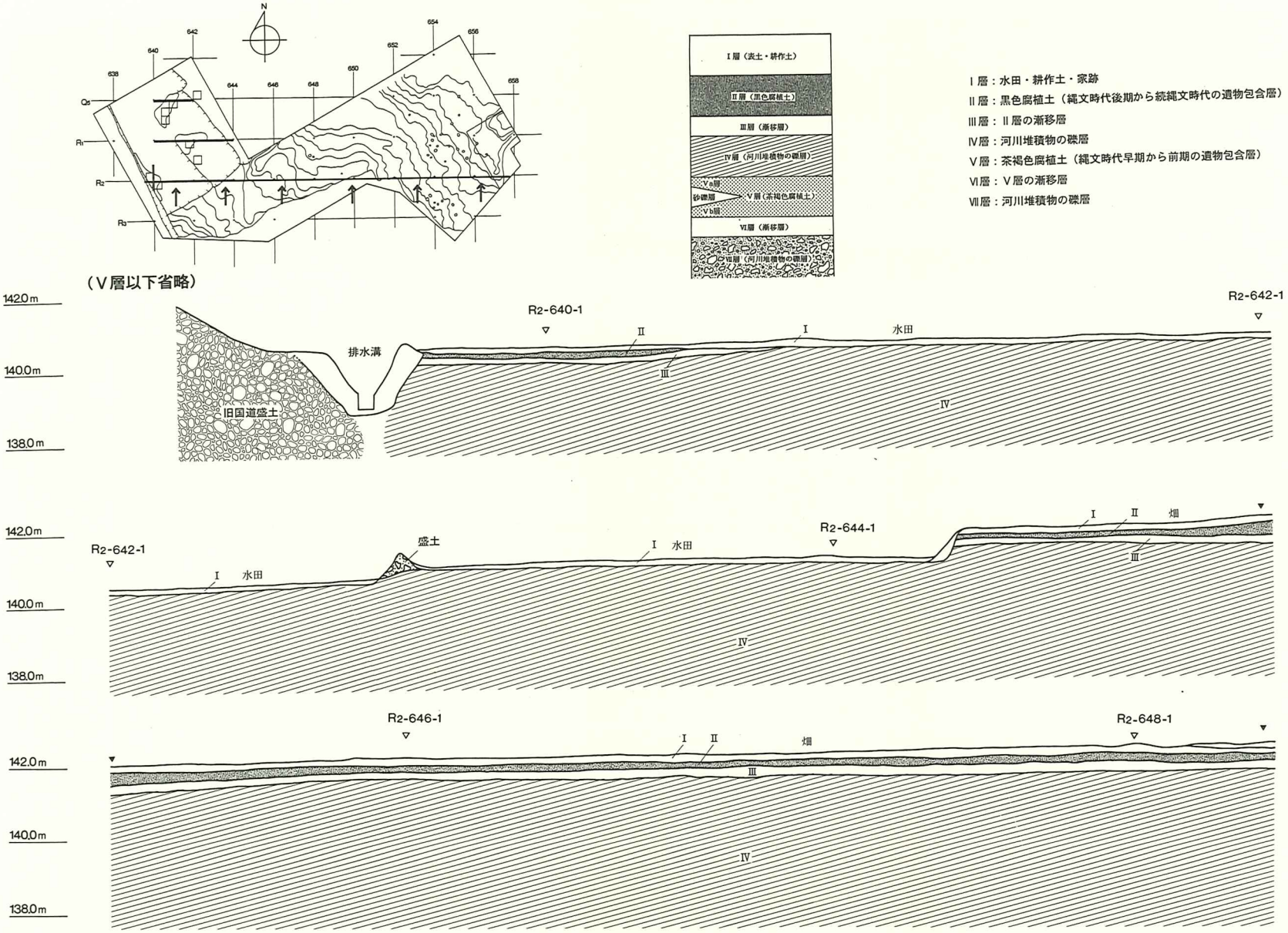
滝里12遺跡はパンケテシマナイ川右岸の沖積錐上に立地している。滝里遺跡群では空知川右岸側には、上流から奈江川、ペンケテシマナイ川、パンケテシマナイ川、ポンルベシベ川の主な支流が４本流れ込んでいる。合流点が空知川の攻撃面で崖になっているペンケテシマナイ川を除き、支流の右岸に形成された沖積錐上には、縄文時代晩期から続縄文時代初頭の墓域を形成する遺跡が存在する。奈江川右岸の滝里26遺跡、ポンルベシベ川右岸の滝里安井遺跡と本遺跡である。

沖積錐は、昭和30年代後半から40年代にかけて行われた造田工事により、階段状に地形が改変されている。調査区内は、遺構確認区とした西側が水田として利用されたため削平を受けているが、ほかは畑地または宅地であったため、自然地形を残す緩斜面であった。

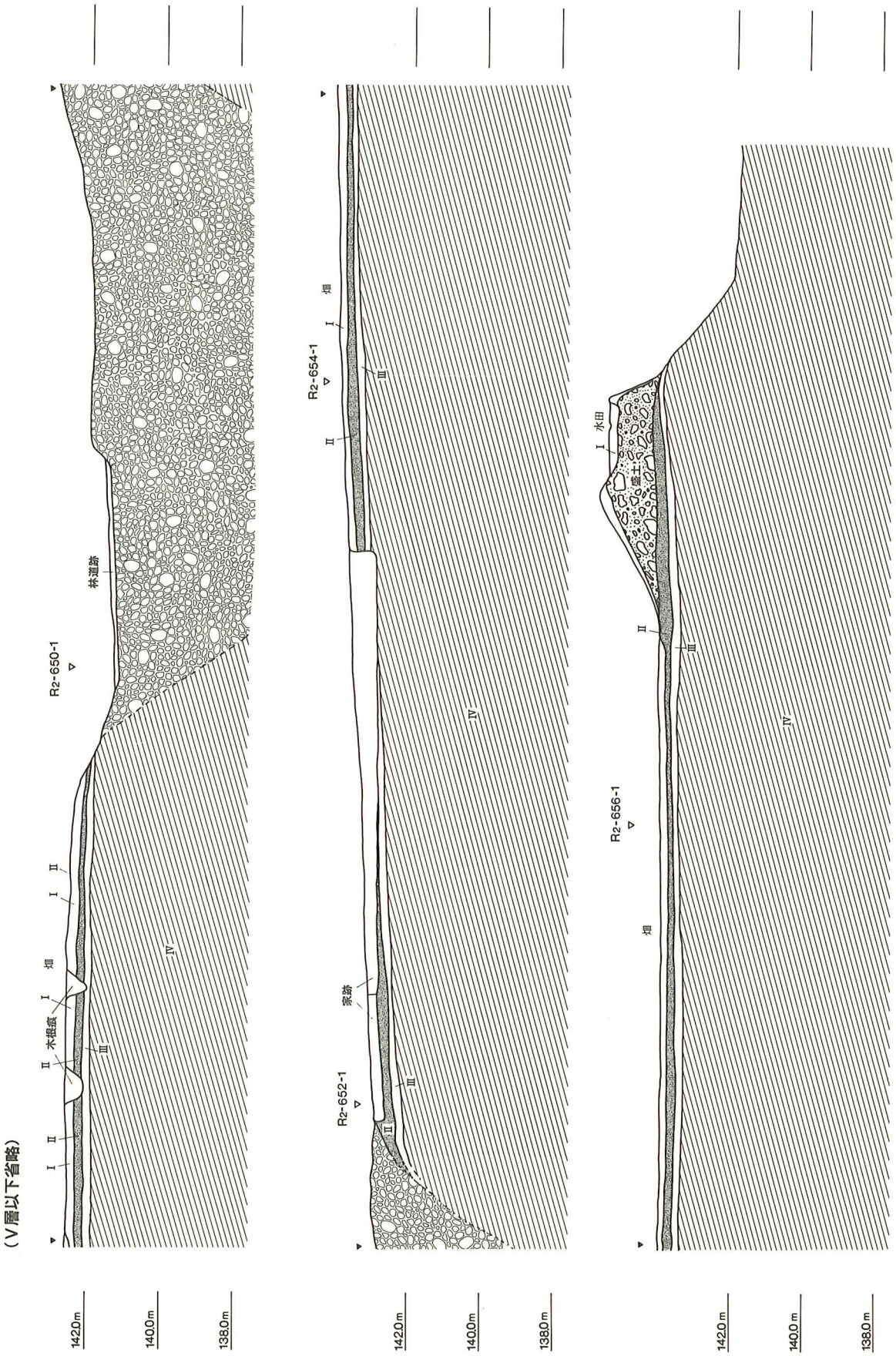
現在のパンケテシマナイ川は、河川改修のため直線的な流れになっているが、調査区南側で旧河道跡が確認され、拡張区の東側で造田工事の際の埋め土が見られることから、以前の河道は東側から調査区に沿うように蛇行して流れ、空知川に合流していたと考えられる。土壙がまとまって検出された調査区東側はパンケテシマナイ川に向かって舌状に張り出す地形であったと思われる。また、Ｓ－１を検出した位置から、南側の旧河道へ下る斜面には湧水が見られ、ダム用地となる以前は居住者の生活用水として利用されていた。

遺物包含層であるⅡ層とⅤ層の時期は腐植土が発達し、安定した状態にあったと思われるが、Ⅳ層は、土層断面に砂礫と砂質粘土の互層が見られ、土砂・礫の堆積を繰り返して沖積錐が発達し、現在の地形が形成されたのであろう。

（村田　大）


N
638
640
642
644
646
648
650
652
654
656
658
R1
R2
R3
I層（表土・耕作土）
II層（黒色腐植土）
III層（漸移層）
IV層（河川堆積物の礫層）
Va層
砂礫層
V層（茶褐色腐植土）
Vb層
VI層（漸移層）
VII層（河川堆積物の礫層）
I 層：水田・耕作土・家跡
II 層：黒色腐植土（縄文時代後期から続縄文時代の遺物包含層）
III 層：II 層の漸移層
IV 層：河川堆積物の礫層
V 層：茶褐色腐植土（縄文時代早期から前期の遺物包含層）
VI 層：V 層の漸移層
VII 層：河川堆積物の礫層
（V層以下省略）
142.0m
140.0m
138.0m
R2-640-1
R2-642-1
排水溝
旧国道盛土
水田
畑
盛土
R2-644-1
R2-646-1
R2-648-1

図IX－5　土層断面図(1)


（Ⅴ層以下省略）
142.0m
140.0m
138.0m
R2-650-1
林道跡
畑
木根痕
Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
R2-652-1
家跡
R2-654-1
R2-656-1
水田
盛土

図区－9　土層断面図(2)

3　Ⅱ層の調査

(1)　Ⅱ層の遺構と遺構出土の遺物

1）土壙

土壙は30基確認された。うち28基は調査区東側に集中する。北側と南側に別れて分布するが、中央の家跡の撹乱が大規模であり、この部分に土壙が存在した可能性がある。説明の中で、覆土上層、中層、下層とあるが、これは覆土の上位、中位、下位の意味で用いている。

Ｐ－１（図Ⅸ－７・８　図版Ⅸ－３）

位　　置：Q_5－652－25　R_1－652－５　**規　模**：1.56×1.50／1.32×0.79／0.75ｍ

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：Ｎ－54°－Ｗ　　**標　　高**：143.4ｍ

土層堆積状況を確認するため、654ラインにトレンチを掘開したところ、Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認したものである。覆土は、色調から３層に分層したが、基本的に小礫を含むⅣ層の掘り上げ土を、分けて埋め戻したものと思われる。壙底は平坦で、Ⅳ層を掘り込んでつくられている。壁は壙底から急激に立ち上がる。

遺物の出土状況は、覆土中層から上層にかけて、石鏃が29点とフレイク（31）１点がまとまって出土した。覆土２層を埋め戻したあとにまとめて置かれたか、袋状のものに入れて置かれたものであろう。形態と遺物出土状況から、土壙墓と考えられる。

遺物は、１がⅤ群ｃ類の土器片で、覆土１層から出土した。２～30の石鏃は剥片に簡単な二次加工を施し、三角形鏃様に仕上げられたもので、副葬用に製作されたものであろう。

時　　期：覆土の状況と出土遺物から縄文時代晩期後葉と考えられる。　（村田　大）

Ｐ－２（図Ⅸ－８　図版Ⅸ－４－１・２）

位　　置：R_2－652－20　　**規　　模**：0.98×0.87／0.79×0.7／0.5ｍ

平 面 形：ほぼ円形　　**長軸方向**：　－　　**標　　高**：143.0ｍ

土層堆積状況を確認するため、654ラインにトレンチを掘開したところ、Ⅲ層中で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は２層に砂質粘土を少量含む。この砂質粘土はⅣ層中に見られるものである。壙底はほぼ平坦で、壁は壙底から急激に立ち上がる。

遺物は、覆土からⅤ群ｃ類の土器片やフレイクが散発的に出土している。１は石槍の破片である。

時　期：出土遺物から縄文時代晩期後葉と考えられる。　（村田）

Ｐ－３（図Ⅸ－８　図版Ⅸ－４－３・４）

位　　置：R_1－646－15　　**規　　模**：1.28×1.06／0.87×0.80／0.36ｍ

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：Ｎ－57°－Ｅ　　**標　　高**：142.0ｍ

確認・調査：Ⅸ層上面で黒褐色土の落ち込みを確認した。平面形は確認面では楕円形、壙底部ではほぼ円形を呈する。壁の立ち上がりは、一部北西側が急だが、ほかは緩やかである。

時　　期：周辺包含層出土の遺物から、縄文時代晩期の遺構と思われる。　（影浦　覚）

Ｐ－４（図Ⅸ－９・10　図版Ⅸ－５）

位　　置：Q_5－654－21　　**規　模**：1.38×0.97／1.22×0.84／0.38ｍ

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：Ｎ－71°－Ｗ　　**標　　高**：143.7ｍ

水田盛土除去後のⅡ層調査中に、石斧がまとまって出土したことから、周辺を精査し黒色土の落ち込みとして確認した。覆土はⅣ層の掘り上げ土とⅡ層の混じった層が基本で、埋め戻されている。覆土１層にはこぶし大の礫が混じる。壙底は平坦で壁はほぼ垂直に立ち上がり、Ⅳ層を掘り込んで構築されている。

遺物の出土状況は、上層からはナイフ２点と石斧４点が出土した。このうち２のナイフは破片が覆土中層のものと接合しており、土壙が埋め戻される以前に破損していた可能性がある。下層からは石槍と大形のＲフレイクが出土した。上層、下層のものいずれも土壙の北東側から出土している。覆土の堆積と遺物出土状況から土壙墓と考えられる。

出土した遺物のうち、３の石斧は、擦り切りによるもの。９～11のＲフレイクは石材にいわゆる“花十勝”を用いている。

時　　期：出土遺物より、縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭と考えられる　　（村田　大）

Ｐ－５（図Ⅸ－11　図版Ⅸ－４－５・６）

位　　置：R_1－652－５　　**規　　模**：1.21×1.16／0.78×0.73／0.44ｍ

平 面 形：円形　　**長軸方向**：　－　　**標　　高**：143.5ｍ

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土はⅣ層の掘り上げ土を埋め戻したもので、小礫の多寡で分層した。壙底は平坦で、壁はゆるやかに立ち上がるが、壙口付近でほぼ垂直になる。

遺物の出土状況は、壙底にはベンガラが撒かれ、その中央から乳棒状の石斧(1)が出土した。形態と出土遺物から土壙墓であると思われる。

時　　期：出土遺物より、縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭と考えられる　　（村田）

Ｐ－６（図Ⅸ－12・13　図版Ⅸ－６－１～４）

位　　置：R_1－654－８・９　**規　　模**：1.46×0.95／1.29×0.85／0.55ｍ

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：Ｎ－37°－Ｗ　　**標　　高**：143.8ｍ

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は色調で分層したが、Ⅳ層の掘り上げ土で埋め戻されている。壙底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物の出土状況は、覆土から土器の小破片とフレイクが10点ほど出土した。壙底の２カ所に琥珀玉の集中がみられ、南側のものは連になっている。形態と遺物出土状況から土壙墓と考えられる。

遺物は、１はⅥ群ａ類土器の口縁部破片。２～21は琥珀製平玉である。一部に両側穿孔のものが見られる。完形のもの224点、半割のもの38点、破片48点で、合計310点出土した。直径が0.7～0.8㎜のものと0.9～1.0㎜のものにまとまりが見られる。

時　　期：出土遺物から続縄文時代初頭のⅥ群ａ類土器の時期と考えられる。　　（村田）

Ｐ－７（図Ⅸ－12・13　図版Ⅸ－６－５～８）

位　　置：R_1－654－９・14　**規　　模**：1.14×1.07／0.76×0.79／0.79ｍ

平 面 形：ほぼ円形　　**長軸方向**：　－　　**標　　高**：144ｍ

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は色調で分層したが、Ⅳ層の掘り上げ土で埋め戻されている。壙底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物の出土状況は「Ｐ－６」と同様に、覆土には土器片とフレイクが散在し、壙底に琥珀玉の集中が見られるが、連にはなっていない。形態と出土遺物から土壙墓であると考えられる。

遺物のうち、１はⅥ群ａ類の土器片で、地文の縄文は縦行する。口唇部がやや外反し、口唇内面に

縄の圧痕が加えられる。4～23は琥珀製平玉で、完形のもの99点、半割のもの22点、破片11点で、合計132点である。「P－6」のものと比較して小型で、0.6～0.7㎜前後のものが多い。

時　　期：出土遺物から続縄文時代初頭のⅥ群a類土器の時期と考えられる。　（村田）

P－8（図Ⅸ－14・15　図版Ⅸ－7－1・2）

位　　置：R_2－654－23　**規　　模**：1.23×1.19／0.46×0.76／0.32m

平 面 形：円形　**長軸方向**：－　**標　　高**：143.3m

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は主に小礫の多寡と色調で分層した。基本的にⅣ層の掘り上げ土である。壙底は平坦で、壁はゆるやかに立ち上がる。Ⅳ層を掘り込んでいる。

遺物の出土状況は、覆土上層に限られる。大形のトロニエム岩の礫が1点と、土器片やフレイクが散在する。棒状原石が1点出土している。

遺物はのうち、1・2がⅤ群c類。9は棒状原石で、二側縁に二次加工が施されている。

時　　期：出土遺物から縄文時代晩期後葉と考えられる。　（村田）

P－9（図Ⅸ－14・15　図版Ⅸ－7－3・4）

位　　置：R_2－654－18　**規　　模**：1.15×1.02／0.98×0.92／0.35m

平 面 形：楕円形　**長軸方向**：N－11°－W　**標　　高**：143.3m

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は、小礫を含むⅡ層を基本としている。Ⅳ層に見られる粘土や砂質土の混入の多寡で分層した。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。

遺物の出土状況は、覆土上層にトロニエム岩の大形礫が置かれ、Ⅴ群c類の土器片とフレイクが散在する。

時　　期：出土遺物から縄文時代晩期後葉と考えられる。　（村田）

P－10（図Ⅸ－14・15　図版Ⅸ－7－5・6）

位　　置：R_2－652－15　**規　　模**：1.45×1.20／1.22×1.01／1.18m

平 面 形：楕円形　**長軸方向**：N－9°－W　**標　　高**：143m

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は1層が小礫の多い黒褐色土。2・3層は砂と粘土が少量混じる。壙底は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。

遺物の出土状況は、覆土中にⅤ群土器の小破片とフレイクが散見されるほか、覆土中層から礫が4点出土している。

遺物は、1・2がⅤ群c類土器の口縁部破片。1は沈線で描かれた文様を刺突文で充填するもの。

時　　期：出土遺物から縄文時代晩期後葉と考えられる。　（村田）

P－11（図Ⅸ－16　図版Ⅸ－8－1・4）

位　　置：R_2－654－11・16　**規　　模**：1.03×0.92／0.91×0.79／0.45m

平 面 形：ほぼ円形　**長軸方向**：－　**標　　高**：143.2m

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は色調で分層したが、基本的には小礫の多いⅡ層である。壙底は平坦で、壁は急激に立ち上がるが、東側がややゆるやかである。

遺物の出土状況は、覆土中にⅤ群土器の小破片とフレイクが散在するほか、覆土上層から下層にかけて礫が6点、たたき石が1点出土している。

時　　期：出土遺物から縄文時代晩期後葉と考えられる。　（村田）

P－12（図Ⅸ－16　図版Ⅸ－８－２・４）

位　　置：R_2－654－16　　**規　　模**：0.95×0.77／0.87×0.61／0.33ｍ

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：Ｎ－７°－Ｗ　　**標　　高**：143.1ｍ

Ⅳ層上面で確認した。覆土はこぶし大の礫が混じる暗褐色土の単一層である。覆土上層からトロニエム岩の礫が１点出土している。

時　　期：周辺の遺構及び出土遺物から縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭と考えられる。(村田)

P－13（図Ⅸ－17　図版Ⅸ－８－３・４）

位　　置：Q_5－654－23・24　R_1－654－３・４　**規　　模**：1.41×1.24／1.1×0.92／0.43ｍ

平 面 形：不整円形　　**長軸方向**：　－　　**標　　高**：143.9ｍ

土層堆積状況を確認するため、R_1ラインにトレンチを掘開したところ、Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は小礫の多い黒色土の１層と黒褐色土の２層からなる。遺物出土状況は覆土中層から有茎石鏃が２点と東側の壁付近から石斧が１点出土しているほか、壙底から大形の礫が11点まとまって出土している。

時　　期：出土遺物から縄文時代晩期後葉と考えられる。　(村田)

P－14（図Ⅸ－17　図版Ⅸ－８－５・６）

位　　置：R_2－652－20　　**規　　模**：0.69×0.66／0.55×0.57／0.36ｍ

平 面 形：円形　　**長軸方向**：　－　　**標　　高**：143.1ｍ

土層堆積状況を確認するため、654ラインにトレンチを掘開したところ、東側の土層断面に黒色土の落ち込みがあり確認できた。覆土は小礫の混じる黒褐色土と暗茶褐色土からなるが、単一層と見てよいものである。遺物出土状況は、Ⅴ群土器の小破片とフレイクが散見できる程度である。覆土上層からトロニエム岩の礫が１点出土している。

出土遺物のうち、１は１条の沈線と棒状工具による斜めの刺突が施される。

時　　期：周辺の遺構及び出土遺物より、縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭と考えられる。

(村田)

P－15（図Ⅸ－18　図版Ⅸ－９）

位　　置：R_1－654－６　　**規　　模**：1.12×1／0.83×0.72／0.46ｍ

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：Ｎ－５°－Ｗ　　**標　　高**：143.5ｍ

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は１層が小礫の混じる暗褐色土。２層が少し粘性のある褐色土。３層は小礫が混じる軟らかい暗黄褐色土。いずれもⅡ層の黒色土とⅣ層の掘り上げ土が混じったもので、埋め戻されている。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がり、壙口に向かってゆるやかに開く。壙底からナイフが２点と石斧が１点出土している。覆土の堆積と遺物出土状況から土壙墓と考えられる。

時　　期：遺構周辺の出土遺物より、縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭と考えられる。(村田)

P－16（図Ⅸ－19　図版Ⅸ－10－１～３）

位　　置：R_1－652－15　　**規　　模**：1.06×0.93／0.88×0.78／0.29ｍ

平 面 形：不整円形　　**長軸方向**：　－　　**標　　高**：143.3ｍ

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は基本的に小礫を含むⅣ層にⅡ層の黒色土が混

じった土層である。壙底付近の砂質粘土が少量混じる覆土３層で、ベンガラが少量であるが確認された。壙底は平坦で。壁は急に立ち上がる。

遺物の出土状況は、覆土上層に1,497点のフレイク・チップが集中して出土した。ほかに覆土中にⅤ群ａ類・ｃ類の土器片とＲフレイクが散見されるが、意識的に埋められたものかどうかは不明である。形状とベンガラの存在から土壙墓と考えられる。

時　　期：周辺の遺構及び出土遺物より、縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭と考えられる。

（村田）

Ｐ－17（図Ⅸ－19　図版Ⅸ－10－４～６）

位　　置：R_1－652－15　　**規　　模**：0.78×0.6／0.69×0.55／0.3ｍ

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：Ｎ－64°－Ｗ　　**標　　高**：143.3ｍ

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は小礫を多く含む黒色土が主体である。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。

遺物の出土状況は、図示したⅤ群ｃ類土器の浅鉢が、覆土上層から出土したのみである。

時　　期：出土遺物から縄文時代晩期後葉と考えられる。　（村田）

Ｐ－18（図Ⅸ－20～23　図版Ⅸ－11～13）

位　　置：R_1－652－10　　**規　　模**：1.41×1.26／1.05×1.01／0.7ｍ

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：Ｎ－50°－Ｗ　　**標　　高**：143.4ｍ

土層堆積状況を確認するため、654ラインにトレンチを掘開したところ、Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認したものである。覆土は小礫、砂、粘土の多寡、色調で５層に分層したが、すべてⅣ層の掘り上げ土を分けて埋め戻したものである。覆土にはⅡ層の黒色土が多く混入することから、掘り込み面はⅡ層上面あるいはⅡ層中と考えられる。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。Ⅳ層を掘り込んで構築されている。

遺物の出土状況は、覆土上層は、口縁部が打ち欠かれたⅤ群ｃ類の完形の鉢形土器と石斧に形態が似た棒状礫、フレイクが出土している。壙底の北側から43点の石鏃がまとまって出土し、東側に重量11kgの砂岩礫と周辺に加工痕のある閃緑岩の礫がおかれている。また、中央付近にナイフ３点と石斧４点が折り重なるように出土している。形態と覆土の堆積、遺物の出土状況から土壙墓と考えられる。

まとまって出土した石鏃はほとんどが三角形鏃であるが、42・43は柳葉形の石鏃である。このように副葬された三角形鏃の中に、数点の柳葉形鏃が見られる例は、周辺では富良野市無頭川遺跡に類例がある。

時　　期：出土遺物から縄文時代晩期後葉と考えられる。　（村田）

Ｐ－19（図Ⅸ－23　図版Ⅸ－21－19）

位　　置：R_2－652－15　　**規　　模**：1.49×1.26／1.3×1.1／0.31ｍ

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：Ｎ－53°－Ｗ　　**標　　高**：143.1ｍ

Ⅳ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土はこぶし大の礫が混じる黒色土で単一層である。壙底は平坦だが、南東側にやや傾いている。遺物出土状況は、覆土からⅤ群土器の小破片が散見される程度である。

時　　期：周辺の遺構及び出土遺物より、縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭と考えられる。

（村田）

P－20（図Ⅸ－24～38　図版Ⅸ－14～20）

位　　置：R_1－654－14・15　**規　　模**：1.27×1.03／0.92×0.73／0.52m

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：N－50°－W　　**標　　高**：143.9m

水田盛土除去後のⅡ層調査中に、遺物が集中して出土したことにより確認した土壙である。明確なプランを確認できたのは、Ⅳ層上面であった。覆土は小礫の多寡、砂質粘土の混入度合いで分層したが、基本的にはⅣ層の掘り上げ土を、分けて埋め戻したものである。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がるが、南東側はややゆるやかである。

遺物は、覆土の中層から上層にかけて出土している。トロニエム岩の大形礫が1点上層に置かれている。土器はⅥ群a類土器が破片で見られる。石器は石鏃が194点出土しており、4つの集中として確認することができた。上位の石鏃集中1と2は、実用的な形態を持つ小形ものが中心で、下位の石鏃集中3と4は、副葬用と考えられるやや大形のものが多く、また、ほとんどが石材としていわゆる“花十勝”と呼ばれる黒曜石を用いている。ほかの石器は、ナイフ、スクレイパー、石錐、石斧、砥石、矢柄研磨器などが出土している。フレイクは197点出土しており、集中も5カ所で見られた。大きさは長さ5cm前後でそろっている。石材は下位の石鏃集中3・4と同様に“花十勝”がほとんどである。覆土の堆積と遺物出土状況から土壙墓と考えられる。

出土した遺物のうち、1～3はⅥ群a類土器。1は胴部破片で地文は縦の縄文である。2・3は底部破片。206は緑色泥岩製の石斧で、基部に装着痕と思われる擦痕が見られる。

時　期：出土遺物から続縄文時代初頭のⅥ群a類土器の時期と思われる。　（村田）

P－21（図Ⅸ－39・40　図版Ⅸ－21－3・4、－22－1）

位　　置：Q_5－654－3・4　**規　　模**：1.26×0.95／1.14×0.85／0.53m

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：N－59°－W　　**標　　高**：144.2m

Ⅱ層調査中に、トロニエム岩の大形礫が出土し、遺構の存在が想定されたため周辺を精査しⅣ層上面で黒色土の落ち込みとして確認した。覆土はⅣ層の掘り上げ土とⅡ層の黒色土の混じった層が基本であるが、3層はⅡ層の混入がほとんど見られないため、壁の崩落土の可能性がある。壙底は平坦で、壁は急激に立ち上がる。

遺物の出土状況は、覆土上層の東側にトロニエム岩の大形礫、Ⅵ群a類土器が見られ、覆土中層の西側からたたき石が1点出土した。壙底からは南側にナイフ、大形のRフレイクが折り重なって出土している。形態と遺物出土状況から、土壙墓と考えられる。

時　　期：出土遺物から続縄文時代初頭のⅥ群a類土器の時期と考えられる。　（村田）

P－22（図Ⅸ－40　図版Ⅸ－21－2、22－2）

位　　置：Q_5－654－13・14　**規　　模**：1.08×0.99／0.86×0.83／0.37m

平 面 形：円形　　**長軸方向**：－　　**標　　高**：144.2m

Ⅳ層上面で、黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は1層が小礫の多い黒色土。2層は1層に比して砂がやや多く、こぶし大の礫が混じる。壙底は平坦で壁は急に立ち上がる。遺物の出土状況は覆土からⅤ群a類・c類土器の小破片が散見できる程度である。

時　　期：周辺の遺構及び出土遺物より、縄文時代晩期前葉から続縄文時代初頭と考えられる。

（村田）

P－23（図Ⅸ－41　図版Ⅸ－21－5・6、－22－3～5）

位　　置：R_1－654－7　　**規　　模**：1.17×0.88／0.99×0.76／0.51m
平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：N－6°－W　　**標　　高**：143.6m

風倒木痕に落ち込んだ黒色土を調査中、琥珀製の平玉が1点出土し、遺構の存在が想定されたため、周囲の精査と小トレンチの調査で確認した。風倒木痕の軟らかい土質を選択して掘り込んだものであろう。覆土は小礫を含む黒色土が主体で、Ⅳ層に見られる砂質粘土がブロック状に混入する。すべて埋め戻されている。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。

遺物の出土状況は、Ⅵ群a類土器の破片と石鏃、石核が覆土中から出土している。琥珀玉は覆土中層から散見されるようになり、壙底付近で多い。北東側に集中箇所が見られるが連にはなっていない。覆土の堆積と遺物出土状況から土壙墓と考えられる。

遺物は、2・3がⅥ群a類土器の口縁部破片で、同一個体である。口唇部直下に刺突列が巡り、縄線で三角形もしくは菱形の文様が描かれるもの。11～30は琥珀製の平玉である。一部に両側穿孔のものが見られる。完形のもの704点、半割のもの316点、破片297点で、合計1,317点である。直径が0.7～0.9㎜のものにまとまりが見られる。

時　期：出土遺物から続縄文時代初頭のⅥ群a類土器の時期と考えられる。　（村田）

P－24（図Ⅸ－42　図版Ⅸ－23－1・2）
位　　置：Q_5－654－17・18　**規　　模**：1.16×1.14／0.97×0.96／0.36m
平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：N－25°－W　　**標　　高**：144m

Ⅳ層上面で、黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は小礫の多い黒色土で単一層である。壙底は平坦で、壁はゆるやかに立ち上がる。遺物は覆土中から散見される程度である。

時　　期：周辺の遺構及び出土遺物より、縄文時代晩期から続縄文時代初頭と考えられる。（村田）

P－25（図Ⅸ－42・43　図版Ⅸ－23－3～6、－24－1）
位　　置：R_1－652－10　　**規　　模**：0.77×0.66／0.64×0.54／0.27m
平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：N－18°－W　　**標　　高**：143.4m

Ⅳ層上面で、黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は小礫を含む黒色土でⅡ層にⅣ層の掘り上げ土が少量混じったもので、埋め戻されている。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。

出土した遺物は蛇紋岩製の玉が106点のみである。玉については第ⅩⅦ章で別に述べる。覆土の上層から下層まで散在しており、数回に分けて埋め戻されたのであろう。遺物の出土状況から土壙墓と考えられる。

時　　期：周辺の遺構及び出土遺物より、縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭と考えられる。
（村田）

P－26（図Ⅸ－44　図版Ⅸ－24－2・4）
位　　置：R_1－654－17　　**規　　模**：0.76×0.72／0.63×0.66／0.16m
平 面 形：円形　　**長軸方向**：－　　**標　　高**：143.5m

Ⅳ層上面で、黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は小礫を含む黒色土である。壙底は平坦で、壁はややゆるやかに立ち上がる。遺物はⅤ群c類土器が104点、フレイクが4点、出土している。

時　　期：出土遺物から、縄文時代晩期後葉のⅤ群c類の時期と考えられる。　（村田）

P－27（図Ⅸ－44　図版Ⅸ－25－１～３）

位　　置：R_1－656－12　　**規　　模**：1.05×0.82／0.86×0.69／0.39m

平 面 形：楕円形　　**長軸方向**：N－75°－W　　**標　　高**：143.3m

拡張区のⅣ層上面で、黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は小礫を含む黒色土と壙底の壁際に砂質粘土を含む褐色土が見られる。壙底は平坦で、壁は急に立ち上がる。石鏃が１点、フレイクが７点出土したのみである。

時　　期：周辺の遺構及び出土遺物より、縄文時代晩期後葉から続縄文時代初頭と考えられる。

（村田）

P－28（図Ⅸ－45　図版Ⅸ－25－４～８）

位　　置：R_1－656－１・６　**規　　模**：1.10×0.95／0.8×0.79／0.66m

平 面 形：円形　　**長軸方向**：　－　**標　高**：144.3m

拡張区のⅣ層上面で、黒色土の落ち込みとして確認した。覆土は１層がⅡ層の流れ込みである。２～４層は小礫、砂、粘土の多寡で分層したが、基本的にはⅣ層の掘り上げ土で、埋め戻された土である。壙底は平坦で、急に立ち上がるが、南東側がややゆるやかである。

遺物の出土状況は、壙底付近にⅤ群ｃ類土器の深鉢が１個体、土圧でつぶれた状態で出土した。底部が打ち欠かれている。土器の直下から大形のフレイクが１点出土している。形態と遺物出土状況から土壙墓と考えられる。

時　期：出土遺物から縄文時代晩期後葉のⅤ群ｃ類土器の時期と考えられる。（村田）

P－29（図Ⅸ－46　図版Ⅸ－26－１・２）

位　　置：Q_5－652－12　　**規　　模**：0.84×0.79／0.68×0.63／0.26m

平 面 形：円形　　**長軸方向**：　－　　**標　　高**：143.5m

林道の盛土除去後、Ⅳ層上面で、黒色土の落ち込みとして確認した。１層は小礫の混じる黒色土で、２層はもろく壁の崩落土と考えられる。壙底は平坦で、壁はゆるやかに立ち上がる。

覆土からⅣ群ａ類の土器片が出土した。

時　　期：出土遺物から縄文時代後期前半のⅣ群ａ類の時期と考えられる。（村田）

P－30（図Ⅸ－46　図版Ⅸ－26－３・５）

位　　置：R_1－656－15　　**規　　模**：0.68×0.67／0.38×0.4／0.26m

平 面 形：円形　　**長軸方向**：　－　　**標　　高**：142.5m

Ⅳ層上面で、黒色土の落ち込みとして確認した。壙底は皿状で壁はゆるやかに立ち上がる。遺物はⅤ群ｃ類土器の破片とフレイクが覆土から出土している。

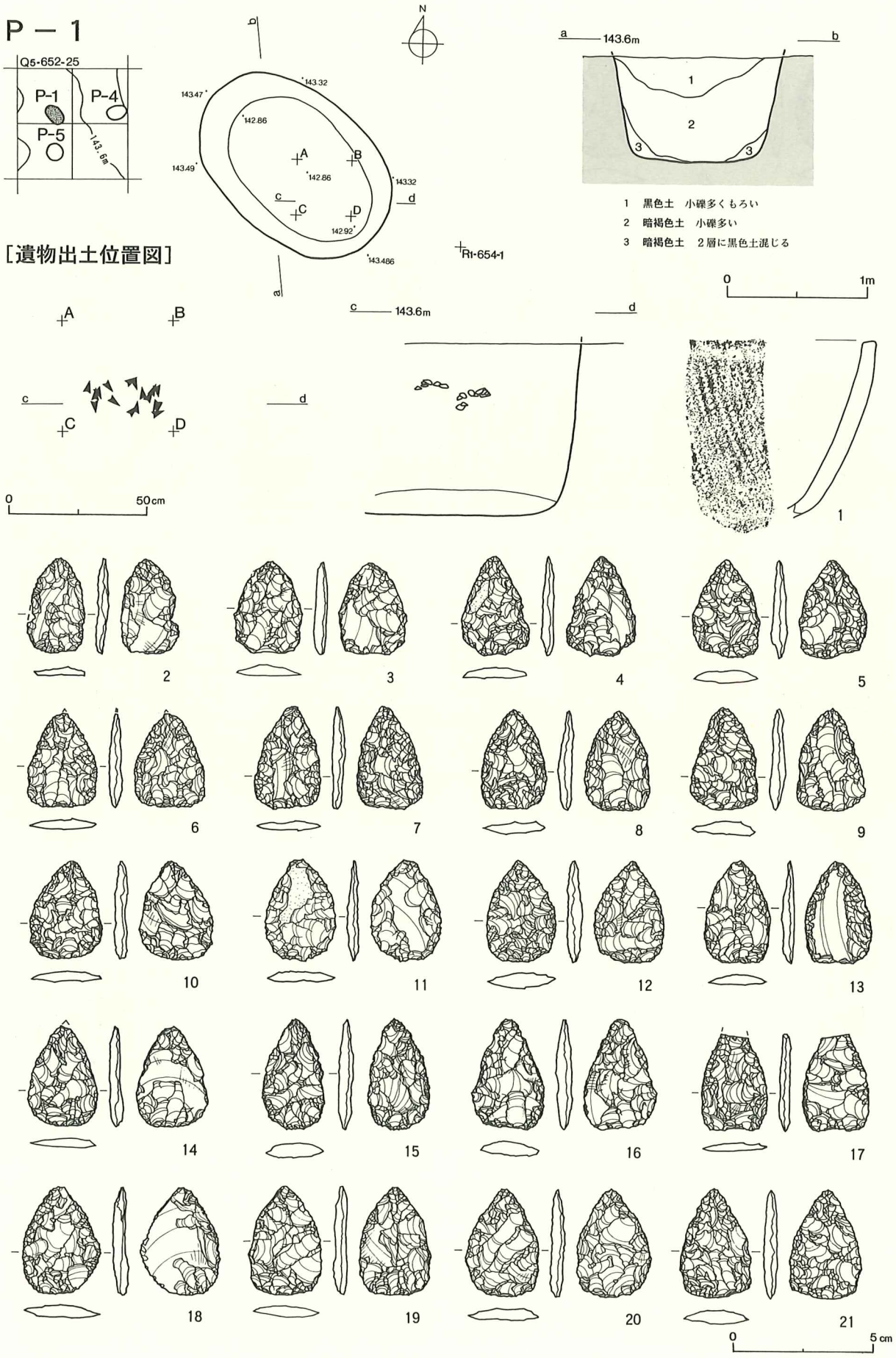
時　　期：出土遺物から縄文時代晩期後葉のⅤ群ｃ類土器の時期と考えられる。（村田）

２）集石

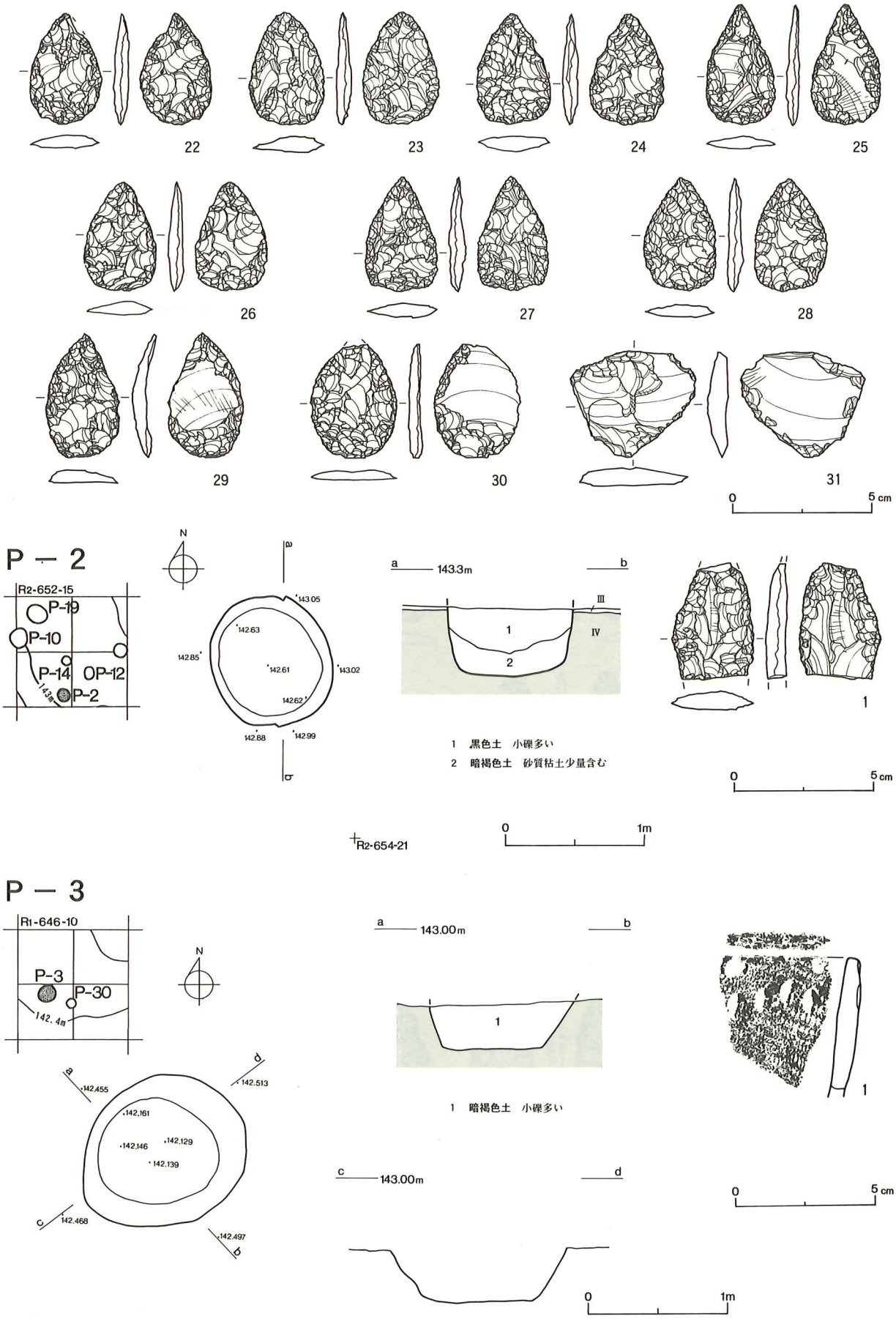
S－１（図Ⅸ－46　図版Ⅸ－26－４）

位　　置：R_1－648－24

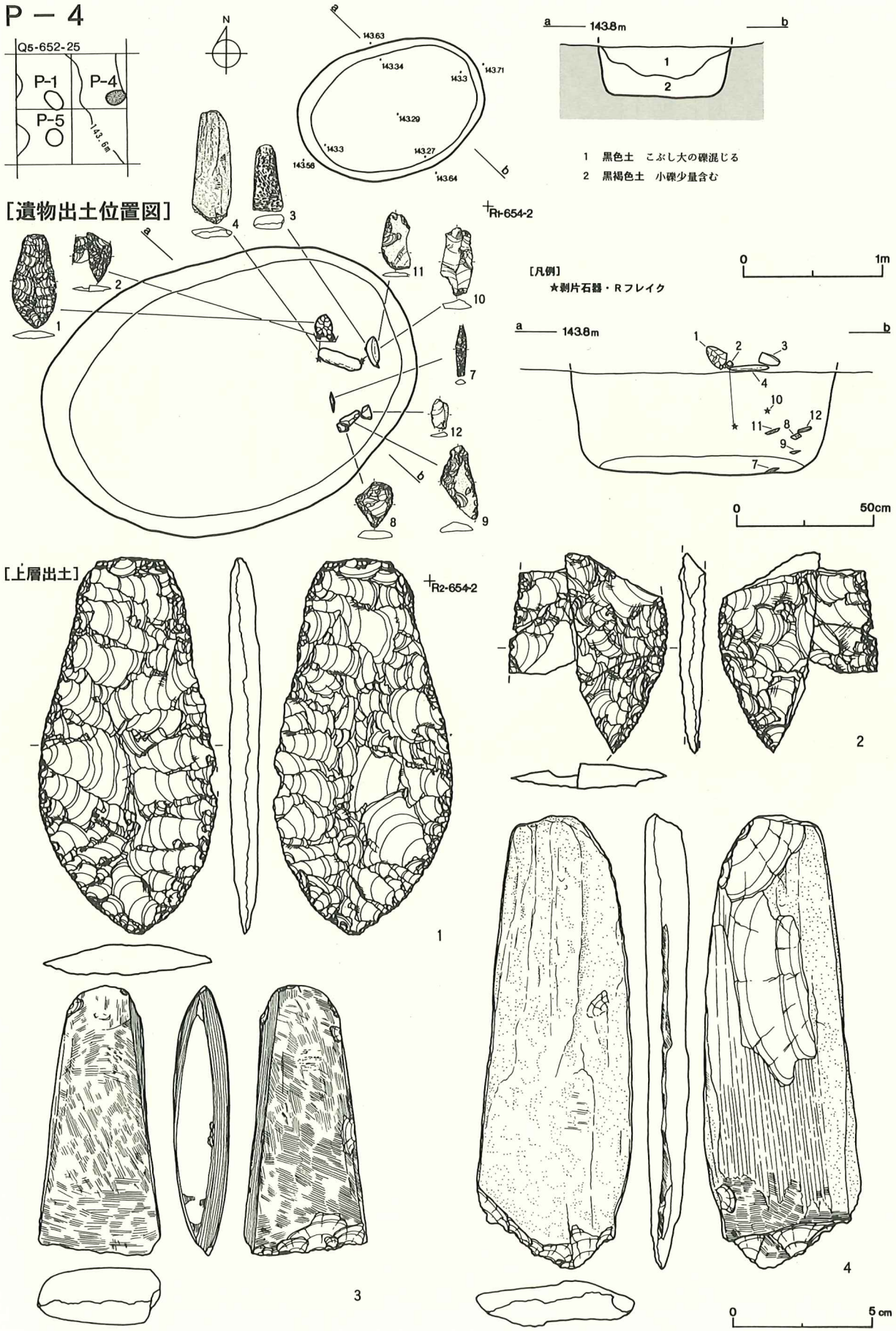
人頭大の礫が５点出土し、そのうち４点が被熱し、赤色化している。（村田）


P－1
Q5-652-25
P-1
P-4
P-5
143.5m
N
143.47
143.32
142.86
143.49
A
B
C
D
142.92
143.486
R1-654-1
a
b
c
d
143.6m
1
2
3
1　黒色土　小礫多くもろい
2　暗褐色土　小礫多い
3　暗褐色土　2層に黒色土混じる
0
1m
[遺物出土位置図]
50cm
5cm

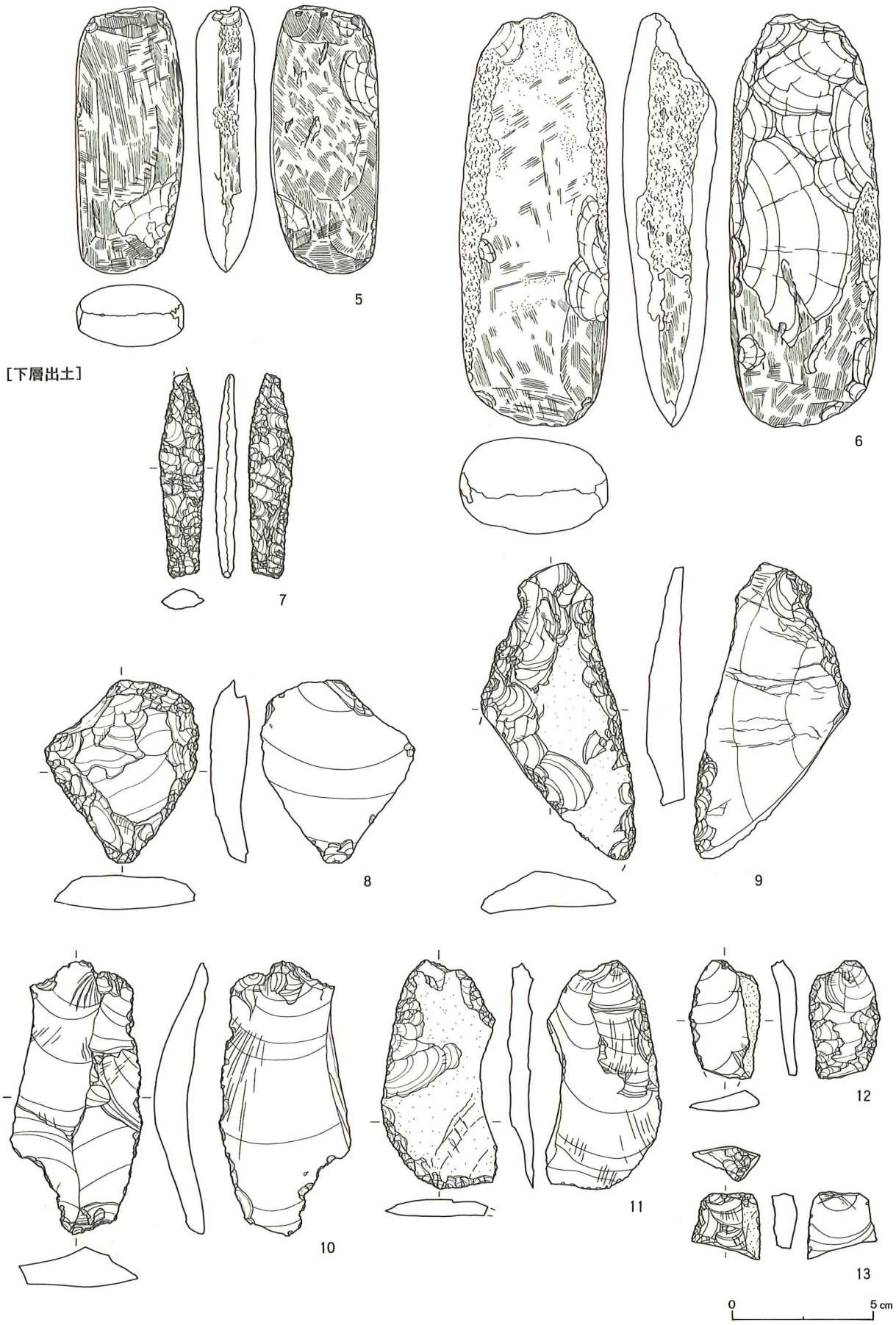
図Ⅸ－7　P－1


22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
0
5cm
P－2
R2-652-15
P-19
P-10
P-14
P-12
P-2
143.3m
N
a
b
c
d
143.05
142.63
142.85
142.61
143.02
142.62
142.88
142.99
143.3m
Ⅲ
Ⅳ
1
2
1　黒色土　小礫多い
2　暗褐色土　砂質粘土少量含む
1
0
5cm
R2-654-21
0
1m
P－3
R1-646-10
P-3
P-30
142.4m
N
a
b
c
d
142.455
142.513
142.161
142.146
142.129
142.139
142.468
142.497
143.00m
1
1　暗褐色土　小礫多い
1
0
5cm
143.00m
0
1m

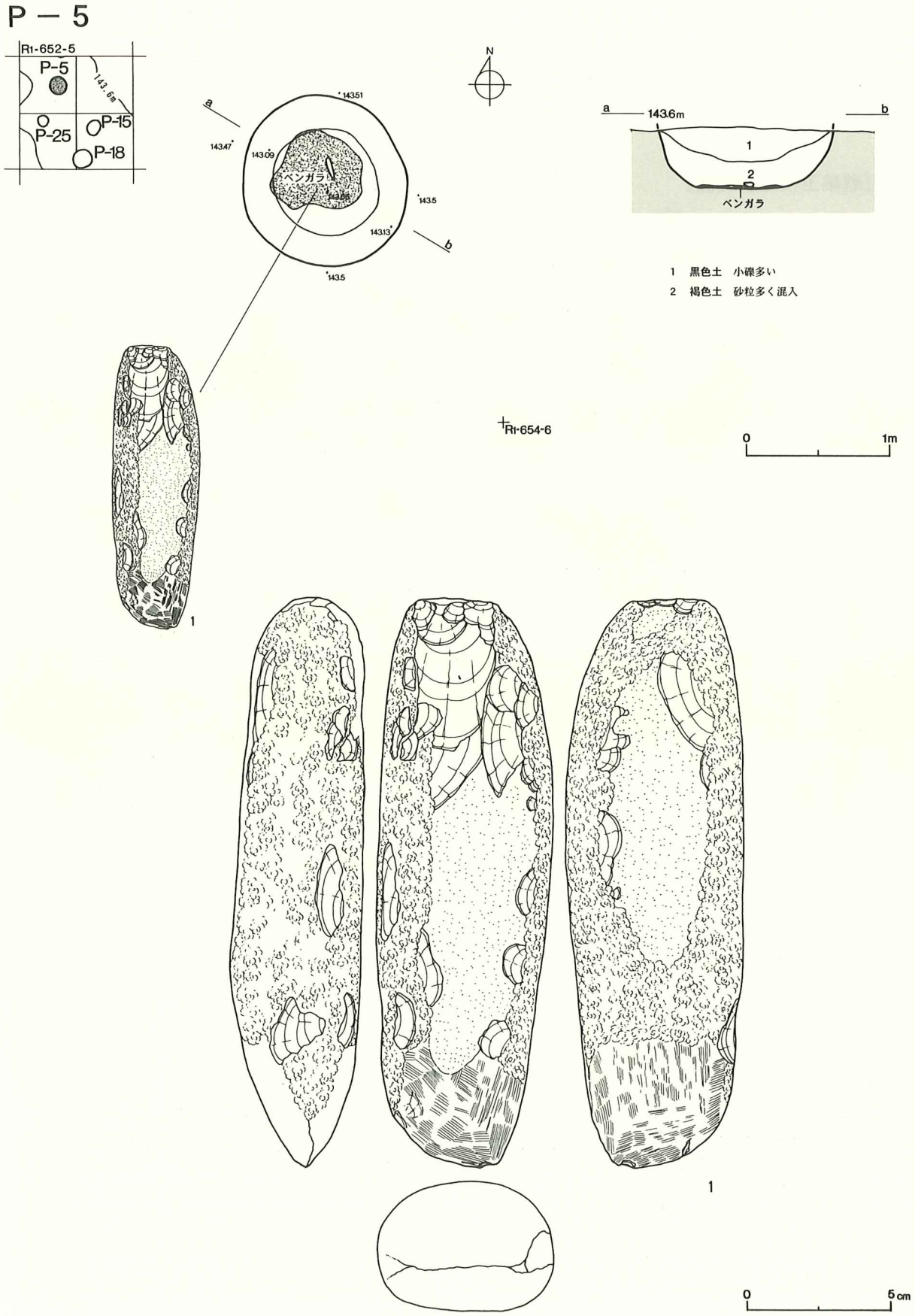
図Ⅸ－8　P－1(2)・2・3


P－4
Q5-652-25
P-1
P-4
P-5
143.6m
N
143.63
143.34
143.71
143.3
143.29
143.3
143.27
143.56
143.64
a
b
1　黒色土　こぶし大の礫混じる
2　黒褐色土　小礫少量含む
143.8m
[遺物出土位置図]
R1-654-2
[凡例]
★剥片石器・Rフレイク
0
1m
50cm
[上層出土]
R2-654-2
5cm

図Ⅸ－9　P－4(1)

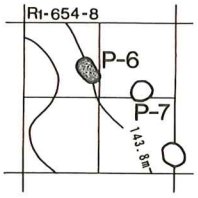


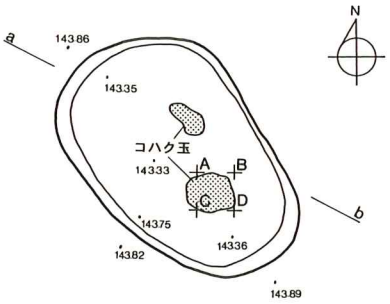
図Ⅸ－10　P－4(2)

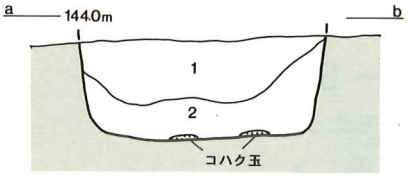

P－5
R1-652-5
P-5
143.6m
P-25
P-15
P-18
N
a
b
143.51
143.47
143.09
ベンガラ
143.5
143.13
143.5
143.6m
1
2
ベンガラ
1　黒色土　小礫多い
2　褐色土　砂粒多く混入
R1-654-6
0
1m
1
1
0
5cm

図Ⅸ－11　P－5

P－6

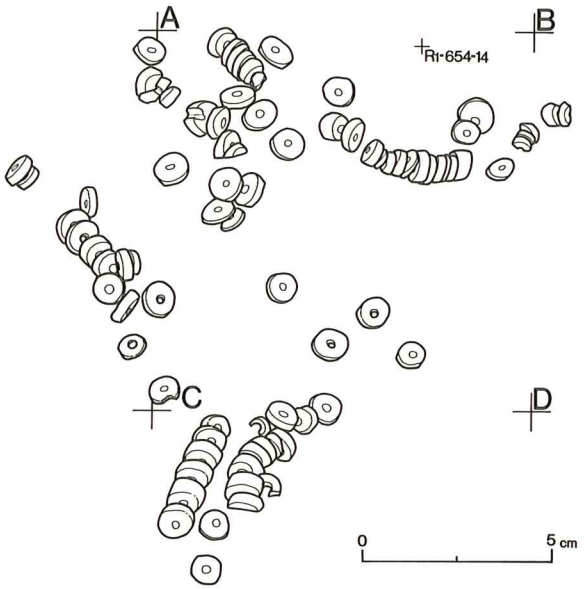


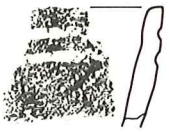




1　黒色土　Ⅱ層小礫多い
2　褐色土　小礫多い

[琥珀玉出土状況図]



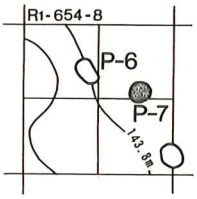


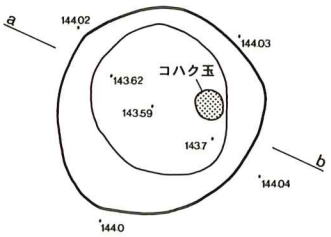
1

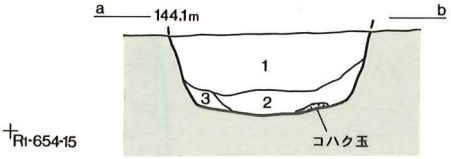
0　1m

0　5 cm

P－7

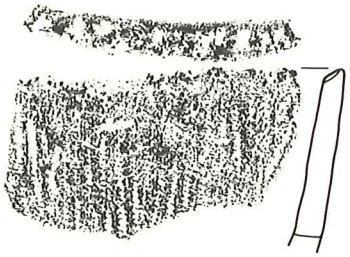




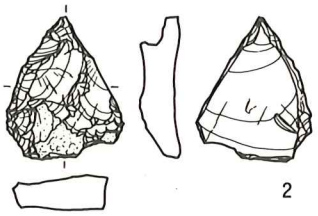


1　黒色土　こぶし大の礫多い
2　褐色土　小礫多い
3　黄色土　Ⅳ層の粘土（壁の崩落土）

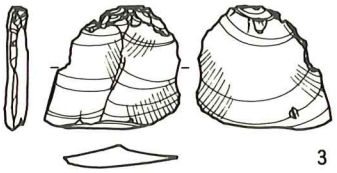
0　1m



1



2

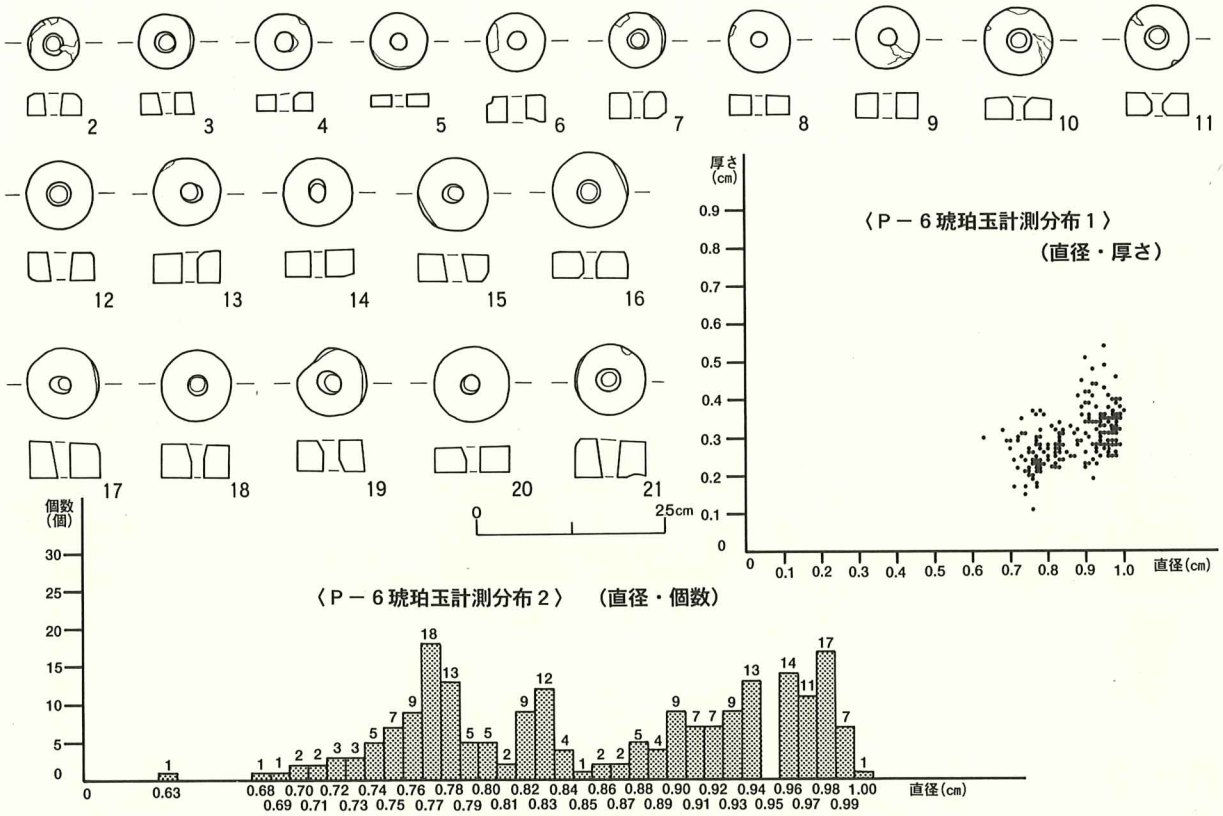


3

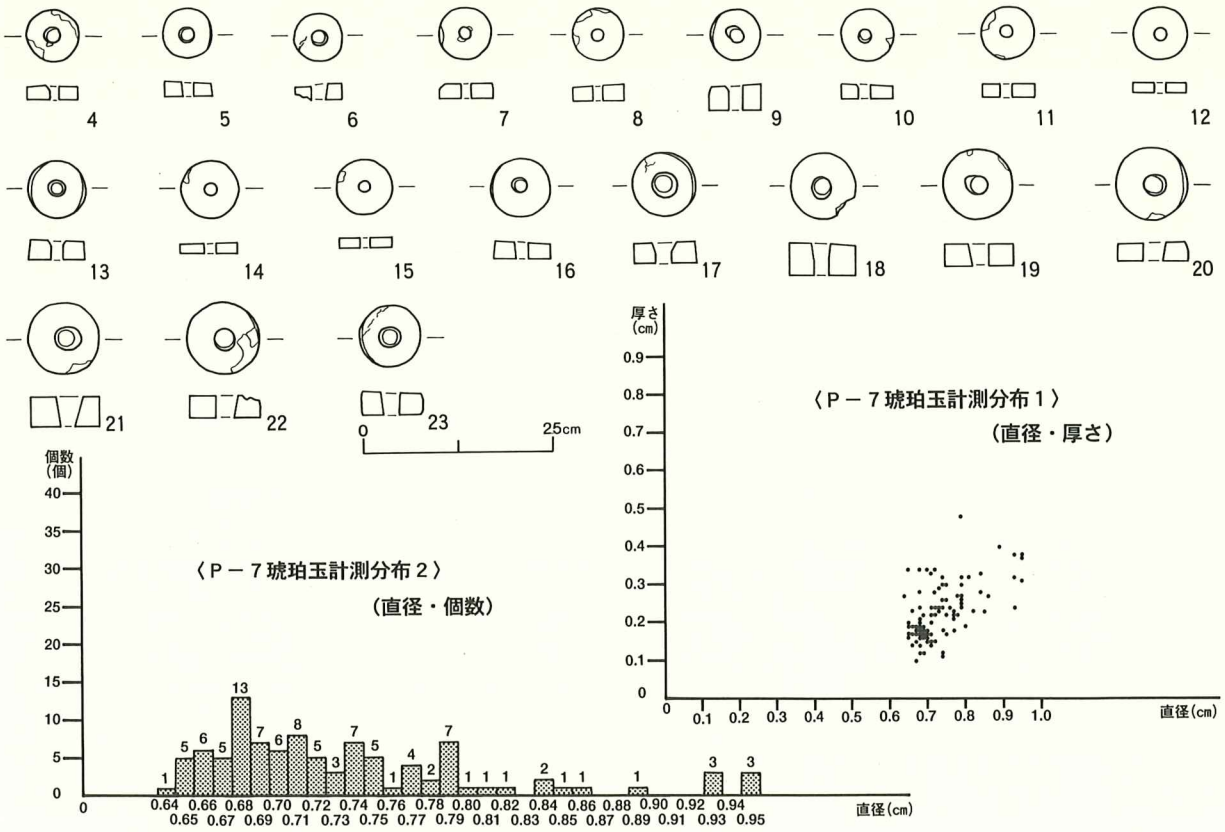
0　5 cm

図Ⅸ－12　P－6・7(1)

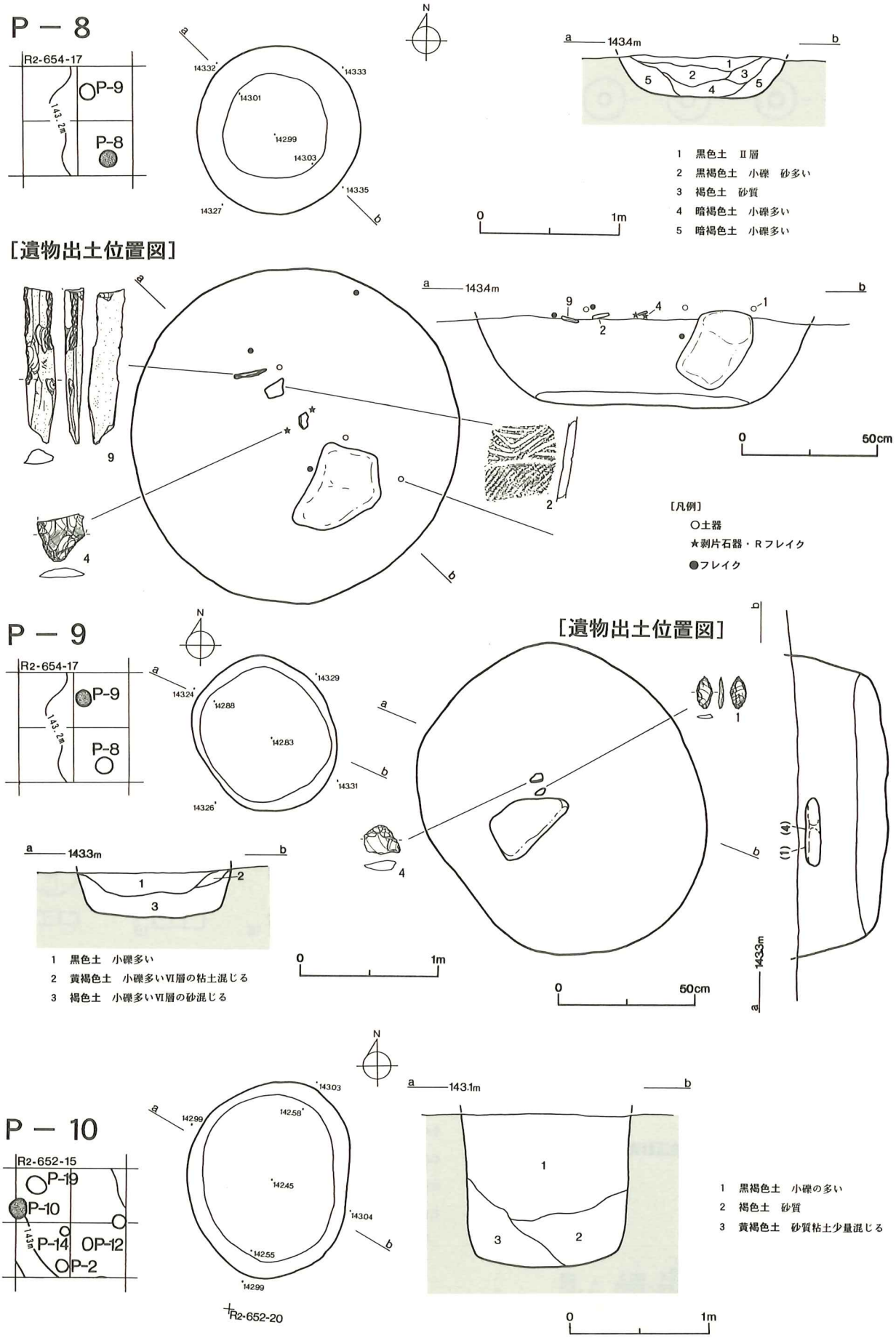
P－6



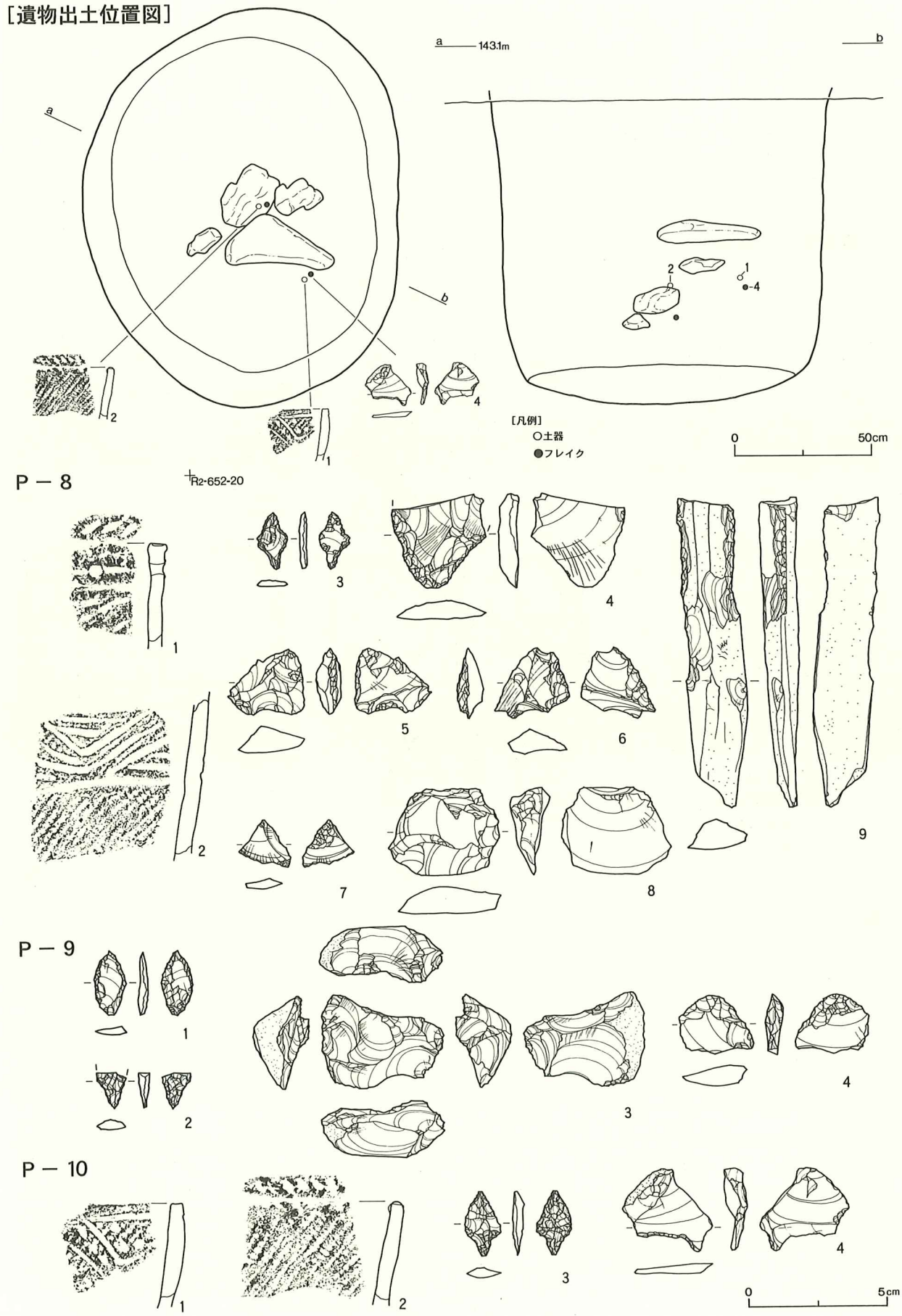
P－7



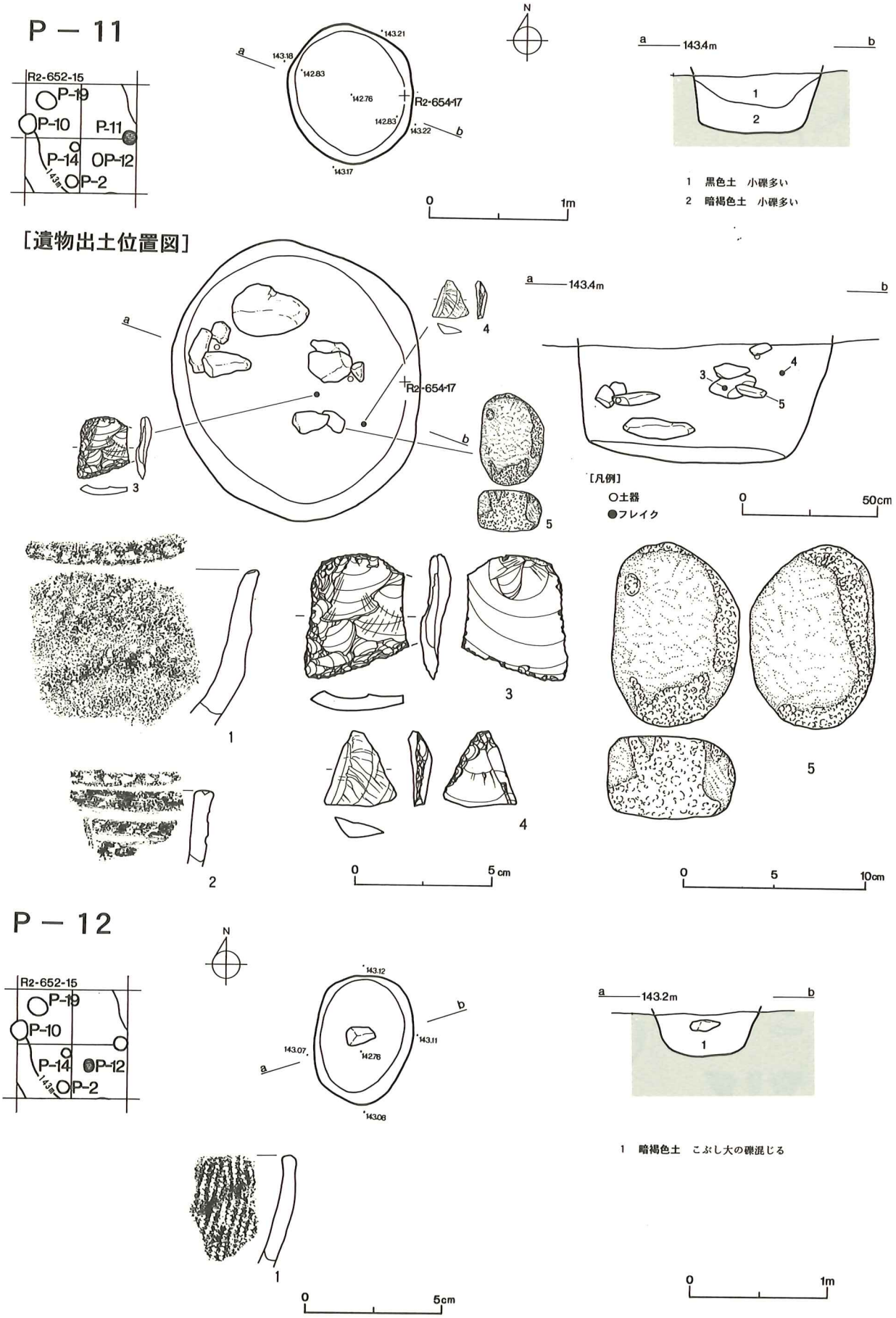
図Ⅸ－13　P－6・7(2)


P－8
R2-654-17
P-9
P-8
143.2m
N
a
b
14332
14333
14301
14299
14303
14335
14327
a
143.4m
b
1
2
3
4
5
1　黒色土　Ⅱ層
2　黒褐色土　小礫　砂多い
3　褐色土　砂質
4　暗褐色土　小礫多い
5　暗褐色土　小礫多い
0
1m
[遺物出土位置図]
9
4
2
a
143.4m
b
9
2
4
1
0
50cm
[凡例]
○土器
★剥片石器・Rフレイク
●フレイク
P－9
R2-654-17
P-9
P-8
143.2m
N
a
b
14324
14329
14288
14283
14331
14326
a
143.3m
b
1
2
3
1　黒色土　小礫多い
2　黄褐色土　小礫多いⅥ層の粘土混じる
3　褐色土　小礫多いⅥ層の砂混じる
0
1m
[遺物出土位置図]
1
4
b
(1)
(4)
a
143.3m
0
50cm
P－10
R2-652-15
P-19
P-10
P-14
P-12
P-2
143m
N
a
b
14303
14299
14258
14245
14304
14255
14299
R2-652-20
a
143.1m
b
1
2
3
1　黒褐色土　小礫の多い
2　褐色土　砂質
3　黄褐色土　砂質粘土少量混じる
0
1m

図Ⅸ－14　P－8・9・10(1)

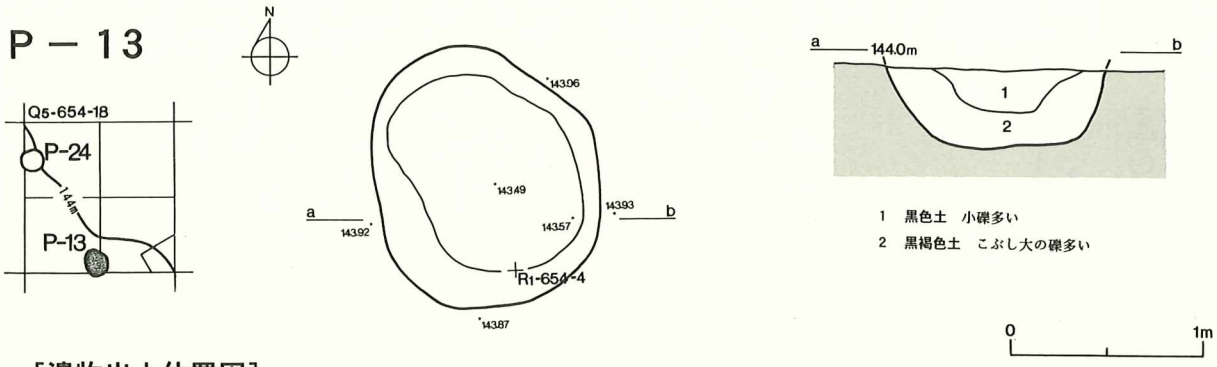


図Ⅸ－15　P－8・9・10(2)


P－11
R2-652-15
P-19
P-10
P-11
P-14
P-12
P-2
143.18
143.21
142.83
142.76
R2-654-17
142.83
143.22
143.17
N
a
b
143.4m
1
2
1　黒色土　小礫多い
2　暗褐色土　小礫多い
0
1m
［遺物出土位置図］
［凡例］
○土器
●フレイク
0
50cm
0
5cm
0
5
10cm
P－12
R2-652-15
P-19
P-10
P-14
P-12
P-2
143.12
143.07
143.11
142.76
143.08
143.2m
1　暗褐色土　こぶし大の礫混じる
0
5cm
0
1m

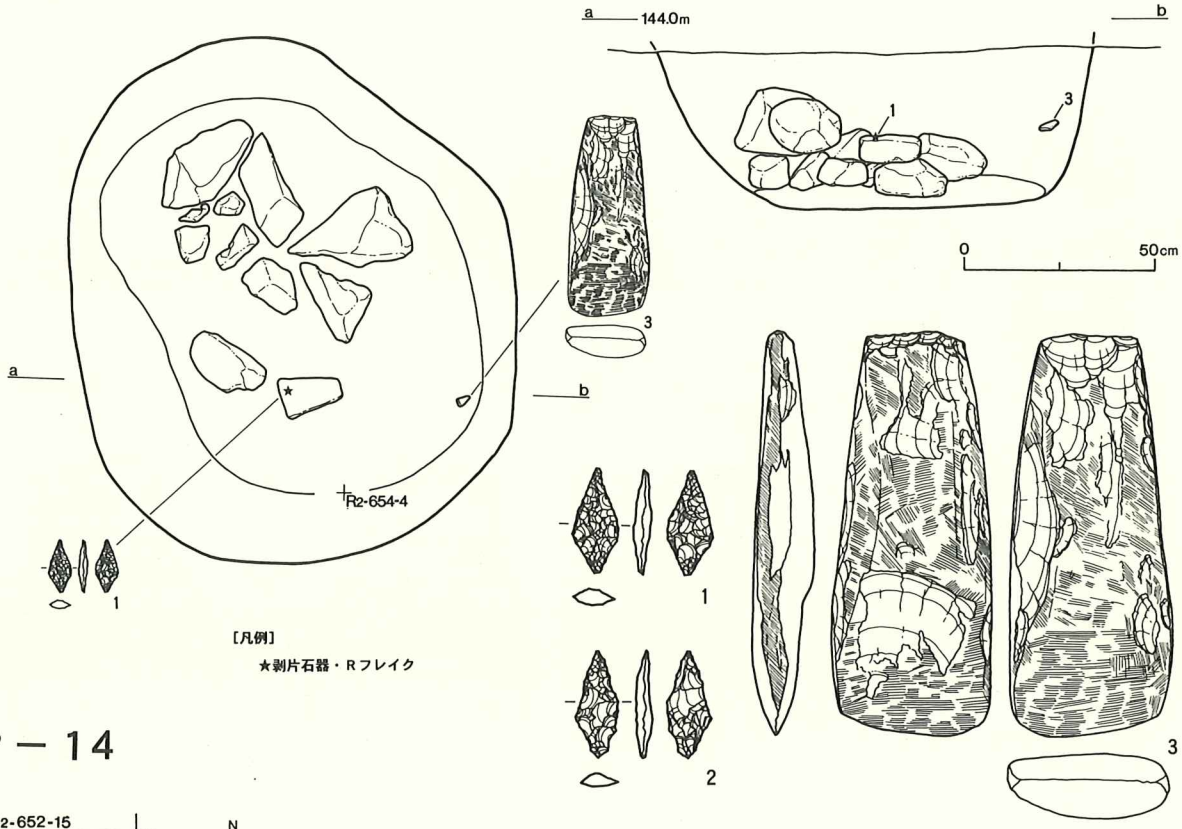
図Ⅸ－16　P－11・12

P－13



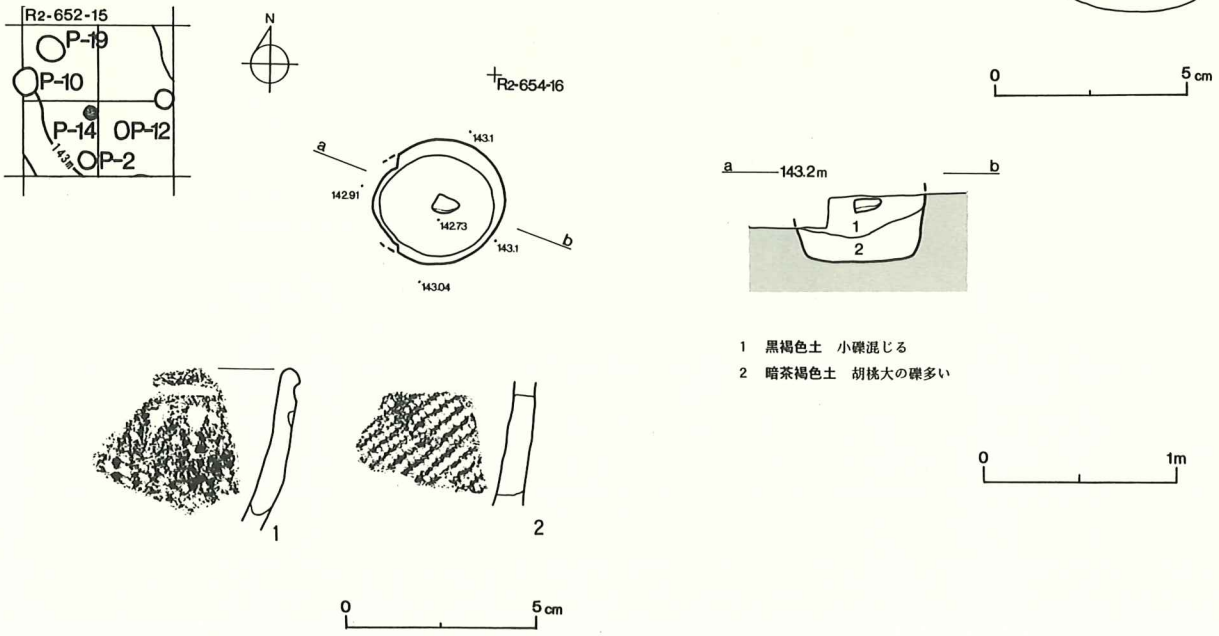
1　黒色土　小礫多い
2　黒褐色土　こぶし大の礫多い

［遺物出土位置図］



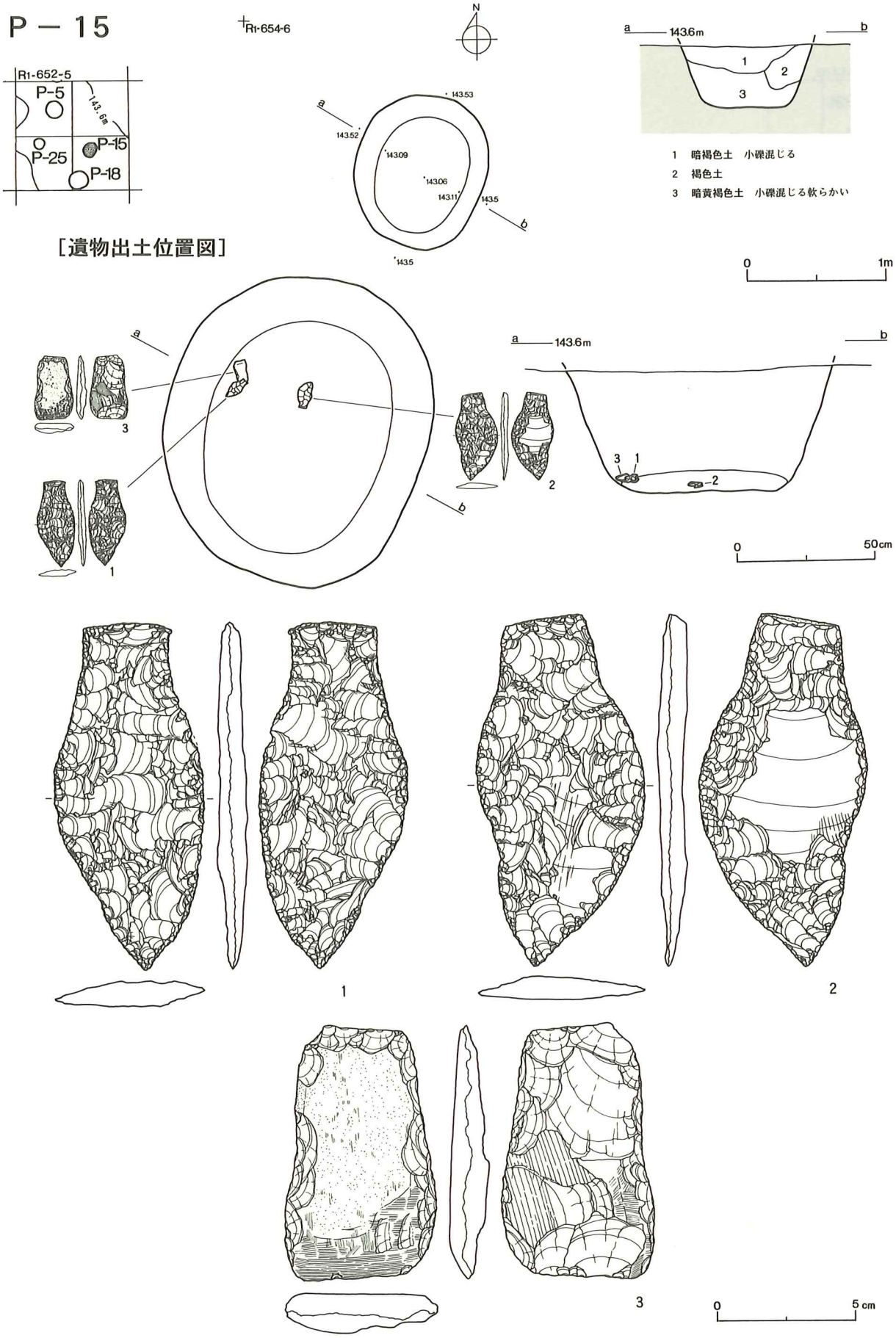
［凡例］
★剥片石器・Rフレイク

P－14

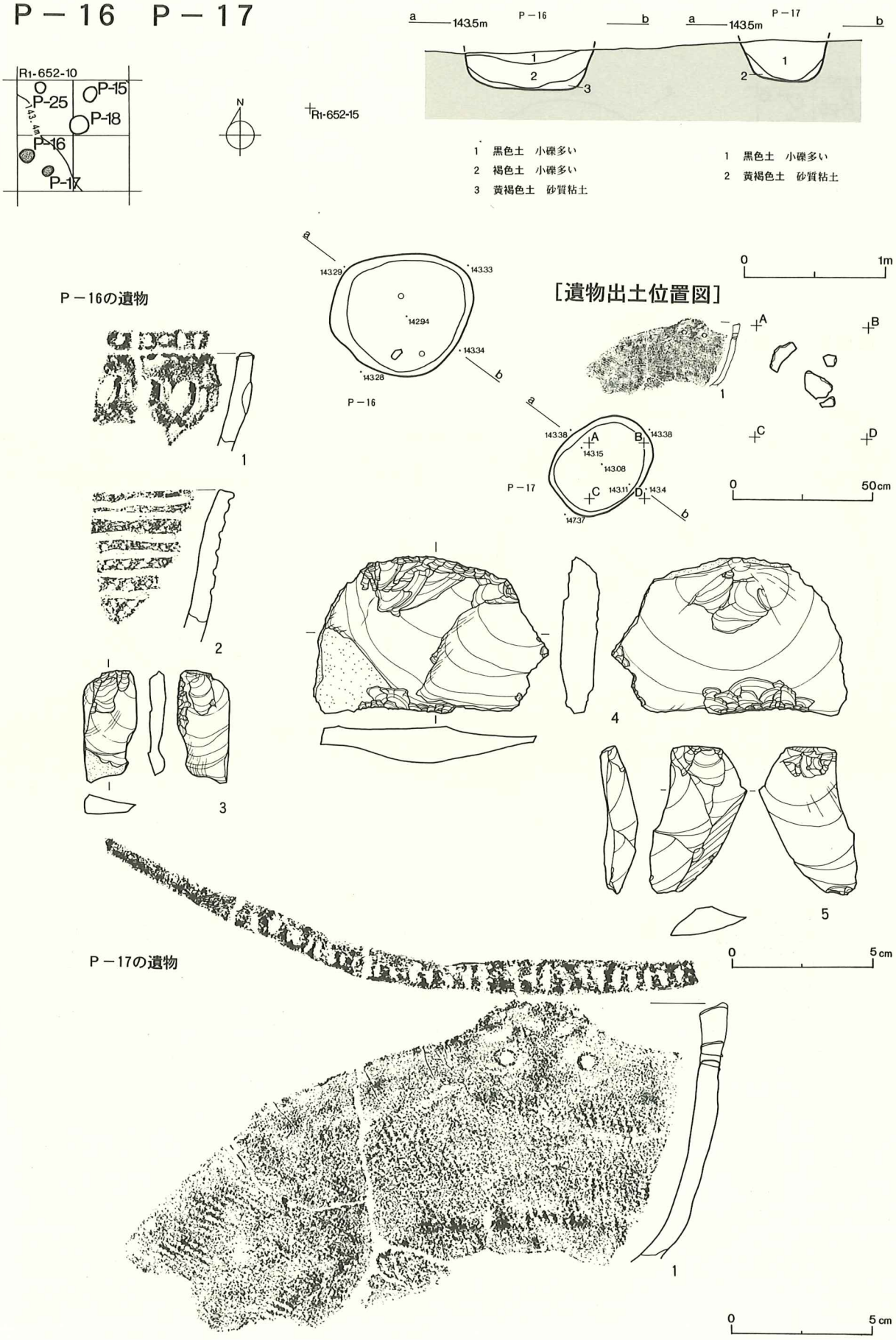


1　黒褐色土　小礫混じる
2　暗茶褐色土　胡桃大の礫多い

図Ⅸ－17　P－13・14

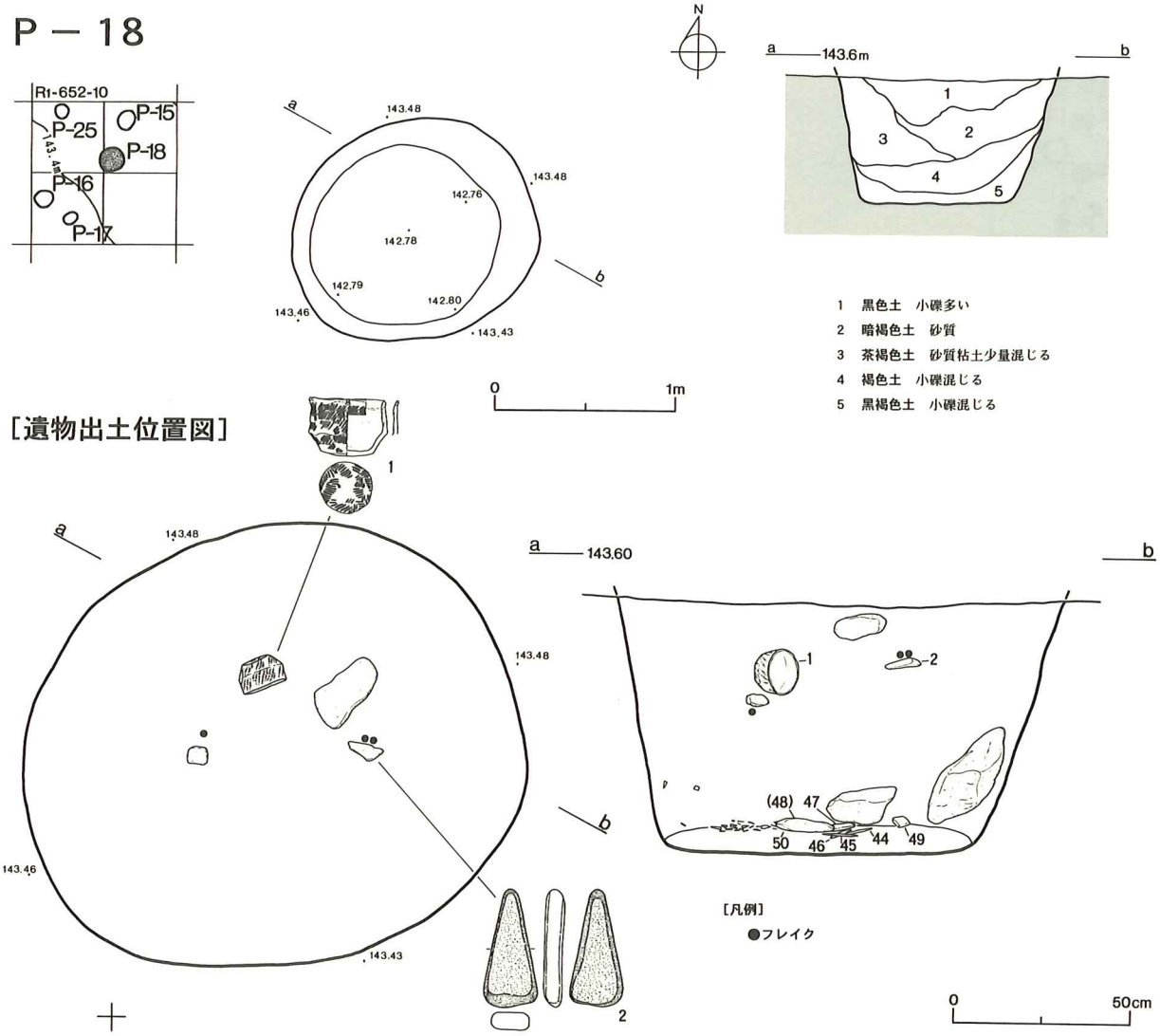

P－15
R1-654-6
N
R1-652-5
P-5
143.6m
P-25
P-15
P-18
a
b
143.6m
1
2
3
1　暗褐色土　小礫混じる
2　褐色土
3　暗黄褐色土　小礫混じる軟らかい
143.53
143.52
143.09
143.06
143.11
143.5
0
1m
[遺物出土位置図]
0
50cm
0
5cm

図Ⅸ－18　P－15

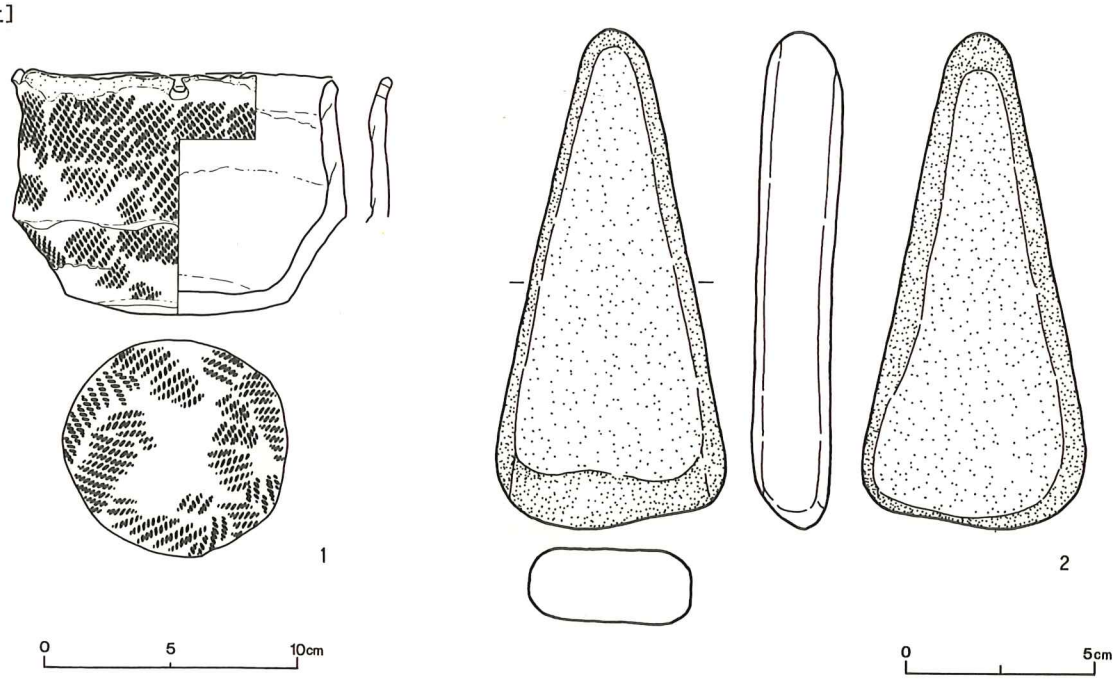

P－16　P－17
R1-652-10
P-25
P-15
P-18
P-16
P-17
143.4m
N
R1-652-15
a
143.5m
P－16
b
a
143.5m
P－17
b
1
2
3
1　黒色土　小礫多い
2　褐色土　小礫多い
3　黄褐色土　砂質粘土
1　黒色土　小礫多い
2　黄褐色土　砂質粘土
0
1m
[遺物出土位置図]
P－16の遺物
143.29
143.33
142.94
143.34
143.28
P－16
A
B
C
D
143.38
143.38
143.15
143.08
143.11
143.4
143.37
P－17
0
50cm
1
2
3
4
5
0
5cm
P－17の遺物
1
0
5cm

図Ⅸ－19　P－16・17

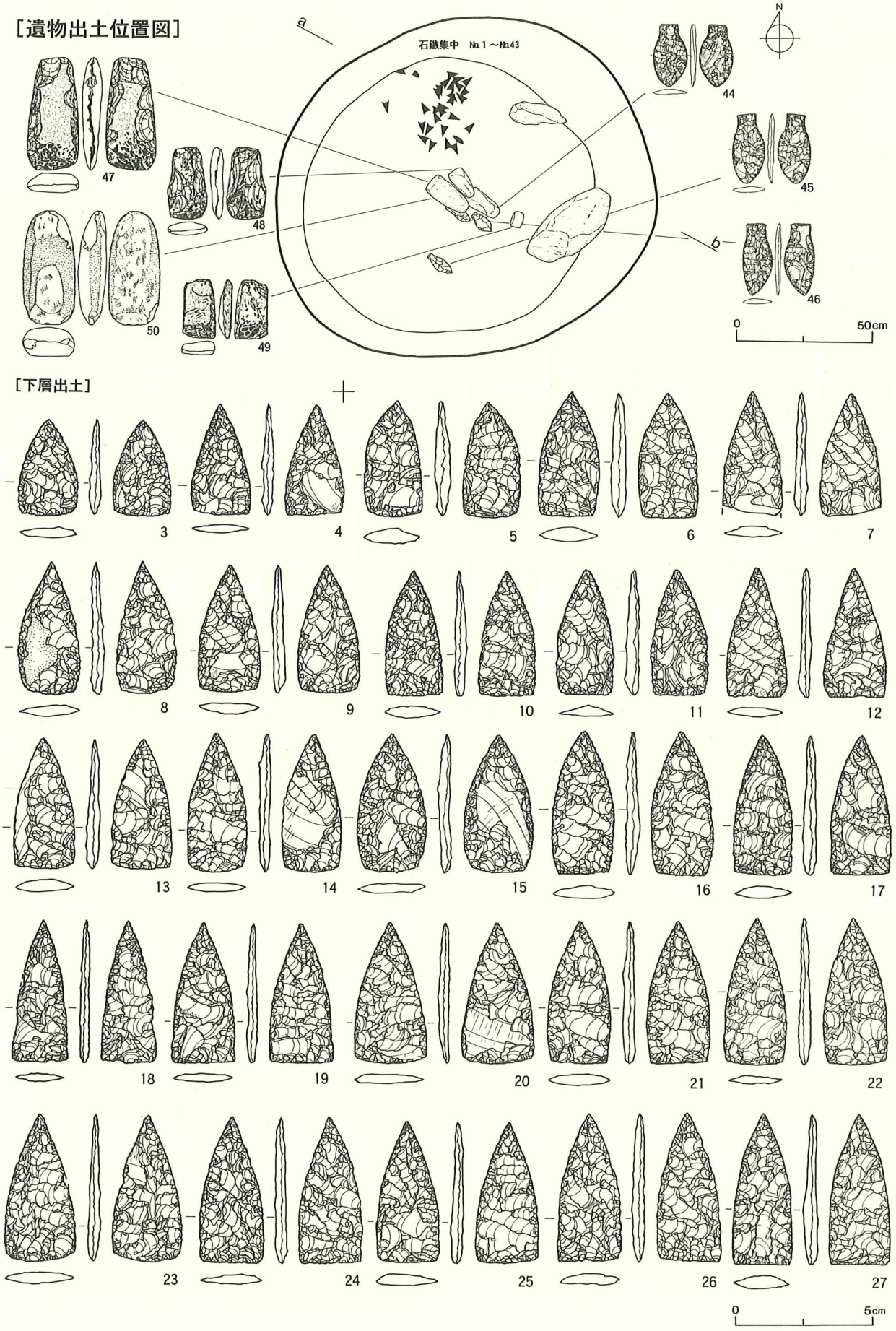
P－18



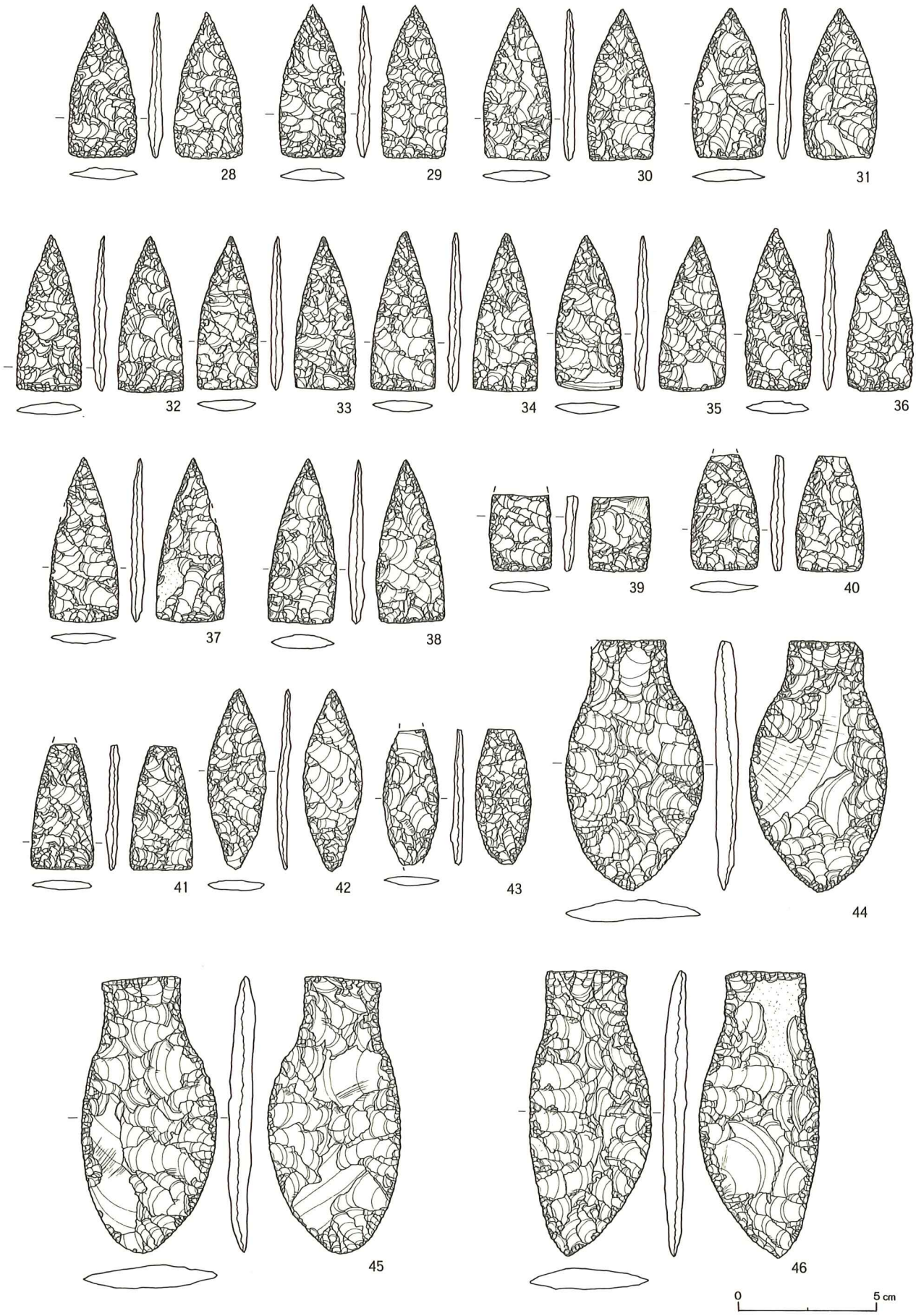
[上層出土]



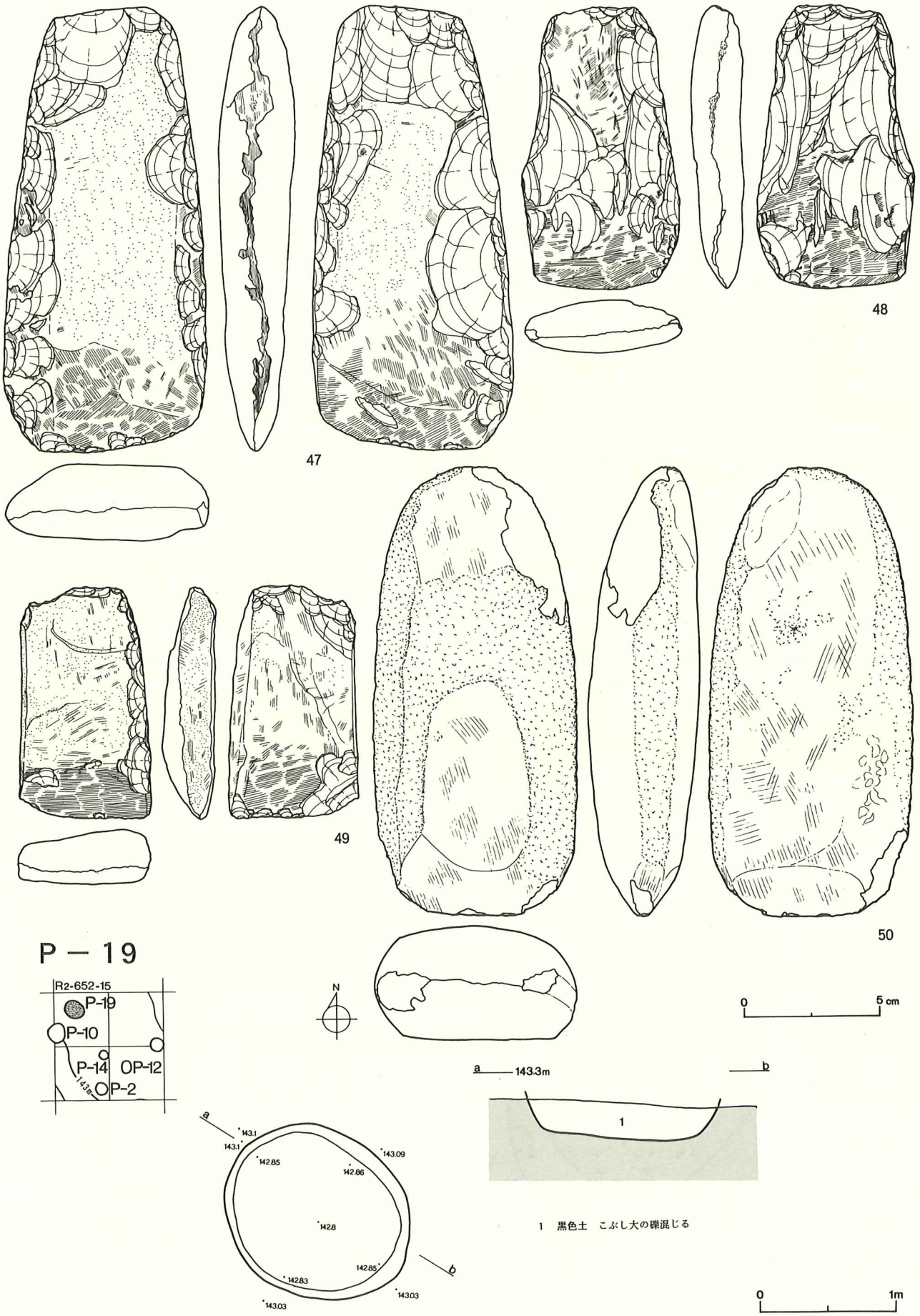
図Ⅸ－20　P－18(1)


[遺物出土位置図]
石鏃集中　No.1～No.43
a
b
N
44
45
46
47
48
49
50
0
50cm
[下層出土]
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
0
5cm

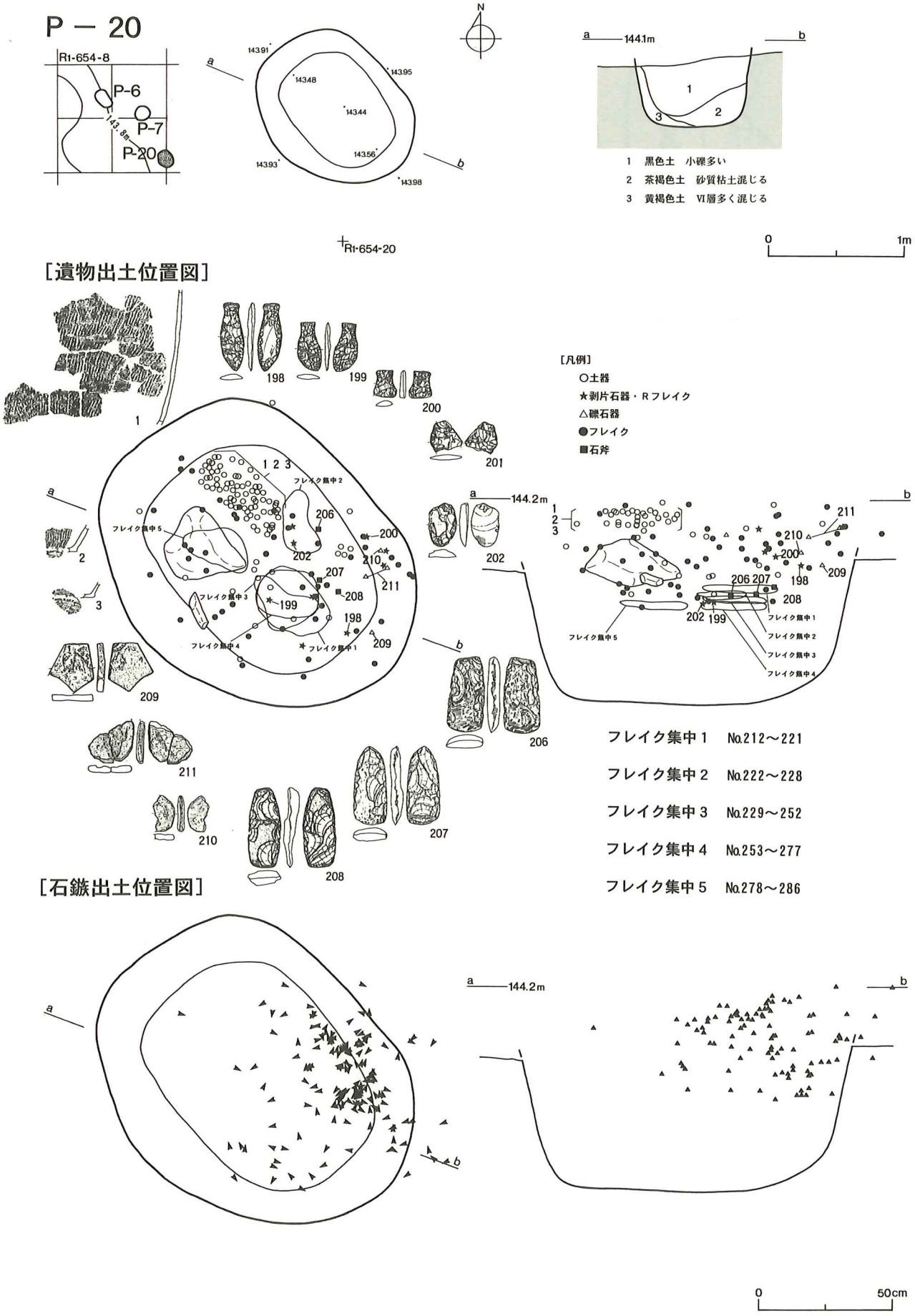
図Ⅸ－21　P－18(2)



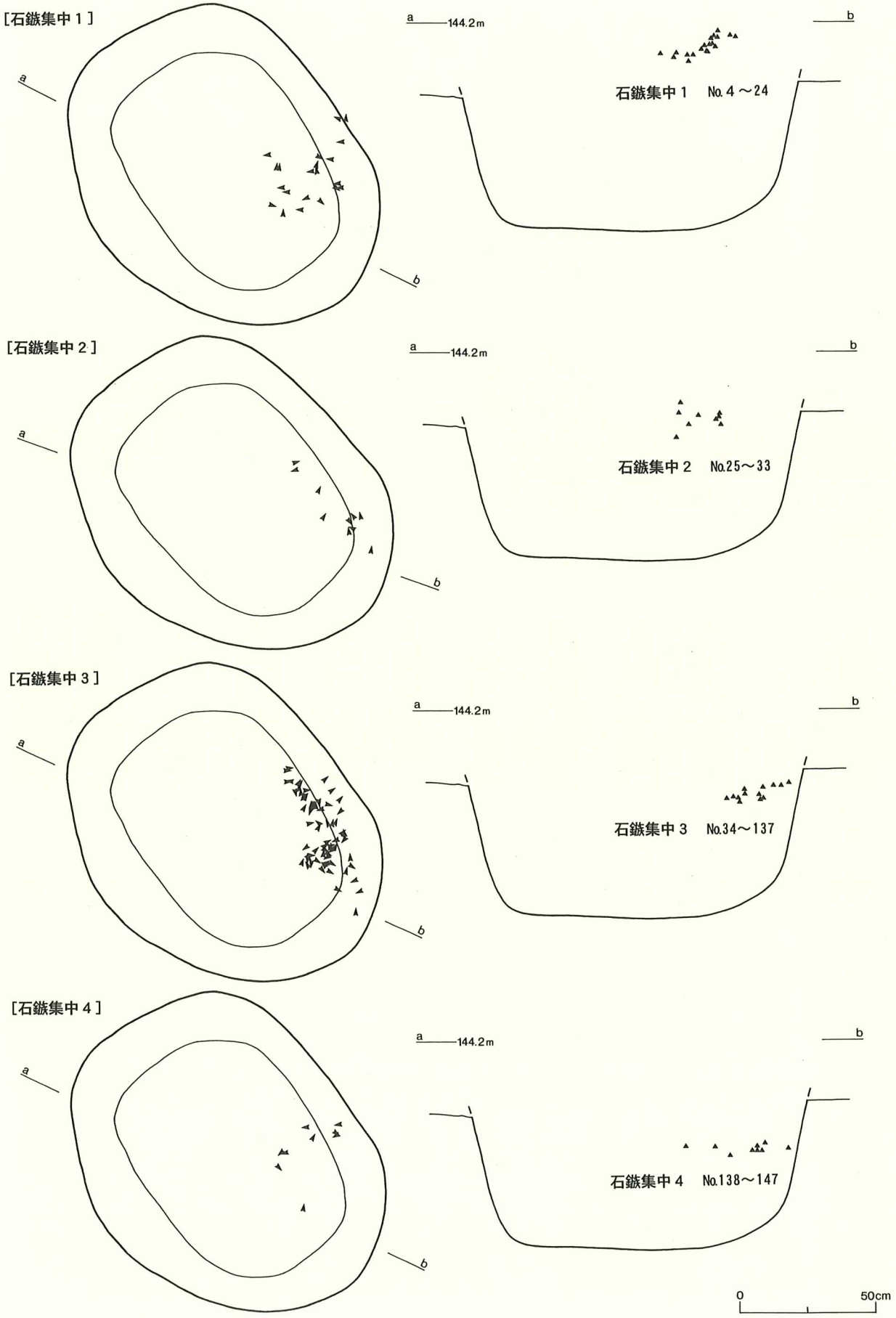
図Ⅸ－22　P－18(3)



図Ⅸ－23　P－18(4)・P－19

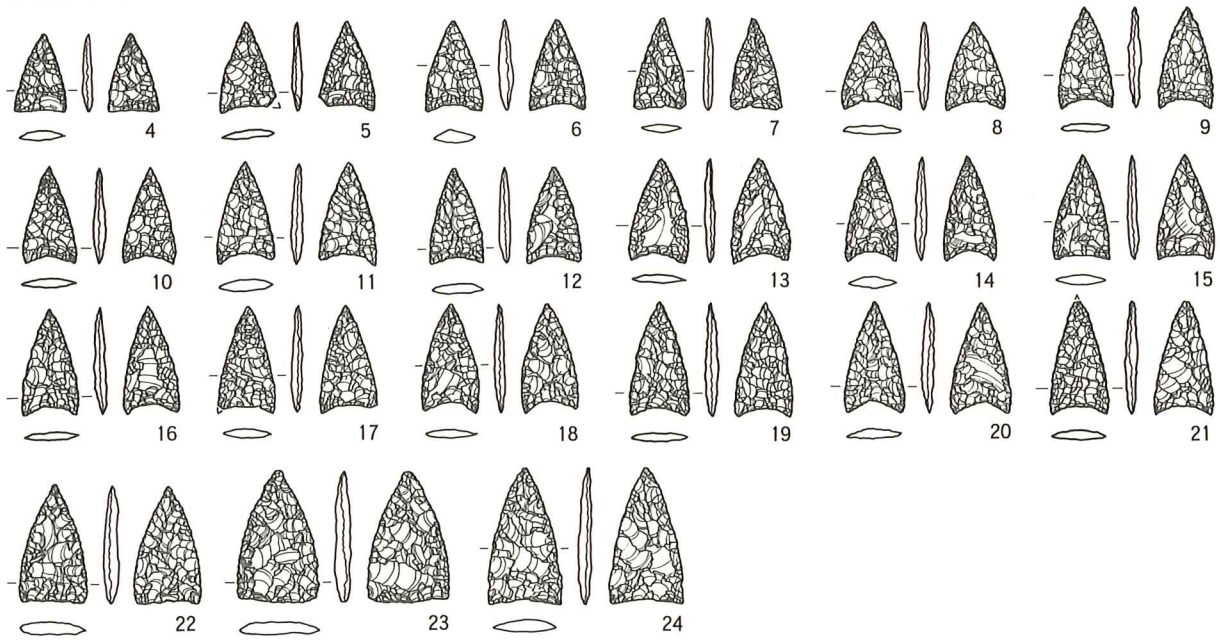

P－20
R1-654-8
P-6
P-7
P-20
143.8m
143.91
143.48
143.95
143.44
143.56
143.93
143.98
N
a
b
144.1m
1
2
3
1　黒色土　小礫多い
2　茶褐色土　砂質粘土混じる
3　黄褐色土　Ⅵ層多く混じる
R1-654-20
0
1m
[遺物出土位置図]
[凡例]
○土器
★剥片石器・Rフレイク
△礫石器
●フレイク
■石斧
フレイク集中1
フレイク集中2
フレイク集中3
フレイク集中4
フレイク集中5
144.2m
フレイク集中1　No.212～221
フレイク集中2　No.222～228
フレイク集中3　No.229～252
フレイク集中4　No.253～277
フレイク集中5　No.278～286
[石鏃出土位置図]
0
50cm

図Ⅸ－24　P－20(1)

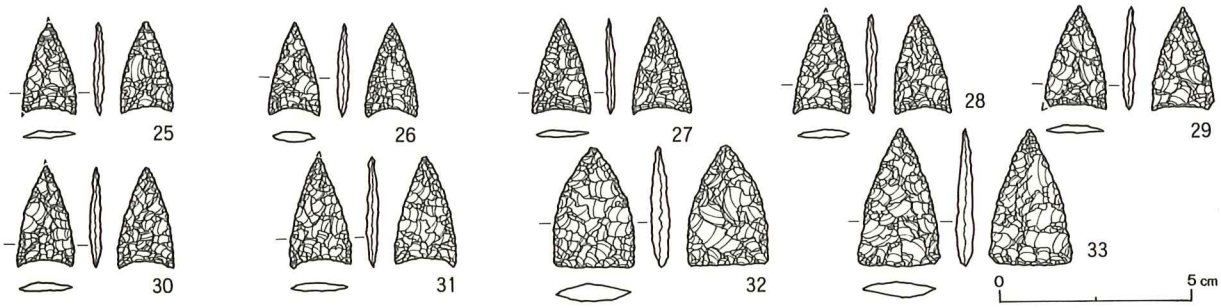

[石鏃集中１]
a
b
a
144.2m
b
石鏃集中１　No.４～24
[石鏃集中２]
a
b
a
144.2m
b
石鏃集中２　No.25～33
[石鏃集中３]
a
b
a
144.2m
b
石鏃集中３　No.34～137
[石鏃集中４]
a
b
a
144.2m
b
石鏃集中４　No.138～147
0
50cm

図Ⅸ－25　Ｐ－20(2)

［石鏃集中１］

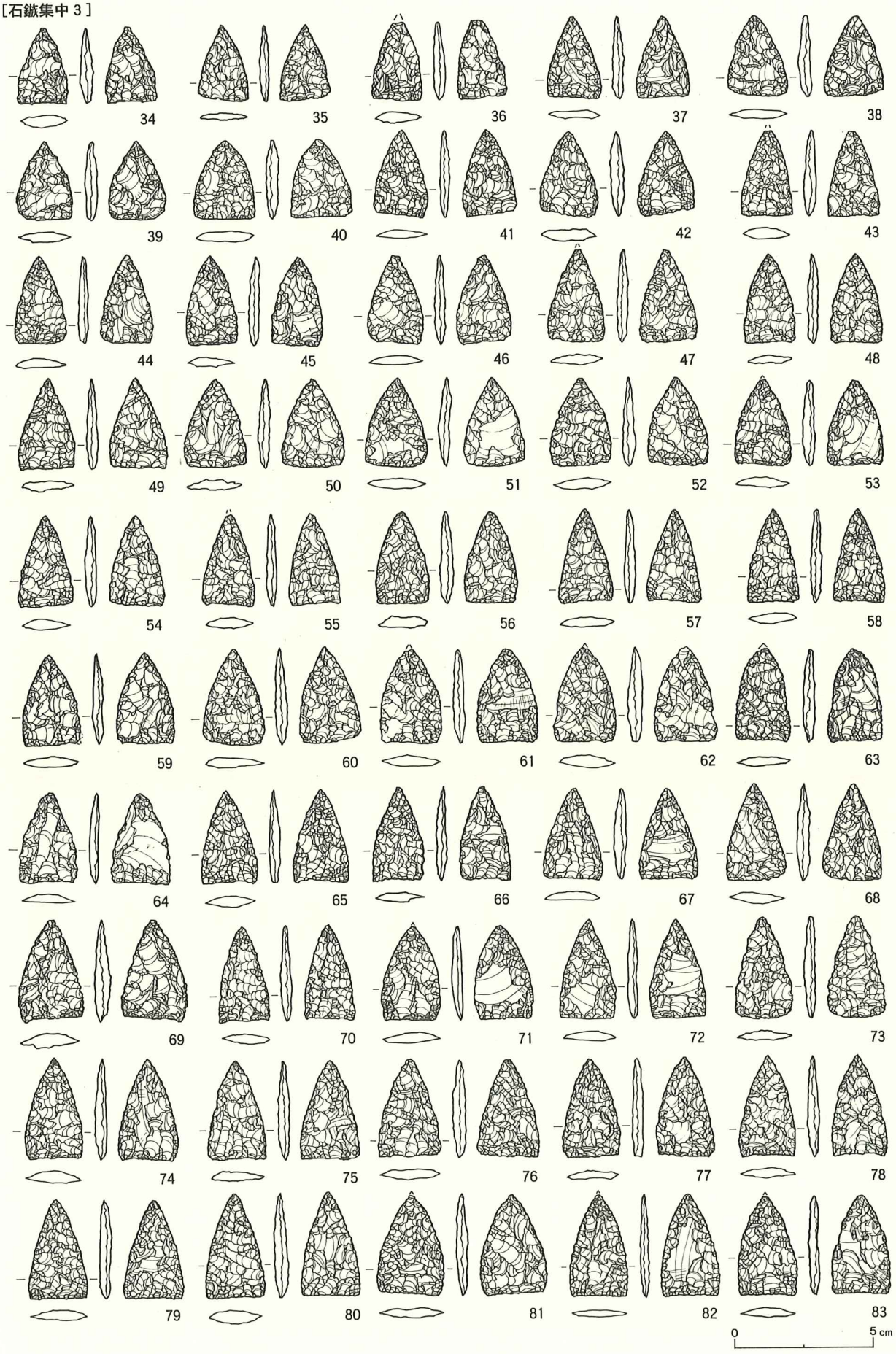


［石鏃集中２］

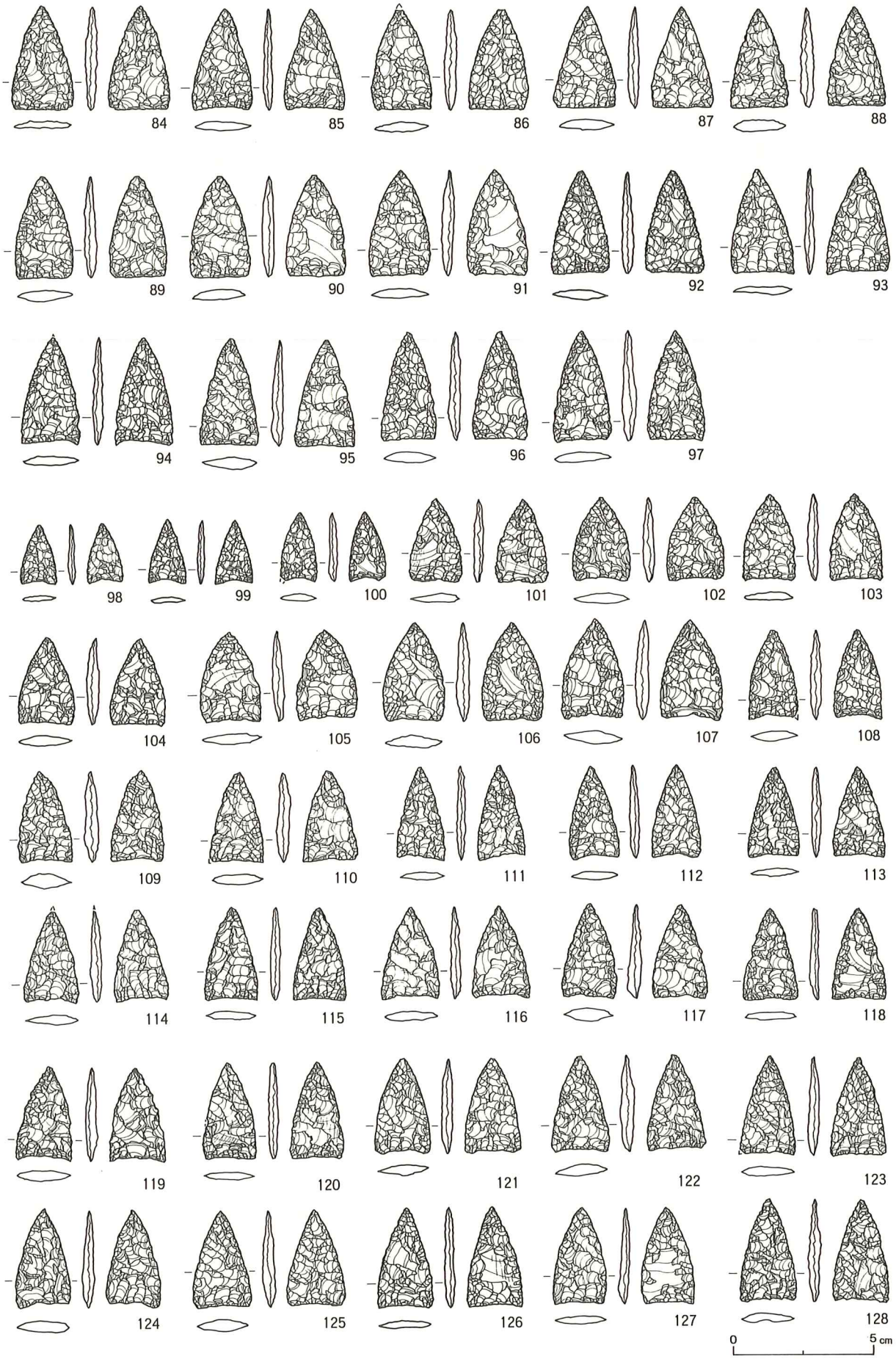


図Ⅸ－26　Ｐ－20(3)

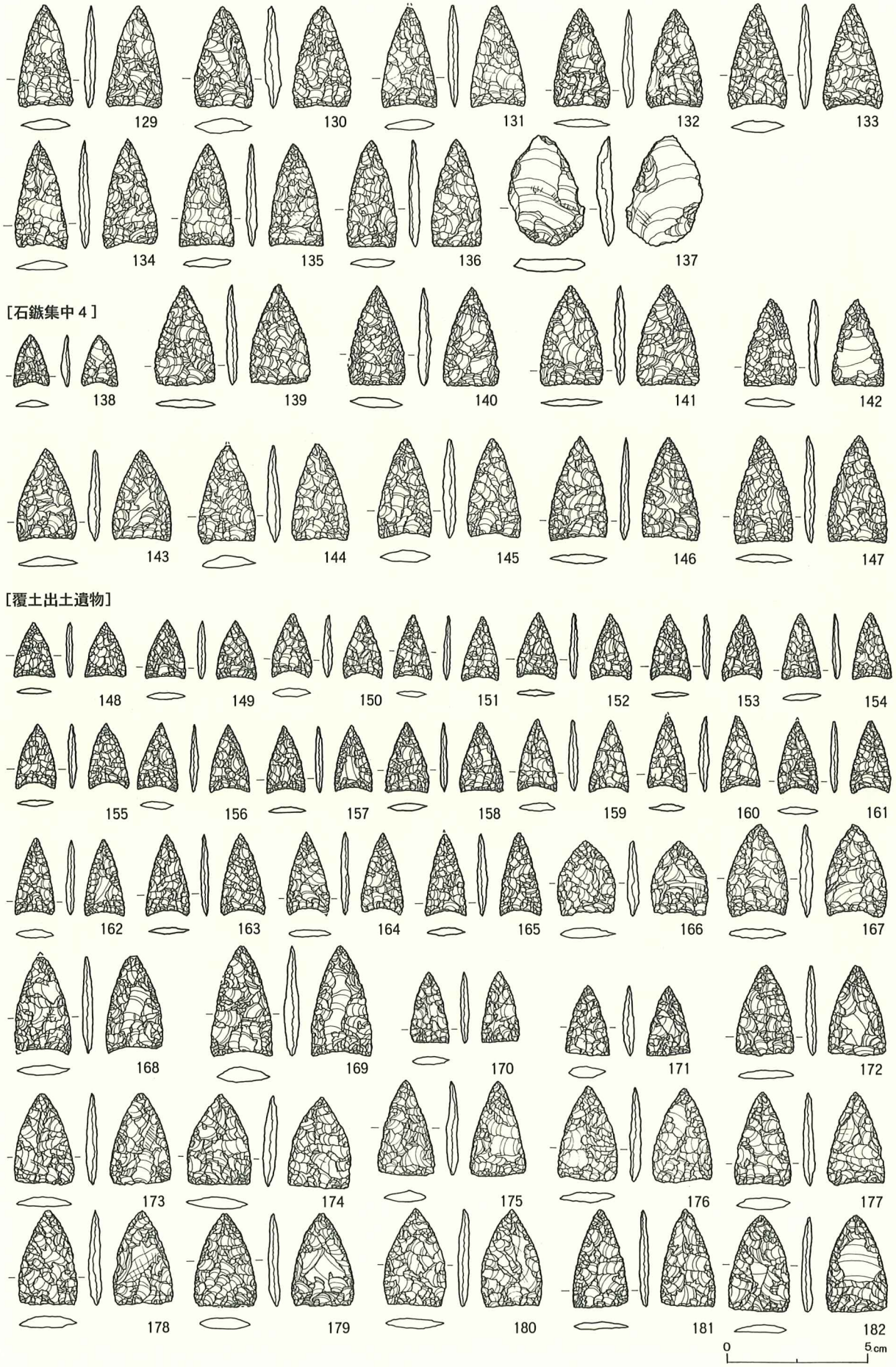
［石鏃集中３］



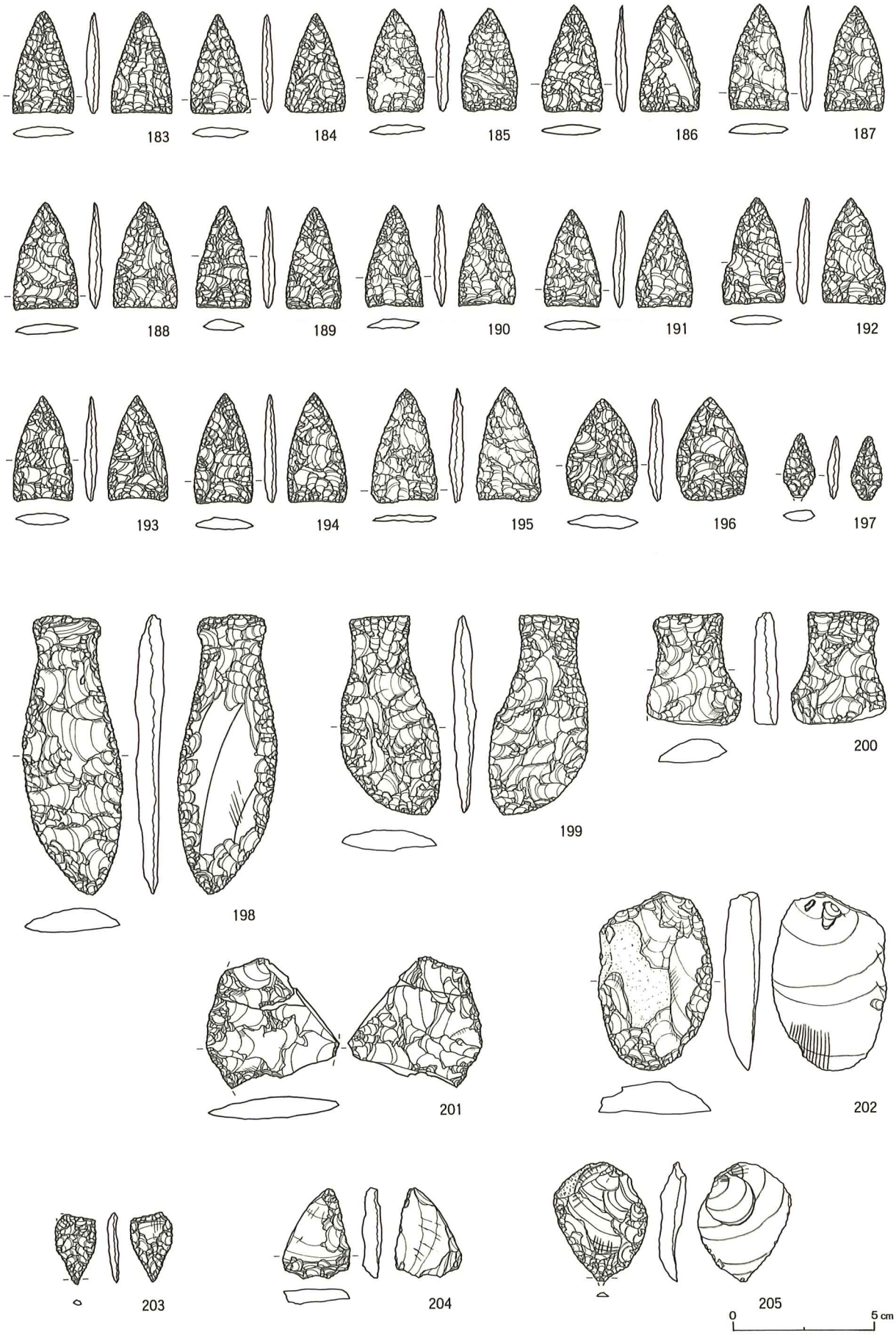
図Ⅸ－27　Ｐ－20(4)


84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
0
5 cm

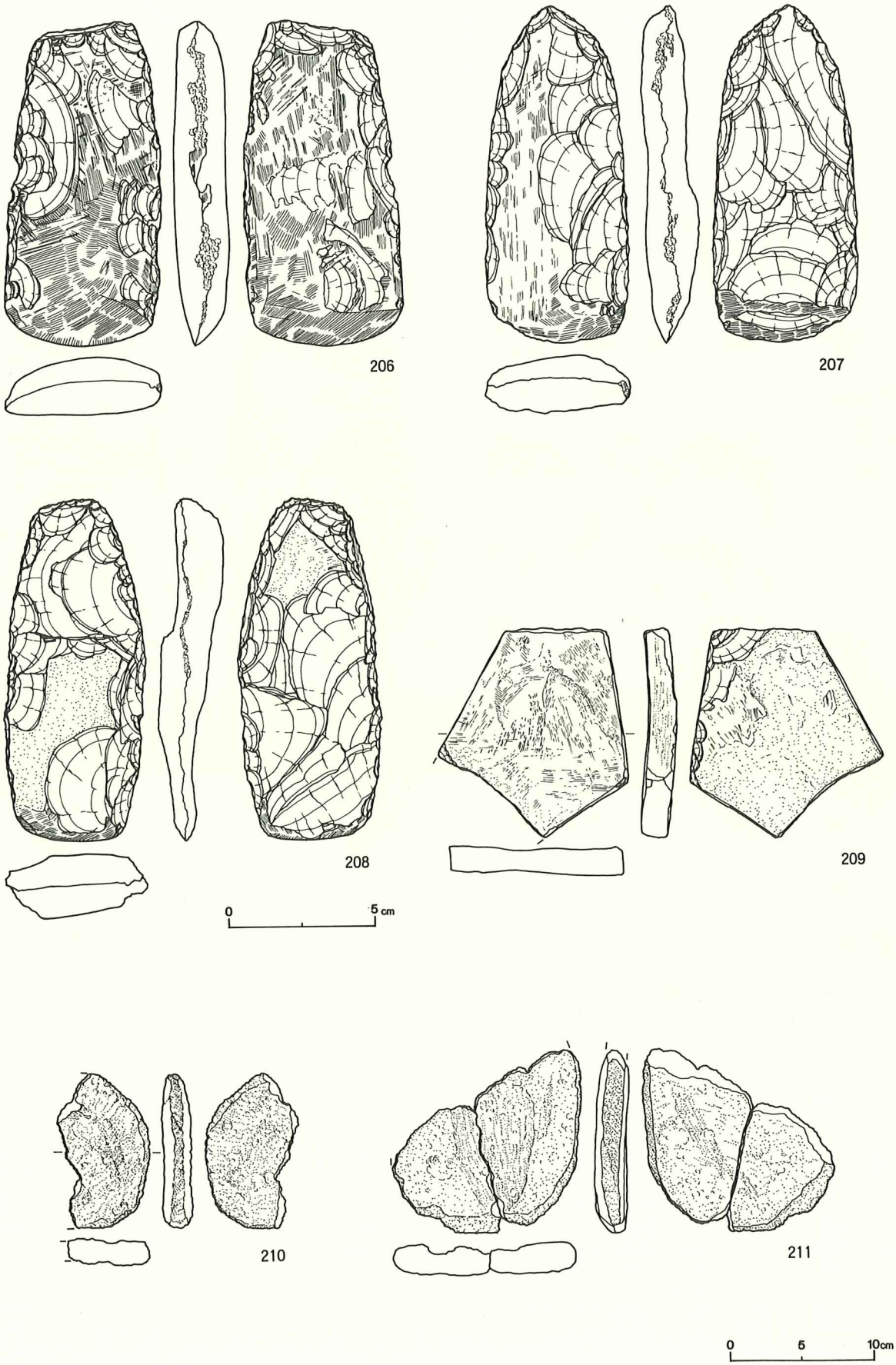
図Ⅸ－28　P－20(5)


129
130
131
132
133
134
135
136
137
[石鏃集中４]
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
[覆土出土遺物]
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
0
5cm

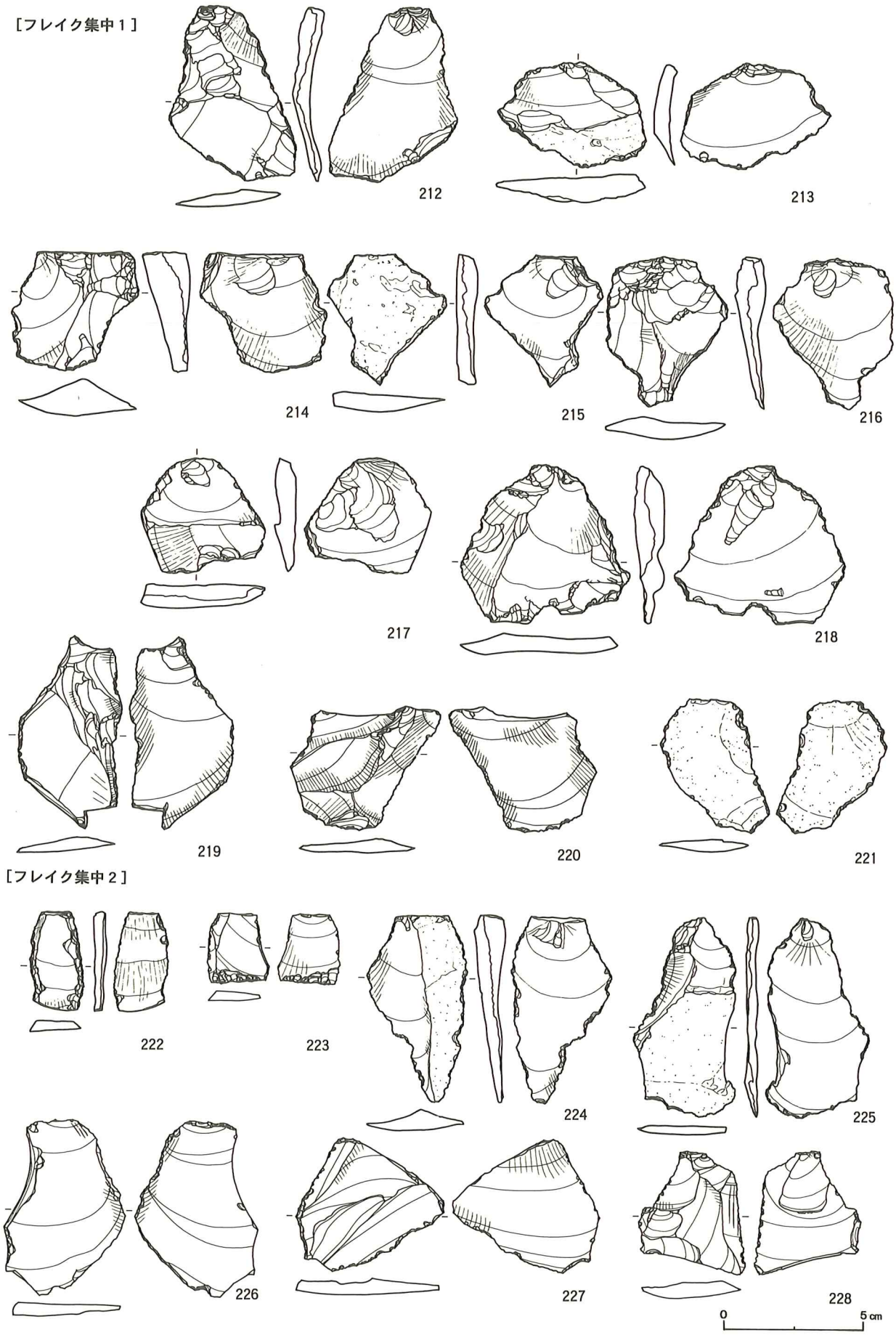
図Ⅸ－29　Ｐ－20(6)


183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
0
5 cm

図Ⅸ－30　P－20(7)

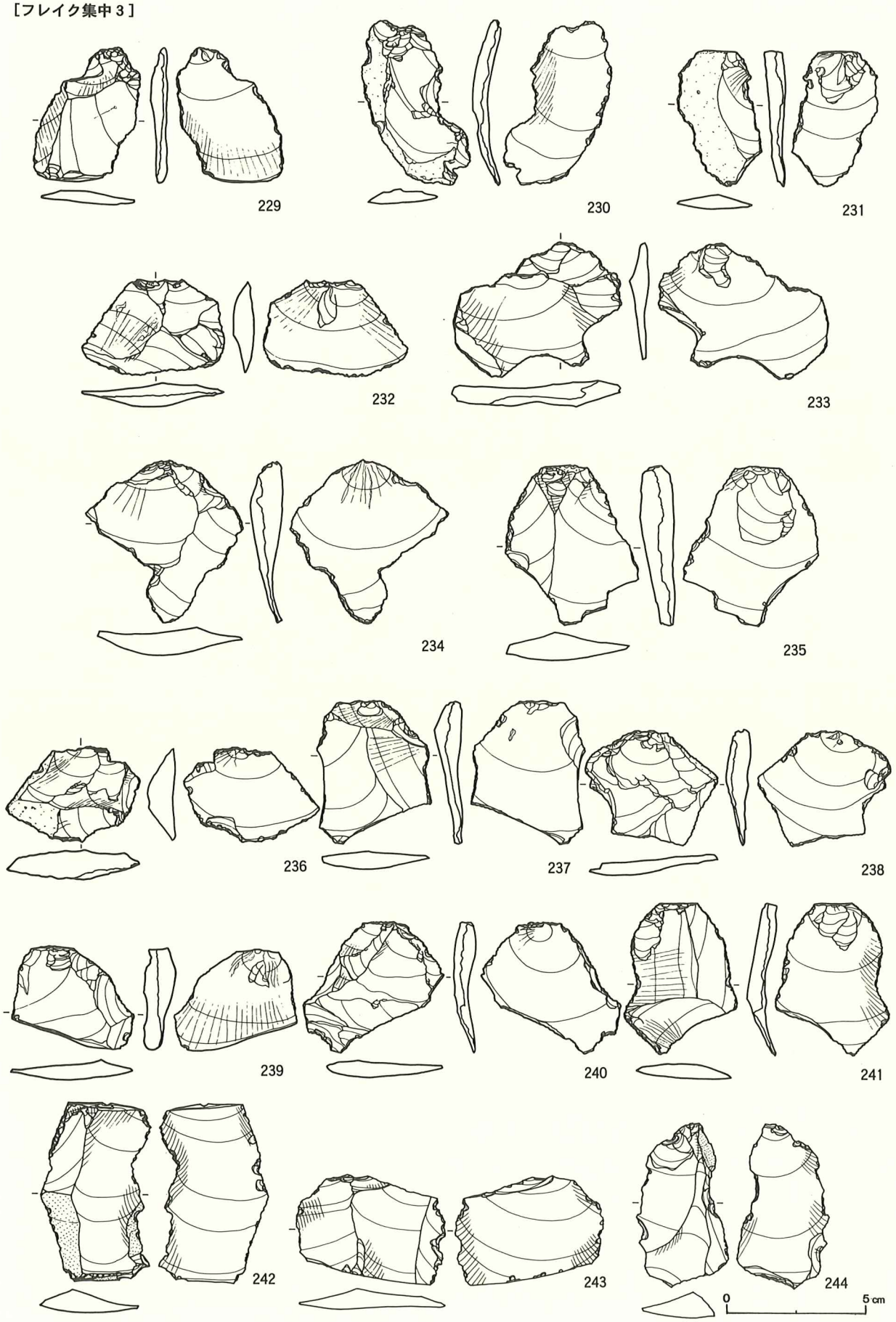


図Ⅸ－31　P－20(8)

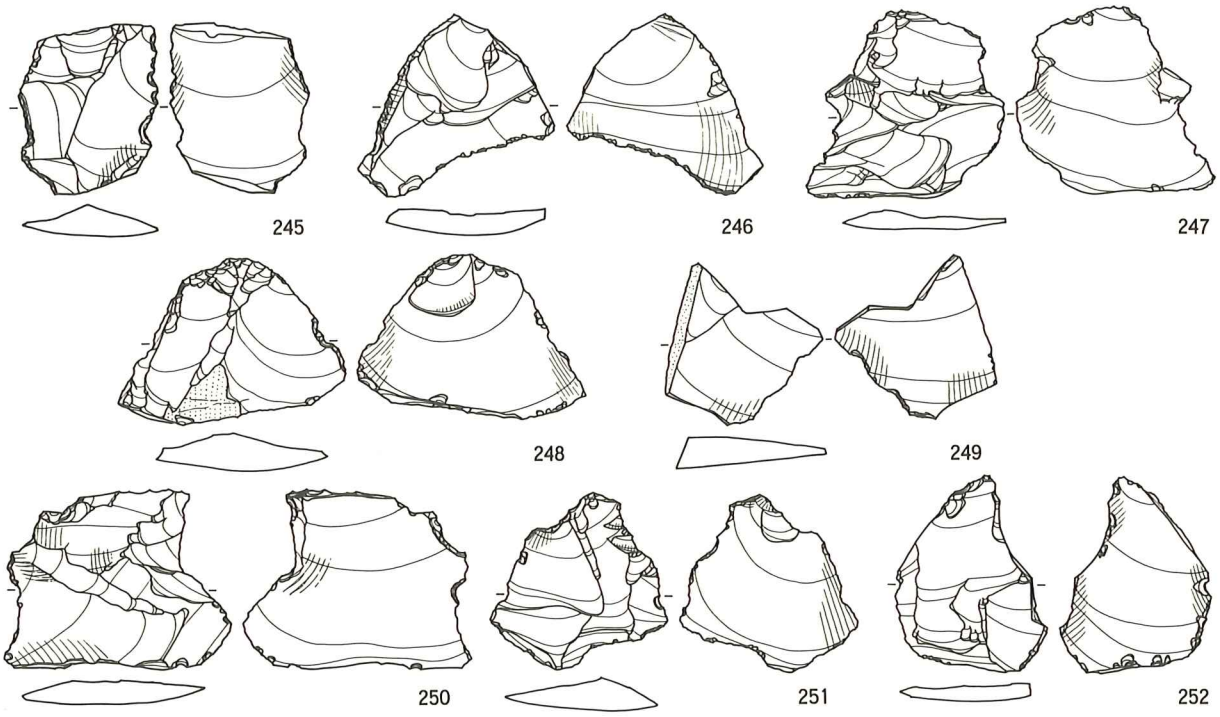

[フレイク集中１]
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
[フレイク集中２]
222
223
224
225
226
227
228
0
5cm

図Ⅸ－32　Ｐ－20(9)

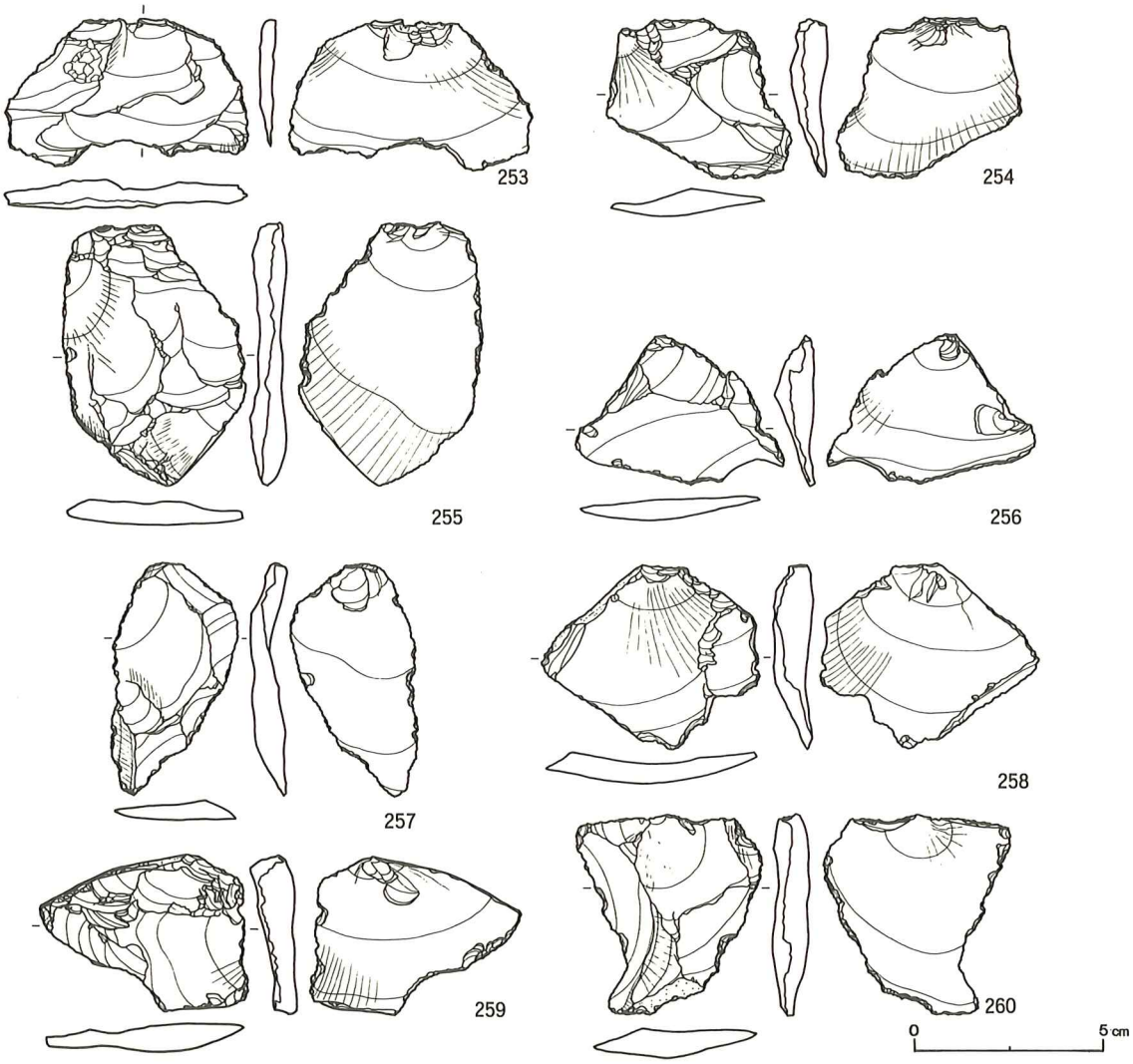
［フレイク集中３］



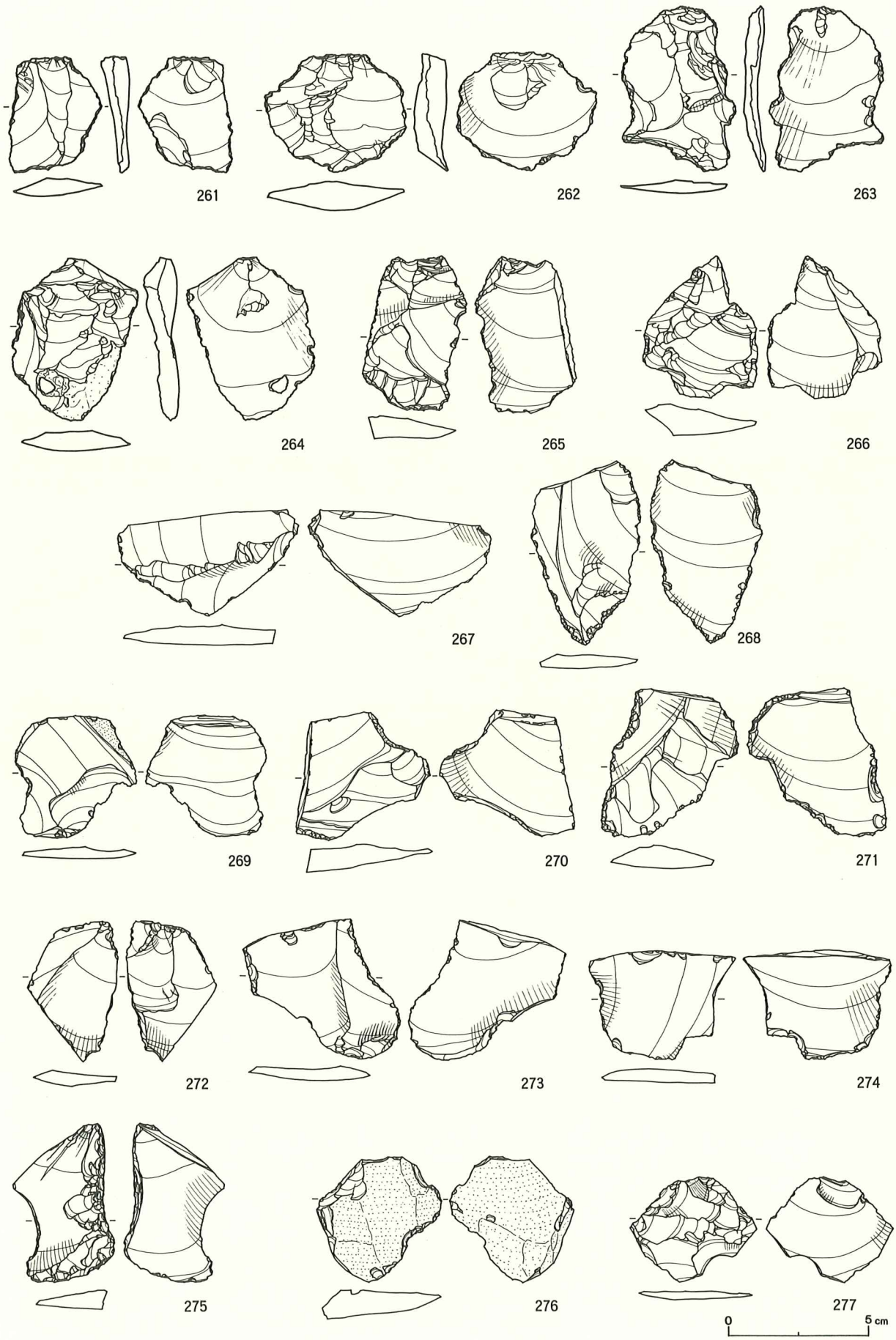
図Ⅸ－33　Ｐ－20(10)



［フレイク集中４］

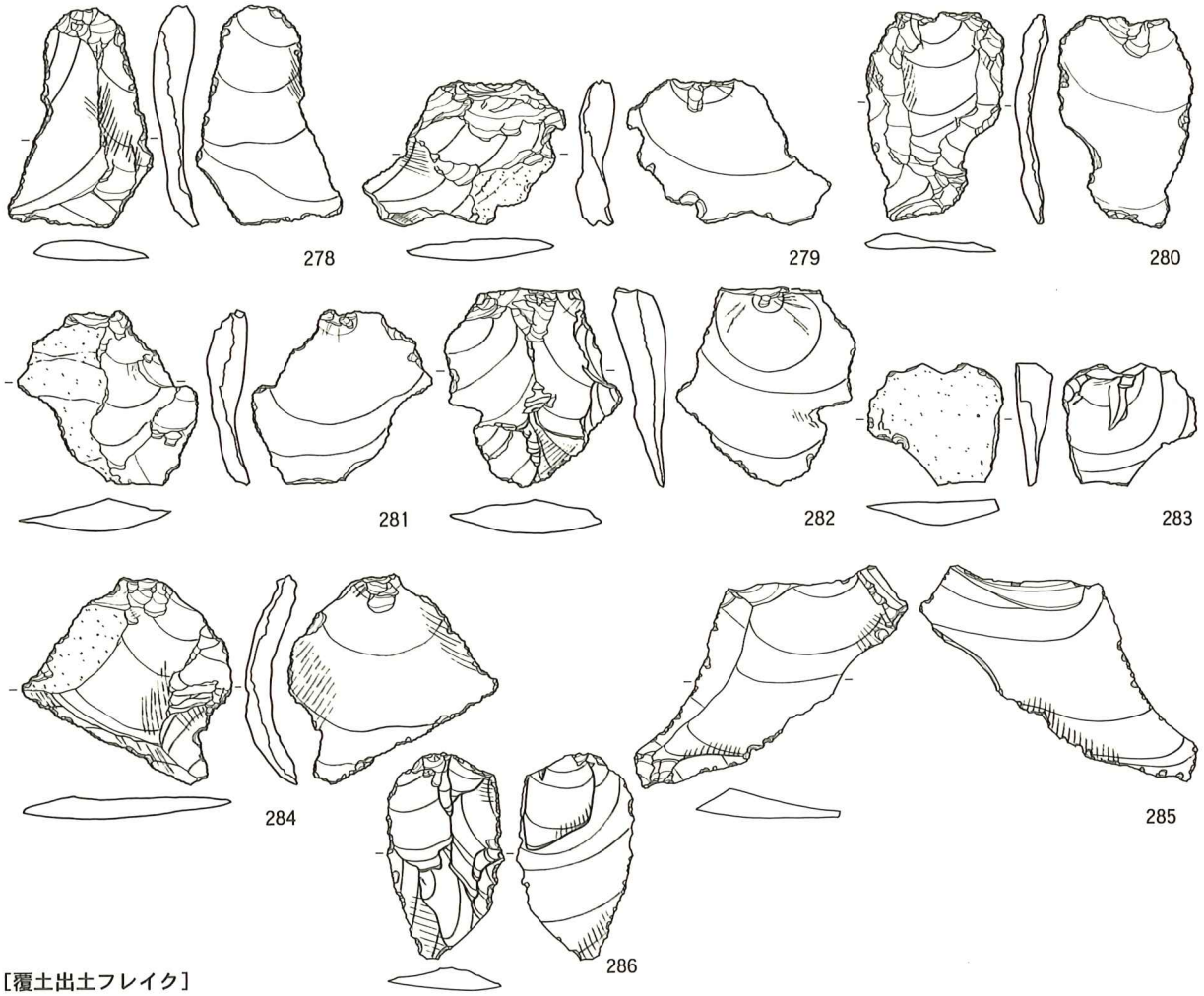


図Ⅸ－34　Ｐ－20(11)

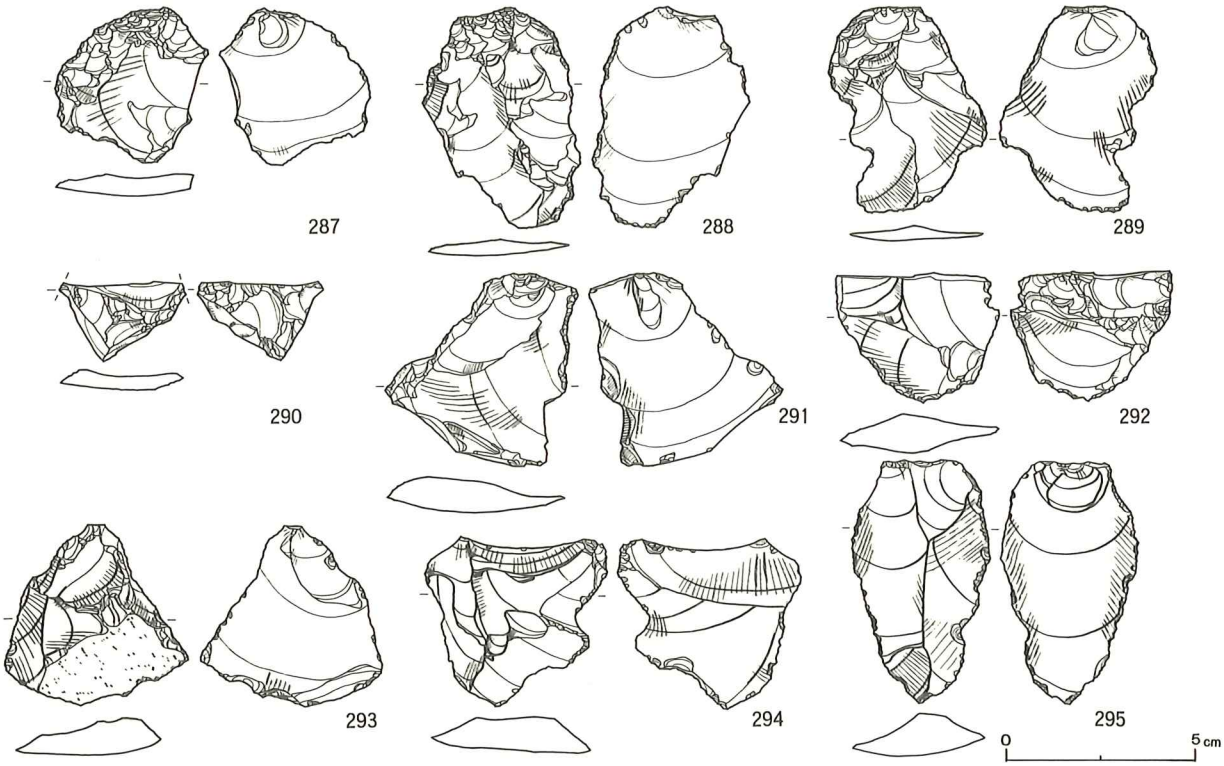

261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
0
5cm

図Ⅸ－35　P－20(12)

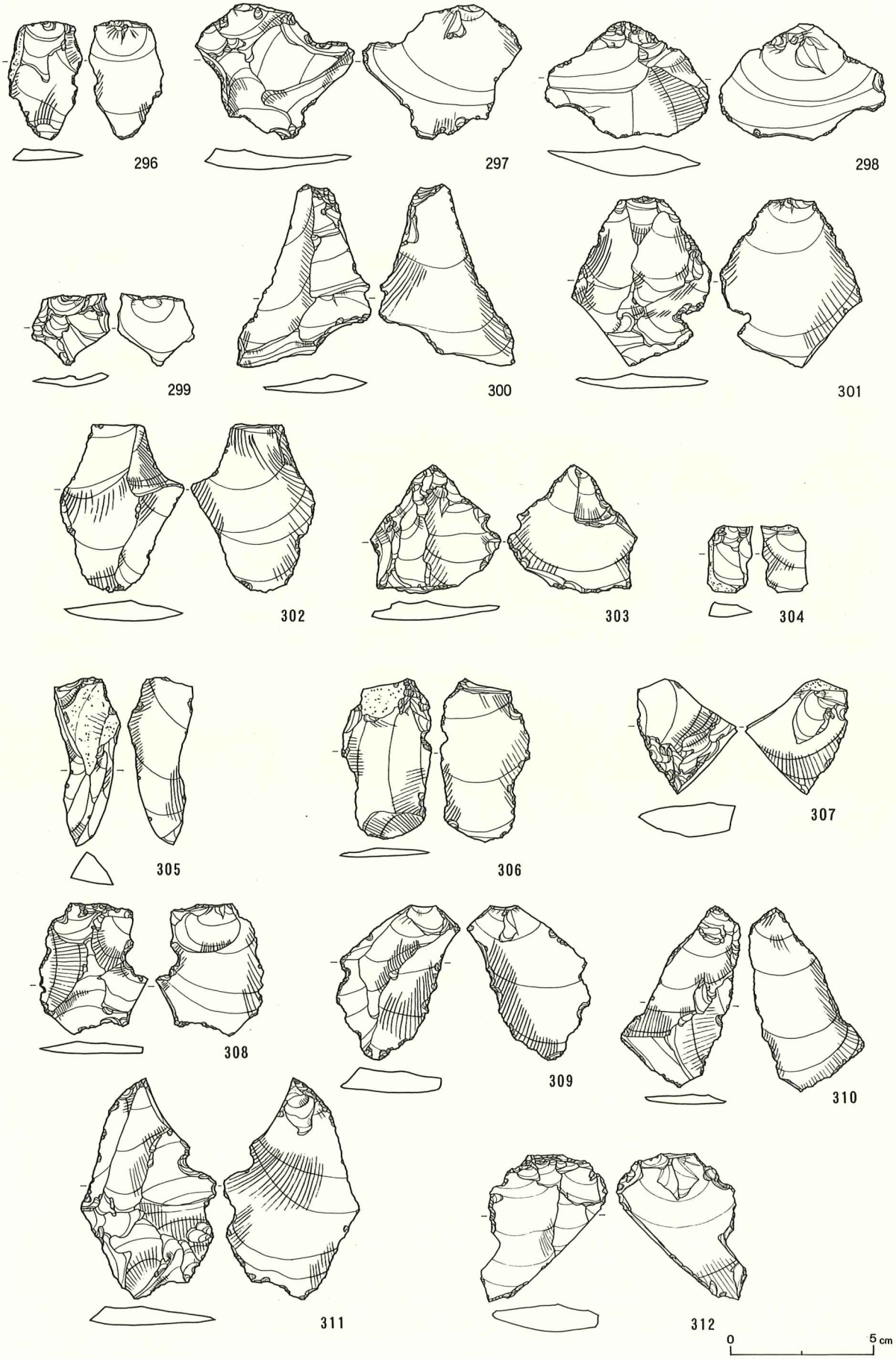
［フレイク集中５］



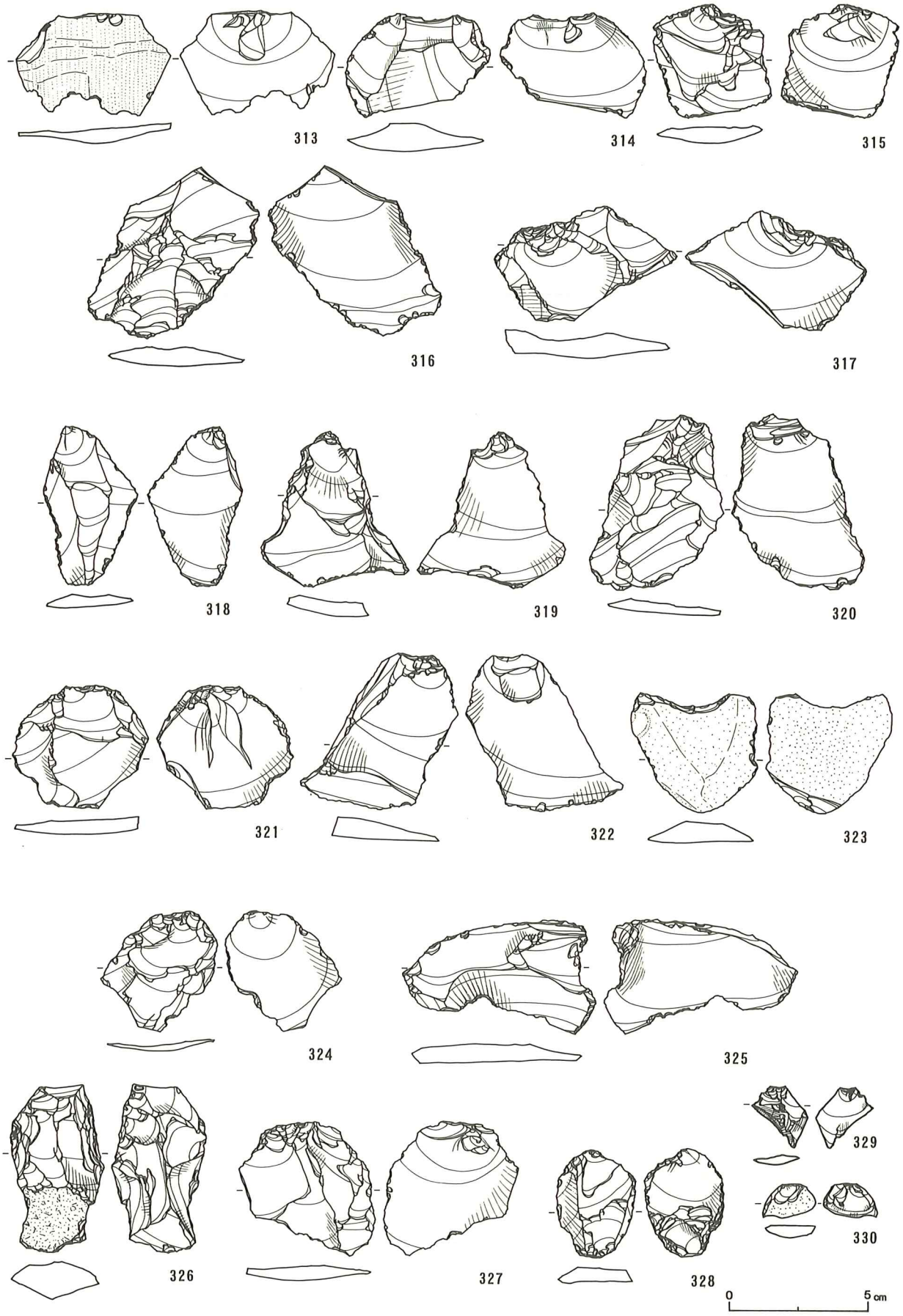
［覆土出土フレイク］



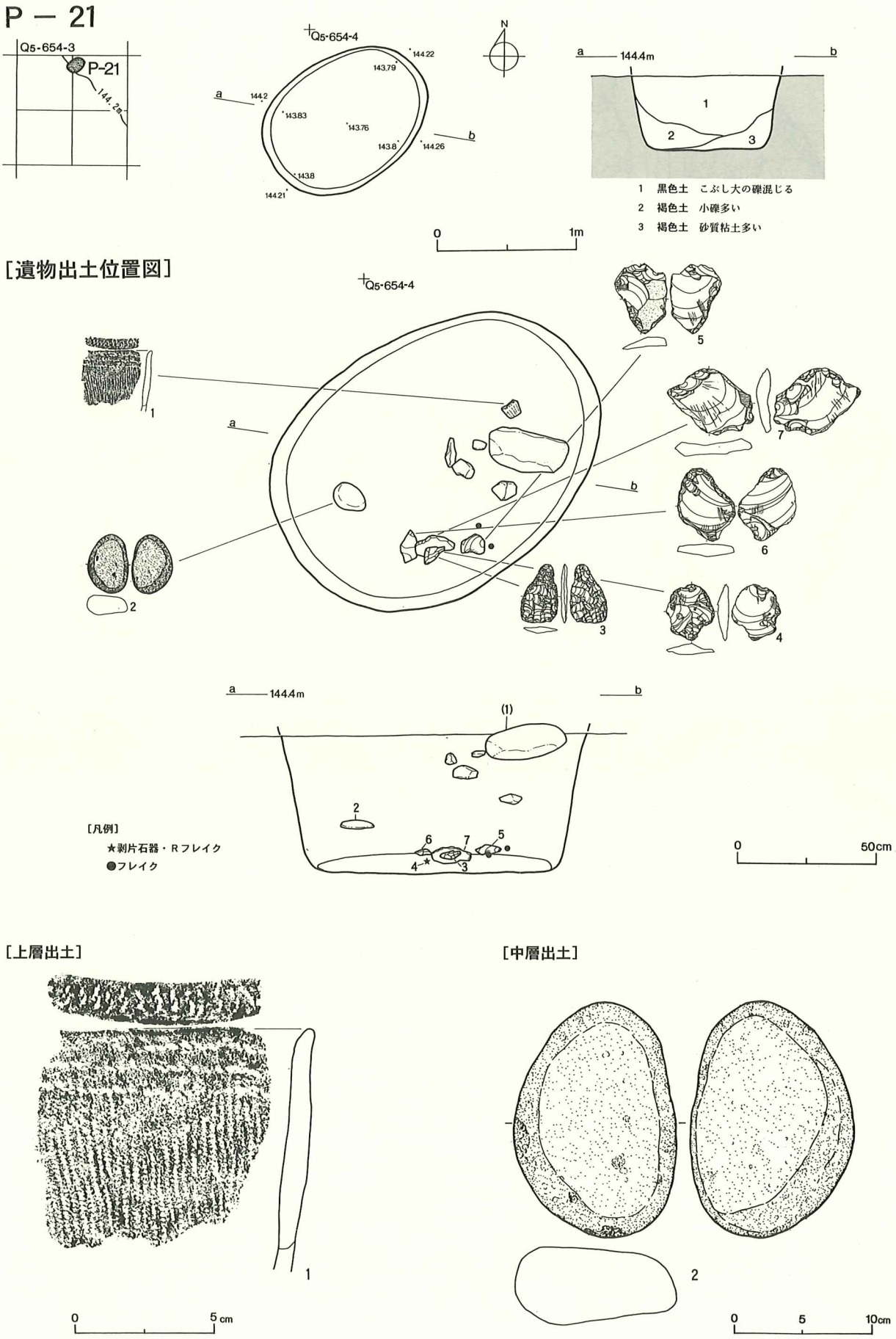
図Ⅸ－36　Ｐ－20(13)


296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
0
5cm

図Ⅸ－37　P－20(14)

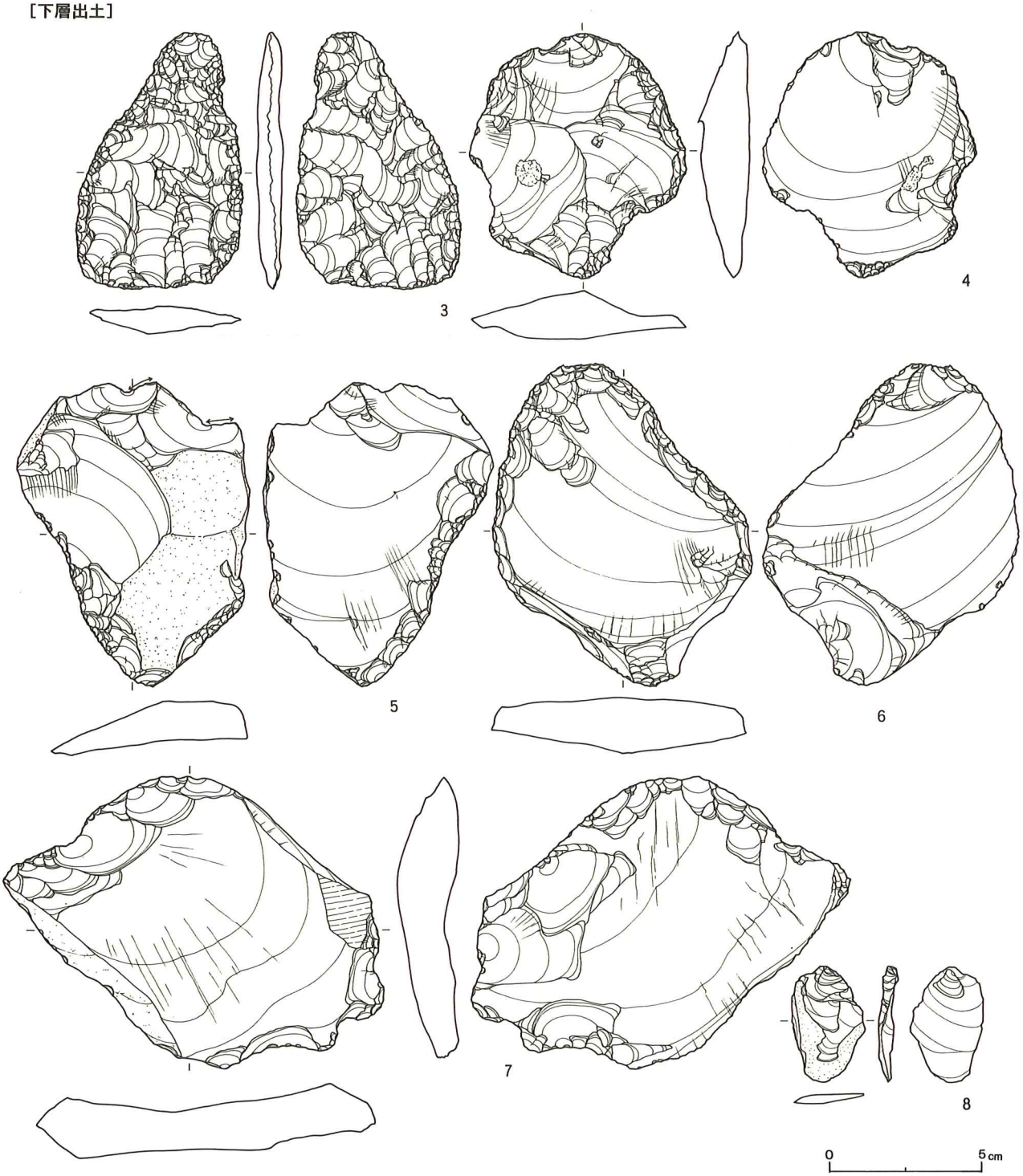

313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
0
5cm

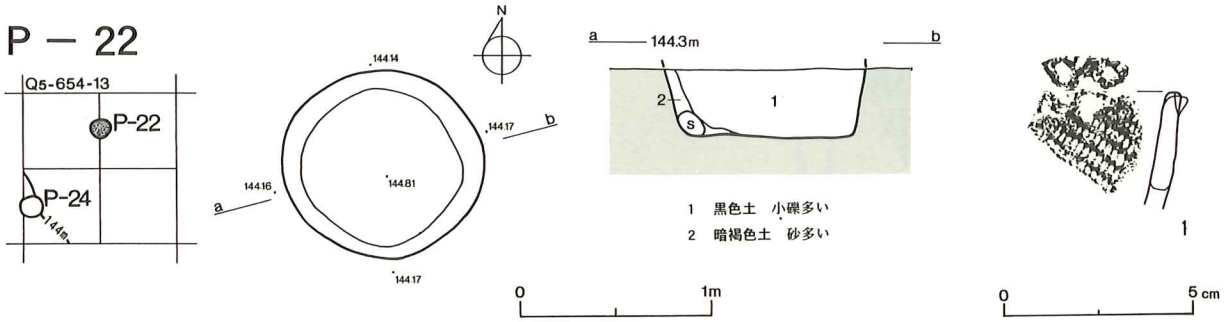
図Ⅸ－38　P－20(15)


P－21
Q5-654-3
P-21
144.2m
Q5-654-4
144.22
143.79
144.2
143.83
143.76
143.8
144.26
143.8
144.21
N
a
b
144.4m
1
2
3
1　黒色土　こぶし大の礫混じる
2　褐色土　小礫多い
3　褐色土　砂質粘土多い
0
1m
[遺物出土位置図]
Q5-654-4
(1)
[凡例]
★剥片石器・Rフレイク
●フレイク
0
50cm
[上層出土]
[中層出土]
0
5cm
0
5
10cm

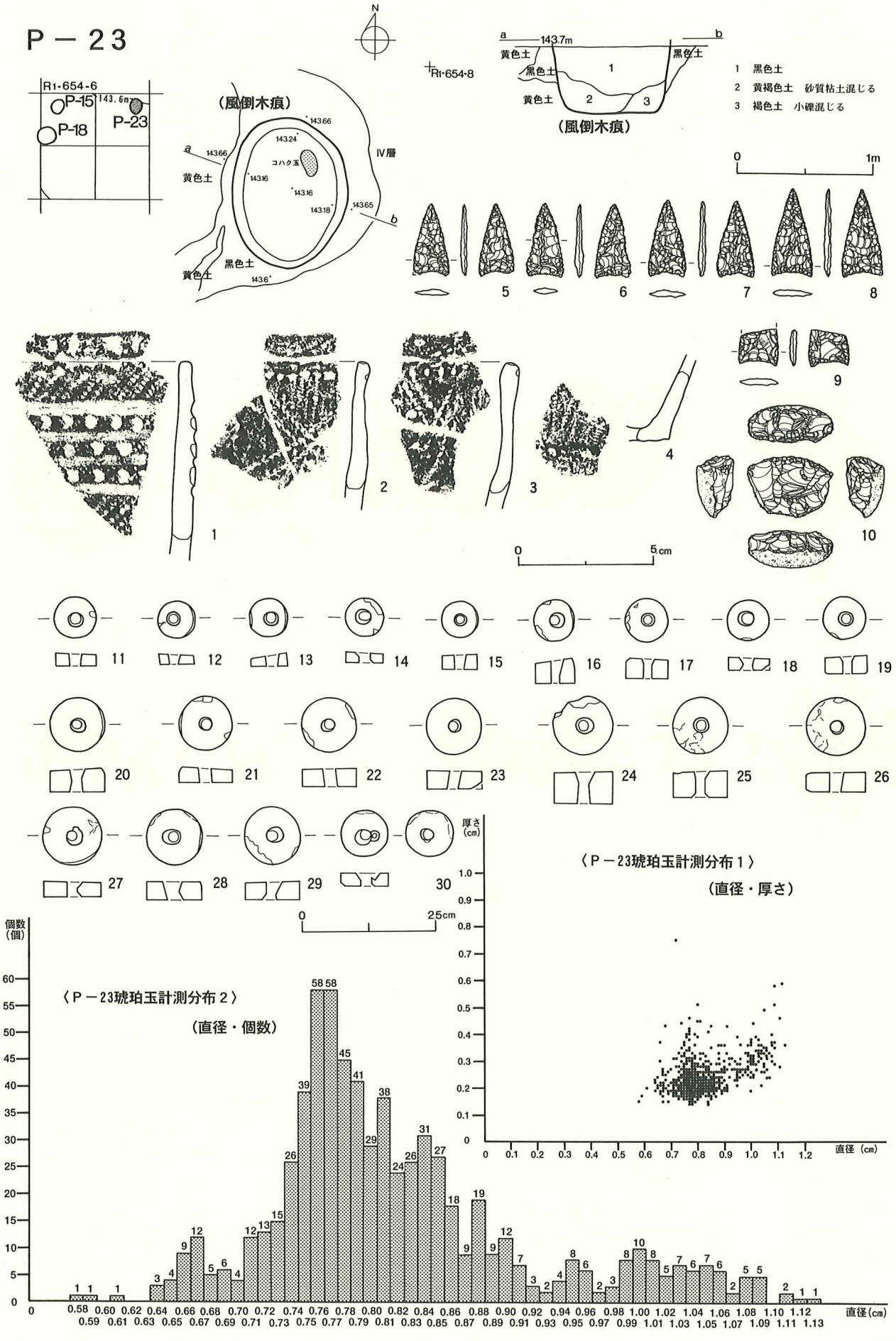
図Ⅸ－39　P－21(1)

［下層出土］

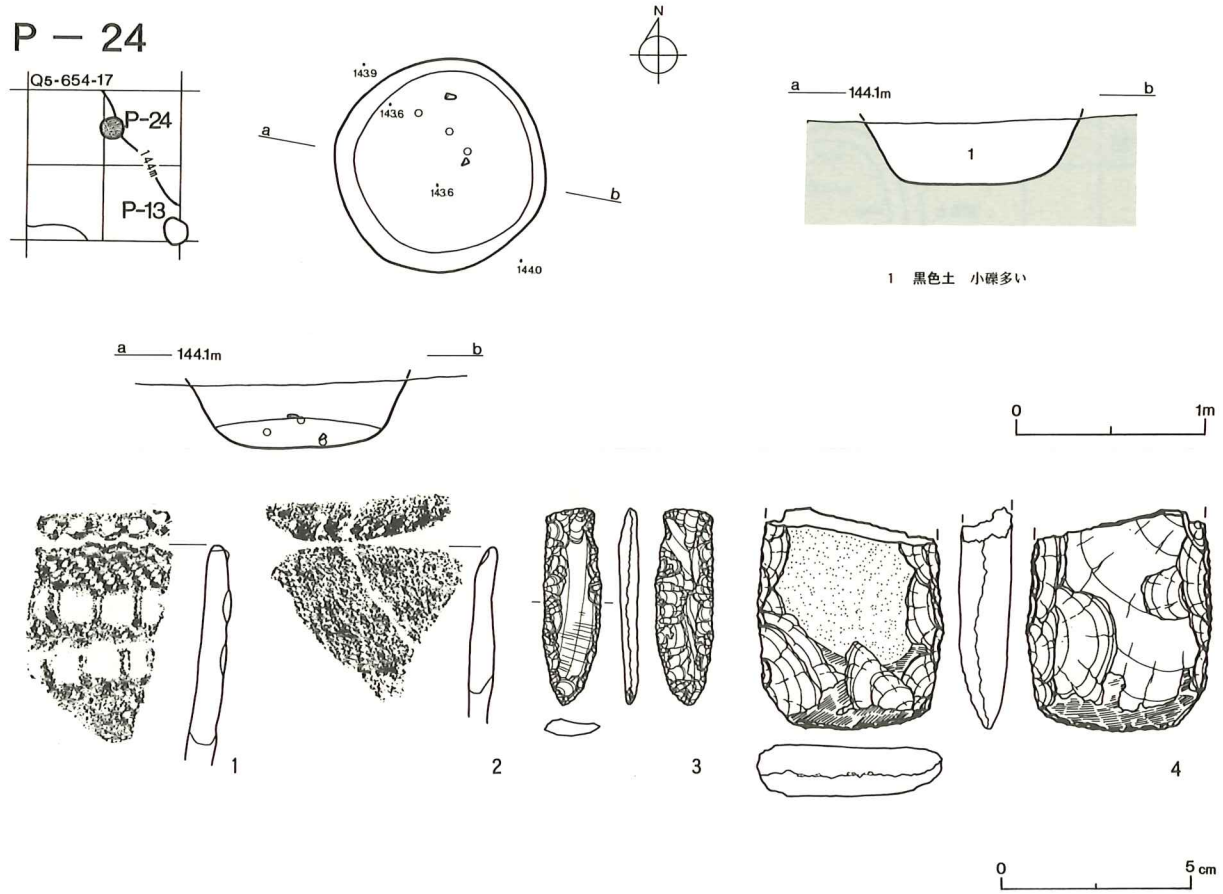


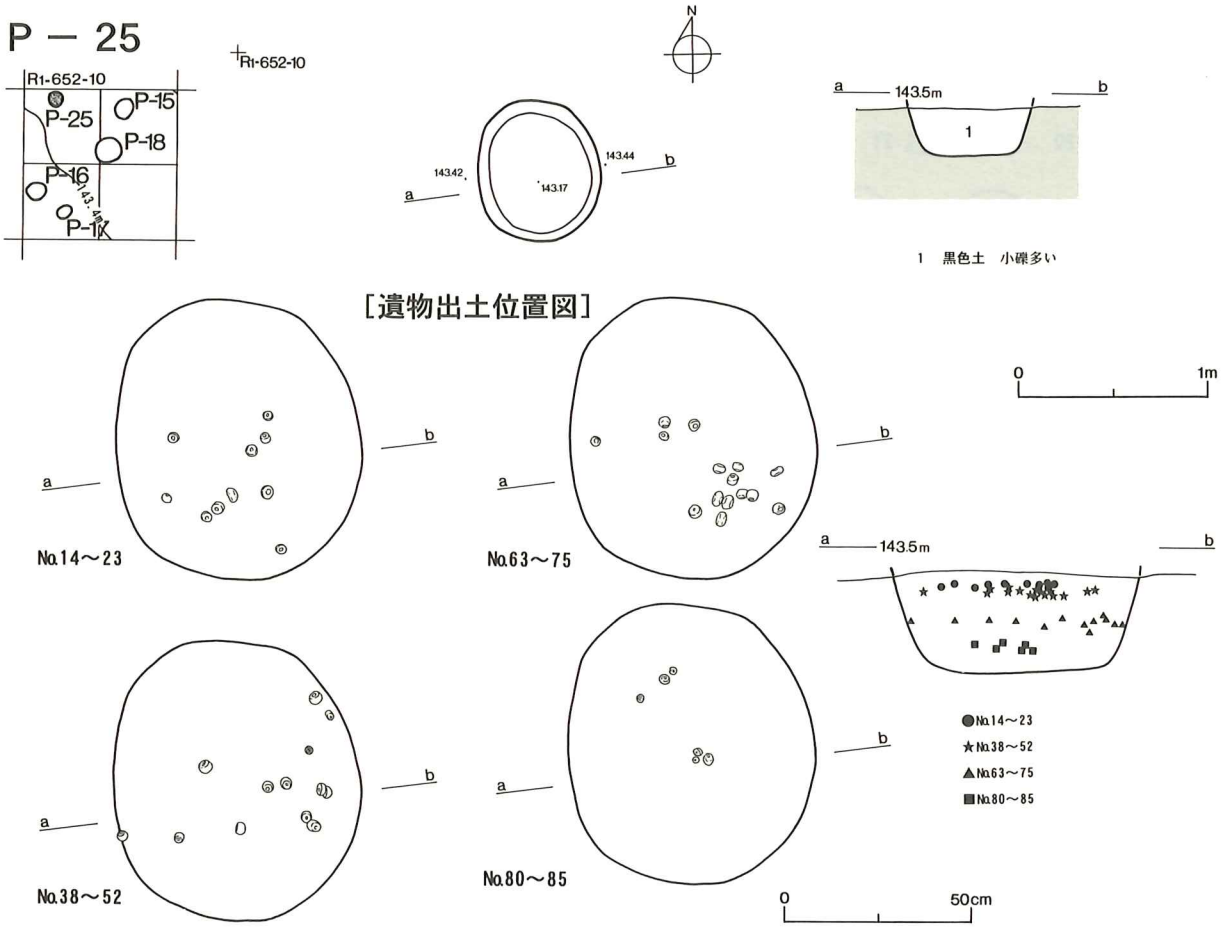


図Ⅸ－40　P－21(2)・22

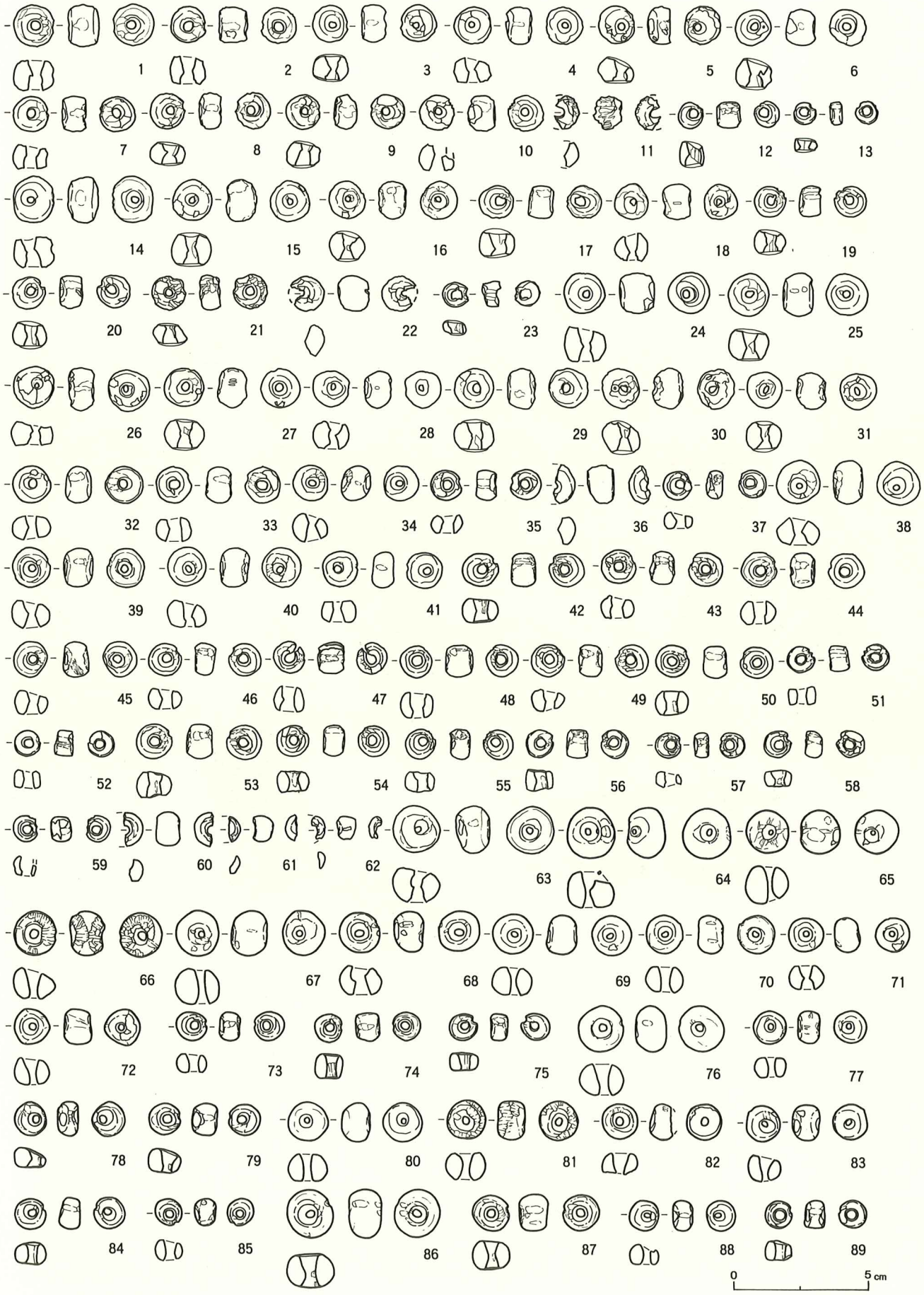

P－23
R1-654-6
P-15
143.6m
P-23
P-18
(風倒木痕)
143.66
143.24
コハク玉
143.16
143.16
143.18
143.65
143.6
Ⅳ層
黄色土
黒色土
黄色土
R1-654-8
a
143.7m
b
黄色土
黒色土
黒色土
黄色土
1
2
3
(風倒木痕)
1　黒色土
2　黄褐色土　砂質粘土混じる
3　褐色土　小礫混じる
0
1m
5
6
7
8
9
10
1
2
3
4
0
5cm
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
0
25cm
厚さ (cm)
〈P－23琥珀玉計測分布1〉
(直径・厚さ)
直径 (cm)
個数 (個)
〈P－23琥珀玉計測分布2〉
(直径・個数)
直径(cm)

図Ⅸ－41　P－23


P－24
Q5-654-17
P-24
P-13
144m
143.9
143.6
143.6
144.0
N
a
b
144.1m
1
1　黒色土　小礫多い
0
1m
1
2
3
4
0
5cm

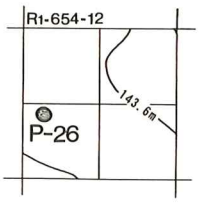

P－25
R1-652-10
R1-652-10
P-25
P-15
P-18
P-16
P-17
143.42
143.17
143.44
N
a
b
143.5m
1
1　黒色土　小礫多い
［遺物出土位置図］
0
1m
No.14～23
No.63～75
No.38～52
No.80～85
No.14～23
No.38～52
No.63～75
No.80～85
0
50cm

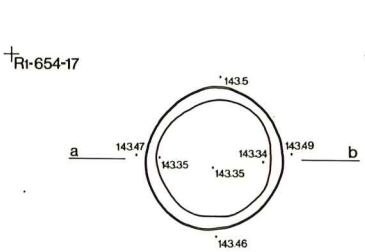
図Ⅸ－42　P－24・25(1)

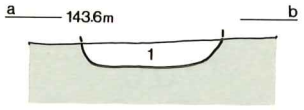


図Ⅸ－43　P－25(2)

P－26



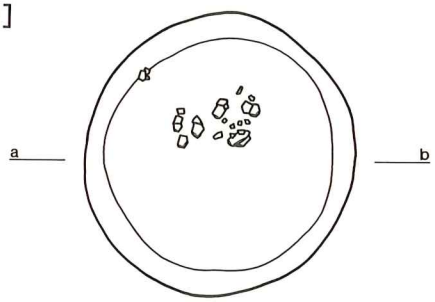




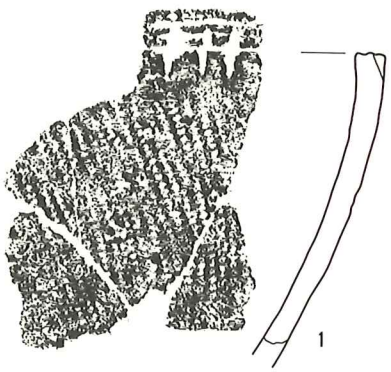
1　黒色土　小礫多い

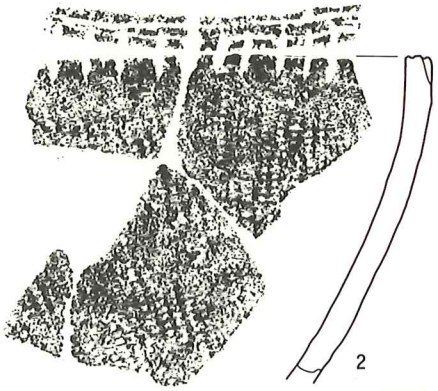
0　1m

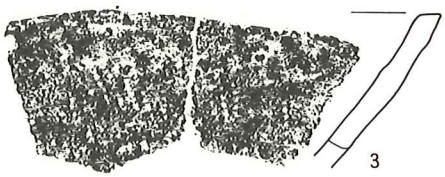
［遺物出土位置図］

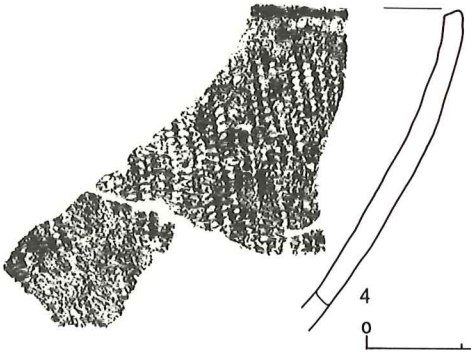


0　50cm



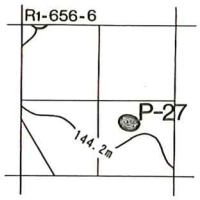


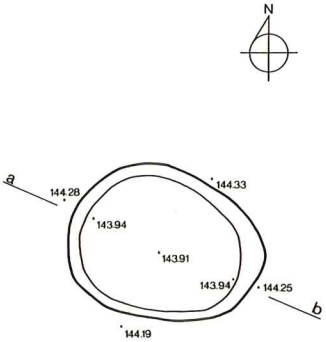


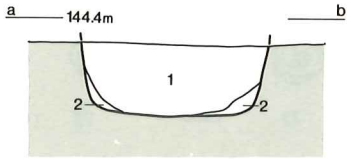


0　5cm

P－27

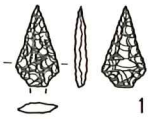






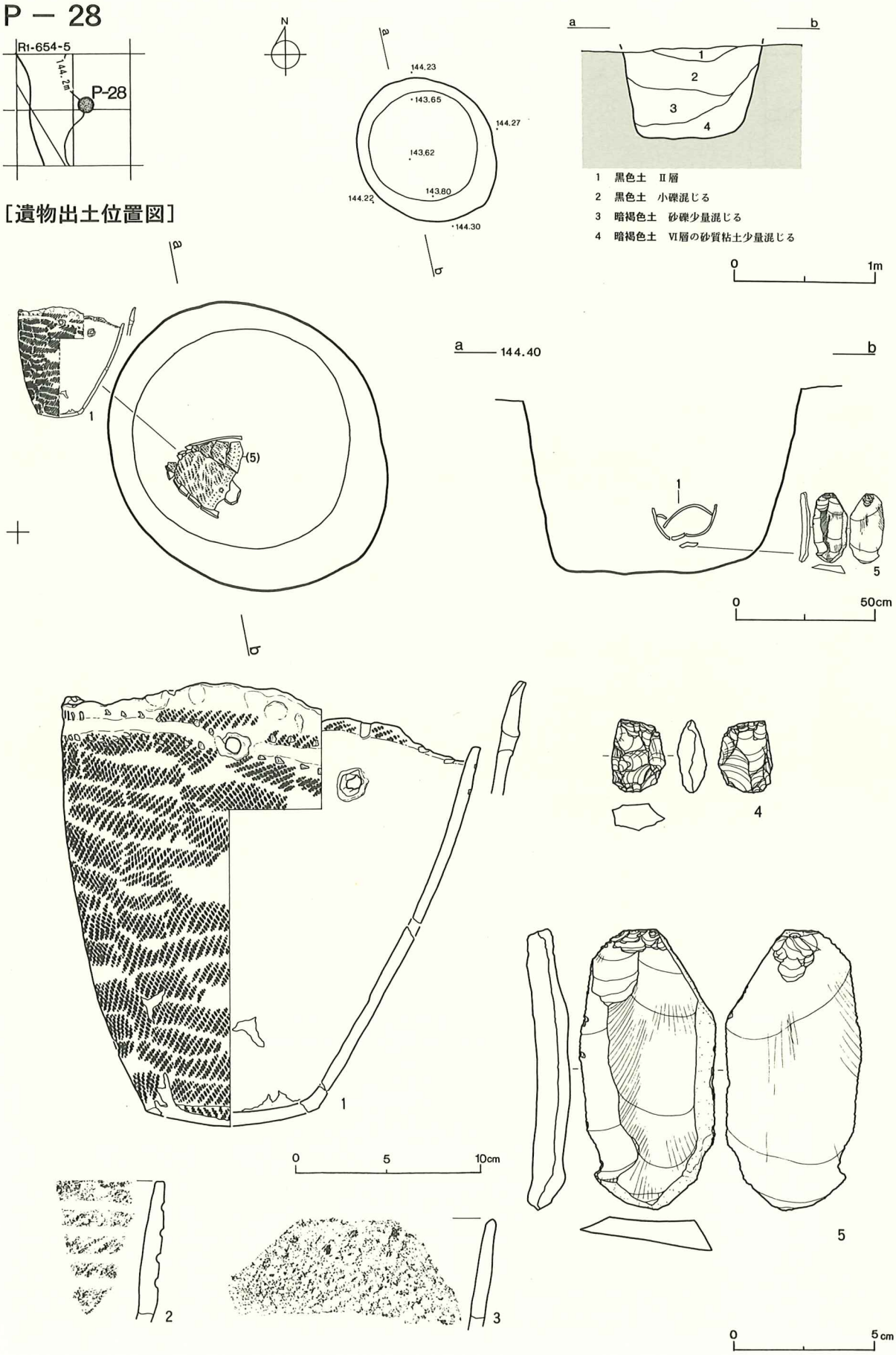
1　黒色土　こぶし大の礫混じる
2　褐色土　砂質粘土多い

0　1m

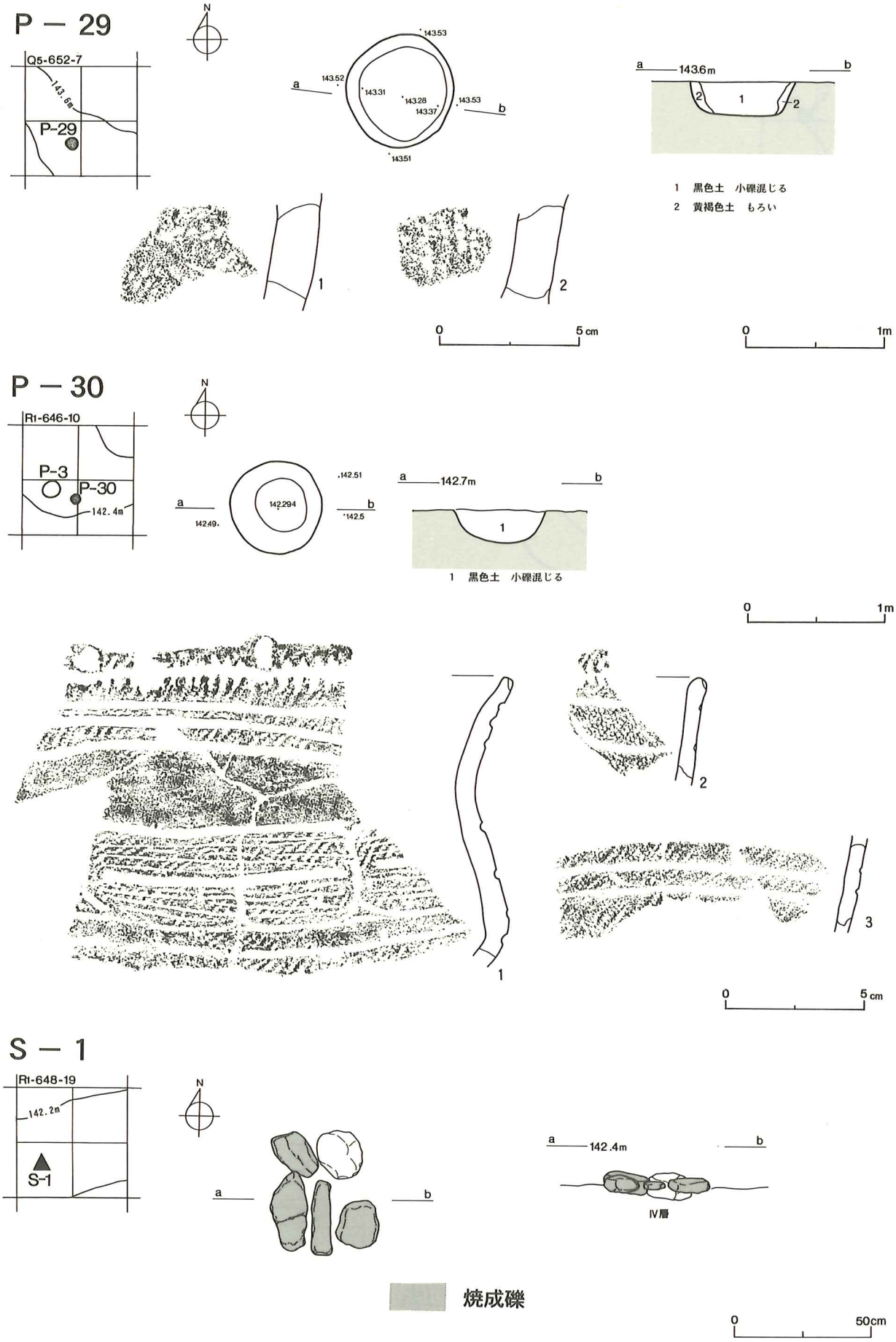


0　5cm

図Ⅸ－44　P－26・27


P－28
R1-654-5
144.2m
P-28
[遺物出土位置図]
N
a
b
144.23
143.65
144.27
143.62
143.80
144.22
144.30
1 黒色土　Ⅱ層
2 黒色土　小礫混じる
3 暗褐色土　砂礫少量混じる
4 暗褐色土　Ⅵ層の砂質粘土少量混じる
0
1m
144.40
(5)
50cm
10cm
5cm

図Ⅸ－45　P－28



図Ⅸ－46　P－29・30　S－1

(2)　Ⅰ・Ⅱ層出土の遺物

1）土器（図Ⅸ－47～55　図版Ⅸ－28～31）

包含層から12,648点の土器が出土している。出土した土器には縄文時代後期（Ⅳ群）、晩期（Ⅴ群）及び続縄文時代（Ⅵ群）に属するものがある。このうちⅤ群・Ⅵ群土器が12,412点で最も多く、全体の98％を占める。このほかⅣ群土器では、余市式と堂林式が少量出土している。摩滅しているものや小破片が多く、文様の判別できたものは少ない。縄文のみが施文された胴部破片については、Ⅴ群とⅥ群の区別が困難なため、便宜的にすべてⅤ群土器として集計した。Ⅴ群とⅥ群の分類は口縁部破片及び底部破片とそれに接合した胴部破片のみ行った。個体数の集計は口縁部破片によって行い、接合片と同一個体としたものは１点として数えた。

Ⅳ群土器（図Ⅸ－51　図版Ⅸ－28）

ａ類が207点、ｃ類が３点、合計209点出土している。

分布は、ａ類が調査区中央付近に多く、ｃ類は南側から出土している。

ａ類：（１～７）　余市式に相当するものがある。

１・２は同一個体。折り返しにより口唇部を角形に肥厚させ、その直下に無文帯と貼付帯がある。３・４は円形刺突文が施されたもの。４は指でなでて形成した無文帯上に刺突が施されている。５～６は同一個体で、偏平で幅の狭い貼付帯があり、縄文が重ねられている。５は無文帯上に刺突が施されている。

ｃ類：（８～10）堂林式に相当するものがある。

８は磨消縄文が見られる。９・10は底部破片。９は爪形文が施されている。

Ⅴ群土器（図Ⅸ－52～54　図版Ⅸ－29・30）

ａ類とｃ類に属するものがある。分布はｃ類が調査区中央付近に多いほかは、目立った傾向はない。

ａ類：（11～22）　爪形文が施されたもので、上ノ国式に相当するものがある。

11・12は内面からの突瘤文があるもの。13～18は爪形文が施されるもの。13～15は口唇上面に棒状工具で刻みが加えられる。18の摘まみ上げによる爪形文が施文されている。19・20は竹管状工具で斜めから刺突が施されているものである。21・22は底部破片。

ｃ類：（23～55）緑ケ岡式に相当するものがある。

深鉢あるいは鉢（23～36）

23～25の縄線文のものはｂ類に分類される可能性があるが、ここではｃ類として扱う。23は口唇内面に縄の圧痕が加えられる。26～33は沈線文の見られるもの。28～33は口唇上面に棒状工具で刻みが加えられる。30・31は蛇行沈線文が施されている。32・33は同一個体で、孔が穿たれた貼り付けが付く小突起をもち、対になると思われる。34～36は刺突文が施されるもの。34は口唇直下に幅0.2cm、長さ１cm程の板状工具による刺突が器面を巡り、１条の横走する沈線と細い棒状工具による斜めからの刺突が施されている。35は口唇直下に刺突が巡るもの。36は沈線で区画された文様帯を刺突で充填したもの。37には指でなでて形成した３条の無文帯を、竹管状工具で区画したもの。口唇上面には縄の圧痕が加えられ、小突起が付く。

浅鉢（38～43）

38～43は浅鉢の突起部分である。38は渦巻き状の縄線文が施された後、棒状工具による刺突が加えられたもの。39は縄線文と刺突文が組み合わされたもの。40は口唇上面に沈線による格子目状の文様が描かれる。41は５条の沈線文を１条の縄線文で区画し、棒状工具による刺突が加えられている。42は沈線文、縄線文、刺突文が組み合わされたもの。同様のモチーフを持つ石製品が滝里遺跡群及び周辺地域で出土している（図ⅩⅦ－18）。43は数条の縄線文を沈線で区切るもの。

44～46は地文の縄文のみ施されるもの。48～51は同一個体で、壷形の器形になると思われる。49～51は底部破片で、沈線で同心円を描き、底の中央と周縁に刺突が施される。52～55は底部破片。

Ⅵ群土器（図Ⅸ－55　図版Ⅸ－31）

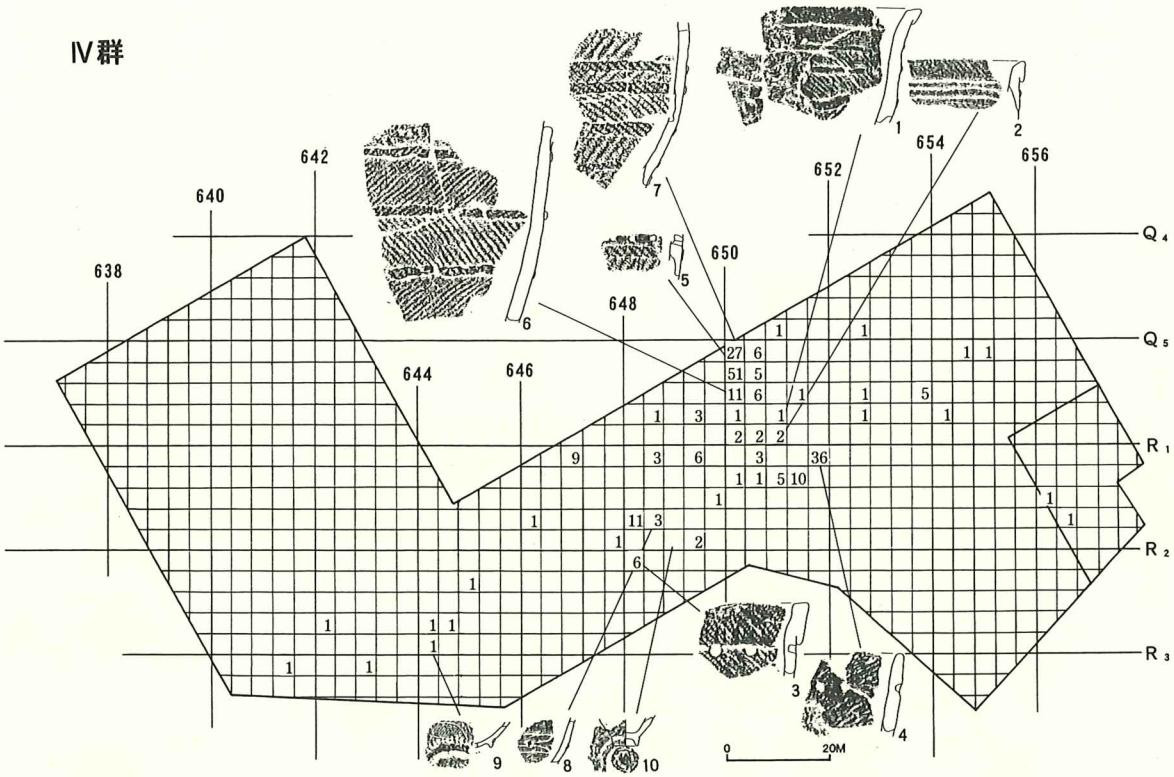
ａ類のみが出土している。分布は調査区東側の土壙群が確認された地区と調査区南西側に多く分布している。

ａ類：（56～77）フシココタン下層式、興津式、鳥沼式に相当するものがある

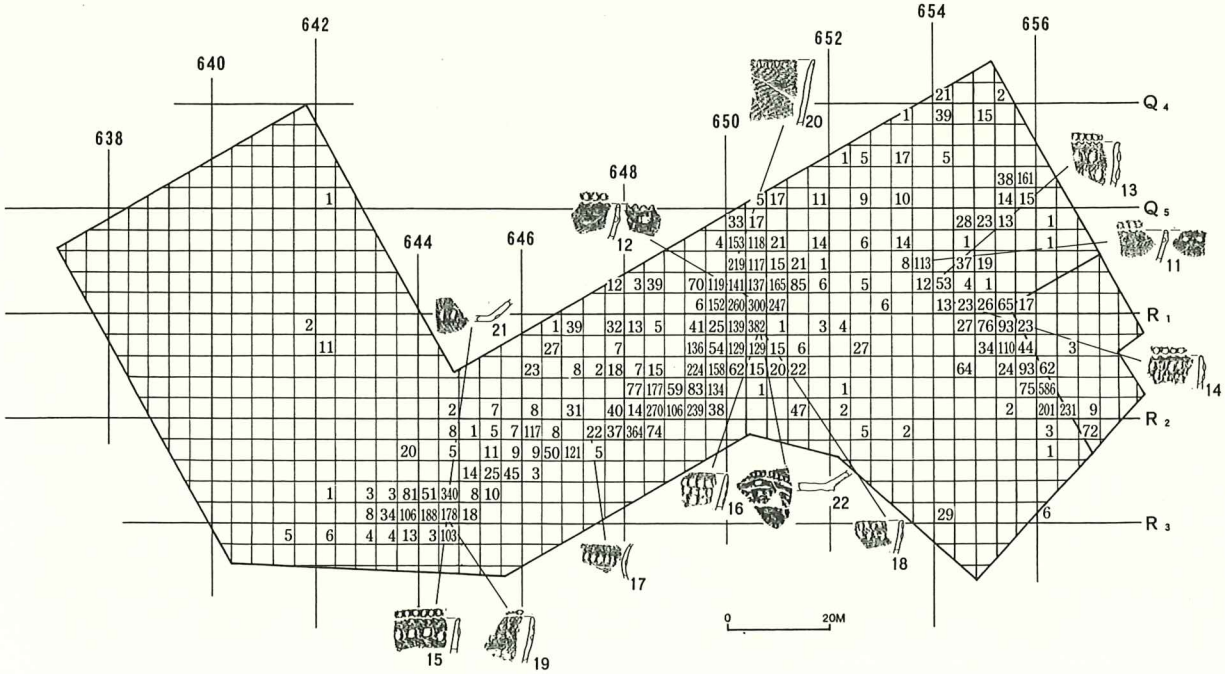
56～64は縄線文の見られるもの。56～57は同一個体で、器形は胴部がやや張り出す深鉢形になると思われる。底部は上げ底になる。59・60は同一個体で口唇部が外へめくり気味になるもの。62は斜位の縄線文が見られる。63・64は同一個体。口縁部がやや外反し、口唇内面には縄の圧痕が加えられる。胴部中央まで横位と縦位の細い縄線が施され、底部付近はループ状の縄線文が見られる。65～68は沈線文が見られるもの。65は口唇上面に棒状工具で刻みが加えられる。67は口唇上面に縄の圧痕が加えれらる。69は刺突文が見られるもの。内面と外面から刺突が施され、内面からのものは貫通している。70は縄端圧痕で文様が描かれるもの。71～73は地文の縄文のみのもの。71は口縁部に斜位の縄文が施され、胴部は縦位の縄文となる。口唇上面には棒状工具で刻みが加えられ、小波状口縁となる。74～77は底部破片。いずれも上げ底となる。74は縄端圧痕と棒状工具による刺突が加えられている。75は底面に縄端圧痕が見られる。

（村田　大）

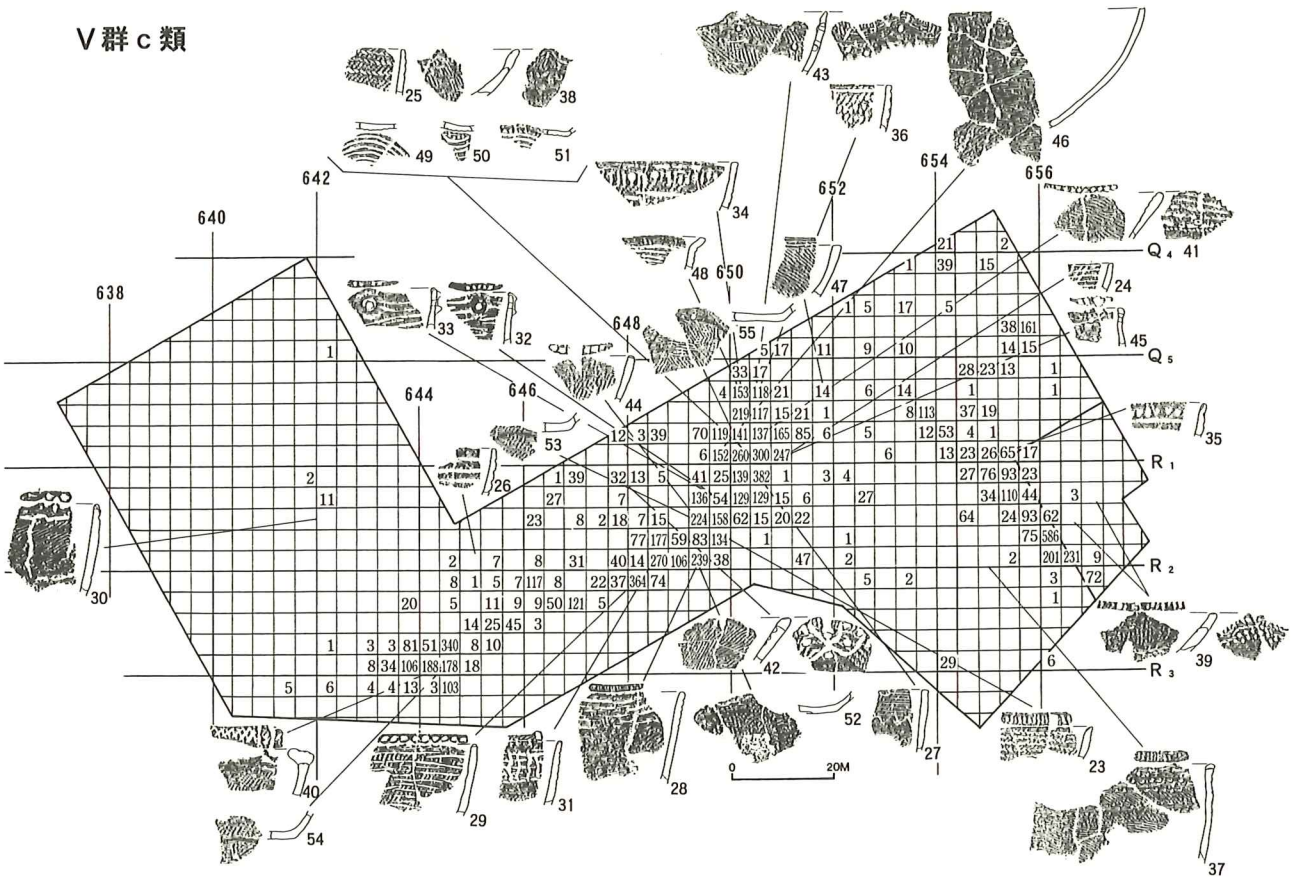
Ⅳ群

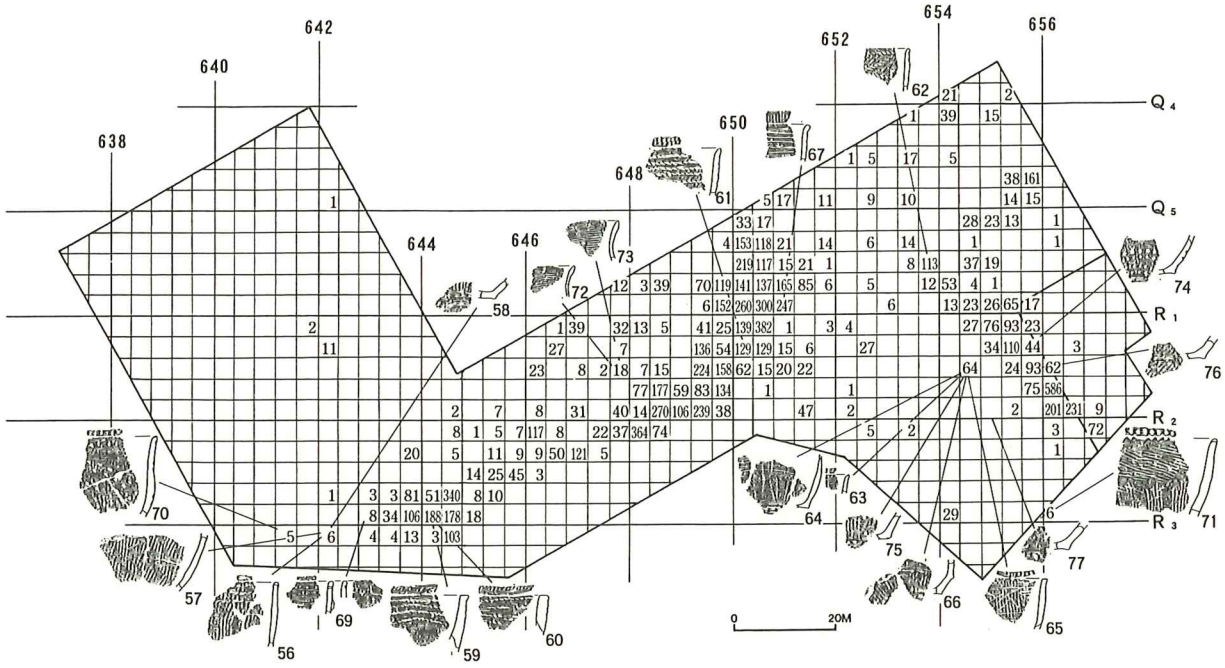


Ⅴ群ａ類



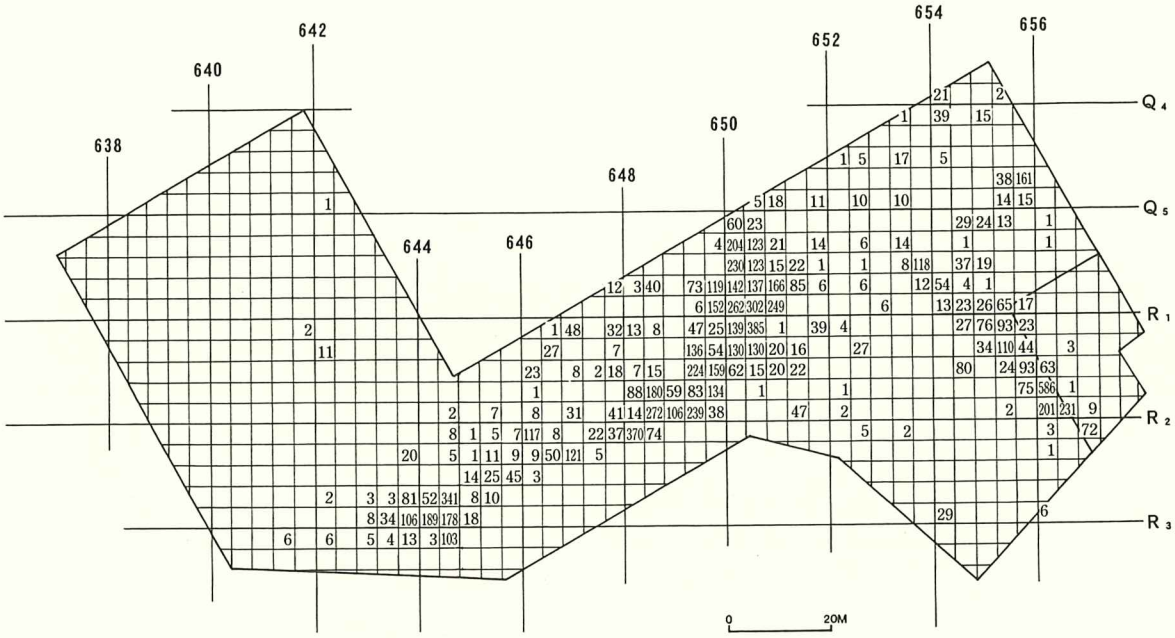
図Ⅸ－47　Ⅳ群・Ⅴ群ａ類土器の分布



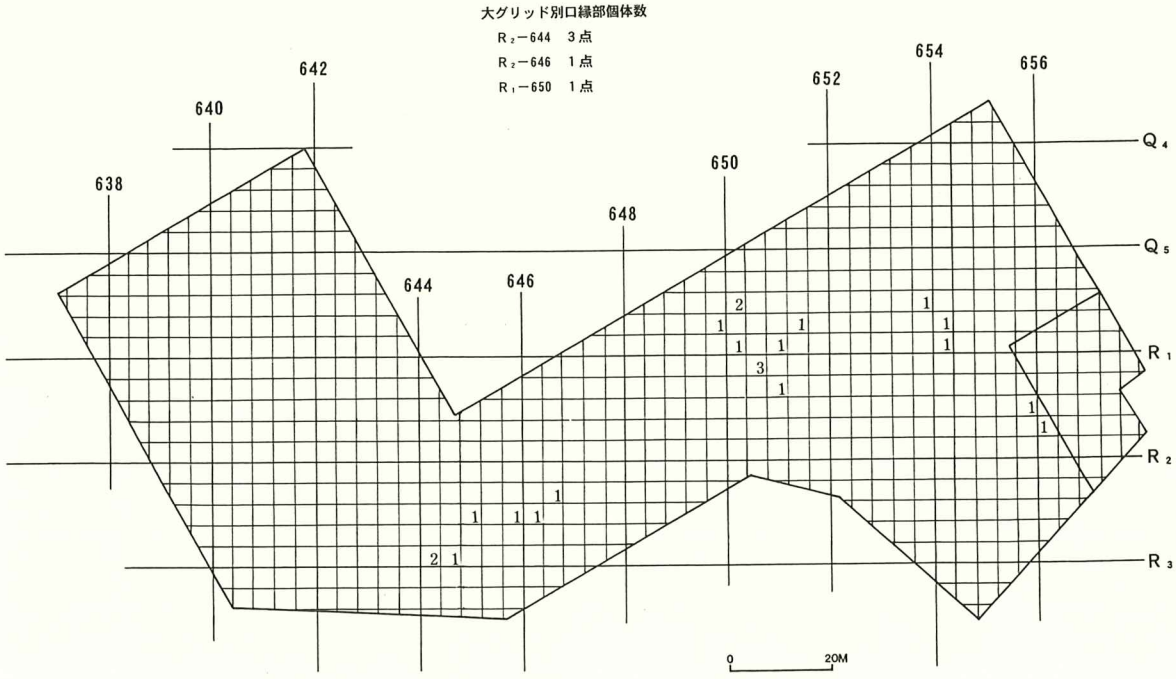


図Ⅸ－48　Ⅴ群ｃ類・Ⅵ群ａ類土器の分布

土器の分布

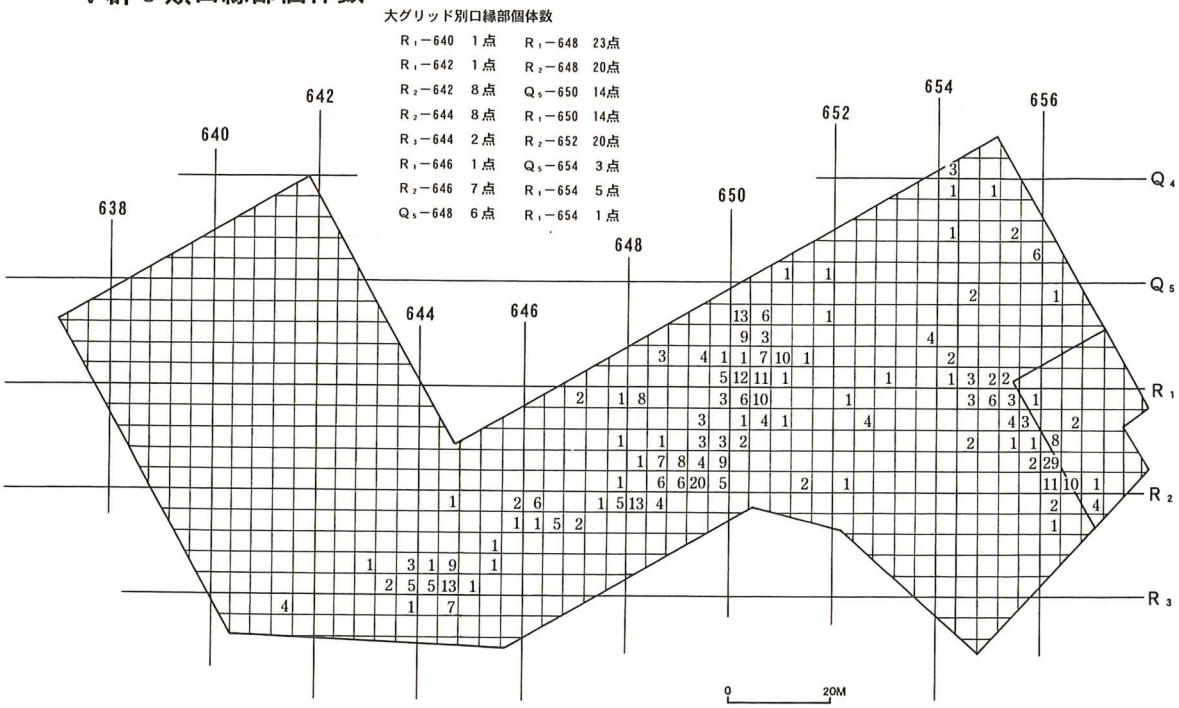


Ⅴ群ａ類口縁部個体数

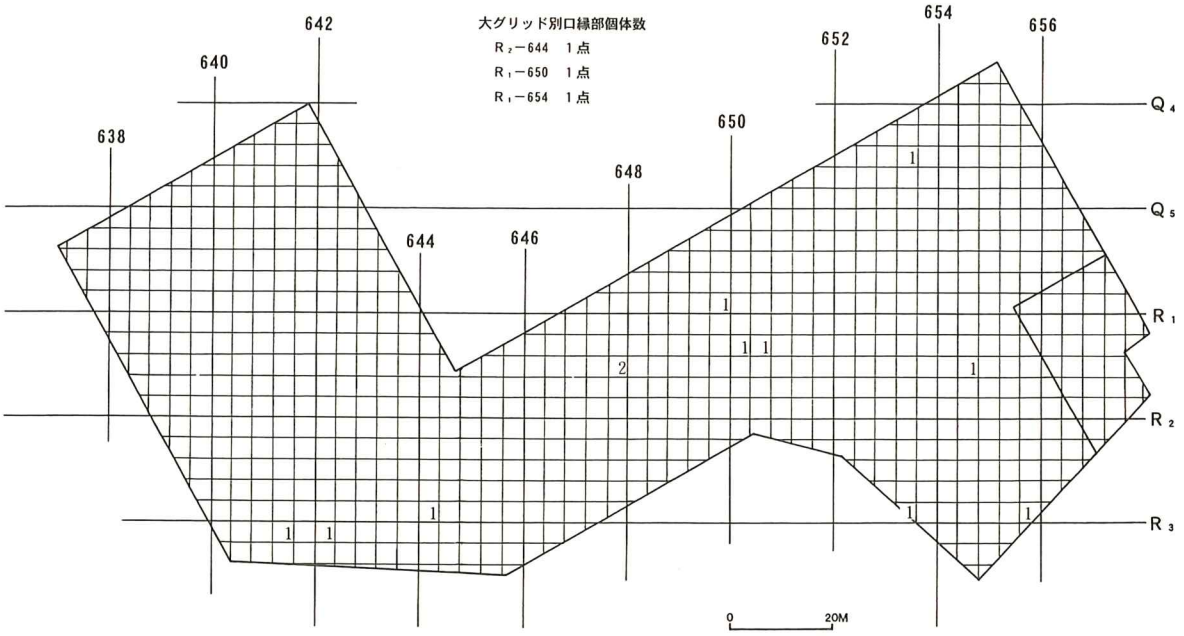


図Ⅸ－49　土器分布・Ⅴ群ａ類土器発掘区別口縁部個体数

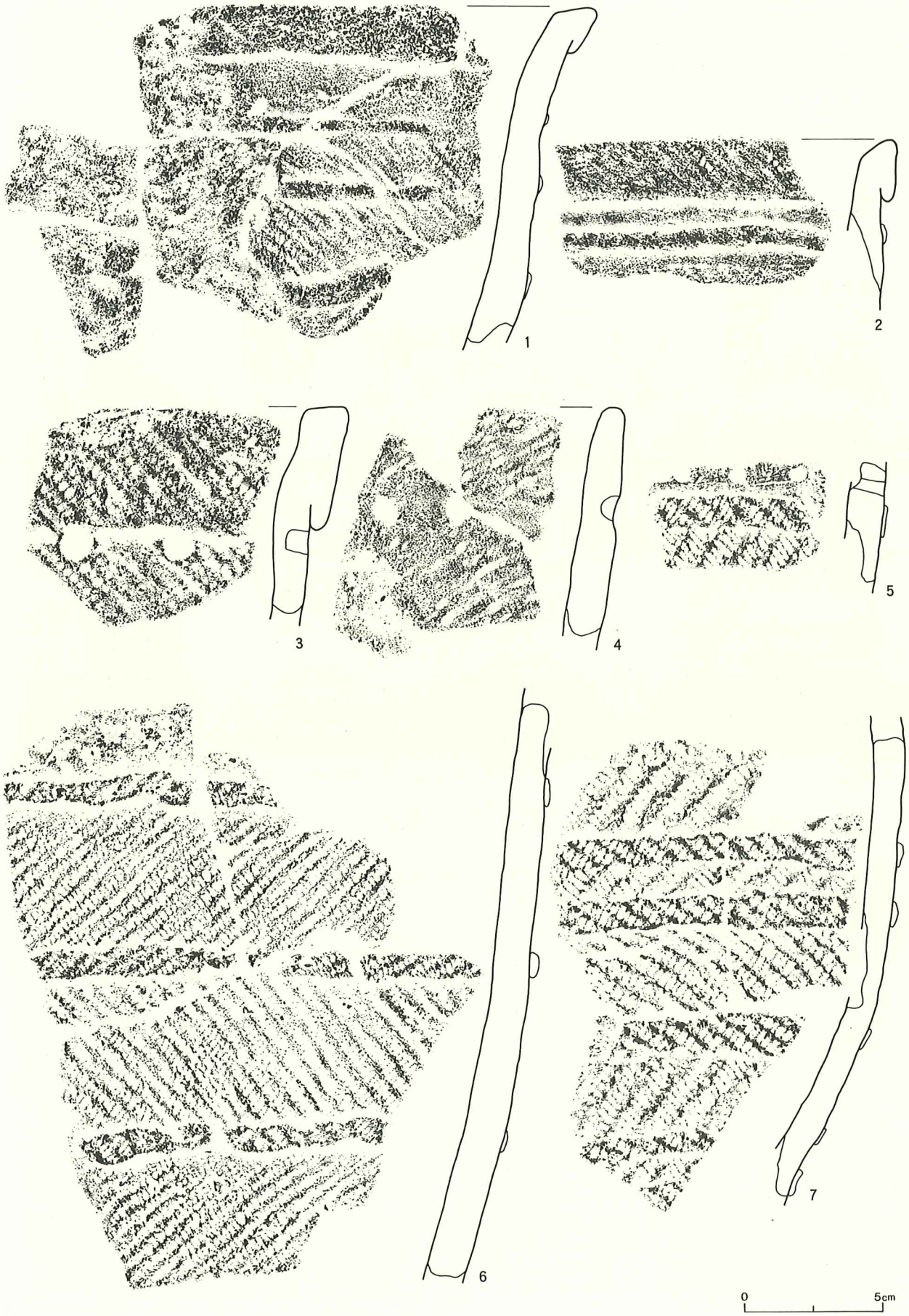
Ⅴ群ｃ類口縁部個体数



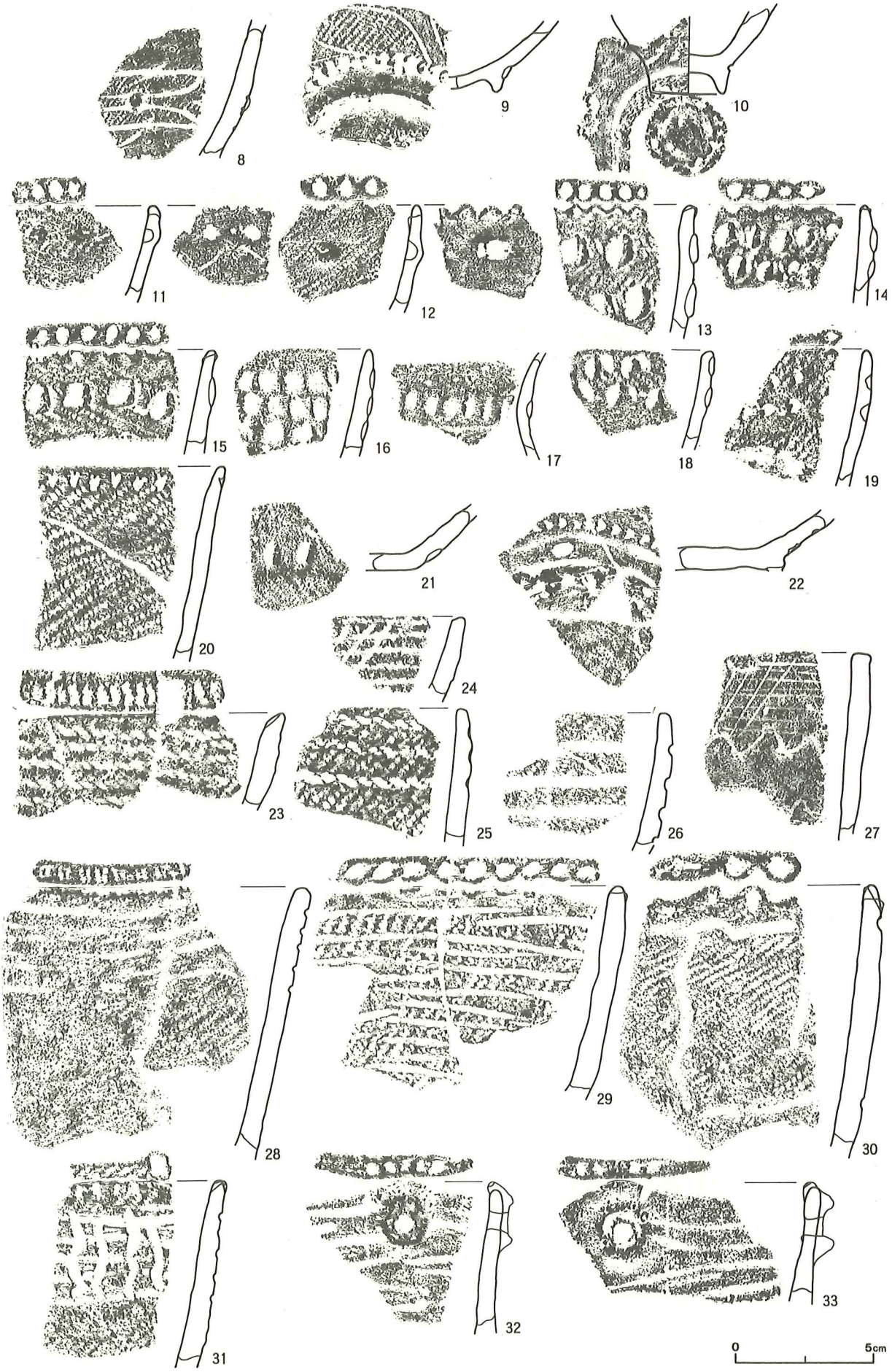
Ⅵ群ａ類口縁部個体数



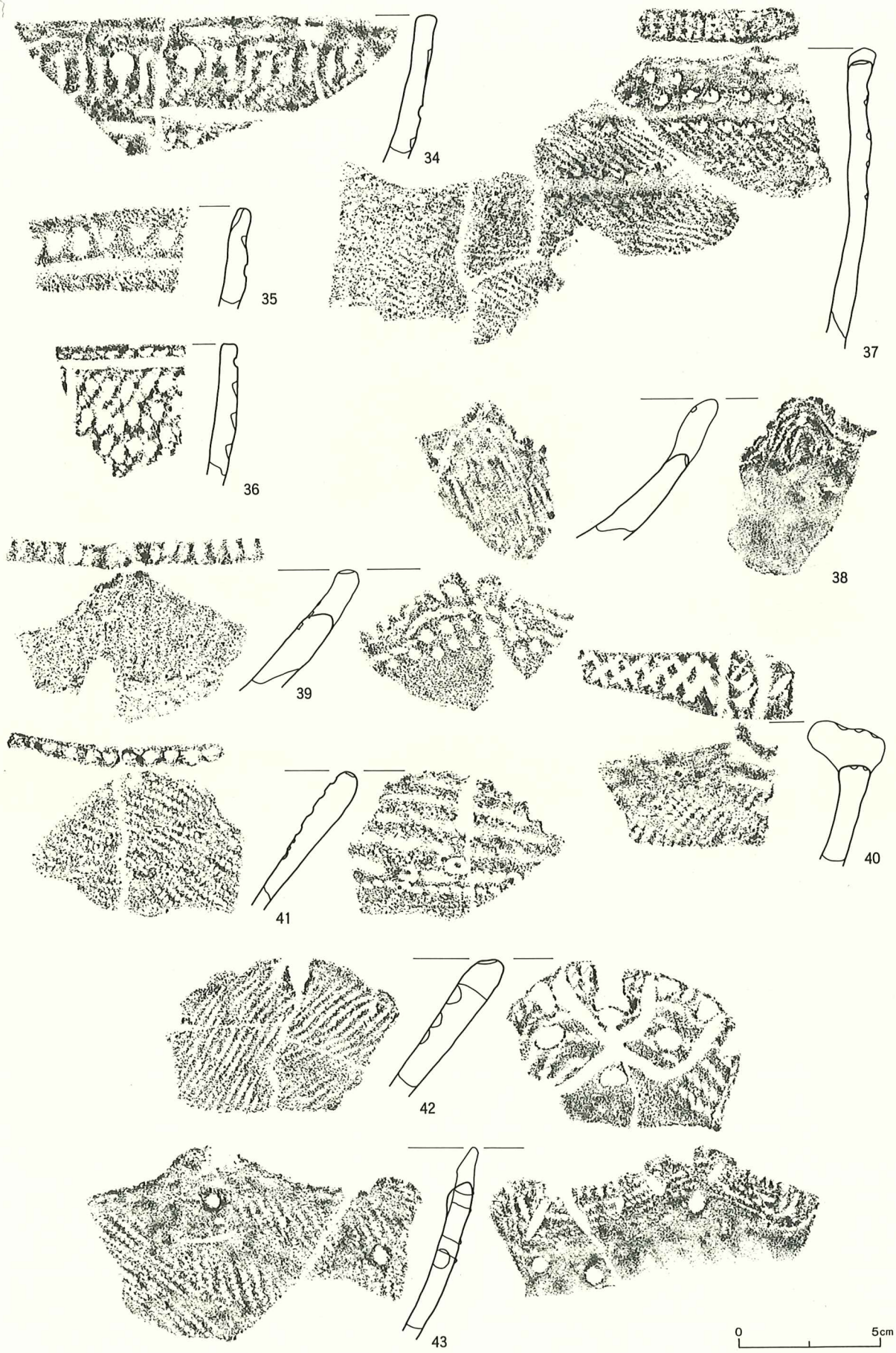
図Ⅸ－50　Ⅴ群ｃ類・Ⅵ群ａ類土器発掘区別口縁部個体数



図Ⅸ－51　Ⅰ・Ⅱ層出土のⅣ群土器



図Ⅸ－52　Ⅰ・Ⅱ層出土のⅣ群ｃ類・Ⅴ群ａ類・ｃ類土器(1)



図Ⅸ－53　Ⅰ・Ⅱ層出土のⅤ群ｃ類土器(2)